

熊本県文化財調査報告書 第308集

桑鶴遺跡群
五丁中原遺跡

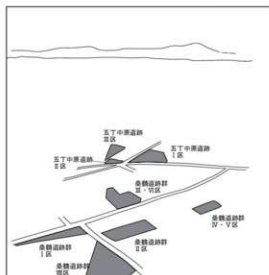
—砂原四方寄線地域連携推進改築事業に伴う埋蔵文化財調査報告—

原

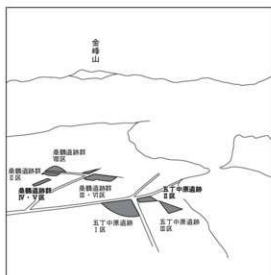
熊本県教育委員会

2015

巻頭カラー 1
空撮1 (SW→)

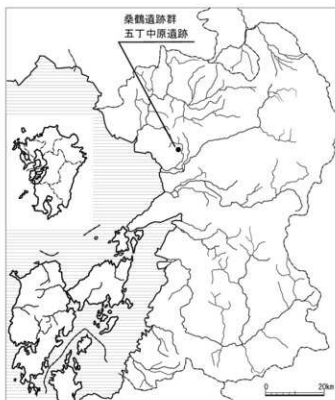


SW →



桑鶴遺跡群 五丁中原遺跡

— 熊本県熊本市北区所在の埋蔵文化財 —



熊本県教育委員会

2015

序 文

熊本県教育委員会は砂原四方寄線地域連携推進改築事業に伴い、桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡の調査を実施しました。その結果、古代の住居跡や中世期と推定される建物群などの生活居住地を確認することができました。

今回の調査の成果の一つに旧石器の出土があります。これはこれまで不確定であった熊本西部にて良好な出土になりました。これから、この時代を考える上で貴重な情報の提示ができ、今後に弾みが付くものでしょう。また出土遺物の中には「原」と書かれた文字資料があり、調査地の古代地名や自然環境を窺い知ることができました。

今回の文化財調査は調査・整理が熊本市の政令市に伴い権限移譲するという形態ではありましたが、熊本市の深いご理解のもと、本報告書の発行ができました。

記録保存という形ではありますが本報告が地域の発展とともに、将来、地域の貴重な歴史の情報として引き継がれ、生かされていくことを望んでおります。

なお、本調査を実施するにあたり、御理解とご協力をいただいた地元の皆様並びに関係機関に深く感謝申し上げます。

平成 27 年 3 月 31 日

熊本県教育長 田崎 龍一

例 言

- 1 本書は、熊本県熊本市北区に所在する桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡調査の報告書である。桑鶴遺跡群は平成18年度に第1次、21～23年度に2次調査を実施した。
- 2 発掘調査は、熊本県土木部及び熊本土木事務所の依頼を受け、熊本県教育委員会が実施した。調査費及び整理報告費については、同事業部局及び熊本市が負担した。
- 3 遺物の整理・報告作業は、熊本県文化財資料室で平成25年度から26年度まで実施した。
- 4 本書で用いる地形図は、熊本県土木部から提供、並びに国土地理院発行の2万5千分の1地形図をもとに作成した。
- 5 遺跡の測量の基準点測量及び水準測量は株式会社長田測量設計・株式会社ワールドコンサルタンツ・有限会社坂井設計コンサルタンツ・株式会社十八測量設計の委託事業とした。現地での写真撮影は各調査員が行い、遺構実測は現場作業員の協力のもと各調査員が実施した。遺物の実測・製図は、春川香子・今田里枝・出家麻里・濱崎清子・園田

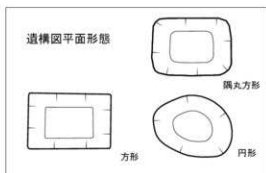
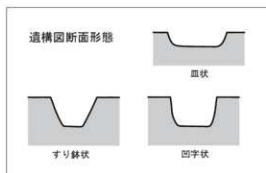
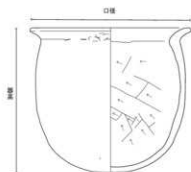
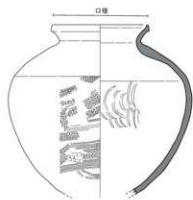
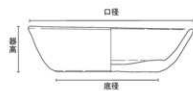
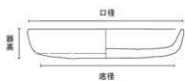
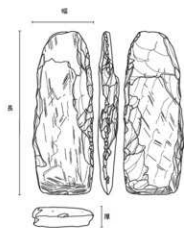
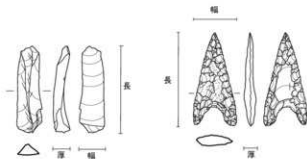
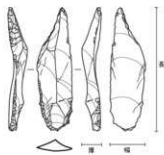
- 智子・立岩恵美子・山下義満が行い、一部株式会社イビソク、株式会社九州文化財研究所の委託事業とした。遺物の写真撮影は、村田百合子・松本智子・蓮池千絵が行い、一部、春川・今田が行った。
- 6 自然科学分析については火葬骨分析は、NPO法人人類学研究機構、炭素同位体年代測定は株式会社古環境研究所に委託した。
- 7 本書の執筆は、第V章 自然科学分析は、NPO法人人類学研究機構、炭素同位体年代測定は古環境研究所が行った。第IV章 第1節 旧石器の調査成果及び第VIII章の旧石器の稿は岡本が、その他を山下が執筆した。
- 8 整理後の保管は熊本県文化財資料室で保管されている。
- 9 本書の編集は、熊本県教育庁文化課が行い、春川・今田の援助を得て山下が担当した。

凡 例

- 1 方位/座標 国土地標第II系(日本測地系)を基準とし、方位もそれに準じた。
- 2 遺跡地区名 遺跡全体の地区(第1図)の通りである。また桑鶴遺跡群は平成18年度を1次・平成21～23年度を2次と区分した。
- 3 遺構名略号 次の通りである。SH;住居・SB;掘立柱建物・SK・ST;土坑・SD;溝・SI;埋設遺構・S0;燃焼土坑・SX;不明遺構・P;Pit遺構
- 4 遺構図版 標高は東京湾平均海面(Tokyo Peil [T.P.])による。
- 5 遺構図版 縮尺 遺構図版は、ブロックごとに掲載し、縮尺はキャプション及びスケールで図示した。
- 6 遺構図版 線種 遺構平面図は原則として確定ラインは実線で掲載し、遺構上・下端の推定線は破線で示した。また覆乱および調査区範囲については実線及び一点破線で示した
- 7 遺構図版 断面ポイント 各遺構の平面及び断面図では、—ラインの内側をポイントとしている。
- 8 遺物図版 縮尺 遺物実測は原則として土器は1/3、

- で行い、石器は1/1・2/3・1/3・1/4・1/5、その他は2/3で掲載した。またこれに該当しないものは、その縮尺を図中に示した。
- 9 遺物図版 線種 外形線、中心線及び区画線は実線、稜線は一点破線または二点破線、推定線は破線で示した。また、須恵器については、断面を塗りつぶした。また彩色土器については原色に近い色を用いた。
- 10 遺物図版 土器の小破片については、断面図の左を内面、右を外面の立面図にしている。
- 11 接合痕跡は、断面の内側に細線を入れている。
- 12 遺物観察表 すべての実測個体について、遺物観察表を掲載した。その凡例は、観察表の上に別項にて注記している。
- 13 色調 本書で用いた土壌・胎土色調名は、農林水産省技術事務局監修「新版 標準土色帳」を用いた。陶磁器・玉類については、大日本インキ化学工業株式会社発行「中国の伝統色」第2版(1986)を用いた。

凡例



本文目次

第I章 調査の経過	1	第V章 自然科学分析	217
第1節 調査に至る経緯と経過	1	第1節 火葬人骨	217
第2節 調査の組織	1	第2節 放射性炭素年代測定	223
		(1) 五丁中原遺跡I区	223
		(2) 桑鶴遺跡群II区	225
		(3) 桑鶴遺跡群VIII区	227
第II章 遺跡の環境	4		
第III章 調査の概要	5	第VI章 遺構・遺物データ	229
第1節 調査区の位置	5	遺構データ	229
第2節 調査の概要	5	出土遺物観察表(石器)	236
第3節 基本土層	5	出土遺物観察表(土器)	242
		出土遺物観察表(金属製品)	261
第IV章 調査の成果	22	第VII章 総括	263
第1節 旧石器	22	第1節 遺構	263
第2節 縄文	25	第2節 遺物	264
第3節 弥生	25	第3節 結言	270
第4節 古代	25		
第5節 中世	25		
第6節 不明	26		

図 版 目 次

<p>第 1 図 遺跡範囲図…………… 3</p> <p>第 2 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡調査区位置図…………… 7</p> <p>第 3 図 グリット図 1…………… 8</p> <p>第 4 図 グリット図 2…………… 9</p> <p>第 5 図 グリット図 3…………… 10</p> <p>第 6 図 グリット図 4…………… 11</p> <p>第 7 図 グリット図 5…………… 12</p> <p>第 8 図 グリット図 6…………… 13</p> <p>第 9 図 グリット図 7…………… 14</p> <p>第 10 図 グリット図 8…………… 15</p> <p>第 11 図 土層柱状図…………… 16</p> <p>第 12 図 基本土層図 1…………… 17</p> <p>第 13 図 基本土層図 2…………… 18</p> <p>第 14 図 基本土層図 3…………… 19</p> <p>第 15 図 基本土層図 4…………… 20</p> <p>第 16 図 基本土層図 5…………… 21</p> <p>旧石器</p> <p>第 17 図 調査区位置図…………… 23</p> <p>第 18 図 桑鶴遺跡群Ⅱ区旧石器(出土相当層) 出土平面図…………… 24</p> <p>第 19 図 桑鶴遺跡群Ⅱ区調査区土層断面図…………… 27～28</p> <p>第 20 図 出土遺物実測図 1 (桑鶴遺跡群Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅵ区出土地不明)…………… 29</p> <p>第 21 図 出土遺物実測図 2(桑鶴遺跡群Ⅱ区)…………… 30</p> <p>第 22 図 桑鶴遺跡群Ⅲ区旧石器(出土相当層) 出土平面図…………… 31</p> <p>第 23 図 桑鶴遺跡群Ⅲ区調査区土層断面図 1…………… 33～34</p> <p>第 24 図 桑鶴遺跡群Ⅲ区調査区土層断面図 2…………… 35～36</p> <p>第 25 図 出土遺物実測図 3(桑鶴遺跡群Ⅲ区①)…………… 37</p> <p>第 26 図 出土遺物実測図 4(桑鶴遺跡群Ⅲ区②)…………… 38</p> <p>第 27 図 五丁中原遺跡Ⅰ区Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ層 遺物出土状況…………… 39</p> <p>第 28 図 五丁中原遺跡Ⅰ区調査区土層断面図 1…………… 41～42</p> <p>第 29 図 五丁中原遺跡Ⅰ区調査区土層断面図 2…………… 43～44</p>	<p>第 30 図 出土遺物実測図 5(五丁中原遺跡Ⅰ区)…………… 45</p> <p>第 31 図 出土遺物実測図 6(五丁中原遺跡Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ区)…………… 46</p> <p>縄文</p> <p>第 32 図 桑鶴遺跡群06-Ⅰ区遺構配置図…………… 47</p> <p>第 33 図 桑鶴遺跡群06-Ⅰ区 1号・2号集石実測図…………… 48</p> <p>第 34 図 桑鶴遺跡群06-Ⅰ区 3号・4号集石実測図…………… 49</p> <p>第 35 図 桑鶴遺跡群06-Ⅰ区 5号・6号集石実測図 及び出土遺物実測図…………… 50</p> <p>第 36 図 桑鶴遺跡群06-Ⅰ区土器集中区 1実測図 及び出土遺物実測図…………… 51</p> <p>第 37 図 桑鶴遺跡群06-Ⅰ区土器集中区 2実測図 及び出土遺物実測図…………… 52</p> <p>第 38 図 桑鶴遺跡群06-Ⅰ区土器集中区 3実測図 及び出土遺物実測図…………… 53</p> <p>第 39 図 桑鶴遺跡群06-Ⅰ区 SK-02・05実測図…………… 54</p> <p>第 40 図 桑鶴遺跡群06-Ⅱ区遺構配置図・SI-03実測図 及び出土遺物実測図…………… 55</p> <p>第 41 図 桑鶴遺跡群Ⅱ区Ⅲ層・Ⅳ層上面遺構配置図 及び7号集石実測図…………… 56</p> <p>第 42 図 桑鶴遺跡群Ⅱ区 SX-05実測図 及び出土遺物実測図…………… 57</p> <p>第 43 図 桑鶴遺跡群Ⅵ区遺構配置図…………… 58</p> <p>第 44 図 桑鶴遺跡群Ⅵ区 8号・9号集石実測図…………… 59</p> <p>第 45 図 桑鶴遺跡群Ⅶ区遺構配置図・ ST-09・11実測図及び出土遺物実測図…………… 60</p> <p>第 46 図 五丁中原遺跡Ⅱ区Ⅲ層・Ⅳ層遺構配置図 及びST-28～30・32～34実測図…………… 61</p> <p>第 47 図 五丁中原遺跡Ⅱ区Ⅳa層・Ⅳb層遺構配置図…………… 62</p> <p>第 48 図 五丁中原遺跡Ⅱ区 ST-53・56～58・61実測図…………… 63</p> <p>第 49 図 五丁中原遺跡Ⅱ区 ST-54・59・60・62・63・65実測図…………… 64</p> <p>第 50 図 五丁中原遺跡Ⅱ区 SX-02実測図 及び出土遺物実測図…………… 65</p>
---	---

第 51 図	五丁中原遺跡Ⅱ区 SX-04実測図 及び出土遺物実測図……………	66	第 74 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-03実測図……………	89
第 52 図	五丁中原遺跡Ⅲ区Ⅳ層・V層遺構配置図・ 10号集石実測図及び出土遺物実測図……………	67	第 75 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-03出土遺物実測図・ SH-04実測図及び出土遺物実測図……………	90
古代			第 76 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-05実測図……………	91
第 53 図	桑鶴遺跡群06-1区遺構配置図……………	68	第 77 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-05土坑・竈実測図 及び出土遺物実測図……………	92
第 54 図	桑鶴遺跡群06-1区 SD-09実測図……………	69	第 78 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-05竈粘土流出状況 及び出土遺物実測図……………	93
第 55 図	桑鶴遺跡群06-1区 SI-01・02実測図 及び出土遺物実測図……………	70	第 79 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-05出土遺物実測図……………	94
第 56 図	桑鶴遺跡群06-1区 SK-01・06実測図……………	71	第 80 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-06実測図 及び出土遺物実測図……………	95
第 57 図	桑鶴遺跡群06-1区 SD-07実測図……………	72	第 81 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-07実測図……………	96
第 58 図	桑鶴遺跡群Ⅰ区遺構配置図……………	73	第 82 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-07Pit検出状況 及び出土遺物実測図……………	97
第 59 図	桑鶴遺跡群Ⅰ区 SH-01実測図及び竈実測図……………	74	第 83 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-07竈実測図 及び炭化物出土状況……………	98
第 60 図	桑鶴遺跡群Ⅰ区 SH-01完掘図 及び出土遺物実測図……………	75	第 84 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-08実測図 及び竈検出状況……………	99
第 61 図	桑鶴遺跡群Ⅰ区 Pit1・燃焼土坑実測図……………	76	第 85 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-08竈遺物出土状況 及び出土遺物実測図……………	100
第 62 図	桑鶴遺跡群Ⅱ区コングラ 及び遺構配置図(土層上面検出)……………	77	第 86 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-09実測図 及び竈検出状況……………	101
第 63 図	桑鶴遺跡群Ⅱ区 SX-02実測図……………	78	第 87 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-09竈実測図 及び出土遺物実測図……………	102
第 64 図	桑鶴遺跡群Ⅱ区 SX-03実測図……………	79	第 88 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-10実測図……………	103
第 65 図	桑鶴遺跡群Ⅱ区 SX-04実測図……………	80	第 89 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-10竈検出・完掘状況 及び出土遺物実測図……………	104
第 66 図	桑鶴遺跡群Ⅱ区 SX-04ベルト土層断面図 及び波状掘り込み実測図……………	81	第 90 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-10竈遺物出土状況 及び出土遺物実測図……………	105
第 67 図	桑鶴遺跡群Ⅱ区 SX-04遺物出土状況・ 骨片散布状況及び出土遺物実測図……………	82	第 91 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-10竈完掘状況……………	106
第 68 図	桑鶴遺跡群Ⅱ区 ST-01・02実測図……………	83	第 92 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-11硬化面・粘土範囲 検出・完掘状況及び出土遺物実測図……………	107
第 69 図	桑鶴遺跡群Ⅲ・Ⅵ区遺構配置図 及び遺物出土状況……………	84	第 93 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-11実測図 及び出土遺物実測図……………	108
第 70 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区燃焼土坑No.1・ST-01実測図 及び出土遺物実測図……………	85	第 94 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-11竈粘土範囲 及び出土遺物実測図……………	109
第 71 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 ST-04・07実測図 及び出土遺物実測図……………	86			
第 72 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区住居址群概念図……………	87			
第 73 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-01実測図 及び出土遺物実測図……………	88			

第 95 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-12使用時完掘・Pit検出状況及びび出土遺物実測図	110
第 96 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-12完掘状況	111
第 97 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-12竈実測図及びび出土遺物実測図	112
第 98 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-12硬化面検出・土器密集区遺物出土状況及びび出土遺物実測図	113
第 99 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-12土器密集区出土遺物実測図 1	114
第 100 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-12土器密集区出土遺物実測図 2	115
第 101 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-12出土遺物実測図	116
第 102 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-13実測図	117
第 103 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-13竈実測図及びび出土遺物実測図	118
第 104 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-14硬化面検出及びび竈実測図	119
第 105 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-14竈・土坑遺物出土状況及びび出土遺物実測図	120
第 106 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-15実測図	121
第 107 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-15竈実測図	122
第 108 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-15完掘・竈遺物出土状況及びび出土遺物実測図	123
第 109 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-16竈検出・使用時状況	124
第 110 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-16完掘・竈遺物出土状況及びび出土遺物実測図	125
第 111 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-16P-①・②実測図及びび出土遺物実測図	126
第 112 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-17使用時状況及びび出土遺物実測図	127
第 113 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-17完掘状況・Pit-①・②実測図及びび出土遺物実測図	128
第 114 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-17竈実測図及びび出土遺物実測図	129
第 115 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-18検出・粘土流出状況及びび出土遺物実測図	130

第 116 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-19完掘状況	131
第 117 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-20硬化面検出・完掘状況	132
第 118 図	桑鶴遺跡群Ⅵ区 ST-01～03実測図及びび出土遺物実測図	133
第 119 図	桑鶴遺跡群Ⅵ区土師器出土状況	134
第 120 図	桑鶴遺跡群Ⅳ区遺構配置図	135
第 121 図	桑鶴遺跡群Ⅳ区 SH-01実測図及びび出土遺物実測図	136
第 122 図	桑鶴遺跡群Ⅳ区 SH-01竈実測図及びび出土遺物実測図	137

古代～中世

第 123 図	桑鶴遺跡群06-1区遺構配置図及びびSD-10実測図	138
第 124 図	桑鶴遺跡群Ⅴ区Ⅲa層遺構配置図・鉄滓出土状況・ST-01実測図及びび出土遺物実測図	139
第 125 図	桑鶴遺跡群Ⅴ区Ⅲb層遺構配置図・ST-02実測図及びび出土遺物実測図	140

中世

第 126 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区遺構配置図	141
第 127 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SB-01実測図及びび出土遺物実測図	142
第 128 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SB-02・03実測図	143
第 129 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SB-04実測図	144
第 130 図	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SB-05・06実測図	145
第 131 図	桑鶴遺跡群Ⅴ区遺構配置図	146
第 132 図	桑鶴遺跡群Ⅴ区 SB-01実測図及びび出土遺物実測図	147
第 133 図	桑鶴遺跡群Ⅴ区 SD-01実測図	148
第 134 図	桑鶴遺跡群Ⅴ区 SD-01出土遺物実測図	149

近現代

第 135 図	桑鶴遺跡群06-1区遺構配置図	150
第 136 図	桑鶴遺跡群06-1区 SD-01実測図	151

第 137 图	桑碭道跡群06-I 区 SD-02・03・05 実測図 …… 152
第 138 图	桑碭道跡群06-I 区 SD-04・08 実測図 …… 153
第 139 图	桑碭道跡群06-I a区 SD-06 実測図 及び06-I c区 SD-06 実測図 …… 154
不明	
第 140 图	桑碭道跡群06-I 区遺構配置図 及びFSK-04・07~09 実測図 …… 155
第 141 图	桑碭道跡群06-I 区 SX-01・02・04 実測図 …… 156
第 142 图	桑碭道跡群06-II 区遺構配置図 …… 157
第 143 图	桑碭道跡群06-II 区 SK-10~13・SX-03 実測図 …… 158
第 144 图	桑碭道跡群06-II 区 SD-11・12 実測図 …… 159
第 145 图	桑碭道跡群IV区遺構配置図 及びFSP-01 (貝殻Pit) 実測図 …… 160
第 146 图	桑碭道跡群VII区IVa層遺構配置図 …… 161
第 147 图	桑碭道跡群VII区 SX-01 (P-01・02・03)・SX-04 実測図 …… 162
第 148 图	桑碭道跡群VII区 ST-01~05・07・P-01 実測図 及び出土遺物実測図 …… 163
第 149 图	桑碭道跡群VII区IVb層遺構配置図 及びFST-08・10・29・P-58 実測図 …… 164
第 150 图	桑碭道跡群VII区 SX-02・03 実測図 及び出土遺物実測図 …… 165
第 151 图	桑碭道跡群VII区 SX-05・ST-15・16 実測図 …… 166
第 152 图	桑碭道跡群VII区 SH-01・P-01 (柱穴) 実測図 …… 167
第 153 图	桑碭道跡群VII区V層遺構配置図 …… 168
第 154 图	桑碭道跡群VII区 SO-01 実測図 及び出土遺物実測図 …… 169
第 155 图	桑碭道跡群VII区 SO-02~04 実測図 …… 170
第 156 图	桑碭道跡群VII区 ST-20~22・25 実測図 …… 171
第 157 图	桑碭道跡群VII区 ST-12・18・19・23・24・26~28 実測図 …… 172
第 158 图	桑碭道跡群VII区遺構配置図 及びFST-30・31 実測図 …… 173

第 159 图	五丁中原道跡 I 区V層遺構配置図 及びST-27 実測図 …… 174
第 160 图	五丁中原道跡 I 区IVa層遺構配置図 及び遺物出土状況 …… 175
第 161 图	五丁中原道跡 I 区 ST-04・06~08・SX-01 実測図 …… 176
第 162 图	五丁中原道跡 I 区IVb層遺構配置図 …… 177
第 163 图	五丁中原道跡 I 区 ST-11~15・23~26 実測図 …… 178
第 164 图	五丁中原道跡 I 区 ST-16~22 実測図 …… 179
第 165 图	五丁中原道跡III区遺構配置図 …… 180
第 166 图	五丁中原道跡III区 SD-01 実測図 …… 181
第 167 图	五丁中原道跡III区 ST-38~45 実測図 …… 182
第 168 图	五丁中原道跡III区 ST-46~51 実測図 …… 183
第 169 图	五丁中原道跡III区 ST-66 実測図 …… 184

遺物

第 170 图	桑碭道跡群・五丁中原道跡 出土遺物実測図 7 …… 185
第 171 图	桑碭道跡群・五丁中原道跡 出土遺物実測図 8 …… 186
第 172 图	桑碭道跡群・五丁中原道跡 出土遺物実測図 9 …… 187
第 173 图	桑碭道跡群・五丁中原道跡 出土遺物実測図 10 …… 188
第 174 图	桑碭道跡群・五丁中原道跡 出土遺物実測図 11 …… 189
第 175 图	桑碭道跡群・五丁中原道跡 出土遺物実測図 12 …… 190
第 176 图	桑碭道跡群・五丁中原道跡 出土遺物実測図 13 …… 191
第 177 图	桑碭道跡群・五丁中原道跡 出土遺物実測図 14 …… 192
第 178 图	桑碭道跡群・五丁中原道跡 出土遺物実測図 15 …… 193

第 179 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 16	194	第 191 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 28	206
第 180 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 17	195	第 192 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 29	207
第 181 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 18	196	第 193 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 30	208
第 182 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 19	197	第 194 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 31	209
第 183 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 20	198	第 195 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 32	210
第 184 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 21	199	第 196 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 33	211
第 185 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 22	200	第 197 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 34	212
第 186 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 23	201	第 198 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 35	213
第 187 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 24	202	第 199 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 36	214
第 188 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 25	203	第 200 図 遺跡を取り巻く石材環境	266
第 189 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 26	204	第 201 図 熊本市周辺の地質図と 旧石器時代の遺跡位置図	267
第 190 図 桑鷓遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 27	205		

目 次

第 1 表	遺跡地名表	2	第 6 表	出土遺物観察表 (土器)	242
第 2 表	調査時期	6	第 7 表	出土遺物観察表 (金属製品)	261
第 3 表	桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土旧石器器種・出土層位点数	24	第 8 表	旧石器時代の地域的偏りと 本遺跡との比較表	265
第 4 表	遺構データ表	229	第 9 表	周辺の旧石器遺跡データ一覧表	268
第 5 表	出土遺物観察表 (石器)	236			

写真図版目次

Ph. 1	阿蘇4火砕流堆積物中の黒曜石確認状況 五丁中原遺跡Ⅱ区西側工事現場土層断面状況 桑鶴遺跡群Ⅶ区 SH-01使用時完掘状況 (N→)	273	Ph. 8	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-17竈検出状況 (W→) 桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-12土馬出土状況 (124) (S→) 桑鶴遺跡群Ⅲ区住居密集地検出状況 (SE→)	280
Ph. 2	桑鶴遺跡群Ⅶ区土層断面図A-A' (S→) 桑鶴遺跡群Ⅶ区南西壁土層断面 五丁中原遺跡Ⅰ区南壁土層断面B (S→N) 五丁中原遺跡Ⅰ区Ⅵ層石器出土状況 (28)	274	Ph. 9	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SB-05完掘状況 (E→) 桑鶴遺跡群Ⅳ区 SH-01竈使用時状況 (E→)	281
Ph. 3	五丁中原遺跡Ⅰ区東壁土層断面 1 (W→E) 五丁中原遺跡Ⅰ区東壁土層断面 2 (W→E) 五丁中原遺跡Ⅰ区東壁土層断面 3 (W→E)	275	Ph. 10	桑鶴遺跡群Ⅴ区 SD-01完掘状況 (N→) 桑鶴遺跡群Ⅳ区貝殻出土状況 (S→) 桑鶴遺跡群Ⅵ区土師器出土状況 (168・169) (WS→) 五丁中原遺跡Ⅰ区石器出土状況 (490) (E→)	282
Ph. 4	桑鶴遺跡群06-Ⅰ区 1号集石検出状況 (W→) 桑鶴遺跡群06-Ⅰ区 3号集石検出状況 (W→)	276	Ph. 11	桑鶴遺跡群Ⅶ区 SX-05炭化物出土状況 (N→) 五丁中原遺跡Ⅰ区 SX-01完掘状況 (W→)	283
Ph. 5	桑鶴遺跡群06-Ⅰ区 SI-01検出状況 (S→) (64・65) 桑鶴遺跡群06-Ⅱ区 SI-03土坑検出状況 (E→) (50)	277	Ph. 12	出土石器 1 (表)・(裏)	284
Ph. 6	桑鶴遺跡群Ⅱ区 SX-04検出状況1 (N→S) 桑鶴遺跡群Ⅱ区 SX-02 (右) SX-04 (左) 検出状況 2 (N→S)	278	Ph. 13	出土石器 2 (表)・(裏)	285
Ph. 7	桑鶴遺跡群Ⅰ区石器出土状況 (3) 桑鶴遺跡群Ⅱ区石器出土状況 (9) (E→) 桑鶴遺跡群Ⅱ区 SX-05土器出土状況 (E→)	279	Ph. 14	出土石器 3 (表)・(裏)	286
			Ph. 15	出土石器 4 (表)・(裏)	287
			Ph. 16	出土石器 5 (表)・(裏)	288
			Ph. 17	出土石器 6 (表)・(裏)	289
			Ph. 18	出土石器 7 (表)・(裏)	290

Ph. 19 291	Ph. 25 297
	縄文早期土器 1 楕円文		桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-05出土へら描き「原」
	縄文早期土器 2 条痕文・格子目文・塞ノ神式		桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-12出土へら描き「原」「〇」
Ph. 20 292		桑鶴遺跡群「原」墨書へら記号
	桑鶴遺跡群06-Ⅰ区 SI-01出土土器	Ph. 26 298
	桑鶴遺跡群06-Ⅰ区 SI-01底部塚相		輸入磁器類
	桑鶴遺跡群V区出土埴埴と輪の羽口		桑鶴遺跡群V区Ⅲb層出土土器
	桑鶴遺跡群06-Ⅱ区出土土製勾玉		桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-05出土土袖石
	桑鶴遺跡群Ⅶ区ガラス滓(左) 桑鶴遺跡群Ⅵ区鉄滓(右)	Ph. 27 299
	五丁中原遺跡Ⅰ区出土免田式土器片		石器 1 (石鏃)
Ph. 21 293		石器 2 (石鏃・尖頭器)
	桑鶴遺跡群Ⅰ区 SH-01出土土器	Ph. 28 300
	桑鶴遺跡群Ⅱ区 SX-05阿高式土器		石器 3 (石匙)
	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-03出土墨書土器		石器 4 (打製石斧・磨製石斧・凹石)
	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-12出土土馬	Ph. 29 301
	桑鶴遺跡群Ⅵ区 ST-03出土土器		石器 5 (砥石)
Ph. 22 294		石器 6 (石剣・石包丁・用途不明石器)
	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-05出土土器	Ph. 30 302
	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-12出土土器		金属製品 1
Ph. 23 295		金属製品 2
	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-12出土土器		
	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-07出土土器		
	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-10出土土器		
	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-11出土土器		
	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-14出土土器		
Ph. 24 296		
	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-16出土土器		
	桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-17出土土器		
	桑鶴遺跡群Ⅲ区出土把手部位		
	桑鶴遺跡群Ⅶ区 SH-01 P-1出土土器		
	桑鶴遺跡群Ⅳ区 SH-01出土土器		
	把手貼り合わせ状態		

第1章 調査の経過

第1節 調査に至る経緯と経過

今回報告する調査地は砂原四方寄線地域連携推進改築事業に伴う調査で、この事業は西廻り自動車道と変化し熊本市を環状化する。調査区は未買収地を多く抱え取得地からの調査となり、このため調査区が年度の連続性がないのはこのためである。また調査区（桑鶴2次）に欠番（Ⅶ区）があるのは、調査直前で中止になったためである。

この地は熊本食品工業団地（通称フードパル）建設に伴う文化財調査を平成5年度～7年度に熊本市が実施している。この成果は「五丁中原遺跡」として報告されている。これらの遺跡は縄文から中世の複合遺跡であるが、遺跡の中核は弥生期の環壕集落であろう。

桑鶴2次・五丁中原は試掘結果を受け調査区が確定し、平成21年6月1日より調査を開始するが、用地買収が平行して行われており調査可能な地区より調査を開始した次第である。本遺跡に於いて調査区に連続性がないのはこのためによる。また平成24年4月1日に熊本市が政令市となり、権限移譲もこれに伴い調査主体も熊本市に移行することになり、平成24年熊本市との協議・引き継ぎをおこない、これを持って本調査を終了した。

平成25年度より、整理・報告書作成を開始したが、この経費は熊本市の受託事業となった。

第2節 調査の組織

桑鶴遺跡群1次

発掘調査（H18年度 2006）（平成をHで略号化した）

調査主体	熊本県教育委員会
調査責任者	梶野英二（文化課長）
調査総括	倉岡博（課長補佐） 西住欣一郎（文化財調査主幹兼第2係長）
調査事務局	吉田 恵（課長補佐） 高宮優美（主幹兼総務係長） 小谷仁志（主任主事）
調査担当	山中智恵（文化財保護主事）

中尾健照（非常勤職員）

土野雄貴（非常勤職員）

桑鶴遺跡群2次・五丁中原遺跡

発掘調査（H21～23年度 2009～2011）

調査主体	熊本県教育委員会
調査責任者	米岡正治（文化課長 H21年度） 小田信也（文化課長 H22～23年度） 宗村士郎（教育審議員兼課長補佐 H21～23年度）
調査総括	木崎康弘（課長補佐 H22年度） 西住欣一郎（主幹兼文化財調査第2係長 H23年度）
調査事務局	元島 茂（課長補佐 H22年度） 川上勝美（課長補佐 H23年度） 山田京子（参事 H22年度） 松島英樹（主任主事 H22年度）
調査担当	試掘担当 廣田静学（参事） 山下義満（参事 H21～23年度） 藤本竜一（文化財保護主事 H21年度） 布田智久（文化財保護主事 H21年度） 桑島幸平（非常勤職員 H21～23年度） 宮川香織（非常勤職員 H21～23年度） 牛島晋二（非常勤職員 H21～22年度） 師富成香（非常勤職員 H21年度） 川俣幸次（非常勤職員 H21年度）

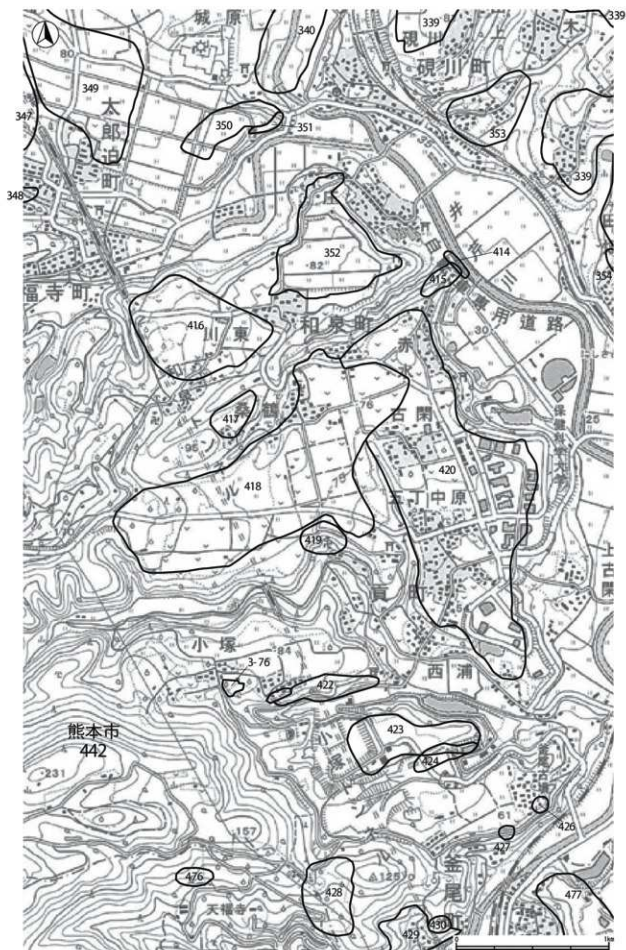
整理・報告書作成（H25～26年度）

整理主体	熊本県教育委員会
整理責任者	小田信也（文化課長 H25年度） 手島伸介（文化課長 H26年度）
整理総括	西住欣一郎（課長補佐 H25～26年度） 岡本真也（主幹兼文化財調査第2係長 H24～25年度）
整理事務局	馬場一也（課長補佐 H25年度） 松永隆則（課長補佐 H26年度） 廣石啓哉（主幹兼総務・文化係長 H25～26年度）

	有馬綾子(参事 H 25～26年度)	調査指導・助言及び協力者
	天草英子(主任主事 H 25～26年度)	熊本市教育委員会・野田拓治(熊本県文化財資料室長)・岡本真也・坂田和弘・村崎孝宏・木村元治・廣田静学・中川 治(熊本県文化課) 池田朋生(熊本県立装飾古墳館) 金田一精・岩谷史記(熊本市教育委員会)・福岡市埋蔵文化財センター
整理担当	山下義満(参事 H 25～26年度)	
	春川香子(非常勤職員 H 25～26年度)	
	出家麻里(非常勤職員 H 25年度)	
	今田里枝(非常勤職員 H 26年度)	

遺跡番号	遺 跡 名	所 在 地(熊本市)	時 代	種 別
339	硯川遺跡群	北区硯川町・下硯川町	縄文～平安	包蔵地
340	北迫川底遺跡群	北区北迫町	弥生～中世	包蔵地
347	万葉寺出口遺跡	北区太郎迫町		包蔵地
348	原山遺跡	北区太郎迫町		包蔵地
349	太郎迫遺跡	北区太郎迫町	縄文	包蔵地
350	妙見遺跡群	北区立福寺町	縄文・中世	包蔵地
351	今熊横穴群	北区立福寺町	古墳	古墳
352	川東遺跡群	北区和泉町	縄文・弥生	包蔵地
353	袖ノ木遺跡	北区硯川町	縄文・古墳	包蔵地
354	一丁畑横穴群	北区下硯川町	古墳	古墳
414	崩平横穴群	北区和泉町	古墳	古墳
415	赤水城跡	北区和泉町	中世	城跡
416	皮籠石遺跡	北区和泉町	縄文～中世	包蔵地
417	中尾遺跡	北区和泉町	縄文	包蔵地
418	桑鶴遺跡群	北区和泉町	縄文～中世	包蔵地
419	瑞巖寺跡	北区貞町	中世	寺社
420	五丁中原遺跡群	北区和泉町・貞町	旧石器～弥生	包蔵地
3-76	小塚遺跡	北区貞町		包蔵地
422	原口原横穴群	北区貞町	古墳	古墳
423	瓢田遺跡	北区貞町		包蔵地
424	瓢田横穴群	北区貞町	古墳	古墳
426	釜尾古墳	北区釜尾町	古墳	古墳
427	橋口古墳	北区釜尾町	古墳	古墳
428	釜尾堂出遺跡群(釜尾遺跡)	北区釜尾町	古墳	包蔵地
429	北島北遺跡	北区釜尾町		包蔵地
430	常福寺古墳	北区釜尾町	古墳	古墳
476	天福寺裏山古墳群	西区花園7丁目	古墳	古墳
477	熊本工大遺跡	北区池田4丁目	弥生	包蔵地

第1表 遺跡地名表



第1図 遺跡範囲図(熊本市遺跡地図に加筆) S=1/25000

第II章 遺跡の環境

桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡は、熊本市西部に位置する遺跡で金峰山の裾状台地の先端に位置する。遺跡は弥生時代から中世時代にかけての遺跡であることが判明している。またこれまでの調査結果等から旧石器の存在が指摘されていた。

熊本食品工業団地の建設工事に伴い、平成6・7年に調査が行われている。この結果は「五丁中原遺跡」(1997熊本市教育委員会)として報告されている。調査成果は弥生後期の環濠集落が主たる成果であった。この調査において旧石器の存在が指摘されておりこれが本調査の指針の一つになった。縄文期は本遺跡の北西方面に所在する太郎迫遺跡・北東方面の四方寄遺跡に代表される縄文後晩期の有数な密度・規模を持つ良好な遺跡が所在する。弥生期では熊本市調査の五丁中原遺跡が後期の環濠集落として顕著で、幅4m・深さ2.5mのV字状環濠に囲まれた中には83軒の竪穴住居検出されていることから、この時期に多く存在するムラの存在を窺わせる。

古墳時代になると6世紀に築かれたとされる国指定の装飾古墳 釜尾古墳が近在する。他には大塚古墳・迫畑古墳などにも存在し、また井芹川沿いの台地先端の崖面には多くの横穴墓が分布している。今熊横穴墓・削平横穴墓・一丁畑横穴墓・豆尾横穴墓などである。古代以降は須恵器窯跡の田畑窯跡の存在があるがその詳細は現在ではまだ不明部分が多い。中世は古代に寄進地系荘園が存在し鹿子木氏がこの一帯を中世期まで統治する。妙見城・赤水城などはこの鹿子木氏に関連した山城と考えられている。

この桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡の周囲は旧石器から中世まで遺跡に恵まれている。その一つの理由として台地にも湧水が存在し、河川の存在が挙げられ人々の生活の根源という「水」に恵まれた地域と考える。地名として「和泉町」が近在する。

第III章 調査の概要

第1節 調査区の位置（第2図 参照）

調査区は台地に存在し桑鶴遺跡群 06（1次）と桑鶴遺跡群（2次）には0.8kmの距離があり、遺跡は砂原四方木線予定地である南西-北東に位置する形状である。熊本市西部に位置する金峰山より延びる扇状台地に所在し、行政区分は熊本市北区貞町・和泉町にまたがる海拔70m級台地に遺跡は所在する。

この台地は急激に落ち込みの様相を呈し、下位には平野部が展開するが近在の台地に挟まれる迫地に近い。この平野部に井芹川が緩やかに蛇行しながら河川を形成し、この迫間状平野に沿うように鹿児島本線と県道31号線（通称 鈴麦線）が南北に縦断している。

第II章で述べたように桑鶴遺跡群（2次）の中心地より直線にして0.6kmに「五丁中原遺跡」（1997 熊本市教育委員会）が所在していることからこの台地一帯は埋蔵文化財包蔵地と考えられる。

第2節 調査の概要

今回は、時期としては主に旧石器と古代が中心となった。旧石器は「五丁中原遺跡」（1997 熊本市教育委員会）の調査において旧石器が確認されており、この成果をもとに調査を開始した。その結果、桑鶴遺跡群調査区II区に於いて下位黒褐色土よりナイフ型石器の出土を確認した。これを契機にⅦ区でも旧石器の出土があり、これらは熊本市西部方面にての初出土として考えた。また整理時にはAT（始良Tn火山灰）下位からの遺物確認もでき、今後この一帯の旧石器調査の参考になるろう。

縄文期は継層である通称「アカホヤ」（鬼界カルデラ）下位からは早期土器・集石の遺物・遺構が認められたが生活の本拠地である住居の存在は確認出来なかった。上位からは中期の阿高式土器が出土したが単体に近く、この時期の様相は不明である。後晩期の土器などの遺物は出土するがこれに伴う遺構が存在しなかったし、その包含層の堆積も僅かであったことも遠因である。

本遺跡のもう一つの成果は古代の住居地群の検出である。これまでこの周辺の古代期は積極的な調査事例に乏しかったが今回の調査で、出土遺物から9世紀頃と推定され、またヘラ描き土器からの文字資料にも恵まれ、この遺跡の性格を思考する材料になったのである。中世期の掘立柱建物・時期不明であるが堀・古道など各遺構の特質が見られよう。

砂原四方奇線改良工事に伴う埋蔵文化財調査の報告や周辺は、今後、開発工事に伴いさらに調査が進む可能性も高い。開発事業とともに文化財不明瞭地域も多いことから、周辺の埋蔵文化財の分布を再考・検討し、今後活かせる遺跡ともいえる。

第3節 基本土層（第11～16図 参照）

桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡は前述したように同質の遺跡として考えており、その詳細は基本土層の中にも見受けられる。各調査区に示準層の黄褐色のアカホヤ火山層が存在している。これは鹿児島鬼界を中央火口丘とする鬼界カルデラを形成した際の大爆発により運ばれてきたと考えられている。この層の前後に差異がある。

このアカホヤ層上位には黒褐色土を持ち、これは縄文後晩期の包含層に該当するが、弥生～古墳の包含層にも該当する（桑鶴遺跡群Ⅶ区）。また桑鶴遺跡群 06-Ⅰ・Ⅱ区のようにアカホヤ層上位が近現代の耕作層でありこのことは永年に亘る開墾が行われていたことになる。

アカホヤ層下位は縄文早期の黒褐色土に恵まれた桑鶴遺跡群Ⅶ区に存在した。しかし大半がアカホヤ層下位は黄土である通称ニガ土層が存在する。ATと呼称される始良Tn火山灰と呼ばれる鹿児島湾の始良カルデラを起

源とする火山灰であろう。これらのアカホヤ・ニガという呼称は地域土層名で農耕にて使用されてきた。アカホヤは赤味を帯びボコボコした軽い土という意。イモゴともいう。ニガとは苦土と表記され、耕作しても華大の塊が細かく分離せず農家を困らせたという。

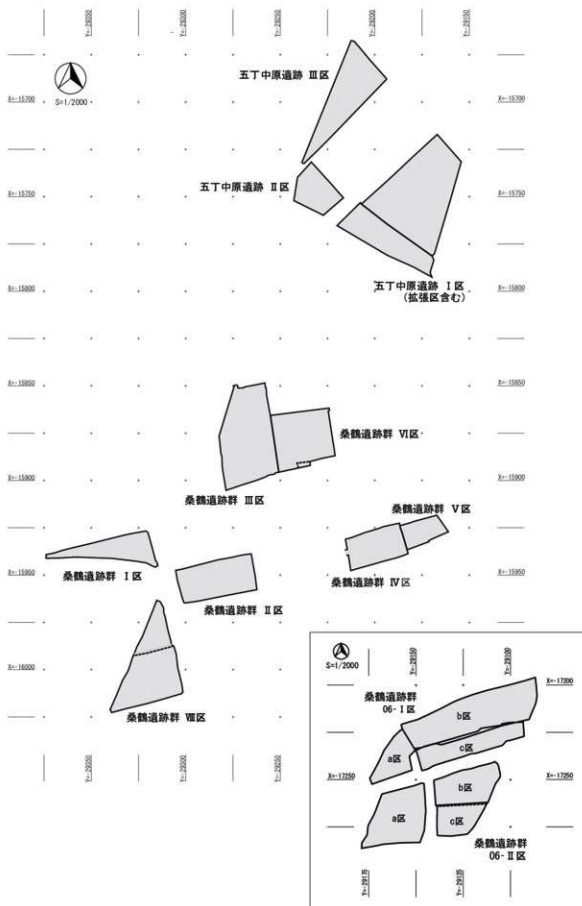
従って基本的には以下になる。

- I 層 耕作土
- II 層 黒褐色土 (10YR2/2)
- III 層 暗褐色土 (7.5YR3/3)
- IV 層 暗褐色土 (10YR3/3) 縄文早期
- V 層 黒褐色土 (10YR2/3) [ニガ] 旧石器

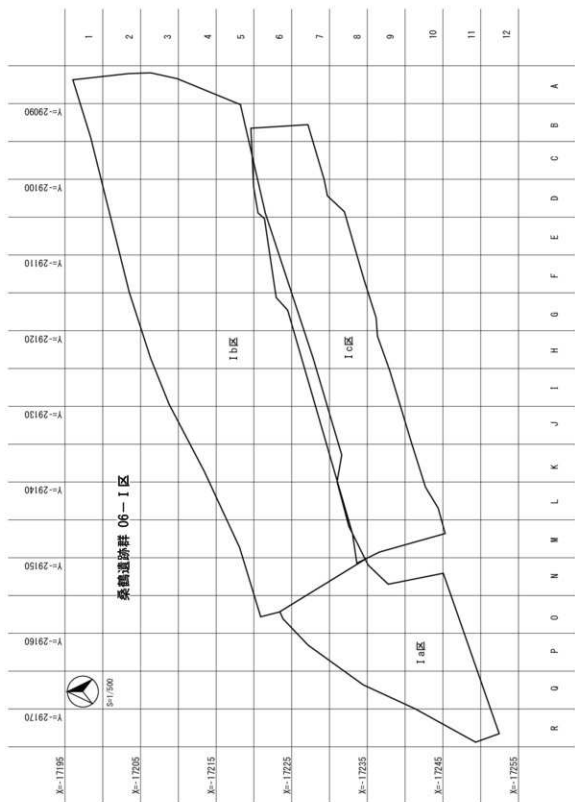
また第V章の自然科学分析での土壌分析箇所は第11図(土層柱状図)に提示した。

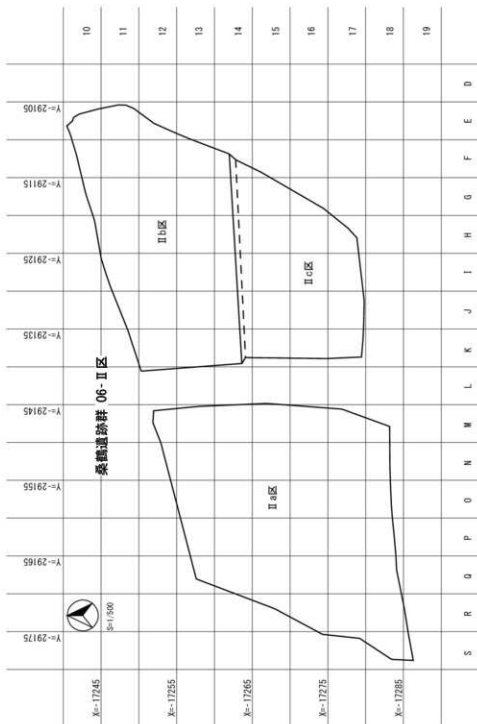
調査区		年度					
		平成 18 (2006)	平成 19 (2007)	平成 20 (2008)	平成 21 (2009)	平成 22 (2010)	平成 23 (2011)
1 次	桑鶴遺跡群 06-I 区	■					
	桑鶴遺跡群 06-II 区	■					
2 次	桑鶴遺跡群 I 区				■	■	
	桑鶴遺跡群 II 区				■	■	
	桑鶴遺跡群 III 区				■	■	■
	桑鶴遺跡群 IV 区				■	■	
	桑鶴遺跡群 V 区					■	■
	桑鶴遺跡群 VI 区					■	■
	桑鶴遺跡群 VII 区					■	■
	五丁中原遺跡 I 区				■	■	
	五丁中原遺跡 II 区					■	■
	五丁中原遺跡 III 区					■	■

第2表 調査時期

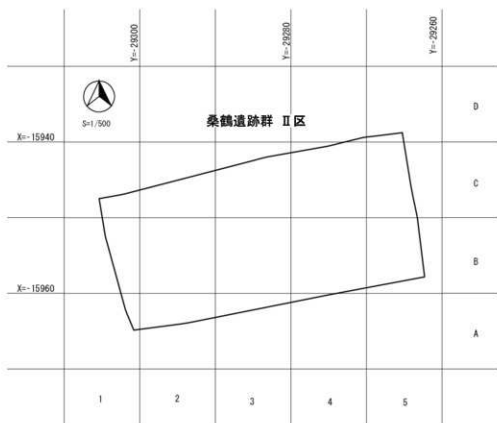
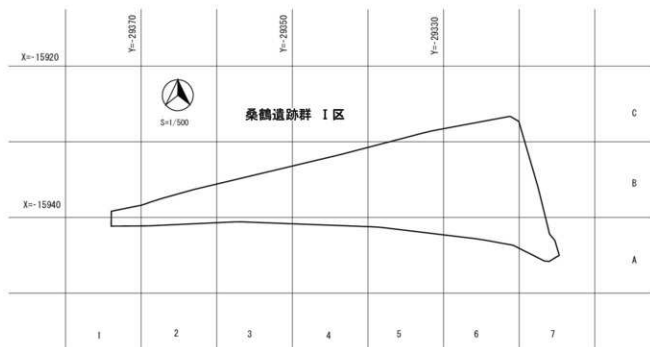


第2図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 調査区位置図

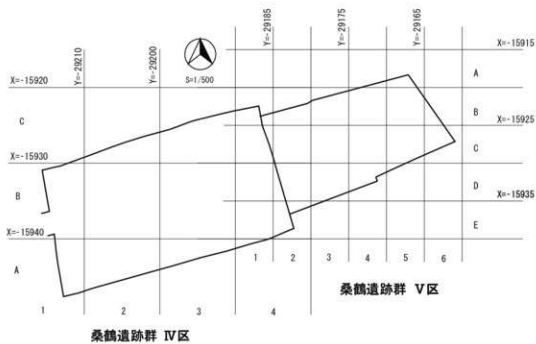
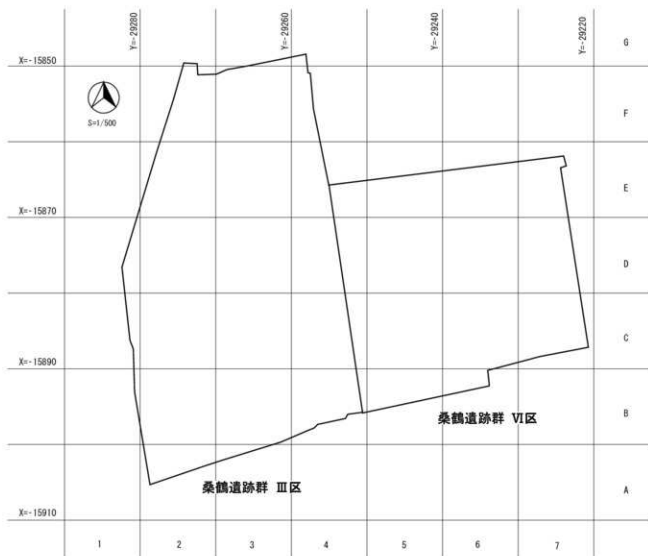




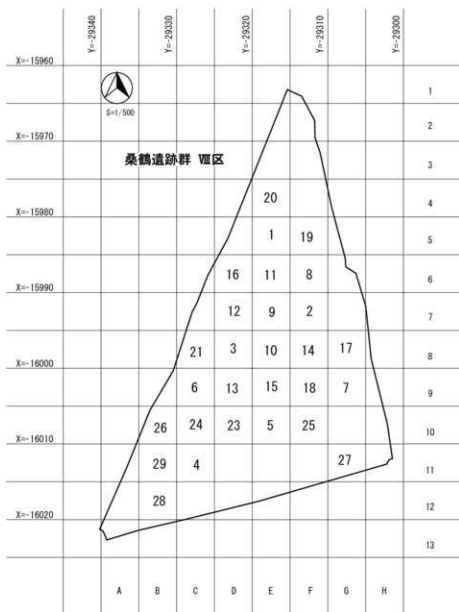
第4図 グリッド図2



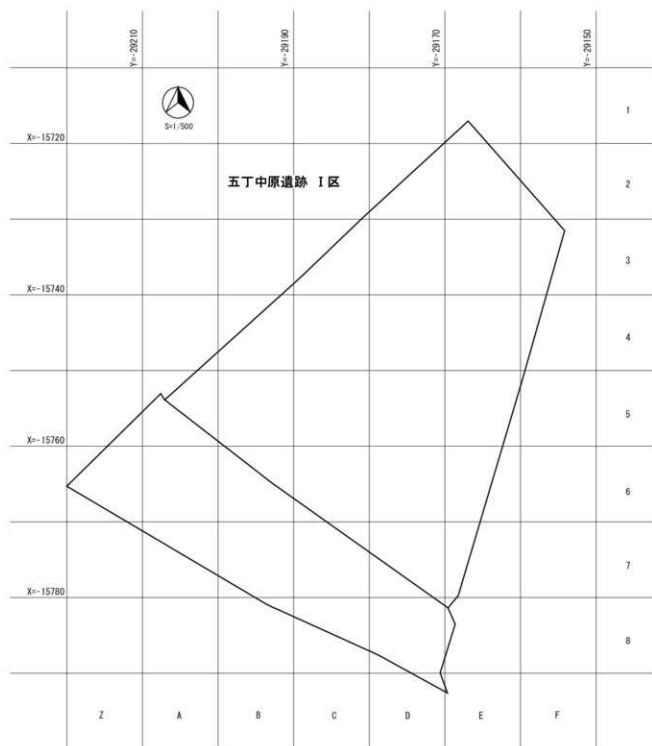
第 5 図 グリッド図 3



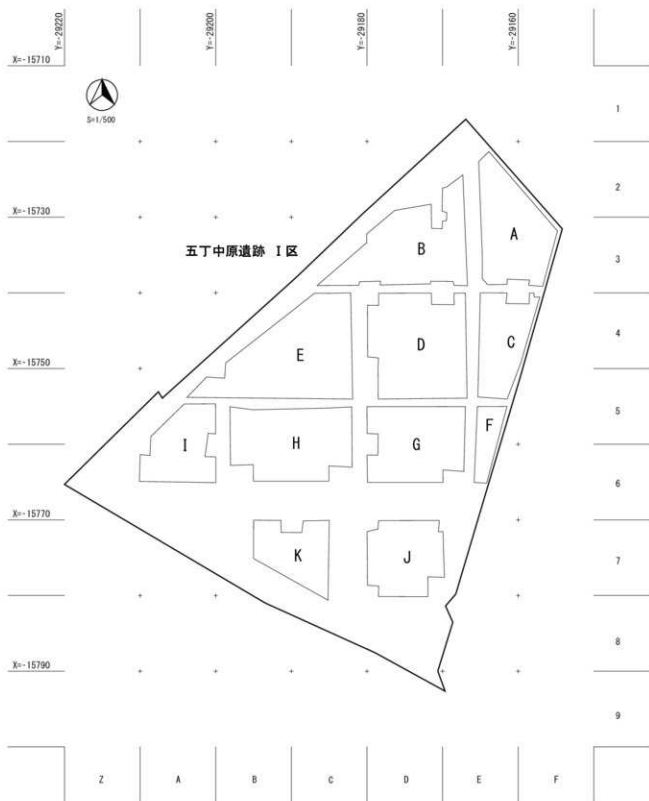
第 6 図 グリッド図 4



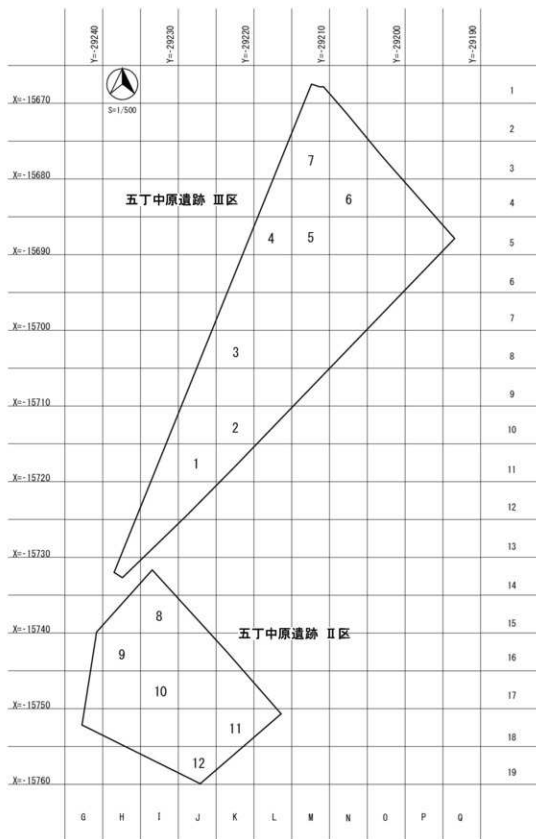
第 7 図 グリッド図 5



第 8 図 グリッド図 6



第9図 グリッド図7



第 10 図 グリッド図 8

クワ06・1区・Ⅱ区

0階 黄土・4階の礎土
1a・1b階 黒褐色土表代層作層 7.5192/2
1c階 黒褐色土表代の各土層 7.5192/4
1d階 黒褐色土表代の各土層 10192/2
2a階・2b階 黒褐色土表現代層作層 7.5192/2と10192/2との混合
3a・3b階 黒褐色土表代層作層 7.5192/2
4階 黒褐色土表層 7.5192/2
5階 褐色土アカホヤ土 10194/3
6階・6b階・6c階 黒色土ニガ土層 10192/1
7階 褐色土ローム層 7.5194/4

クワ1区

I階 1'階 耕作土・黄土
II階 黒褐色土表代層作層 10192/3
III階 褐色土アカホヤ 10193/4
IV階 褐色土ニガ 10193/4
V階 褐色土ローム 10194/6

クワⅡ区

I階 黄土 (耕作土～黄土)
1'～1''階 黄土 10192/3 ▲ 2
II・II'階 黒褐色土 (黒ボク) 10192/3 ▲ 1
III階 (上・下) 褐色土 (アカホヤ) 10193/4 ▲ 3
IV階 黒褐色土ニガ 10192/3 ▲ 4
V階 褐色土白ニガ 10193/4 ▲ 5
VI階 黒褐色土ニガ 10192/3
VII階 褐色土ローム層 10194/6

※Ⅱ区Ⅱ'階はV区Ⅱa階(アカホヤ層位層)にあたる可能性
は高い(上・下)はV区Ⅱa階(アカホヤ層)に相当する

クワⅢ区

I・1'階 黄土
II・II'階 黒ボク 中層～古代
III階 (a・b) アカホヤ
IV階 黒色土 縄文後期
V階 白ニガ
VI階 黒ニガ
VII階 ローム層

クワⅣ区

I階 黄土・黄土
1'～1''階 黄土
II階 黒褐色土表代層 7.5193/2
III階 (上・下) 褐色土 アカホヤ 7.5193/3
IV階 褐色土ニガ 7.5193/4
V階 褐色土白ニガ 7.5194/3

クワV区

I階 黄土・黄土
II階 黒褐色土アカホヤ 10192/3
III階 褐色土アカホヤ層位層 10193/4
IIIa階 褐色土アカホヤ層位層 10194/4
IV階 にぶい黄褐色土 縄文後期 10194/3

クワⅥ区

I階 耕作土
II階 黄土
III階 黒褐色土 古層～砂丘 10192/2
IVa階 黒褐色土・アカホヤ層位層 縄文後期 10192/3
IVb階 褐色土・アカホヤ 縄文後期 10193/4 ▲ 1
V階 黒褐色土・ニガ含む 縄文後期 10193/3
VI階 褐色土・白ニガ ▲ 2 白土層時代 10193/4
VII階 黒褐色土 ▲ 3 縄文後期 10192/3 ▲ 4 10192/3 ▲ 5
VIII階 褐色土・ニガ含む 縄文後期 10193/3 ▲ 6

ゴナ1・Ⅱ・Ⅲ区

I階 耕作土
II階 砂乱 (黄土)
III階 黒褐色土 (黒ボク) 10192/2
IVa階 褐色土 (アカホヤ層位層) 10193/4
IVb階 褐色土 (アカホヤ) 10193/3 ▲ 1
V階 黒褐色土 (黒色土) ▲ 2 10193/3 ▲ 3
VI階 褐色土 (白ニガ) ▲ 4 10193/3
VII階 黒褐色土 (黒色土) ▲ 5 10192/3 ▲ 6
VIII階 黒褐色土 (ローム層) 10194/6

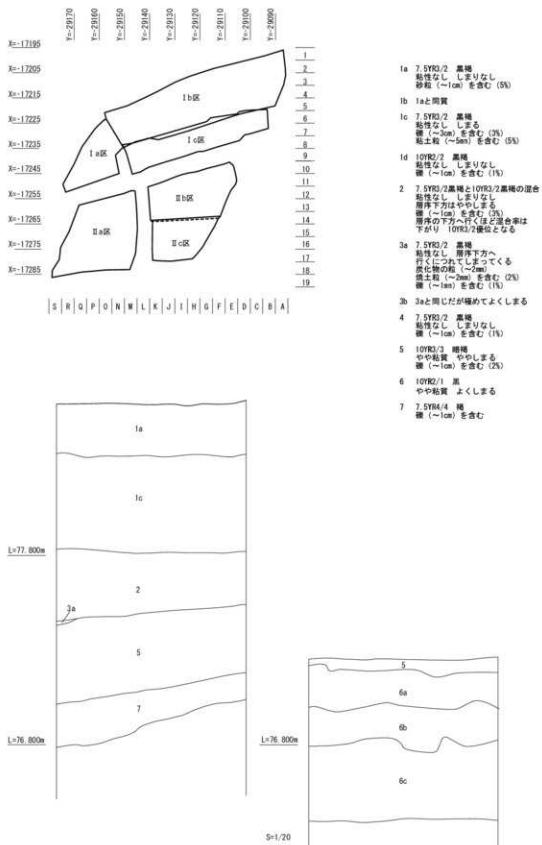
クワⅦ区

耕作土・黄土 縄文時代
砂乱 1
砂乱 2
砂乱 3
IV階 褐色土 10193/4
V階 褐色土 縄文後期 10193/3

クワ = 成層識別群
ゴナ = 五丁中原遺跡
▲ = 科学分析調査地点

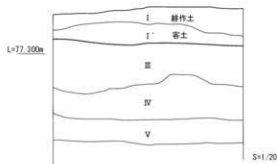
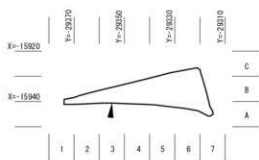
第 11 図 土層柱状図

桑鶴06-I区・II区



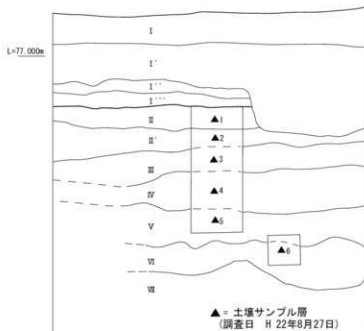
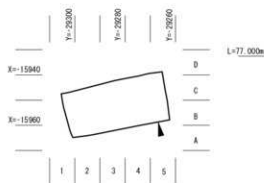
第 12 図 基本土層図 1

桑鶴遺跡群 I 区



I	耕作土		
I'	客土		
III	黒ボク	10YR2/3	黒褐
IV	アカネヤ	10YR3/4	暗褐
V	ニガ	10YR3/4	暗褐
V	ローム	10YR4/6	褐

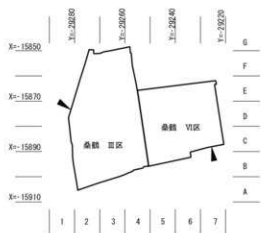
桑鶴遺跡群 II 区



▲ = 土壌サンプル層
(調査日 H 22年8月27日)

I	表土 (耕作土~床土)	III (上)	10YR3/4 暗褐 アカネヤ
I' ~ I'' ~ I'''	客土	III (下)	10YR3/4 暗褐 アカネヤ
II	10YR2/3 黒褐 黒ボク相当層	IV	10YR2/3 黒褐 黒ニ方相当層
II'	10YR2/3 黒褐	V	10YR3/4 暗褐 白ニ方相当層
		VI	10YR2/3 黒褐 黒ニ方相当層
		VII	10YR4/6 褐 ローム層

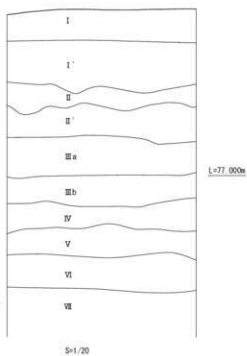
第 13 図 基本土層図 2



桑鶴田区

- | | | | |
|------|-------------|-----|-------|
| I | 客土 | IV | 黒縄文早期 |
| I' | 客土 | V | 白二方 |
| II | 黒ボク (中世~古代) | VI | 黒二方 |
| II' | 黒ボク (中世~古代) | VII | ローム |
| IIIa | アカホヤ | | |
| IIIb | アカホヤ | | |

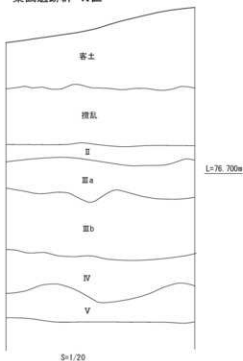
桑鶴遺跡群 III区



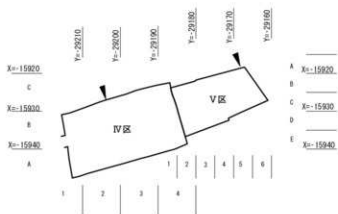
桑鶴遺跡群 VI区

桑鶴VI区

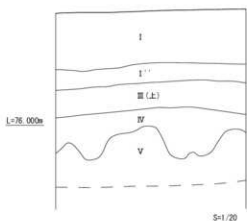
- | | |
|------|--|
| 客土 | 近現代 |
| II | 10YR3/3 暗褐
黒ボクに客土の石
褐色の粒が多くまざった土 |
| II' | 10YR2/2 黒褐
しまりあり 粘質なし
膠土ほどではないが
褐色の粒・小石を含む
古墳~弥生時代 |
| IIIa | 10YR3/3 暗褐
しまりあり 粘質なし アカホヤ敷位層
褐色の粒を少し含むやわらかい土
縄文時代~後晩期 |
| IIIb | 10YR4/4 褐
しまりあり 粘性なし アカホヤ層
黄褐色 にぶい黄褐色の粒を少し含む
縄文時代~後晩期 |
| IV | 10YR3/4 暗褐
しまりあり 粘質あり
二方を少し含むしまった土
他に黄褐色の粒も含む
縄文時代早期 |
| V | 10YR にぶい黄褐
しまりあり 粘質あり 白二方層
二方を含むしまった土
旧石器時代 |



第 14 図 基本土層図 3

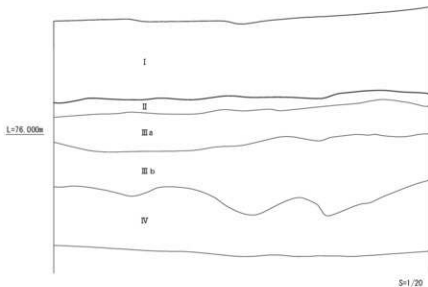


桑鶴遺跡群 IV区



- I 表土（耕作土～床土）
- I' ~ 寄土
- I'' ~ 寄土
- II 7.5YR2/2 黒埴
黒平ク相当層
1m以下の借土前 5m前後の褐色土を若干含む
ゆしまりがありきめが細かく粘りもある
- III(上) 7.5YR2/3 暗埴
アカハヤ相当層
1m以下の借土粒子 灰粒子を若干含む
硬くゆしまりの細かく粘性がある
粘二次凝結帯
土礫片多数混じる
- III(下) 7.5YR2/3 暗埴
アカハヤ相当層
土色はIII(上)に似るがさらに黒くしめる
遺物（土器片）が混じるのでIII(上)層とIV層との
層移層かと思われる
- IV 7.5YR2/4 暗埴
黒二ガシ相当層
混入物は少なく下へ行くほど二ガシが進む
縄文早期の土器片（赤土器・黒土器）や
石器（石皿・スレイバー）等を含む
- V 7.5YR4/3 暗
二ガシ相当層
褐色土ベースに褐色土ブロックが点在
硬くゆしまりバリエタ（崩石）の混ざる層も確認できる
AI相当層を含むと思われる

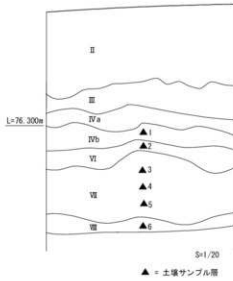
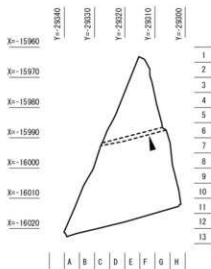
桑鶴遺跡群 V区



- I 表土・寄土
 - II 10YR2/3 黒埴
黒平ク
 - IIIa 10YR2/4 暗埴
アカハヤ高位
 - IIIb 10YR4/4 暗
アカハヤ
独立 その他遺構検出
 - IV 10YR4/3 に近い黄埴
白色二ガシブロックを含む
縄文早期
- 縄文早期層（IV層）は
下位が二ガシが多く入る

第 15 図 基本土層図 4

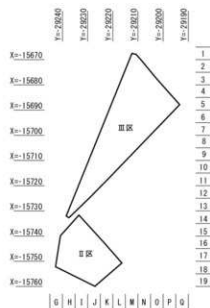
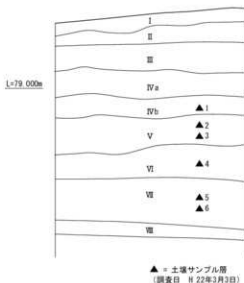
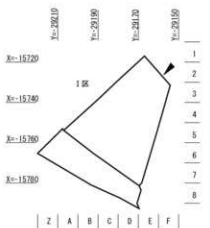
桑鶴遺跡群 Ⅲ区



土層は五丁中原遺跡の基本層で分層

- I 耕作土なし 現代
- II 寄土 現代
カクランで固くしまった土
- III 10YR2/2 黒褐
しまりあり 粘質なし
さらさらした土で褐色土
5層の土が少し遊ざる
西側の土が少し遊ざる
- IVa 10YR2/3 黒褐
しまりあり 粘質な土層の土が遊じる
アカホヤ層位
西側は前平されている
- IVb 10YR2/4 暗褐
しまりあり 粘質なし
アカホヤ層
しまった土だが西側の土が遊じる
褐色の明るい土が遊ざる
縄文時代後前期
- V 10YR3/3 黒褐
しまりあり 粘質あり
白二方層 ニガも含むしまった土
二方土を少し含む
縄文時代早期
- VI 10YR3/4 暗褐
しまりあり 粘質あり
白二方層 二方を含むしまった土
埋土全体の色が黒くぼんやりと見える
旧石器時代
- VII 10YR2/3 黒褐
旧石器時代
しまりあり 粘質あり
黒二方層
二方を含むしまった土
褐色の色も遊ざる
- VIII 10YR 暗
旧石器時代
しまりあり 粘質あり
粘りが強いしまった土
二方も含む
ブロック状の粘土も含む

五丁中原遺跡Ⅰ～Ⅲ区



- I 耕作土
- II 寄土
- III 10YR2/2 黒褐 (黒ボク)
粘子は細かくさらさらした土 粘質は低い
本来なら中層から底層にかけての包舎層
前平され遊物等は少ない
5層の影響で固くしまっている
- IVa 10YR3/4 暗褐 (アカホヤ層位)
粘子は細かくさらさらした土 粘質は低い
縄文時代後期の層
- IVb 10YR3/3 暗褐 (アカホヤ)
粘子は細かく粘質は強い
縄文前期と見られる
- V 10YR2/3 黒褐
粘子は細かく粘質は低い
縄文前期の層
- VI 10YR3/3 暗褐 (ニガシロ)
粘子は細かく粘質は強い
ブロック状の強い土があり白っぽく見える
これ以降の層は旧石器
- VII 10YR2/3 黒褐 (黒二方)
粘子は細かく粘質は強い
ブロック状の強い土がある
樹根によるカクランと積土度が多くある
- VIII 10YR5 黄褐 (ローム)
粘質がとて強い粘土層

第 16 図 基本土層図 5

第IV章 調査の成果

第1節 旧石器

(1) 旧石器時代の遺物

①はじめに

桑鶴遺跡群と五丁中原遺跡から出土した旧石器について、各遺跡の調査区ごとに報告していきたい。報告者が旧石器と判断した石器は以下の条件を満たすものとした。

- ・調査者が、旧石器出土該当層（地層形成の年代が旧石器時代に当たる層）から出土した遺物（一括及び点あげ）として取り上げた遺物。但し、明らかに旧石器ではないと判断した石器や剥離面が新しいと判断した石器等については除外した。
- ・旧石器出土該当層より以降の新しい時代の層（出土層不明、表土、攪乱層、縄文時代・古代・中世の遺構や遺物包含層など）から出土した石器の中に含まれている明らかな旧石器や旧石器と考えられる石器（例えばナイフ形石器などの定形石器、剥離面の風化が激しい石器、縦長剥片剥離の傾向がある石器など）。

②出土層位（第4表参照）

旧石器出土該当層は、調査区により若干異なるが、旧石器が多く出土した桑鶴Ⅶ区や五丁中原Ⅰ区ではⅥ層、Ⅶ層、Ⅷ層上層が該当する。各層は場所により層の厚さが異なり、インポリーションも見られる。噴出年代がBP28,000～27,000年とされる始良Tn火山灰は、テフラ分析は未実施であるが周辺地域の調査事例からⅥ層と考えられる。Ⅵ層、Ⅶ層には通称ニガと呼ばれる始良Tn火山灰を含む硬化層が存在する。

しかし、本遺跡で実施した放射性炭素年代（C14年代）測定結果では、層の年代を裏付ける良好な結果は得られていない。各層から採取したカーボンが自然現象や動植物等の影響で上下層に混入した可能性が高い。よって旧石器出土該当層から出土した石器であっても本来の原位置を保っているとは断定できない。

なお、桑鶴Ⅱ区（第19図）、Ⅷ区（第23、24図）、五丁中原Ⅰ区（第28、29図）の土層断面図には周辺から出土した遺物の投影したレベル位置を表示している。

③各遺跡、各調査区の出土遺物

調査区により、遺物点上げ、あるいは出土層一括で取り上げを実施している。特に桑鶴Ⅱ区、Ⅷ区、五丁中原Ⅰ区では遺物点上げによる遺物が多い。点上げ遺物を中心に接合を試みたが接合遺物はなかった。ここでは調査区ごとに図化した石器を中心に報告したい。

なお、石材は報告者の肉眼観察によるものであることを断っておきたい。

◆桑鶴Ⅰ区（第20図、第7表参照）

4点の石器が出土している。ナイフ形石器2点、細石刃1点、角錐状石器1点であるが、旧石器出土該当層から出土している石器は1の二側辺加工ナイフのみである。

◆桑鶴Ⅱ区（第21図、第7表参照）

確実な旧石器2点と旧石器該当層から出土した石器4点の6点を図化した。9は二側辺加工ナイフ、10は縦長剥片でいずれも出土層位不明である。10の石材は、緑川周辺で産出される輝緑凝灰岩で旧石器の石材に良く利用される。11、13、14は阿蘇4系黒曜石（Aso-4 ob）の石核で、12は剥片である。Ⅴ～Ⅶ層（白ニガ～ローム層）の点上げ遺物ということで図化した。この他にも当該層から12点の点上げ石器がある。

◆桑鶴Ⅲ区、Ⅳ区、Ⅵ区（第20図、第7表参照）

Ⅲ区では廃土中から細石刃（6）が1点、Ⅳ区ではⅣ層の黒ニガ（縄文早期相当層）から細石刃（7）が1点、Ⅵ区では同じⅣ層から台形様石器（4）が1点出土している。

◆桑鶴Ⅷ区（第25、26図、第7表参照）

13点の石器を図化した。15は二側辺加工ナイフ形石器、16は切出形ナイフ形石器、17は角錐状石器、21、22は台形様石器、20、25は二次加工剥片、27はサイドスクレイパー、18は細石刃、その他は剥片と砕片である。15～18、21以外は旧石器出土該当層（Ⅵ～Ⅷ層）から出土しており、A T下層のⅦ～Ⅷ層から出土している石器が多い。

◆五丁中原Ⅰ区（第30、31図、第7表参照）

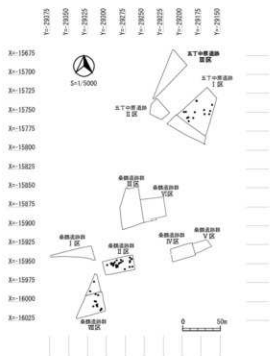
15点の石器を図化した。29、34は二側辺加工ナイフ形石器、33は国府系の横剥ぎ素材のナイフ形石器、32は角錐状石器、36、37、39、40は細石刃、その他は剥片である。31～33、36、37、40以外は旧石器出土該当層（Ⅵ～Ⅷ層）から出土しており、Ⅵ、Ⅶ層から出土している石器が多い。Ⅴ層（縄文早期相当層）出土の細石刃（36、37、40）が3点、Ⅵ層出土の細石刃（39）が1点あった。

◆五丁中原Ⅱ区、Ⅲ区（第31図、第7表参照）

Ⅱ区ではⅥ～Ⅶ層一括取り上げ遺物の中から剥片（43）が1点、Ⅲ区ではⅥ層取り上げ遺物の中から二次加工剥片（42）が1点出土している。

【註】

1) 石の本遺跡群Ⅱの発掘調査報告書（池田朋生1999）で実施されたテフラ分析によると黒色帯上層で縄文時代早期の通称クロナガの下層にある含白斑ローム黒褐色粘質土層中に「始良 Tn 火山灰」が含まれると報告されている。



第17図 調査区位置図

旧石器相当層からの出土点数

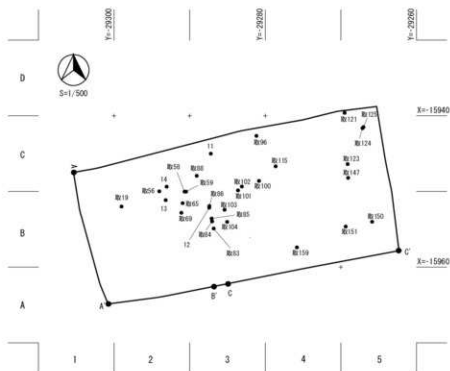
- 桑鶴遺跡群Ⅰ区：1点
- 桑鶴遺跡群Ⅱ区：28点
- 桑鶴遺跡群Ⅲ区：0点
- 桑鶴遺跡群Ⅳ区：0点
- 桑鶴遺跡群Ⅴ区：0点
- 桑鶴遺跡群Ⅵ区：0点
- 桑鶴遺跡群Ⅶ区：12点

- 五丁中原遺跡Ⅰ区：15点
- 五丁中原遺跡Ⅱ区：1点
- 五丁中原遺跡Ⅲ区：1点

器種 出土層位	台形様 石器	切り出し 形ナイフ	二側辺 ナイフ	横割ぎ ナイフ	ナイフ 形石器	角錐状 石器	スクレ イバー	細石刃	石核	二次加 工剥片	剥片	砕片	合計
○ IV層～V層 【旧石器出土 相当層】	1	0	3	0	0	0	1	2	9	4	24	14	58
× 攪乱層 I層～V層 層位不明など	2	1	1	1	2	3	0	9	0	0	3	0	22
合計	3	1	4	1	2	3	1	11	9	4	27	14	80

器種 石材	台形様 石器	切り出し 形ナイフ	二側辺 ナイフ	横割ぎ ナイフ	ナイフ 形石器	角錐状 石器	スクレ イバー	細石刃	石核	二次加 工剥片	剥片	砕片	合計
腰岳産 黒曜石	1		1			1		6	1	2	3	3	18
阿蘇4系 黒曜石								3	8		9	4	24
在地産 安山岩					1					1	7	3	12
良質安山 岩（西北九 州産 ¹⁾ ）	1		1	1	1	1				1	3	1	10
象ヶ森産 ガラス質 溶結凝灰岩											1		1
チャート	1	1										1	3
流紋岩			1										1
輝緑凝灰岩			1			1	1	1			2		6
不明								1			2	2	5
合計	3	1	4	1	2	3	1	11	9	4	27	14	80

第3表 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡出土 旧石器器種・出土層位点数（写真のみ遺物とドットのみ遺物も含む）



第18図 桑鶴遺跡群 II区 旧石器(出土相当層)出土平面図

第2節 縄文

早期の遺構と遺物

縄文時代早期は集石が10基検出された。小規模でありまた密集ではなく散乱という感じを受ける。これは集石が蒸焼き調理法ならば上位である石を除いた状態であろうか。押型文を伴う遺構であるため早期遺構とした。押型文は条痕文(№192～194)・山形文(№196)・楕円文(№198)が認められ、この包含層より塞ノ神式土器(№199)の出土も見られる。

しかし、本来の生活居住地である住居は確認できなかった。またこの包含層の堆積は浅く良好な調査区は桑鶴遺跡群(2次)Ⅲ・Ⅴ・Ⅵ区 五丁中原遺跡調査区であった。

中期の遺構と遺物

中期は阿高式土器(№54・55・201)が桑鶴遺跡群(2次)Ⅱ区調査区壁際にて出土した。断面に僅かだが掘り込みが観察され本来は土坑に廃棄された遺物にならうか。本遺跡での縄文中期遺物はこれのみである。

後晩期の遺物

後晩期はアカホヤ上位層またはアカホヤ漸移層内にて出土したが良好な出土ではない。近郊にこの時期の大規模遺跡である「太郎迫遺跡」・「妙見遺跡」などが存在するため関連した当時の一集落地であろうが住居等の遺構の検出がなかったためその詳細は不明である。装飾品であろうと推測される(№256)はこの時期に想定したが第175図の時期不明の図版に掲載した。

第3節 弥生

この時期は明確な遺構の検出ができず、遺物としても数点であるが、№257は免田式土器の破片である。重弧文が確認され彩色が施されているため祭祀に用いられていたと思われるが、破片でありまたローリングも激しく出土地点は使用地点とは異なるのであろう。祭祀の性格を持つため、本遺跡では近在に集落の存在を示唆する遺物である。他に同じく彩色の袋状口縁破片(№258)がある。他に黒髪式(№259・260・261)・城ノ越式(№263)など数点出土したことにより中期後半から後期にかけて密度は高くないが弥生期が存在し、1点だけであるが石包丁(№485)により稲作を生業としたことが窺え、その生産地は台地下位の井芹川周囲であろう。現在も田園地帯として稲穂を実らせている。

第4節 古代

本遺跡のもう一つの成果はこの時期の良好な住居地の検出である。桑鶴遺跡群(2次)Ⅲ・Ⅵ区にて切り合いも多く存在したが、竈付住居の検出は集落の存在を意味し、また住居地に伴う遺物にはヘラ描きの土器も存在し、このことから地名の存在を想定できる資料となった。また桑鶴2次Ⅱ区にて検出された道路状遺構については時期特定ができなかったが、「道」・「集落」という関連を想定することもできる。この台地に8世紀頃の集落の存在が確認され、それは交通を伴う集落と考えられる。

第5節 中世

中世は掘立柱建物が検出され、それは複雑な切り合いではなく単独の存在である。これは中世期に集落として短期的な要素が強く、また掘立柱建物も小規模である。12～13世紀の輸入磁器も出土しており伝世の性格を持つがこの時期が本遺跡の中世期のピークであろう。

また堀の検出があり時期特定に至らなかったが、この遺構は中世期に館の存在を示唆した。

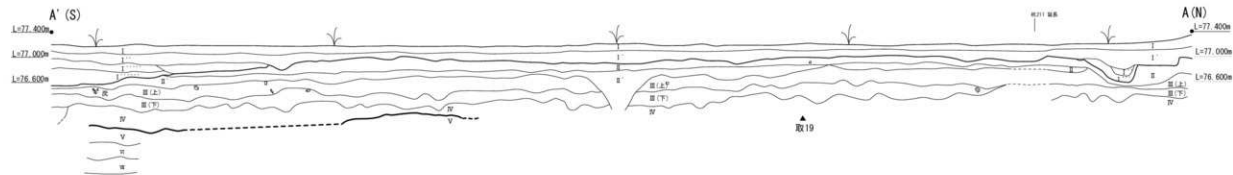
第6節 不明

本遺跡は後世の関与を受けた調査区も多く、検出層・埋土層の観察・出土遺物の確認も行ったが遺構時期について明確ではなく、従って時期不明とした。主に土坑状の掘り込みが多く、またその性格も不明であった。近現代のイモ穴等とは明らかに性格が異なるため、中世以降の可能性もあるが特定が出来なかった。



調査休息場所設営

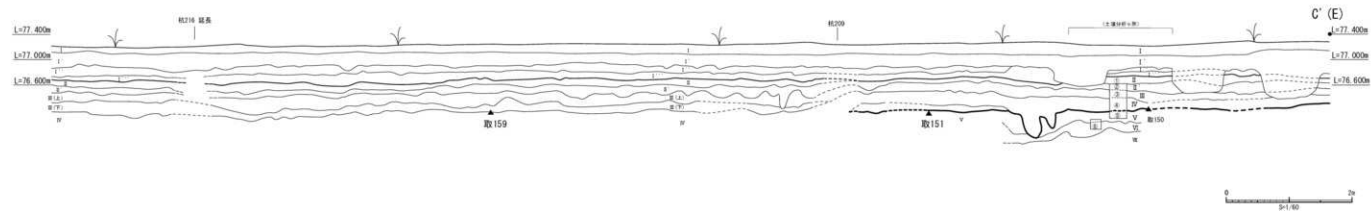
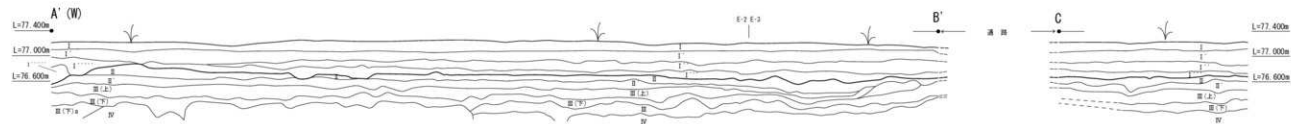
南北壁（西側）A-A'



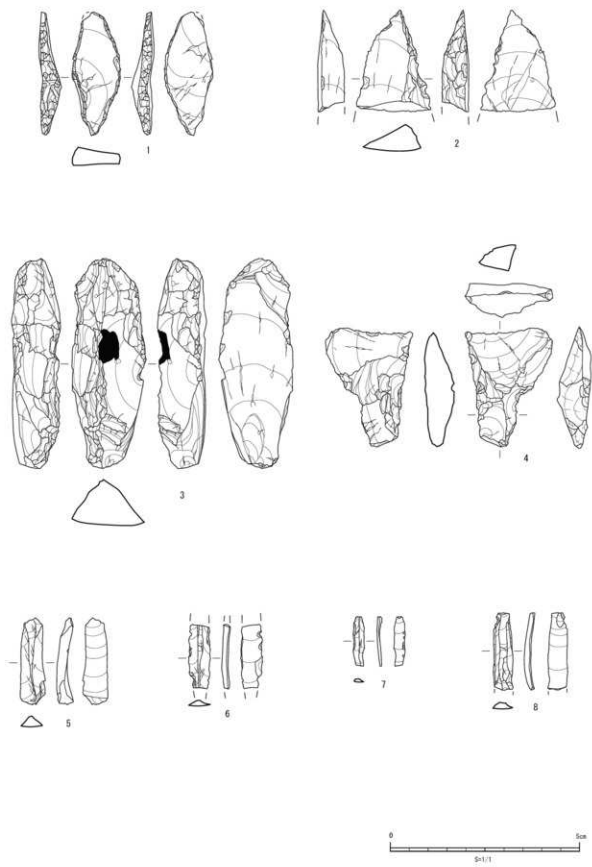
- I 表土（耕作土一床土）
- I-1 表土
- II 10002/3 腐植土・腐植分層
- III 10002/3 腐植土・腐植分層
- IV (上) 10002/4 腐植
- IV (下) 10002/4 腐植 取(下)は取(下)で腐土粒含む、やや締まった土 } 腐植はアホヤ
- V 10002/4 腐植・腐植分層
- VI 10002/3 腐植土・腐植分層
- VII 10002/3 腐植土・腐植分層
- VIII 10004/6 腐植土・腐植分層

※太線より下層は、旧石器出土該当層
 ※▲は、出土遺物のレベルを近くの土層断面図に投影したもの

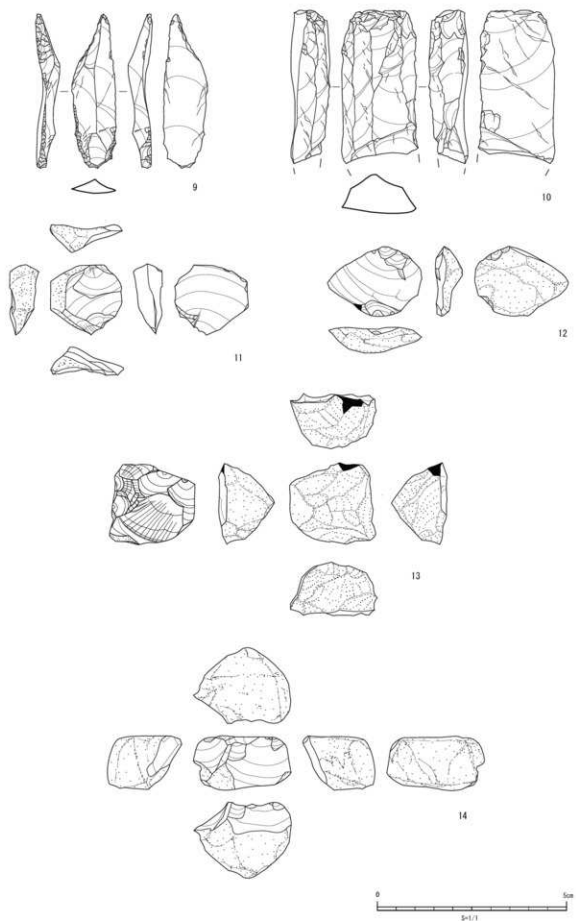
東西壁（南側）A'-B' C-C'



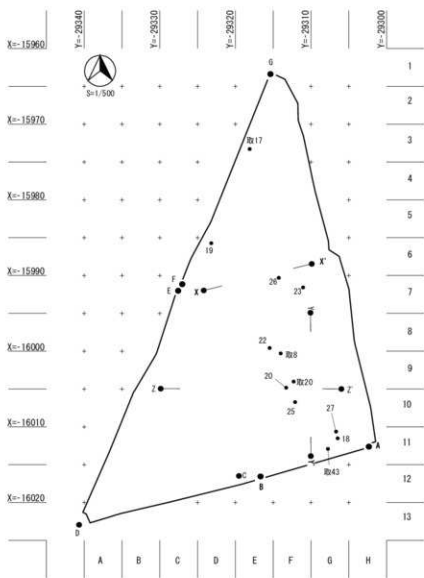
第 19 図 桑鶴遺跡群 II 区 調査区土層断面図



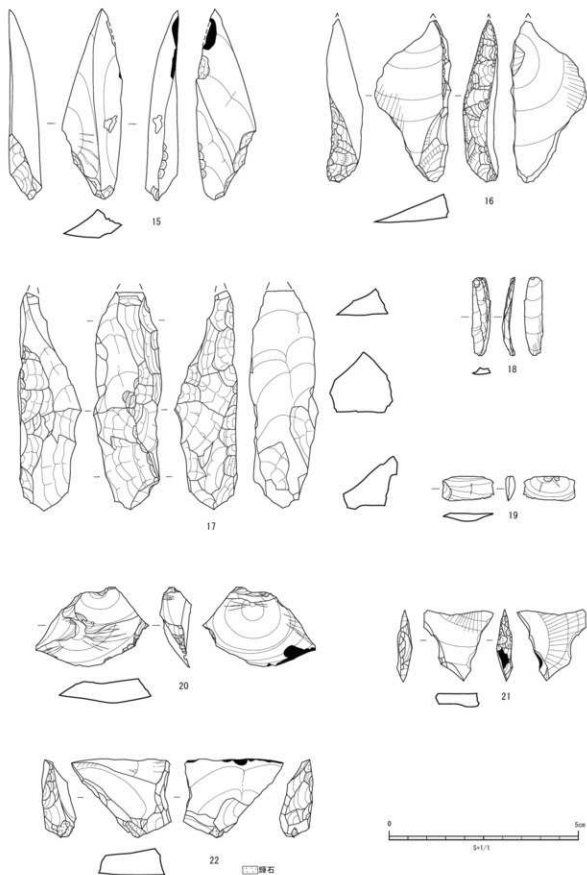
第 20 図 出土遺物実測図 1 (桑鶴遺跡群 I・III・IV・VI区・出土地不明)



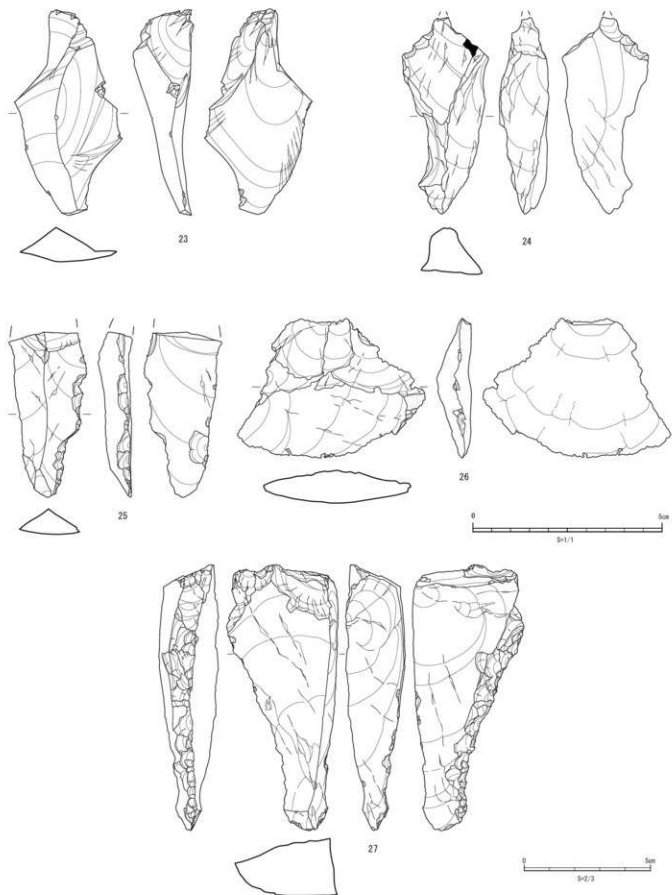
第 21 図 出土遺物実測図 2(桑鶴遺跡群Ⅱ区)



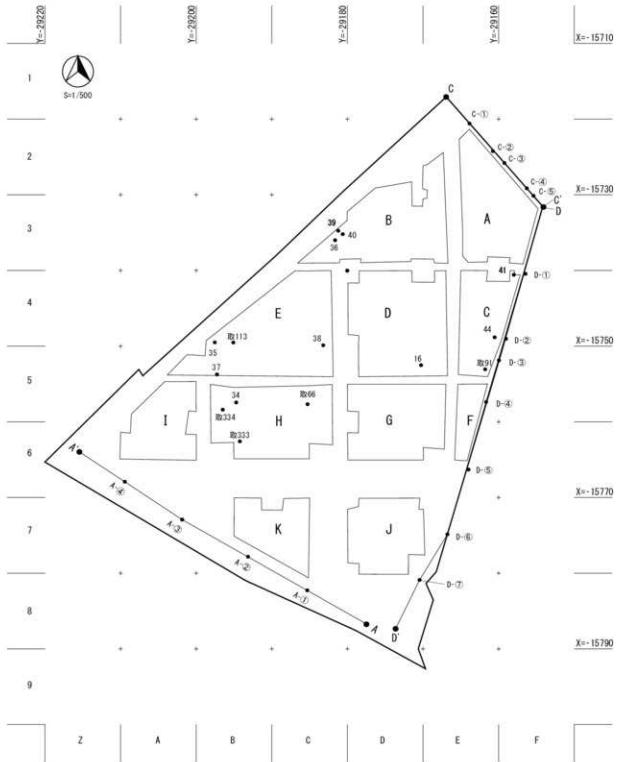
第 22 図 桑鶴遺跡群 VII区 旧石器(出土相当層)出土平面図



第 25 図 出土遺物実測図 3(桑鶴遺跡群Ⅷ区①)

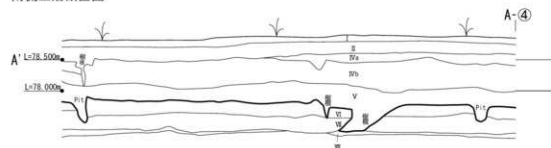


第 26 図 出土遺物実測図 4(桑鶴遺跡群Ⅶ区②)



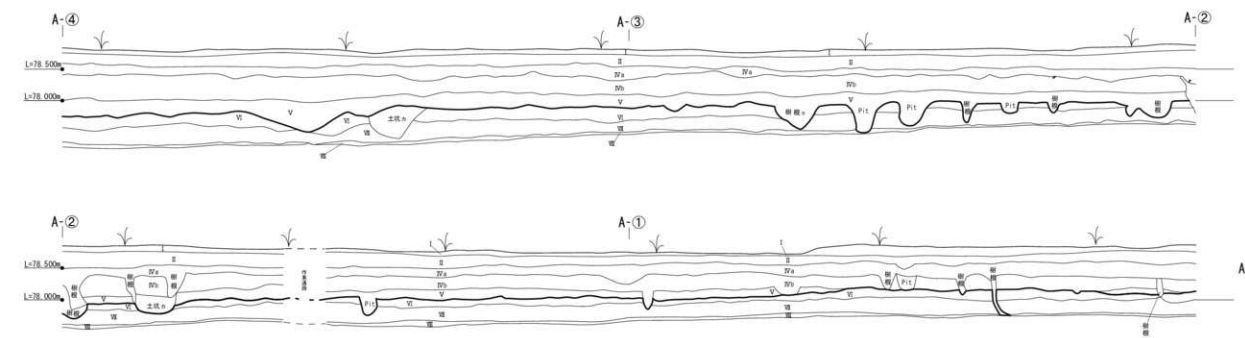
第 27 図 五丁中原遺跡 I 区 VI・VII・VIII層遺物出土状況

南側土層断面図

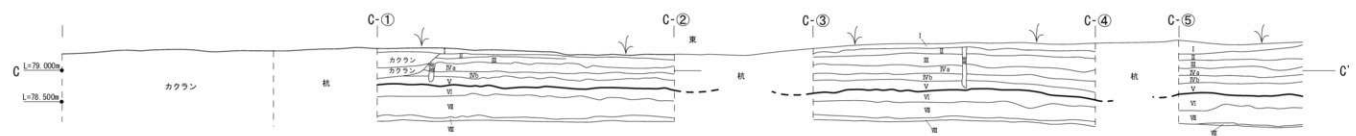


- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1層 (耕作土) | 2層 (底土) | 3層 10792② 土層(黄砂少) | 4層 10792③ 土層(黄砂多) | 5層 10792④ 土層(黄砂多) | 6層 10792⑤ 土層(黄砂多) | 7層 10792⑥ 土層(黄砂多) | 8層 10792⑦ 土層(黄砂多) | 9層 10792⑧ 土層(黄砂多) | 10層 10792⑨ 土層(黄砂多) | 11層 10792⑩ 土層(黄砂多) | 12層 10792⑪ 土層(黄砂多) | 13層 10792⑫ 土層(黄砂多) | 14層 10792⑬ 土層(黄砂多) | 15層 10792⑭ 土層(黄砂多) | 16層 10792⑮ 土層(黄砂多) | 17層 10792⑯ 土層(黄砂多) | 18層 10792⑰ 土層(黄砂多) | 19層 10792⑱ 土層(黄砂多) | 20層 10792⑲ 土層(黄砂多) | 21層 10792⑳ 土層(黄砂多) | 22層 10792㉑ 土層(黄砂多) | 23層 10792㉒ 土層(黄砂多) | 24層 10792㉓ 土層(黄砂多) | 25層 10792㉔ 土層(黄砂多) | 26層 10792㉕ 土層(黄砂多) | 27層 10792㉖ 土層(黄砂多) | 28層 10792㉗ 土層(黄砂多) | 29層 10792㉘ 土層(黄砂多) | 30層 10792㉙ 土層(黄砂多) | 31層 10792㉚ 土層(黄砂多) | 32層 10792㉛ 土層(黄砂多) | 33層 10792㉜ 土層(黄砂多) | 34層 10792㉝ 土層(黄砂多) | 35層 10792㉞ 土層(黄砂多) | 36層 10792㉟ 土層(黄砂多) | 37層 10792㊱ 土層(黄砂多) | 38層 10792㊲ 土層(黄砂多) | 39層 10792㊳ 土層(黄砂多) | 40層 10792㊴ 土層(黄砂多) | 41層 10792㊵ 土層(黄砂多) | 42層 10792㊶ 土層(黄砂多) | 43層 10792㊷ 土層(黄砂多) | 44層 10792㊸ 土層(黄砂多) | 45層 10792㊹ 土層(黄砂多) | 46層 10792㊺ 土層(黄砂多) | 47層 10792㊻ 土層(黄砂多) | 48層 10792㊼ 土層(黄砂多) | 49層 10792㊽ 土層(黄砂多) | 50層 10792㊾ 土層(黄砂多) | 51層 10792㊿ 土層(黄砂多) |
|----------|---------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|

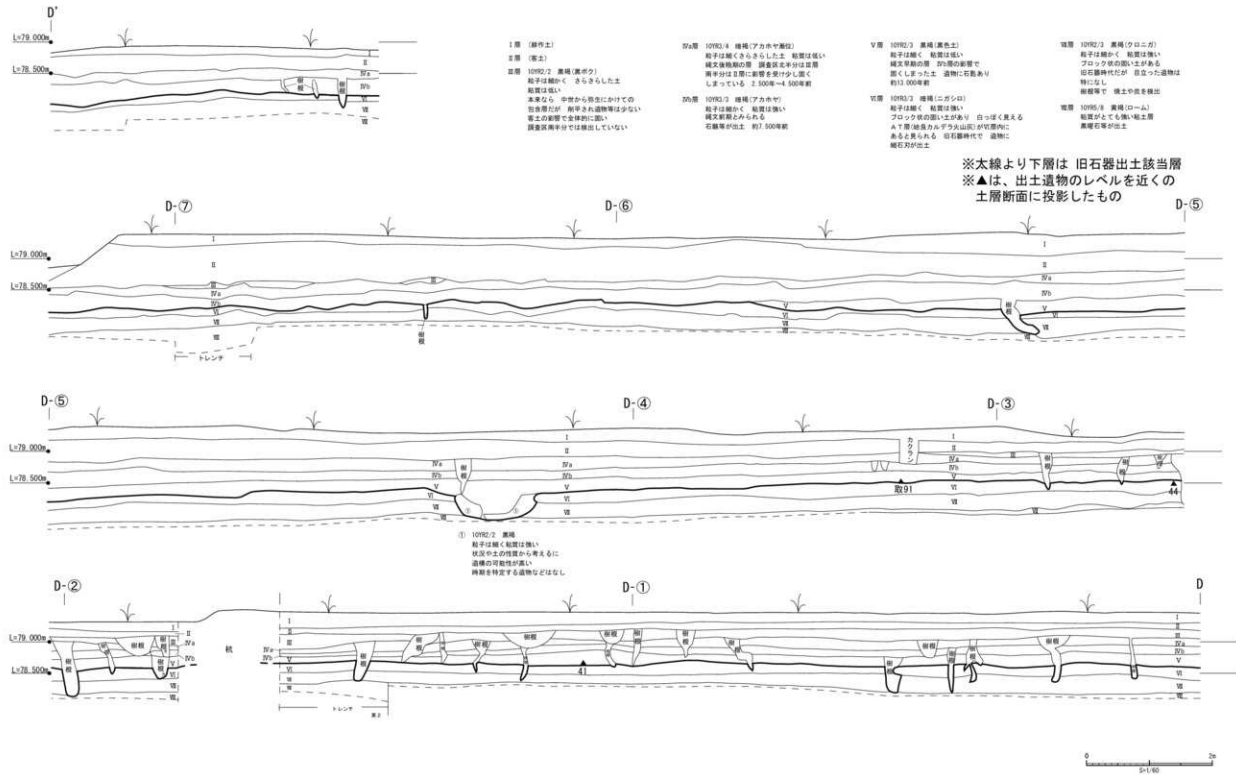
※ 太線より下層は 旧石器出土該当層



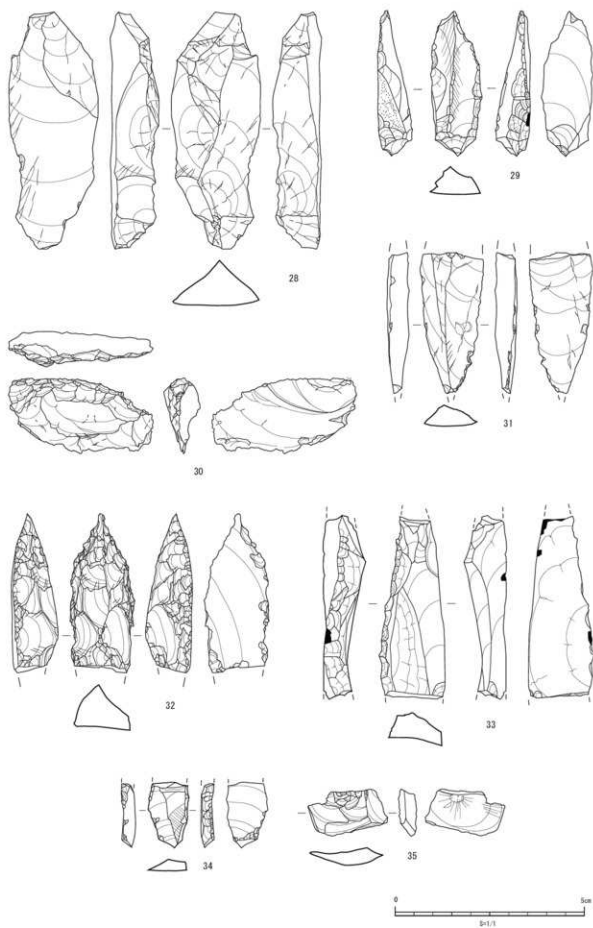
北側壁面土断面図



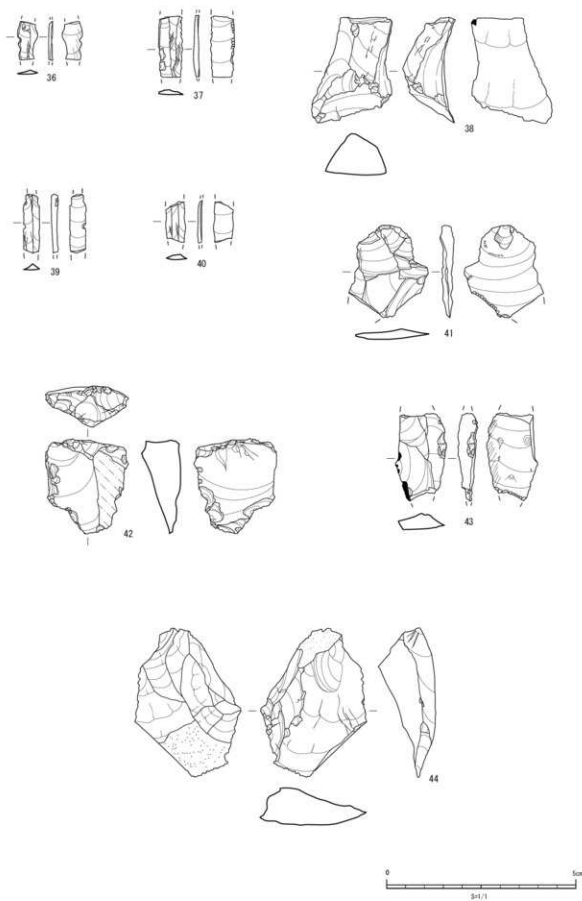
第 28 図 五丁中原遺跡 I 区 調査区土層断面図 1



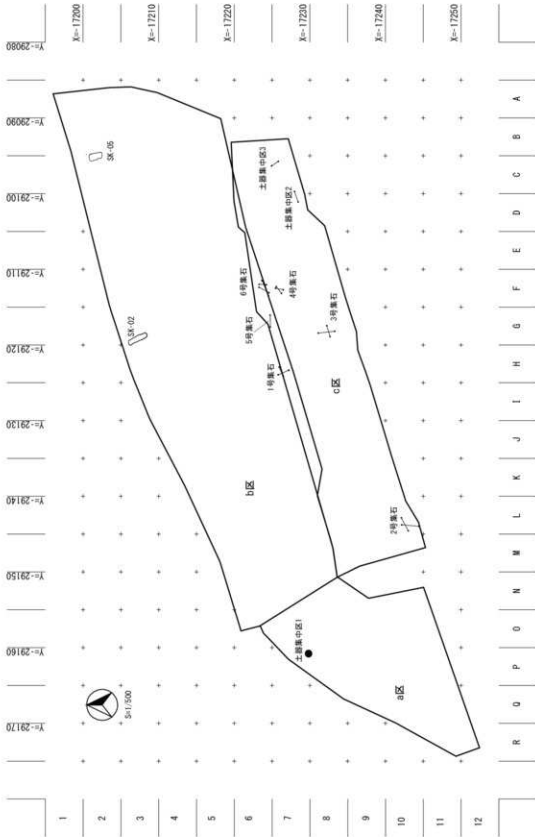
第 29 図 五丁中原遺跡 I 区 調査区土層断面図 2



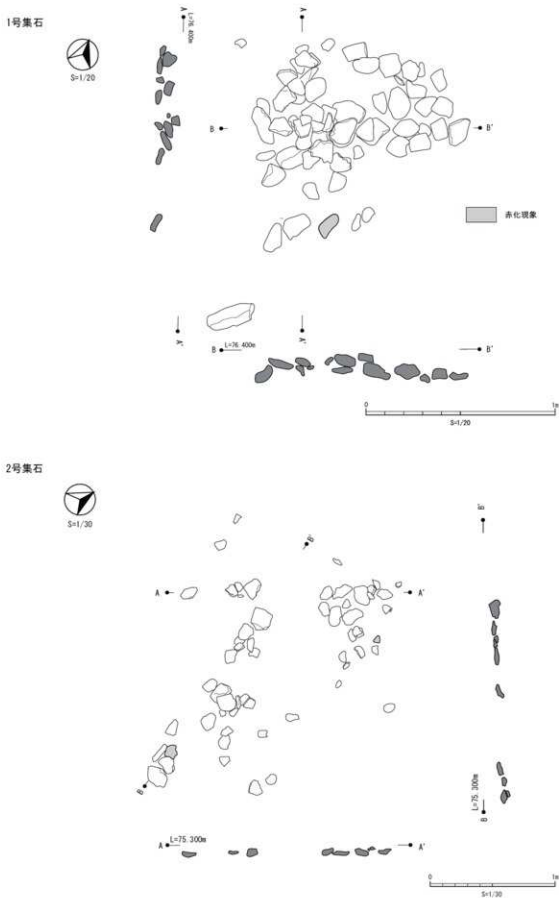
第 30 図 出土遺物実測図 5(五丁中原遺跡Ⅰ区)



第 31 図 出土遺物実測図 6 (五丁中原遺跡 I・II・III区)

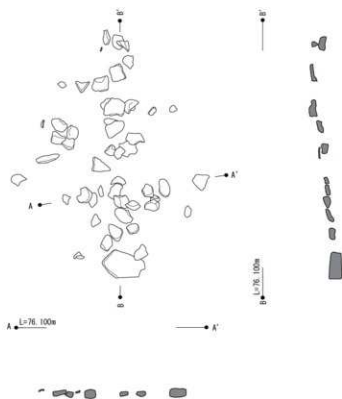


第32図 桑鶴遺跡群 06-I区 遺構配置図

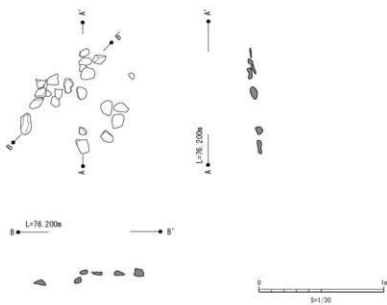


第 33 図 桑鶴遺跡群 06-1 区 1号・2号集石実測図

3号集石

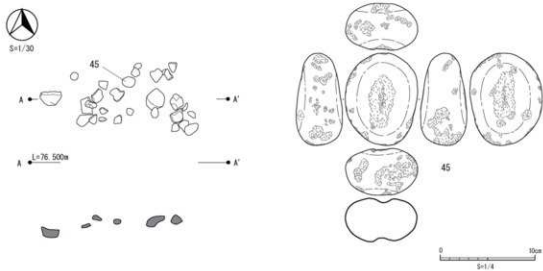


4号集石

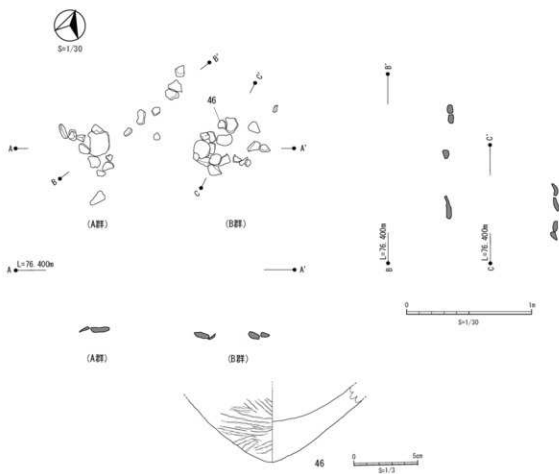


第 34 図 桑鶴遺跡群 06-I 区 3号・4号集石実測図

5号集石

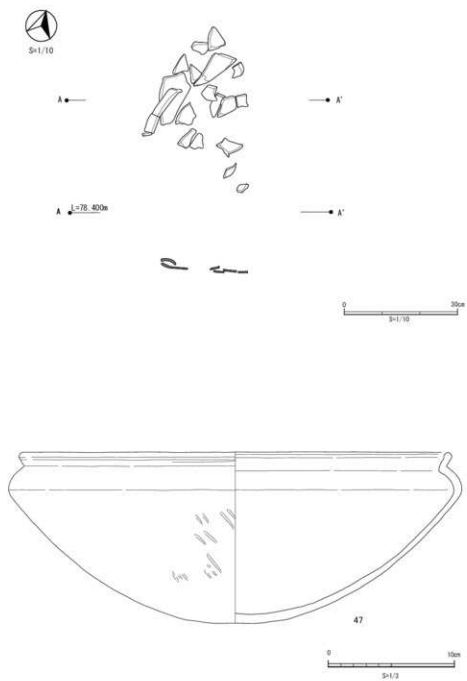


6号集石



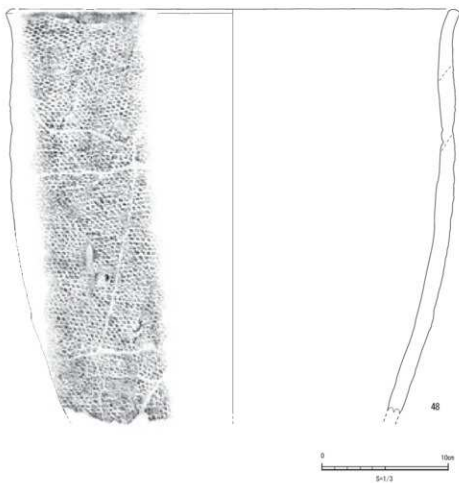
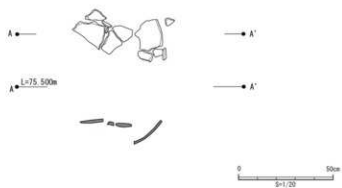
第 35 図 桑鶴遺跡群 06-1 区 5号・6号集石実測図及び出土遺物実測図

土器集中区1

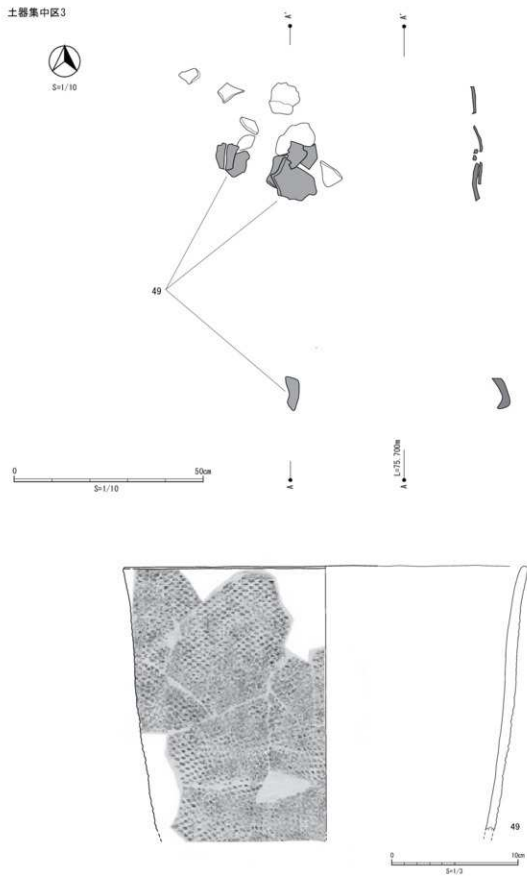


第 36 図 桑鶴遺跡群 06- I 区 土器集中区1実測図及び出土遺物実測図

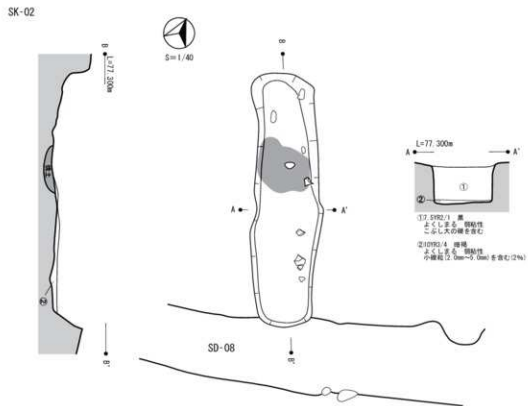
土器集中区2



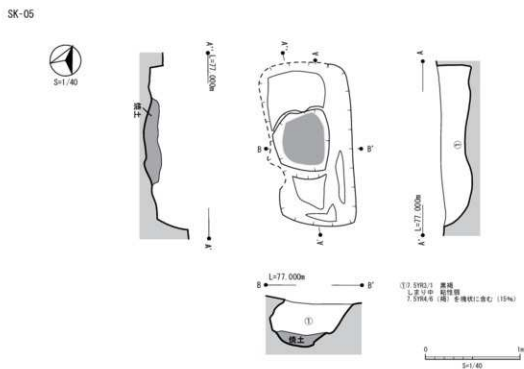
第 37 図 桑鶴遺跡群 06-I 区 土器集中区2実測図及び出土遺物実測図



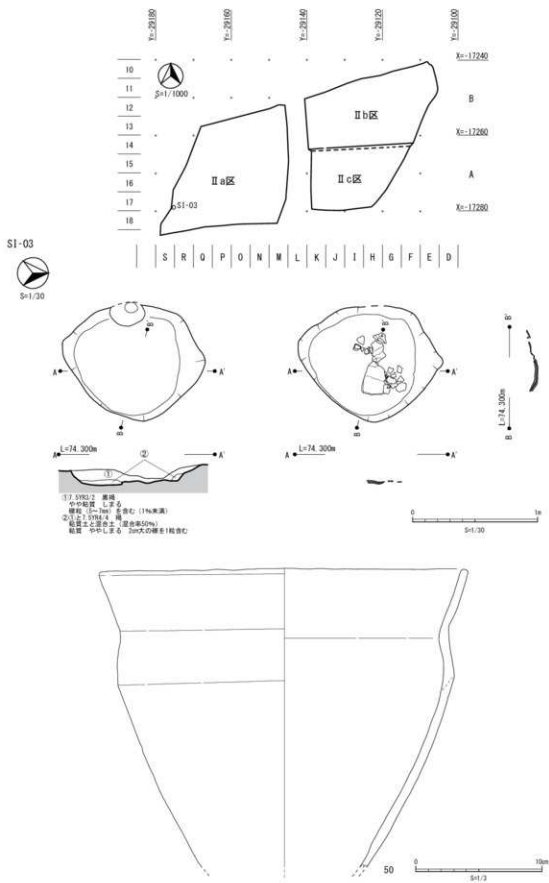
第 38 図 桑鶴遺跡群 06-I 区 土器集中区3実測図及び出土遺物実測図



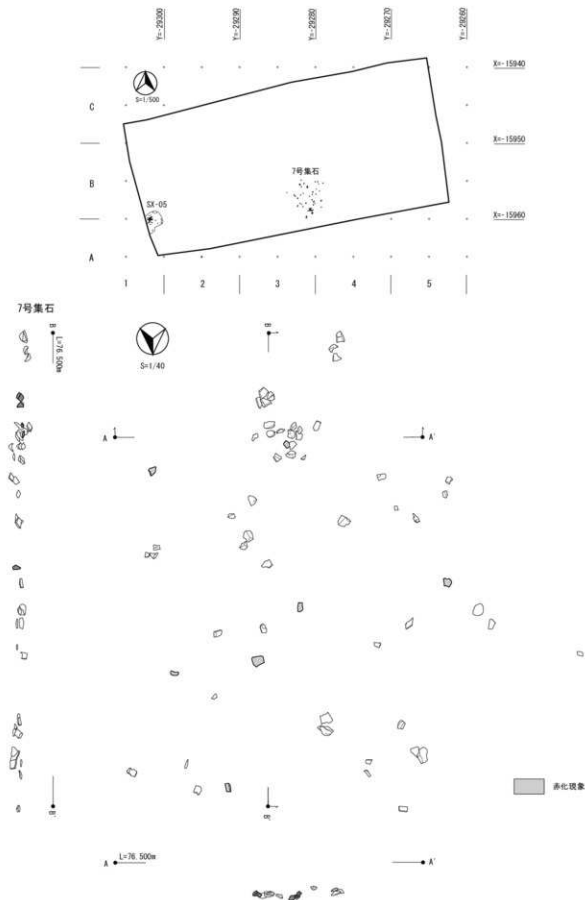
■ 埋土



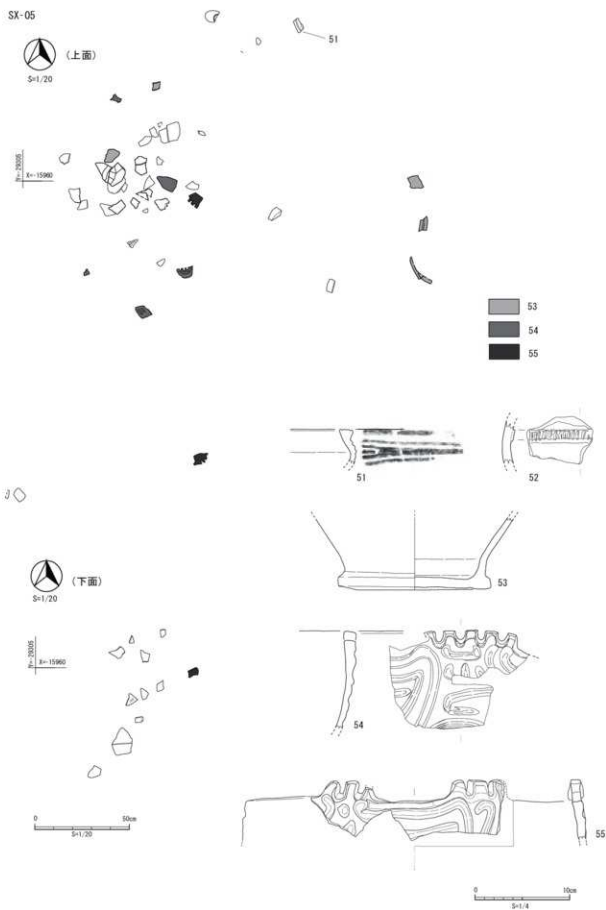
第 39 図 桑鶴遺跡群 06-I 区 SK-02・05実測図



第 40 図 桑鶴遺跡群 06- II 区 遺構配置図・SI-03実測図及び出土遺物実測図



第 41 図 桑鶴遺跡群 II 区 III層・IV層上面 遺構配置図及び7号集石実測図

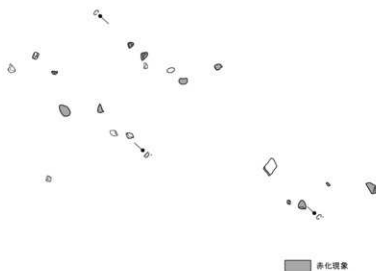


第 42 図 桑鶴遺跡群 II 区 SX-05実測図及び出土遺物実測図

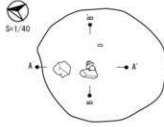


第 43 図 桑鶴遺跡群 VI区 遺構配置図

8号集石

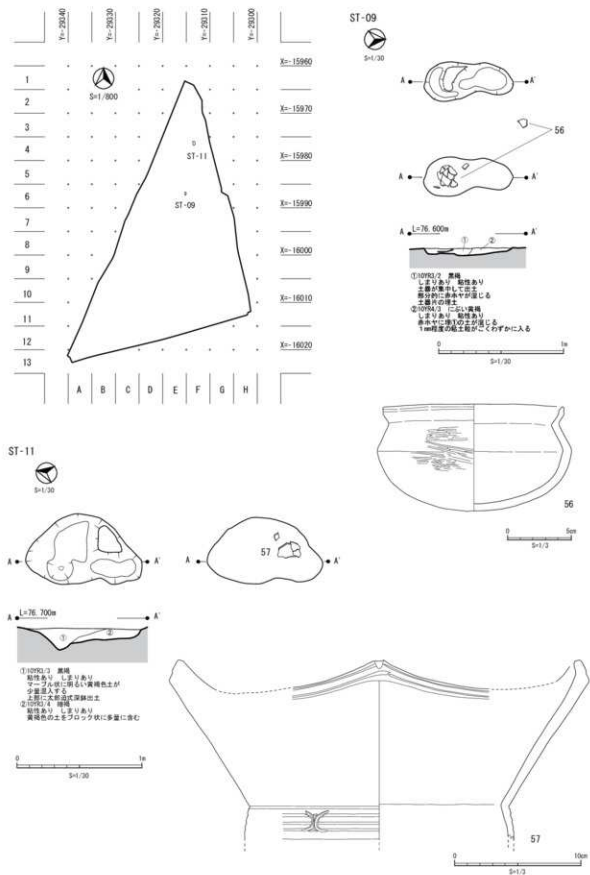


9号集石

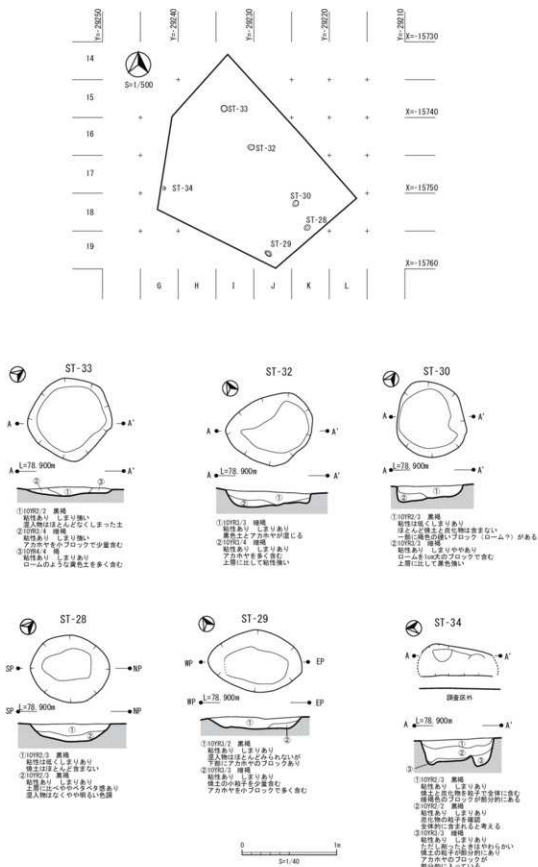


①10YR2/3 黒褐
しまりあり 粘質なし
地山の暗褐色土より硬くしまった土
二方と成化層を2~3枚含む

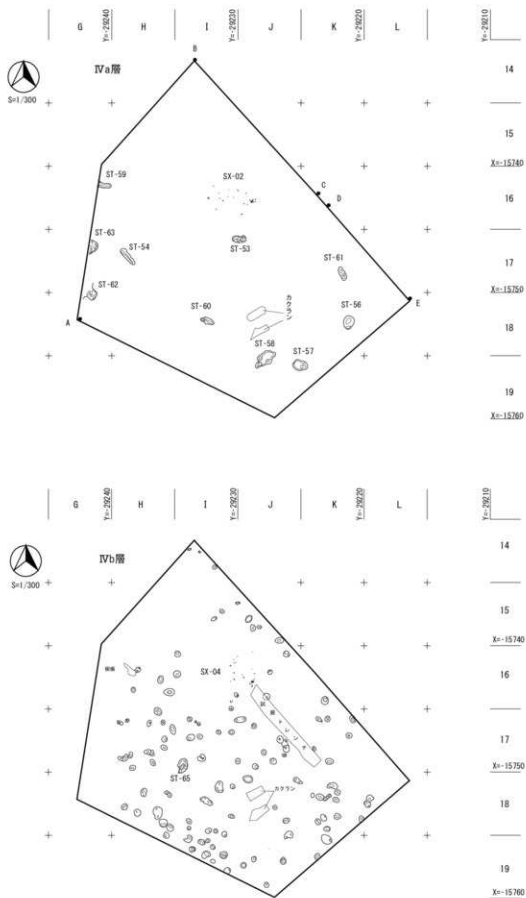
第 44 図 桑鶴遺跡群 VI区 8号・9号集石実測図



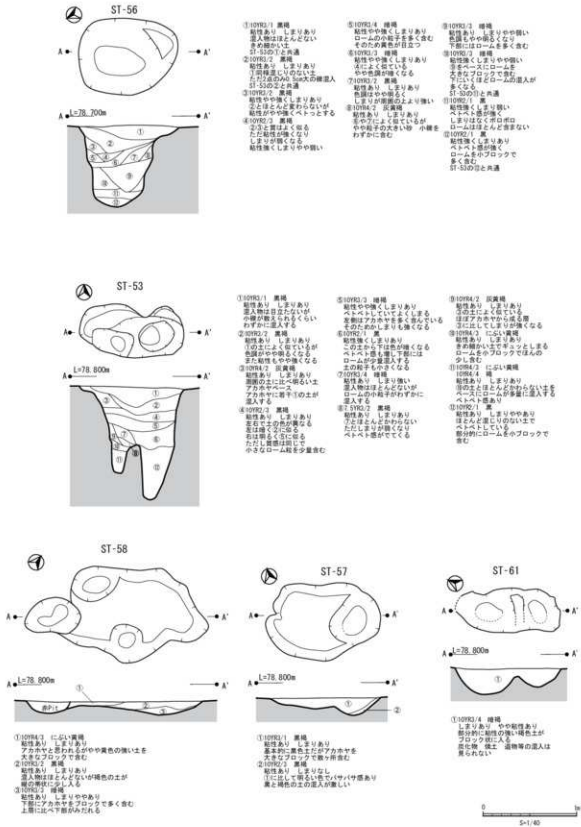
第 45 図 桑鶴遺跡群 VII区 遺構配置図・ST-09・11実測図及び出土遺物実測図



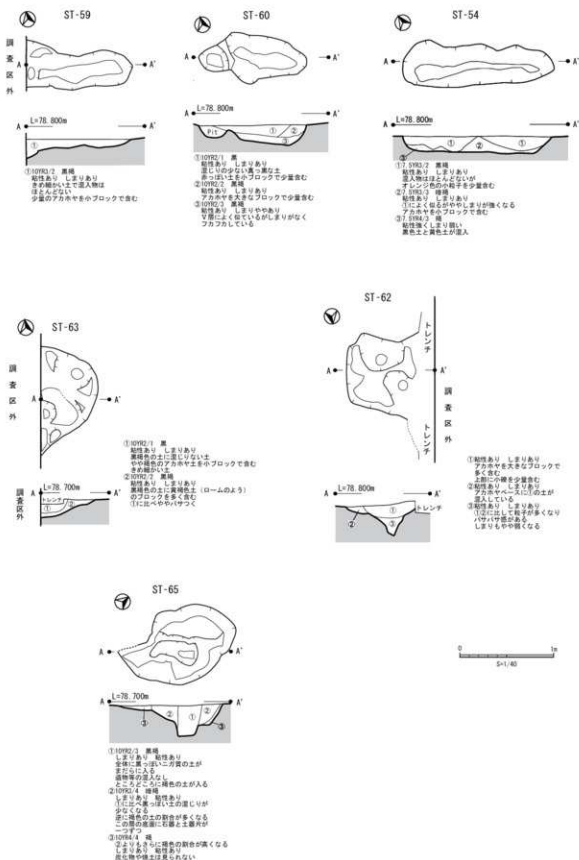
第 46 図 五丁中原遺跡 II 区 Ⅲ層・Ⅳ層 遺構配置図及び ST-28~30・32~34 実測図



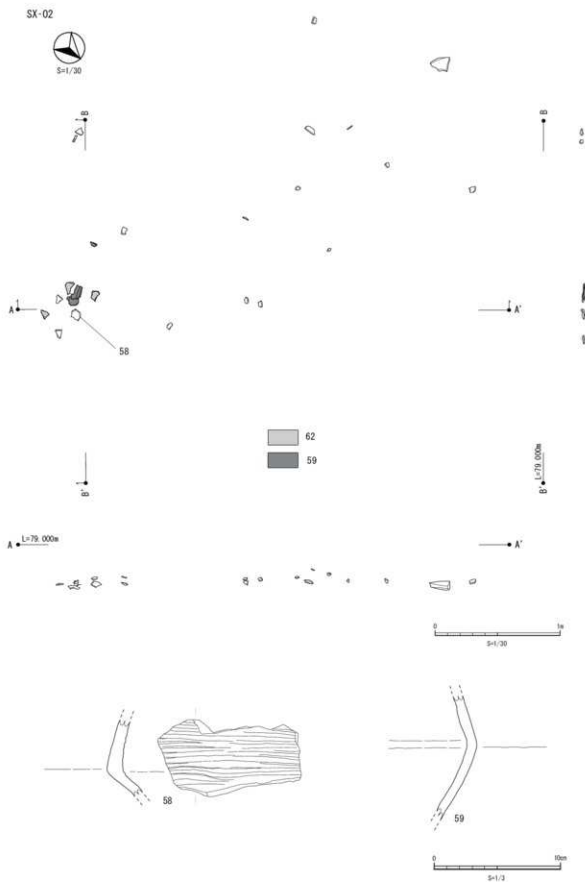
第 47 図 五丁中原遺跡 II 区 IVa層・IVb層 遺構配置図



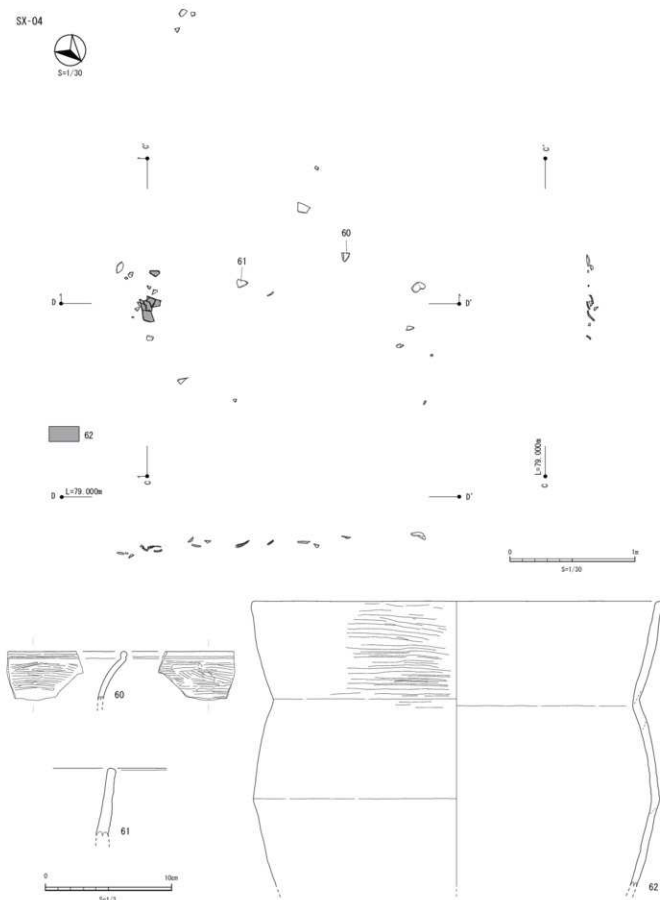
第 48 図 五丁中原遺跡 II 区 ST-53・56～58・61実測図



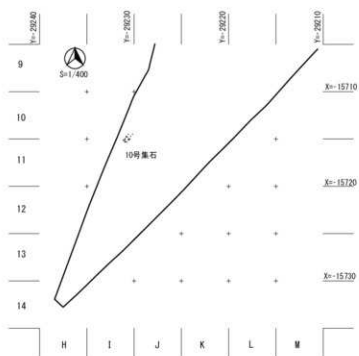
第 49 図 五丁中原遺跡 II 区 ST-54・59・60・62・63・65実測図



第 50 図 五丁中原遺跡 II 区 SX-02実測図及び出土遺物実測図



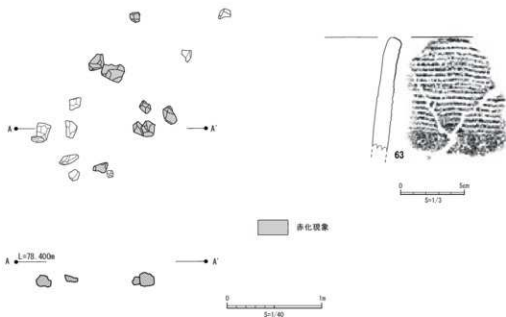
第 51 図 五丁中原遺跡 II 区 SX-04実測図及び出土遺物実測図



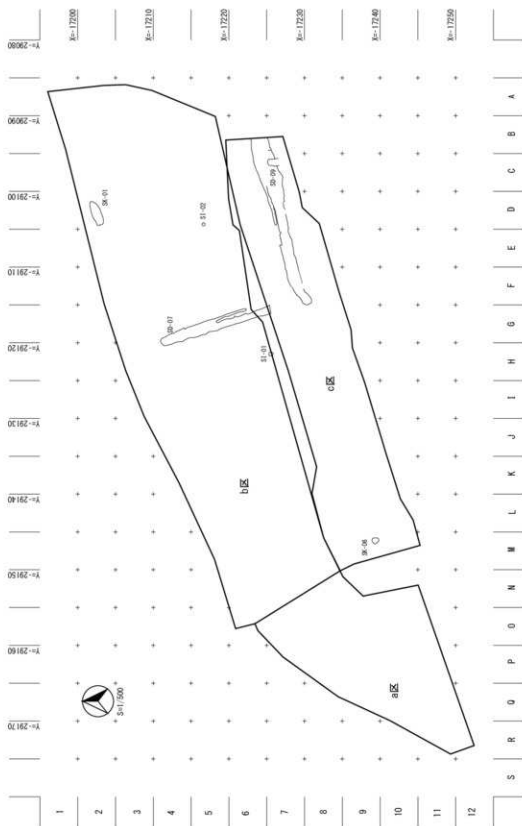
10号集石



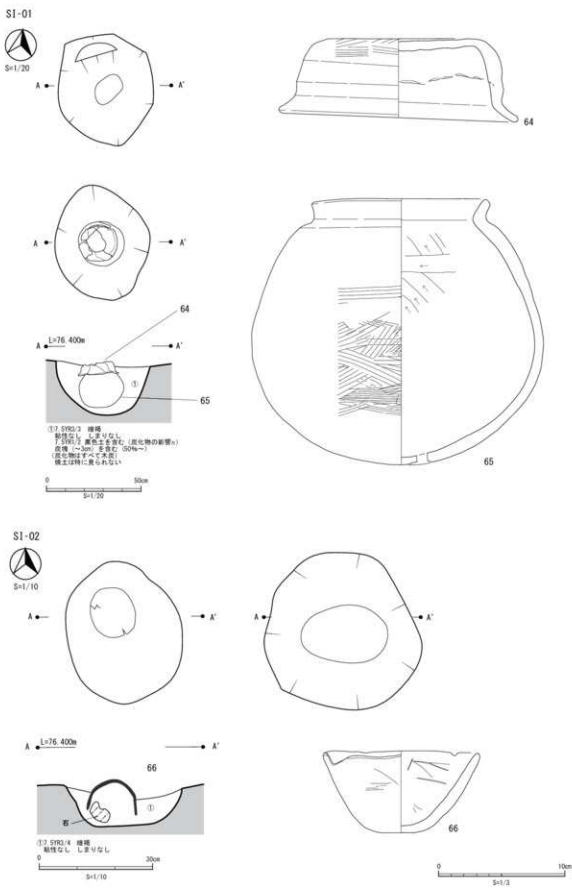
63



第 52 図 五丁中原遺跡 III区
IV層・V層 遺構配置図・10号集石実測図及び出土遺物実測図

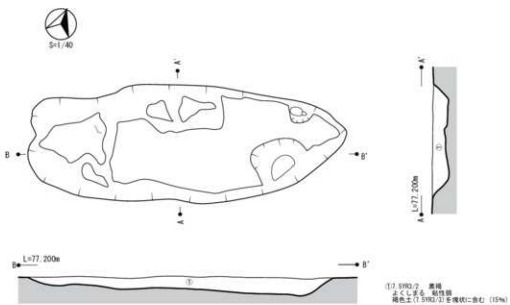


第 53 図 桑野遺跡群 06-I 区 遺構配置図

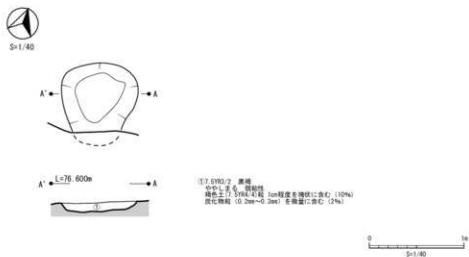


第 55 図 桑鶴遺構群 06-I 区 S1-01・02実測図及び出土遺物実測図

SK-01

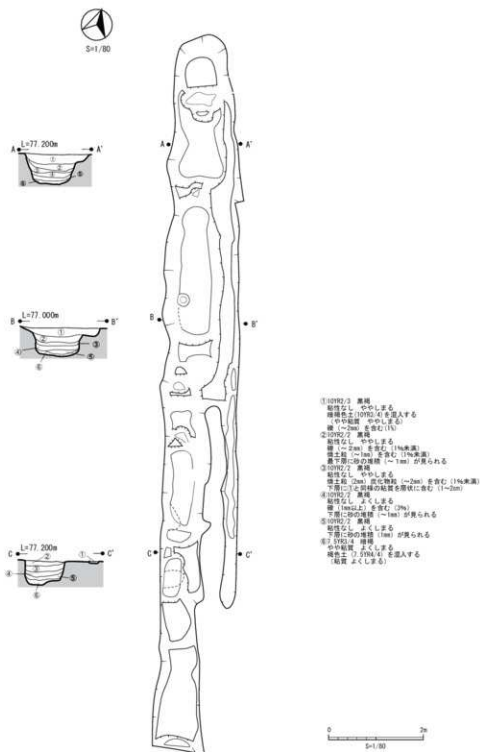


SK-06

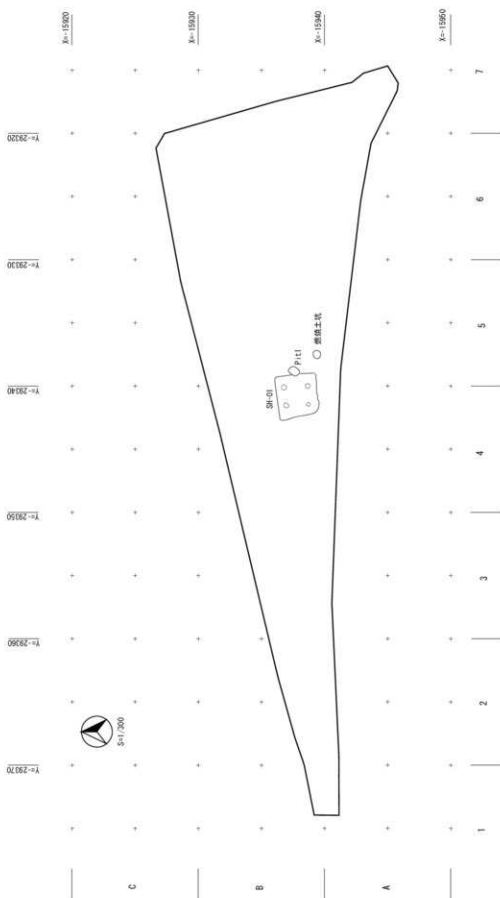


第 56 図 桑鶴遺跡群 06-I 区 SK-01・06実測図

SD-07

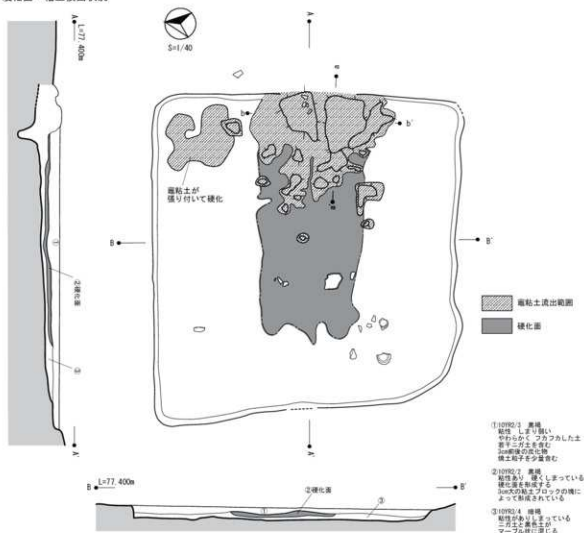


第 57 図 桑鶴遺跡群 06-1 区 SD-07実測図

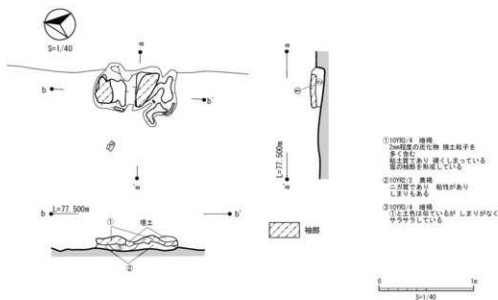


第 58 図 桑鶴遺跡群 I 区 遺構配置図

硬化面・粘土検出状況

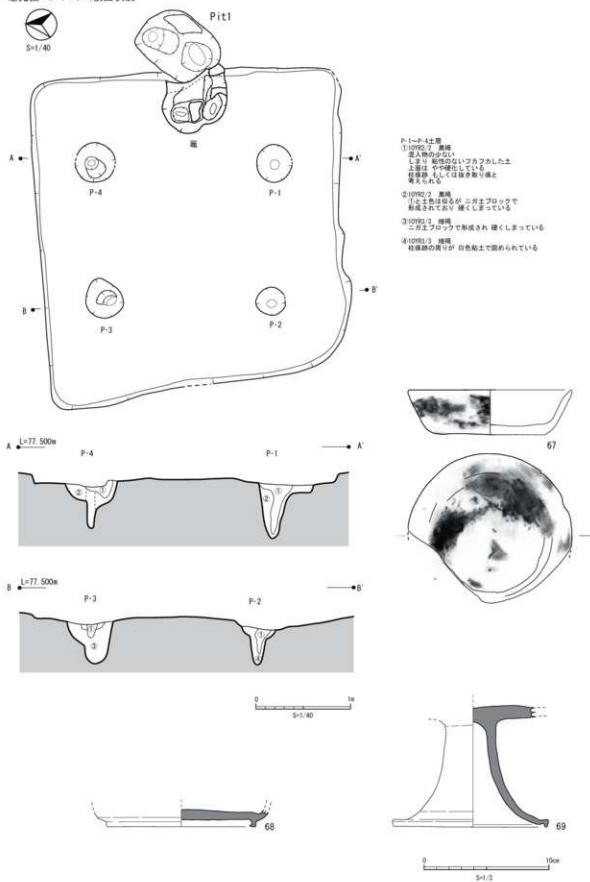


竈検出状況



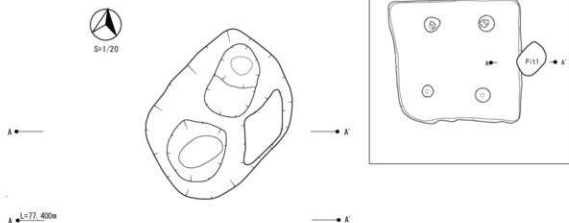
第 59 図 桑鶴遺跡群 I 区 SH-01実測図及び竈実測図

竈完掘・P-1~P-4検出状況

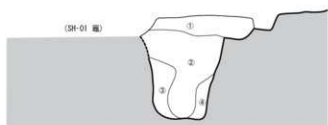


第 60 図 桑鶴遺跡群 I 区 SH-01完掘図及び出土遺物実測図

Pit 1



A-A 1=77.400m



- ①10YR2/3 焼層
しまり、粘性は強い
100%程度の粘土粒子を少量含む
- ②10YR2/2 焼層
しまり、粘性に強い
20%程度の焼結土ブロックを
少量含む
- ③10YR3/4 焼層
しまり、粘性強い
基質土がアーブル状に存在する
- ④10YR2/3 焼層
二方葉のブロックが形成されており
硬くしまる。粘性あり

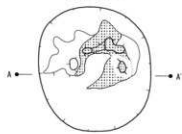
焼結土坑



(完備図)



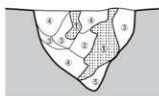
(焼結状況図)



A-A 1=77.400m

- ①10YR2/3 焼層
焼土塊、硬くしまっている
多く残っている部分もみられた
- ②10YR3/4 焼層
焼土粒子の混じり
やわらかい土
- ③10YR2/2 焼層
非常に硬くしまりがあり
ザラザラとしている

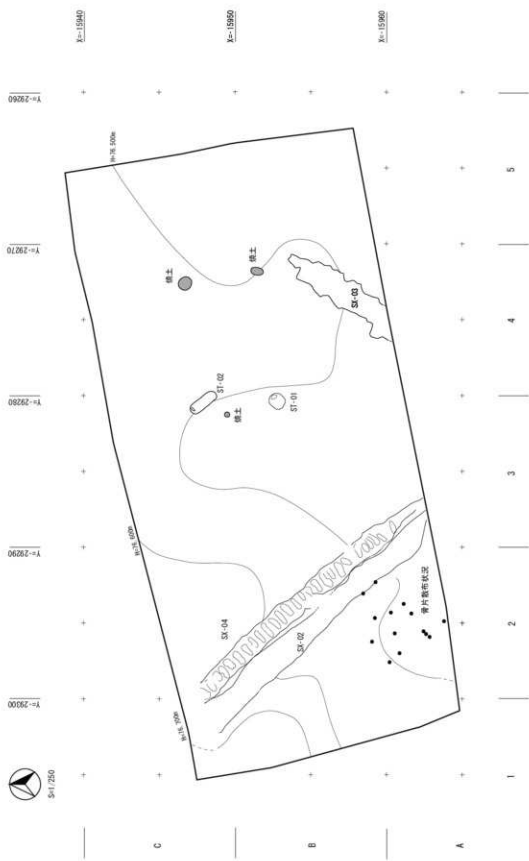
- ④10YR3/4 焼層
200mm程度の粘土粒子を多量に含み
灰色焼結を少量含む
ややザラツとしてしまりはなく
やわらかい土である
- ⑤10YR2/3 焼層
二方土である。粘性があり
硬くしまっている



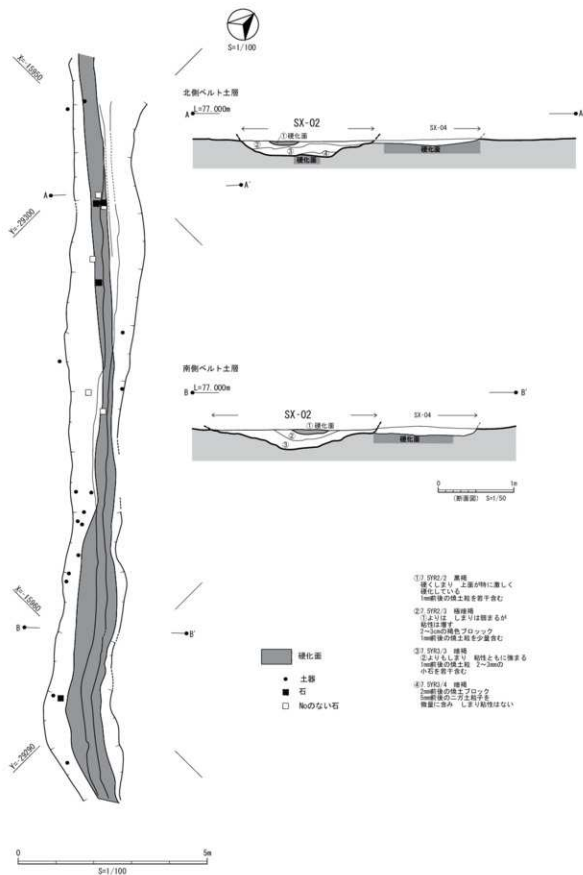
■ 焼結土塊範囲

0 1m
S=1/20

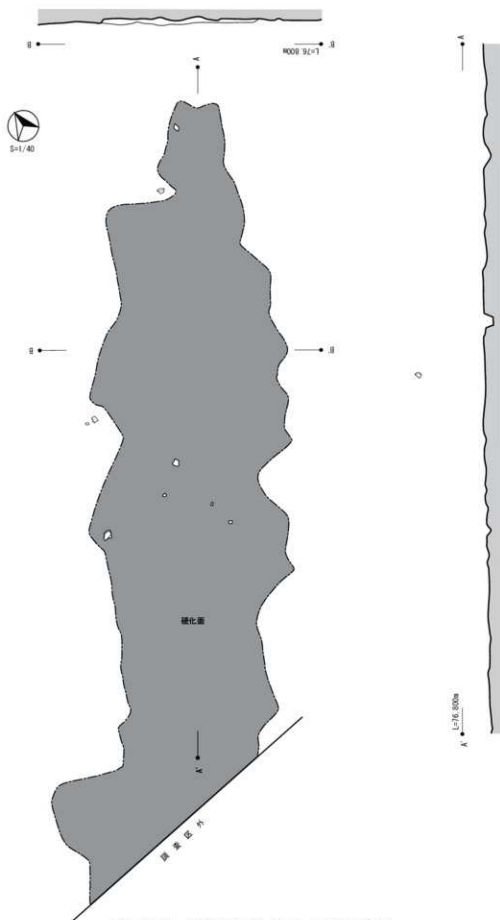
第 61 図 桑鶴遺跡群 I 区 Pit1・焼結土坑実測図



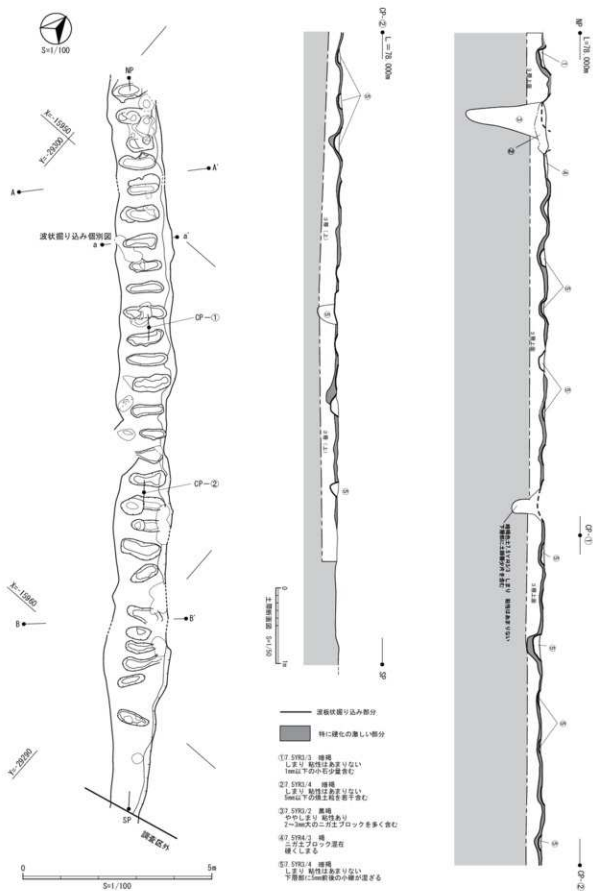
第 62 図 桑鶴遺跡群 II 区 コンタ図及び遺構配置図 (Ⅲ層上面検出)



第 63 図 桑鶴遺跡群 II 区 SX-02実測図

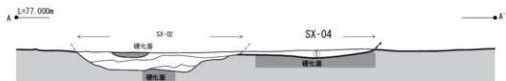


第 64 図 桑鶴遺跡群 II 区 SX-03実測図

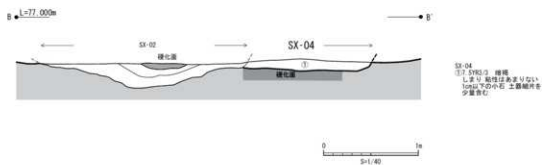


第 65 図 桑鶴遺跡群 II 区 SX-04実測図

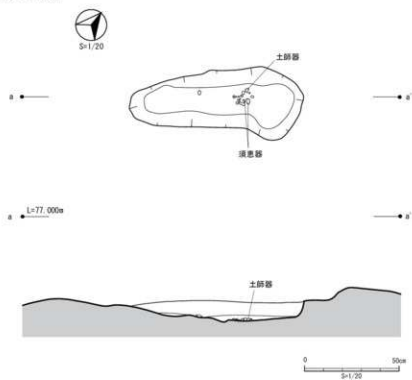
北側ベルト土層



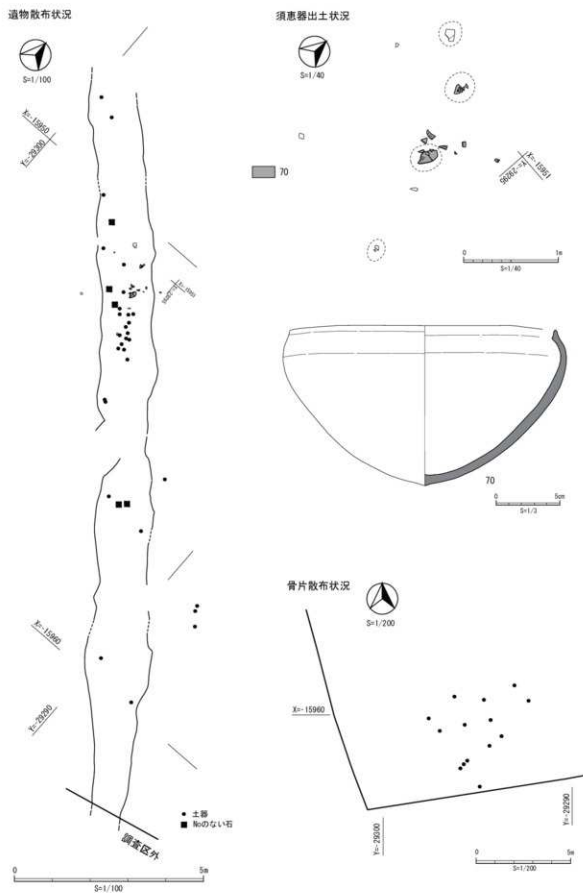
南側ベルト土層



波状掘り込み状況

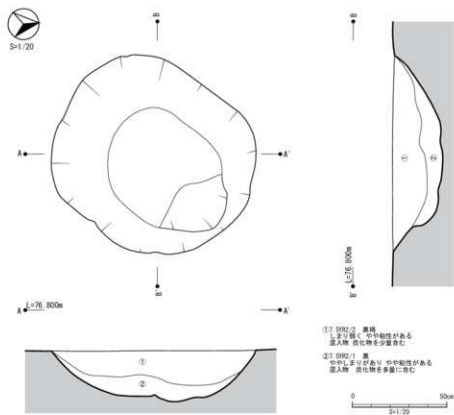


第 66 図 桑鶴遺跡群 II 区 SX-04ベルト土層断面図及び波状掘り込み実測図

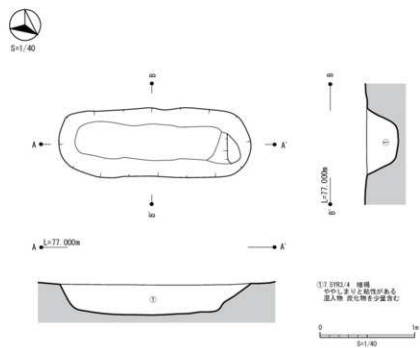


第 67 図 桑鶴遺跡群 II 区 SX-04遺物出土状況・骨片散布状況及び出土遺物実測図

ST-01



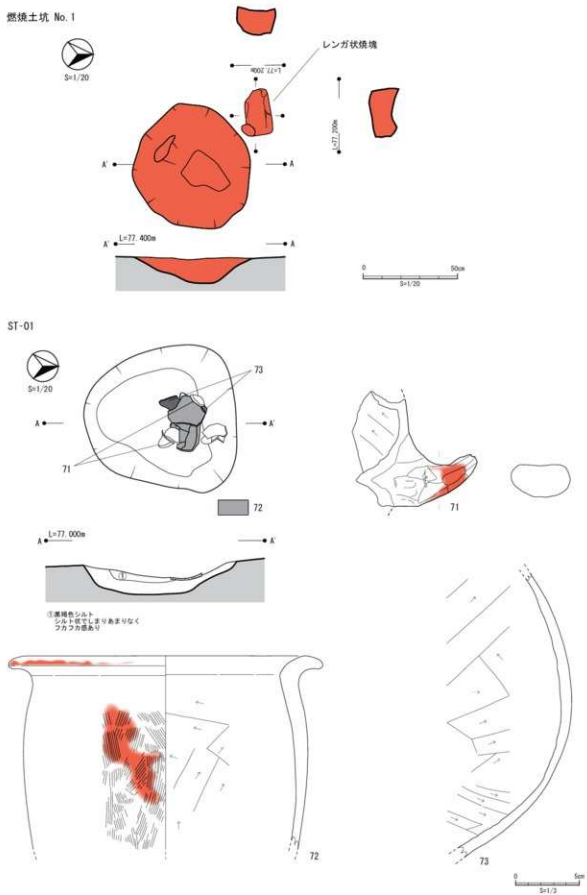
ST-02



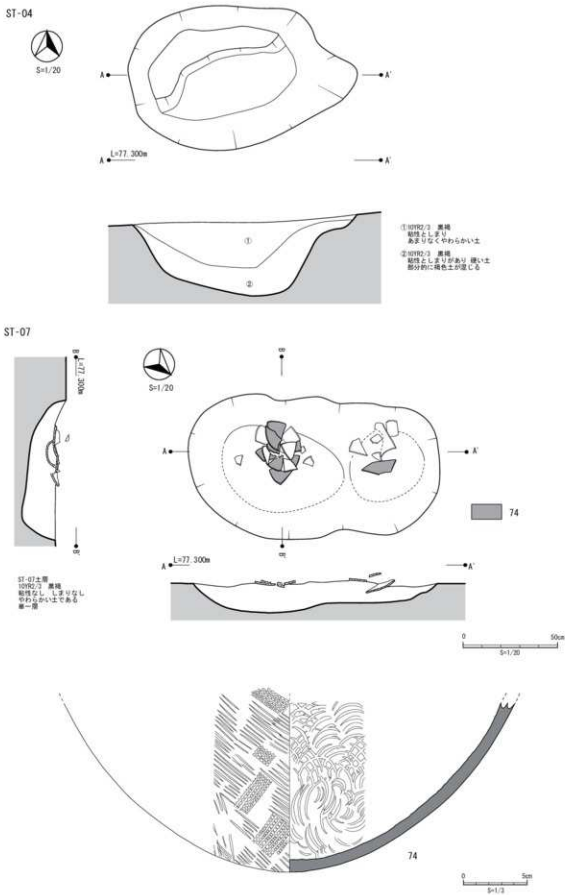
第 68 図 桑鶴遺跡群 II 区 ST-01・02実測図



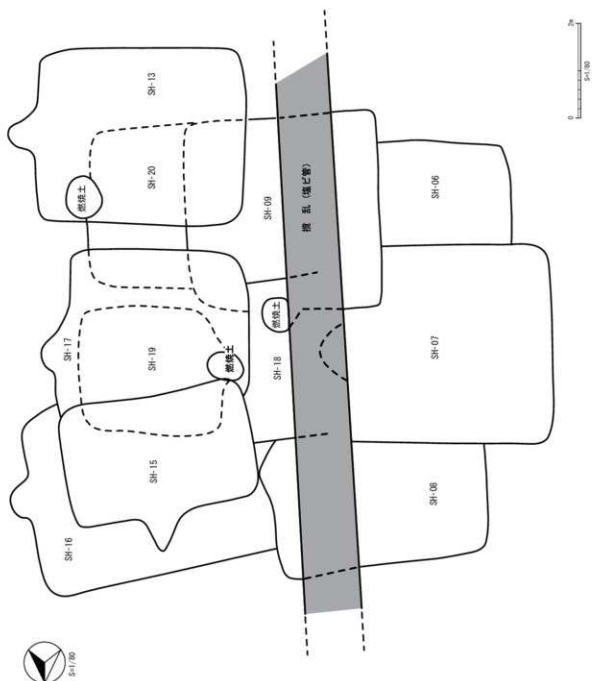
第 69 図 桑鶴遺跡群 III・VI区 遺構配置図及び遺物出土状況



第 70 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 燃焼土坑No. 1・ST-01実測図及び出土遺物実測図

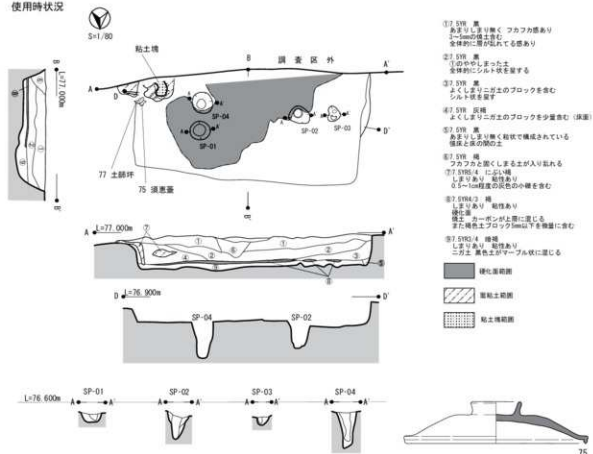


第 71 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 ST-04・07実測図及び出土遺物実測図

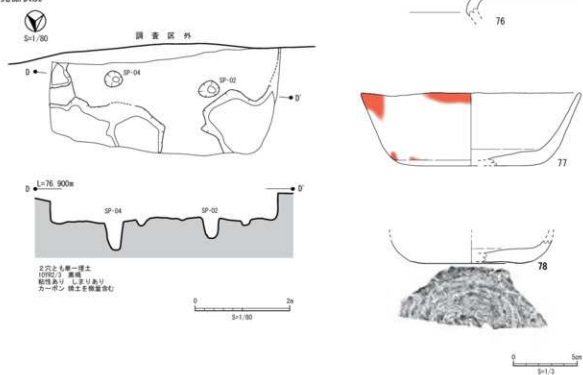


第 72 図 桑鶴道跡群 III区 住居址群概念図

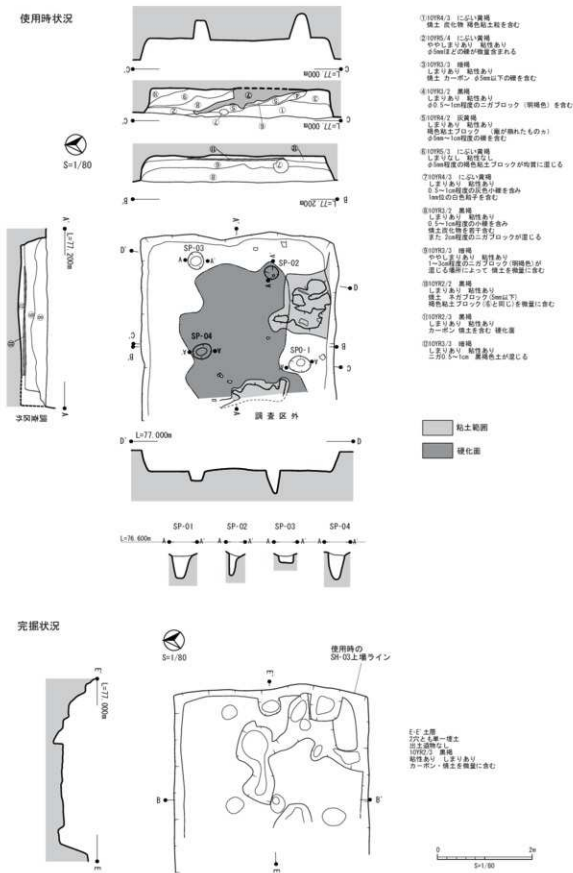
使用時状況



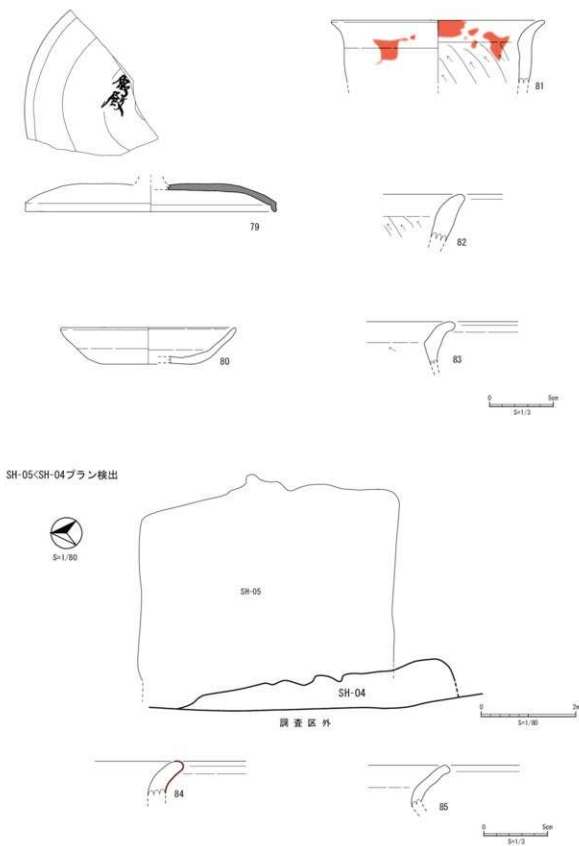
完掘状況



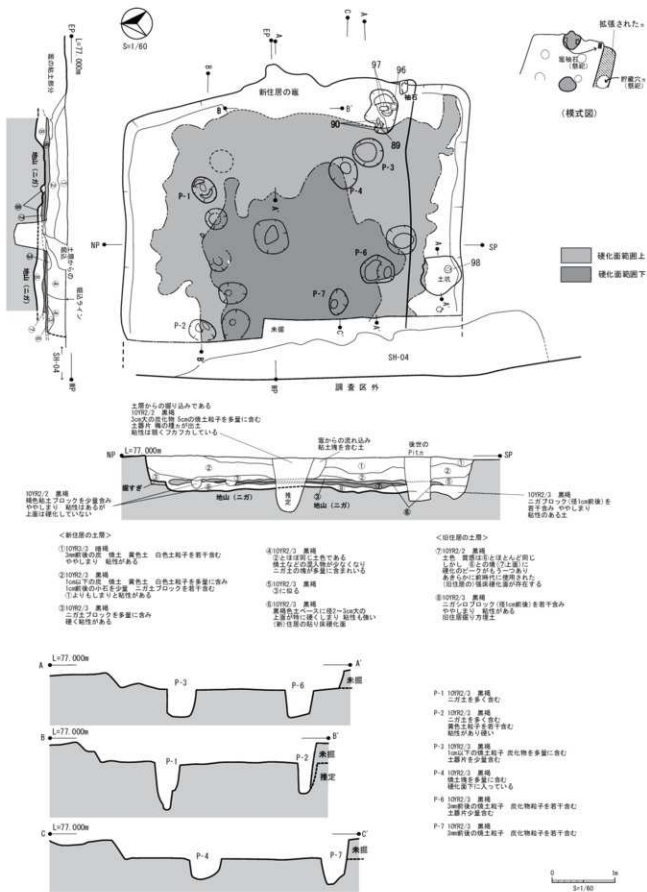
第 73 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-01実測図及び出土遺物実測図



第 74 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-03実測図

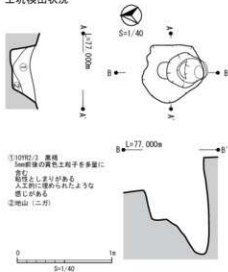


第 75 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-03出土遺物実測図・SH-04実測図及び出土遺物実測図



第 76 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-05実測図

土坑検出状況



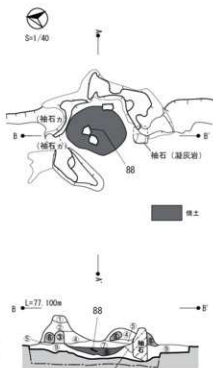
①10912:3 裏堀
5m前後の黄褐色土層を多量に含む
粘性としまりがある
人工的に埋められたような感じがある

②地山(二打)

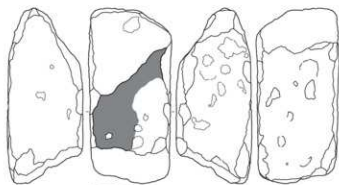
竈検出状況



竈跡の周囲部分から土は
その層に埋め込まれた
土層上
灰土層(焼化層)

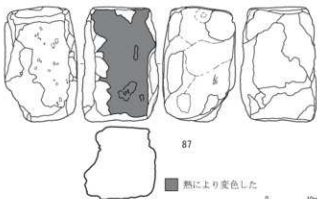


土色は赤だが若干黒んかった



86

■ 熱により変色した

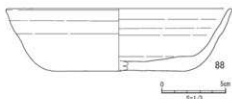


87

■ 熱により変色した



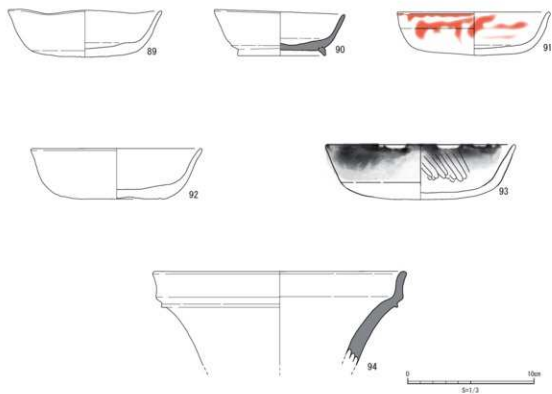
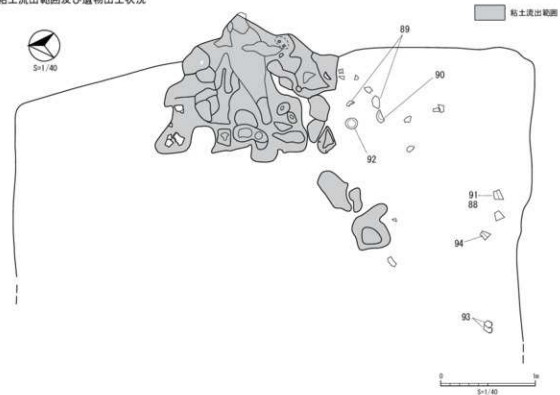
- A-E
- ①10918:4 におい焼堀
2m前後の焼土層・白色粘土
5m以下の中を若干含む
粘性としまりがある
 - ②10912:2 裏堀
5m-10m次の焼土層を多量に含む
粘性としまりは強い
 - ③10918:4 堀
8m前後の1層に相当する
 - ④10912:3 裏堀
8m前後の1層に相当する
 - ⑤10918:4 におい焼堀
焼土層跡(焼土層)・焼土文化の
痕跡は赤褐色を帯びて黒化した
 - ⑥10912:3 裏堀
土層の間に
しまりの強いややせりやせした土
層(埋め込まれた灰土層)がある
 - ⑦10912:3 裏堀
⑤と同層の間に
8m前後の1層に相当する
- B-F
- ①10918:3 裏堀
強く粘性がある
 - ②10918:4 堀
20m以下の石を多量に含む
粘性としまり
 - ③10918:4 堀
2-3m次の黄褐色土層(ブロックを
多く含む) 5m以下の中を若干含む
しまりもやや強い土色である
粘性としまり 粘性がある
 - ④10918:2 におい焼堀
5m前後の焼土層を若干含む
粘性としまり 粘性がある
 - ⑤10912:3 裏堀
10m以下の焼土層が覆っている
しまりの強い土
 - ⑥10912:3 裏堀
黄褐色土層(ブロックの塊である
土層)を強く 粘性がある
 - ⑦10912:3 裏堀
⑤と同層
 - ⑧10918:4 におい焼堀
焼土層跡(焼土層)
 - ⑨10912:3 裏堀
⑤と同層(埋め込まれた)を若干含む
ややしまり 粘性がある
粘性層(黄褐色土)



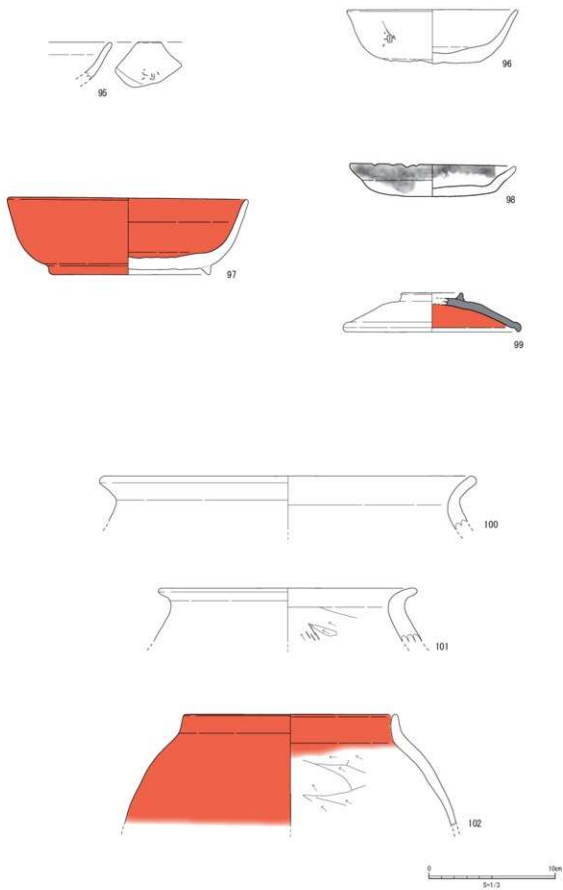
88

第 77 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-05土坑・竈実測図及び出土遺物実測図

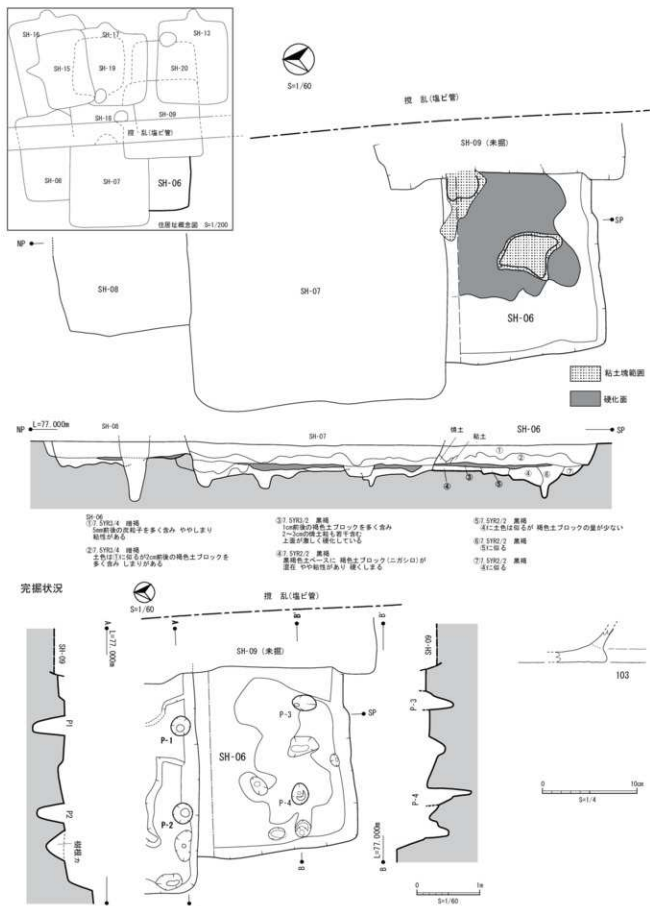
竈粘土流出範囲及び遺物出土状況



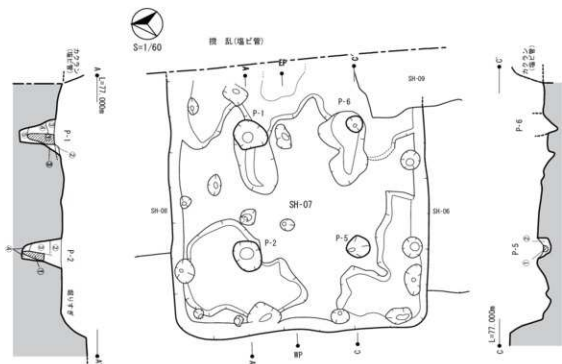
第 78 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-05竈粘土流出状況及び出土遺物実測図



第 79 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-05出土遺物実測図



第 80 図 桑鶴遺跡群Ⅲ区 SH-06実測図及び出土遺物実測図

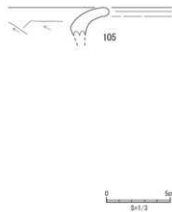
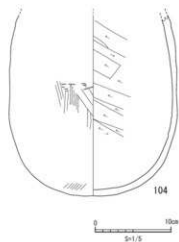


- P-1
① 5902/2 縄縄坑
黄褐色土ブロック(100前後)を若干含む
あまり粘性のないワサワサした土
柱状跡もしくは抜き取り痕
- ② 5902/2 裏坑
黄褐色土塊が定在し、土層がはげしく
硬化していて柱状跡面を形成している
- ③ 5902/2 裏坑
遺人物のすくないやしまり 粘性のある土
- ④ 5902/2 裏坑
べーじに似た土色は3とゆるが
黄褐色土ブロックが定在し、跡土層が
やや硬くなる
- ⑤ 5902/2 裏坑
黄褐色土層(100前後)を若干含む
しまりのないワサワサした土

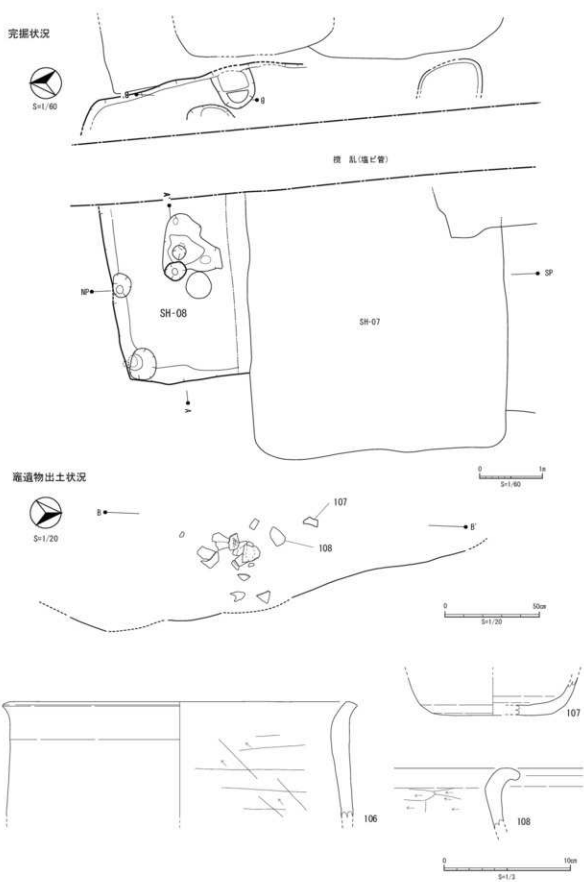
- P-2
① 5902/2 縄縄坑
遺人物のすくないしまり 粘性のない
ワサワサした土(柱状跡もしくは抜き取り痕)
- ② 5902/2 裏坑
遺人物の少ない やしまり 粘性のある土
- ③ 5902/2 裏坑
べーじとなる土層は3とゆるが
黄褐色土ブロックが定在する
- ④ 5902/2 裏坑
土色は2に似た、しまり 粘性のない土

- P-5
① 5902/2 裏坑
遺人物のすくない、しまりはないが
やや粘性がある土(柱状跡)
- ② 5902/2 縄縄坑
褐色土ブロック(二穴土)が定在し
硬くしまりや粘性がある

0 5m
S=1/60

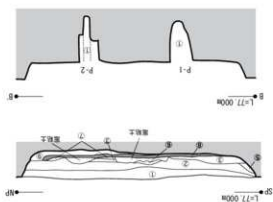


第 82 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-07 Pit検出状況及び出土遺物実測図

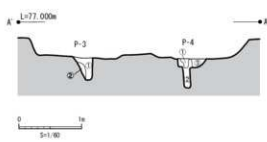
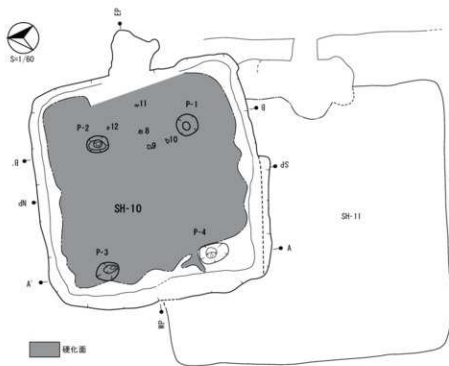


第 85 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-08窟遺物出土状況及び出土遺物実測図

使用時状況



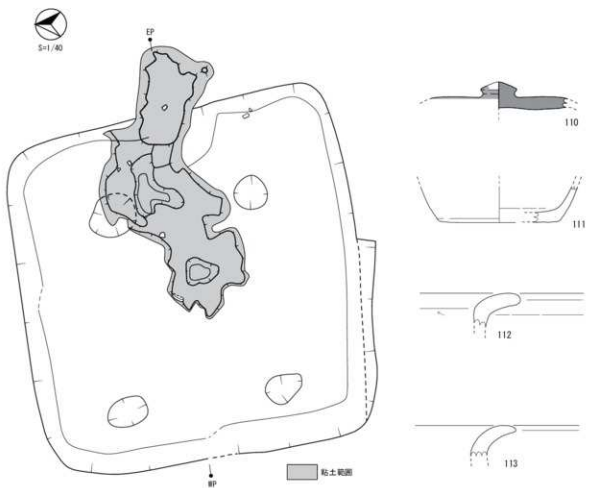
- P-1-2
①109R② 溝堀
堀底あり しまりあり
- P-3
①109R② 溝堀
堀底あり しまりあり
②109R② 溝堀
①と土色は異なるが①よりも
しまりがある
- P-4
①109R② 溝堀
堀底あり しまりあり
軽微跡
②109R④ 溝堀
堀底あり しまりあり
③109R④ 溝堀
①と土色は異なるが
②よりも緩くしまりがある



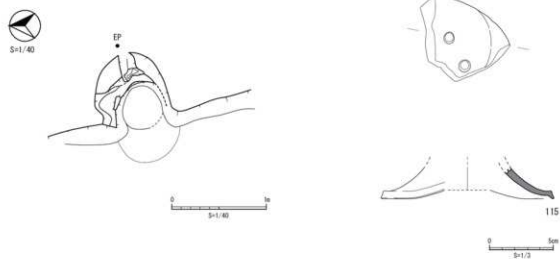
- SH-10
①109R② 溝堀
堀底あり しまりあり
ほとんど遺入物はないが0.5m次の
カーボンが少量混入する
- ②109R② 溝堀
堀底あり しまりあり
③によく似るがアカヤブロック
積土の混入しや浅い
- ③109R② 溝堀
堀底あり しまりあり
①に比べやや浅くなる
積土カーボンの混入量もやや増える
- ④109R② 溝堀
堀底あり しまりあり
ニガロックが硬化面ブロックを
多く含む
それ以外は①に似ている
- ⑤109R② 溝堀
堀底あり しまりあり
②の土にアカヤブロックで
混入する
- ⑥109R③ に近い溝堀
堀底あり しまりあり
②の土に黒粘土の塊れた
層が少量混入する
(隣の溝堀土が覆れたものか)
- ⑦109R④ 溝堀
堀底あり しまりあり
②の土に黒粘土の塊れた
層の裏には黒粘土の
の粘土層の塊が入り混じった土
- ⑧109R④ 溝堀
堀底あり しまりあり 硬化面 積土
カーボンを含む
- ⑨109R④ 溝堀
堀底あり しまりあり
二方土 黒色土がヤブ根に混じる

第 88 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-10実測図

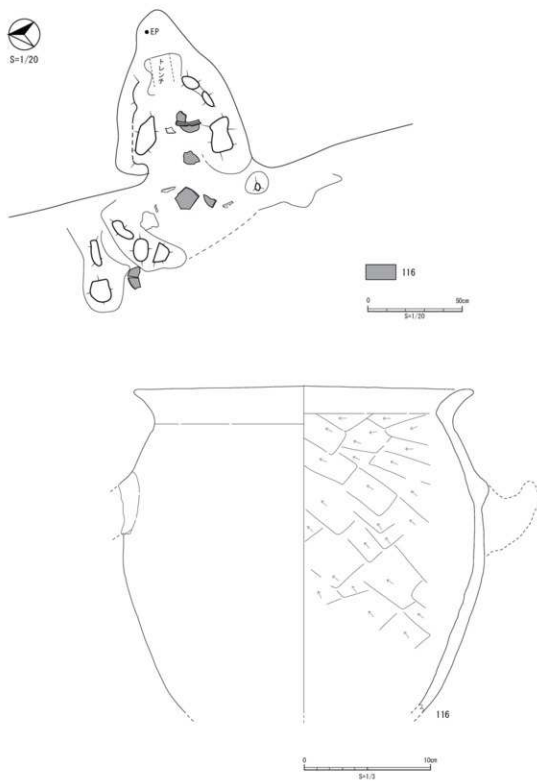
竈検出状況（竈粘土流出）



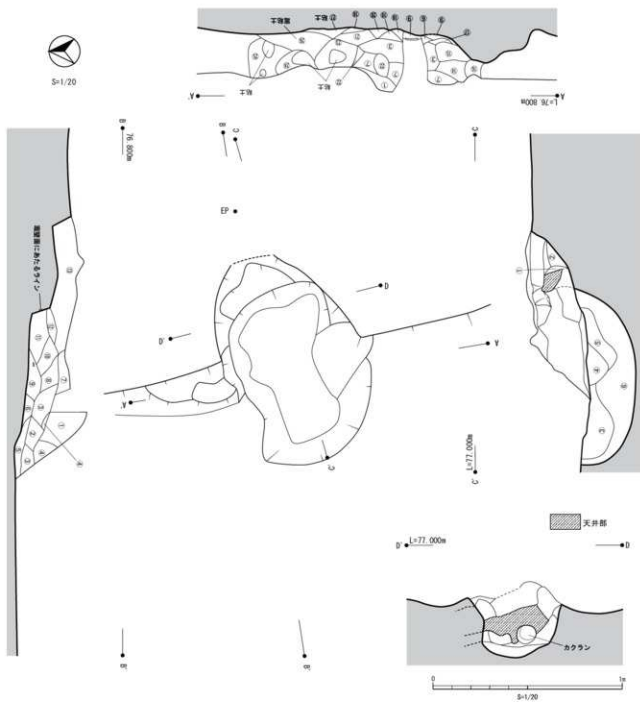
竈使用時完掘状況



第 89 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-10竈検出・完掘状況及び出土遺物実測図



第 90 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-10窟遺物出土状況及び出土物実測図



C-C'

- ①1092/3 礎
粘性なし、しまりなし
やわらかく、フカフカした土
層の頂上部分に埋没する
(もぐら穴の可能性)
- ②1092/4 礎
粘性あり、しまりあり
二ガ土を食む
- ③1092/3 礎
粘性あり、しまりあり
二ガ土を若干食む、フカフカした土
層に上部に30cm程度のやわ
軟な土層を多く含む(吹き出し口)
- ④黄褐色土
粘性あり、しまりあり、やわらかい土
層の頂上部分に埋没する(築土)
- ⑤1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり
二ガ土を若干食む
- ⑥1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり、二ガ土を食む
硬い土

A-A'-E-E'

- ①1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり
黄褐色土を少量食む
- ②1土色は出るが
1よりもやわらかい土
- ③1土色は出るが
1よりも硬い土
粘性としまりがある
- ④1094/4 礎
粘性としまりがある
黄褐色土ブロックを食む
- ⑤1092/3 黄褐色土
1土色は出るが
やや硬い土
粘性としまりがある
- ⑥1095/4 黄褐色土
小石、粘土を多く含む
赤褐色に硬くしまり、粘性がある
黄褐色土
- ⑦1093/4 礎
しまり、粘性がある
黄褐色土をブロック状に食む
- ⑧1092/3 黄褐色土
やわらかく、フカフカした土
層の頂上部分に埋没する
- ⑨1土色は出るが、1よりも
硬くしまりがある
50cm 黄褐色土を多く食む
- ⑩1091/4 礎
やわらかい土、粘性としまりはない
粘土層を多く食む
- ⑪1092/3 黄褐色土
赤褐色の塊状に黄褐色土に20cmの
積土がブロック状に多く出る
- ⑫1093/4 礎
粘性なし、しまりなし
ワザツとした、20cmの小石
層の積土層を食む
- ⑬1092/3 黄褐色土
粘性なし、しまりなし、やわらかい土
層の頂上部分に埋没する

⑭1092/3 黄褐色土

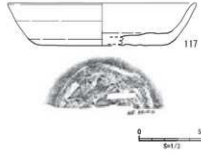
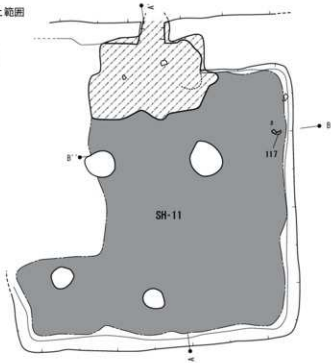
- ⑭1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり
小石を食む
- ⑮1092/3 黄褐色土
粘性なし、しまりなし
赤褐色の塊状に黄褐色土に20cmの
積土がブロック状に多く出る
- ⑯1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり
黄褐色土を食む
- ⑰1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり
黄褐色土を食む
- ⑱1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり
黄褐色土を食む
- ⑲1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり
黄褐色土を食む
- ⑳1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり
黄褐色土を食む

㉑1092/3 黄褐色土

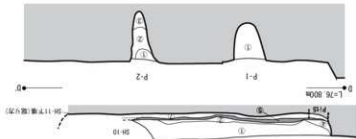
- ㉑1092/3 黄褐色土
粘性なし、しまりなし、フカフカした土
層の頂上部分に埋没する
- ㉒1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり、小石を食む
粘土の塊状に黄褐色土に20cmの
積土がブロック状に多く出る
- ㉓1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり、小石を食む
粘土の塊状に黄褐色土に20cmの
積土がブロック状に多く出る
- ㉔1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり、小石を食む
粘土の塊状に黄褐色土に20cmの
積土がブロック状に多く出る
- ㉕1092/3 黄褐色土
粘性あり、しまりあり、小石を食む
粘土の塊状に黄褐色土に20cmの
積土がブロック状に多く出る

第 91 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-10窟発掘状況

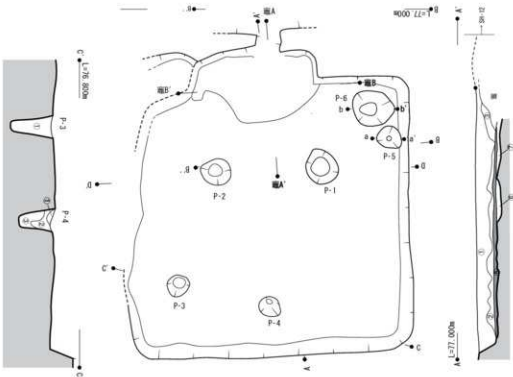
硬化面・粘土範囲



完掘状況

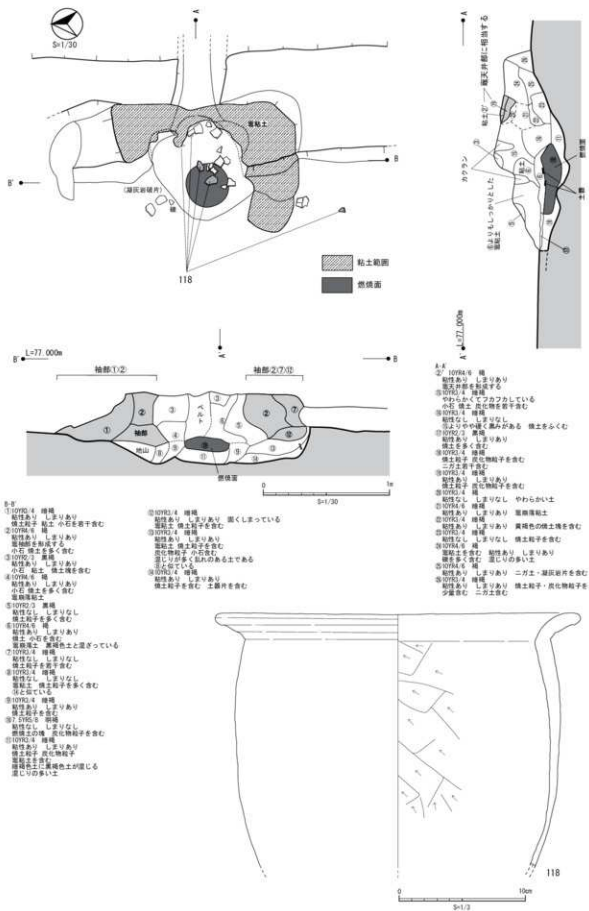


- 硬化面より検出
- P-5 ①19192/2 黒縄
粘付なし、しまりなし
二刀工を多量含む
焼土・焼土片を多量含む
土層片を多量含む
土層片を少量含む
 - P-6 ①19192/2 黒縄
粘付なし、しまりなし
二刀工を多量含む
焼土・焼土片を多量含む
土層片を少量含む



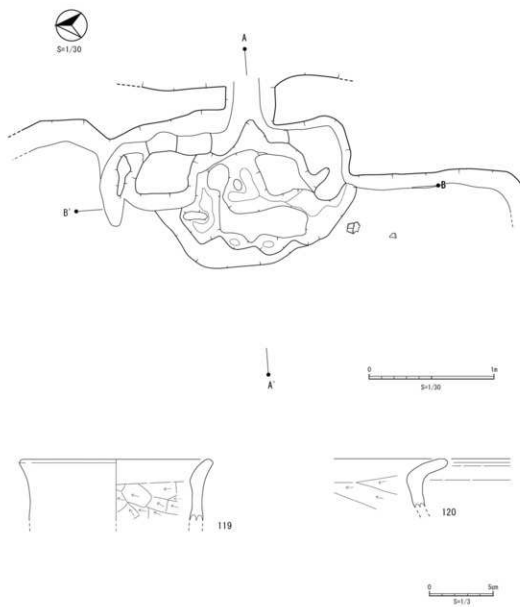
- P-1 ①19192/2 黒縄
粘付あり、しまりあり
二刀工を多量含む
焼土・焼土片を多量含む
土層片を多量含む
土層片を少量含む
- P-2 ①19192/4 黒縄
粘付あり、しまりあり
二刀工を多量含む
②19192/2 黒縄
粘付あり、しまりあり
二刀工を多量含む
土層片を多量含む
- P-3 ①19192/2 黒縄
粘付あり、しまりあり
二刀工を多量含む
焼土・焼土片を多量含む
土層片を多量含む
- P-4 ①19192/4 黒縄
粘付あり、しまりあり
二刀工を多量含む
②19192/2 黒縄
粘付あり、しまりあり
二刀工を多量含む
土層片を多量含む

第 92 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-11硬化面・粘土範囲検出・完掘状況及び出土遺物実測図

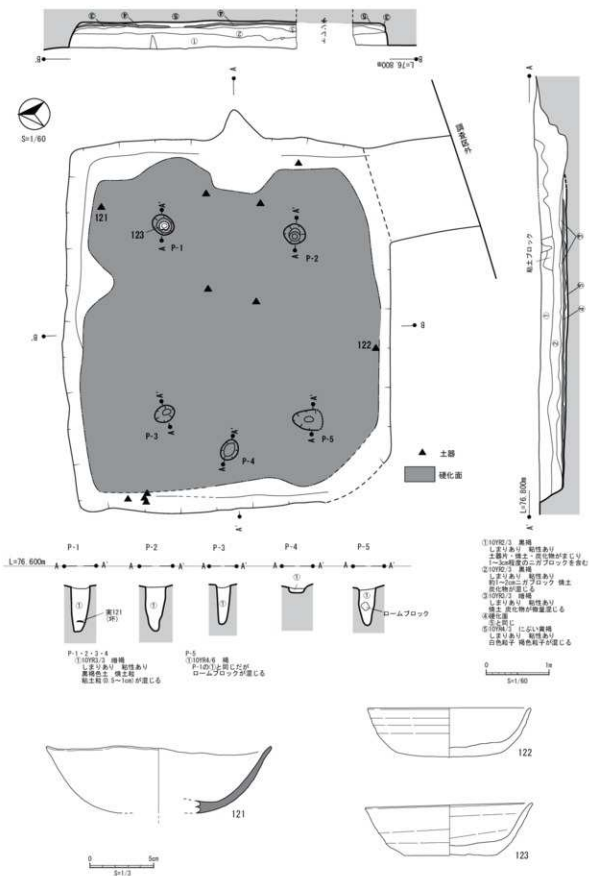


第 93 図 桑鶴遺跡遺跡群 III区 SH-11窟実測図及び出土遺物実測図

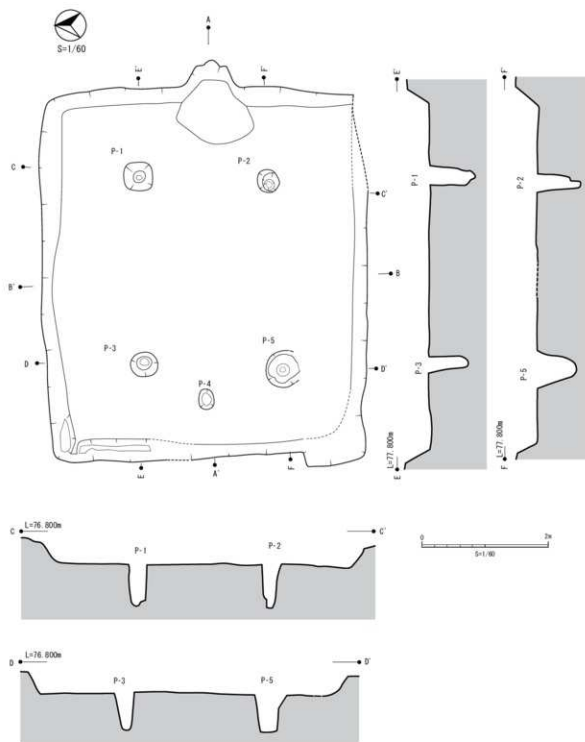
- 8-5
- ①10FR4 構
粘性あり、しまりあり
焼土・粘土・灰土を多く含む
 - ②10FR6 構
粘性あり、しまりあり
炭化物を形成する
 - ③10FR7 構
粘性あり、しまりあり
粘土・焼土を多く含む
 - ④10FR8 構
粘性あり、しまりあり
粘土を多く含む
炭化物粘土
 - ⑤10FR2 溝
粘性なし、しまりなし
焼土・灰土を多く含む
 - ⑥10FR6 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ⑦10FR4 溝
粘性なし、しまりなし
焼土・灰土を多く含む
 - ⑧10FR3 溝
粘性なし、しまりなし
焼土・灰土を多く含む
 - ⑨10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ⑩10FR5 溝
粘性なし、しまりなし
焼土・灰土を多く含む
 - ⑪10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ⑫10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ⑬10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ⑭10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ⑮10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ⑯10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ⑰10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ⑱10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ⑲10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ⑳10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉑10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉒10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉓10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉔10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉕10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉖10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉗10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉘10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉙10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉚10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉛10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉜10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉝10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉞10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㉟10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊱10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊲10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊳10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊴10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊵10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊶10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊷10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊸10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊹10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊺10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊻10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊼10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊽10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊾10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む
 - ㊿10FR4 溝
粘性あり、しまりあり
焼土・灰土を多く含む



第 94 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-11竈粘土範囲及び出土遺物実測図

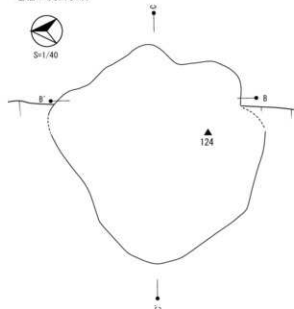


第 95 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-12使用時完掘・Pit検出状況及び出土遺物実測図

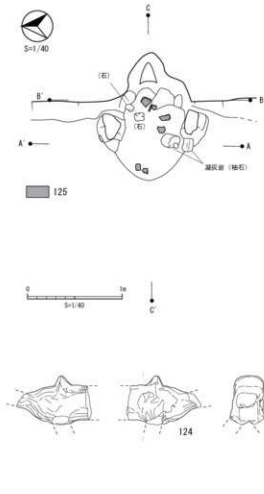


第 96 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-12完掘状況

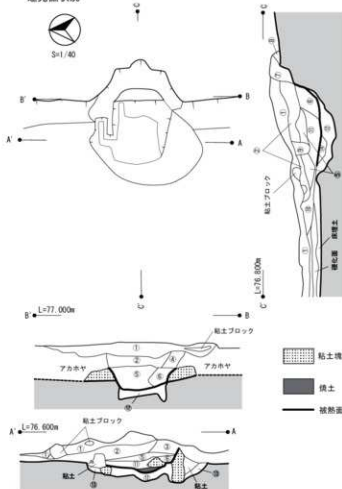
竈粘土流出状況



竈遺物出土状況

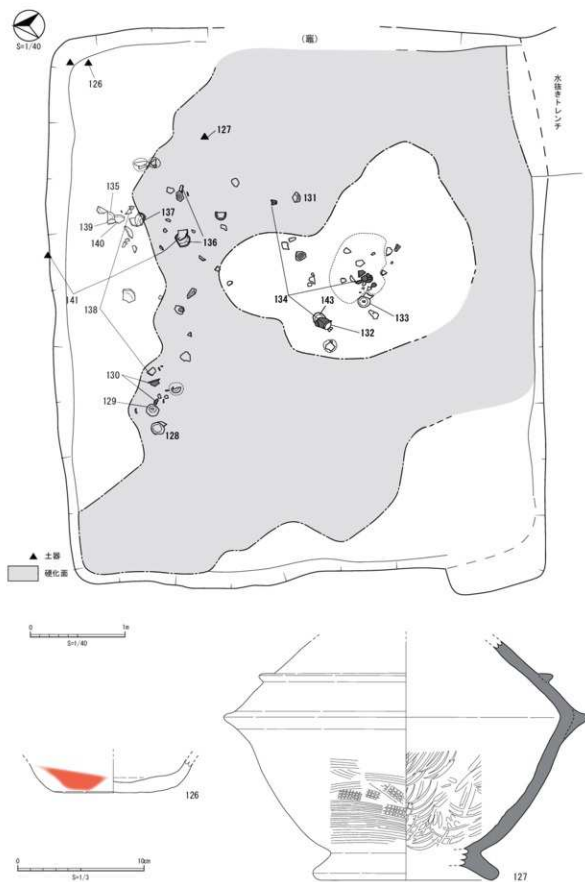


竈完掘状況

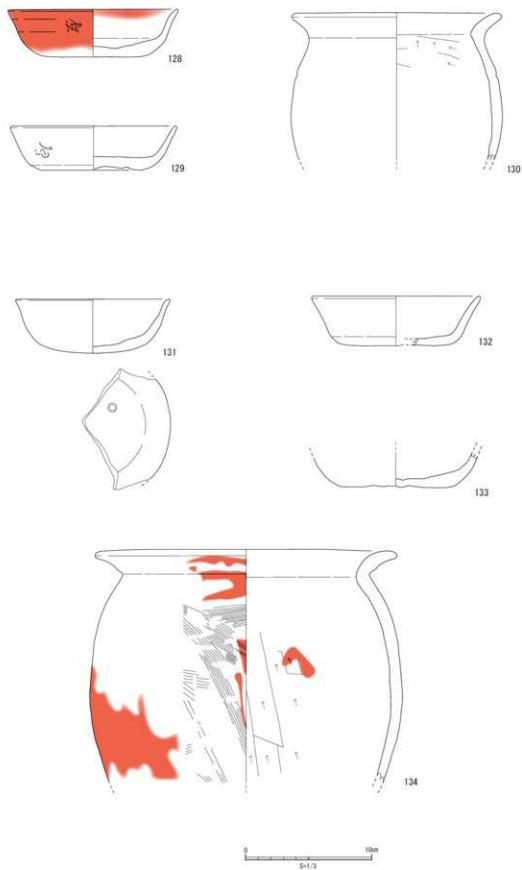


- ①10982-3 竈焼
しまりあり 粘性あり
層50cm以下 粘土 炭化物粒子を含む
また、黒鉛土ブロックが混じる
- ②10984-4 竈
しまりあり 粘性あり
黒鉛土がペースでまじり土が混じる
- ③10984-3 土
しまりあり 粘性あり
炭化物 50cm以下の層
黒鉛土の少量を含む
- ④10982-3 竈焼
しまりあり 粘性あり
黒鉛土ブロック 粘土を含む
- ⑤10982-2 竈焼
しまりなし 粘性あり
炭化物粒子を含む
- ⑥10984-5 竈
しまりなし 粘性あり 粘土
約10cmの層 粘土
層粘土がペース
しまりあり 粘性あり
層粘土がペース
また、3の土が少量混じる
- ⑦10983-4 竈焼
しまりあり 粘性あり
自然粒子が層粘土に混じる
- ⑧10984-4 竈
しまりあり 粘性あり
約10cm程度の層
①のようなくまびらき
最の層だったものが壊れた
- ⑨10984-6 竈
しまりあり 粘性あり
約10cm程度の層(粘土)
粘土 炭化物を層粘土に含む
炭化物が混じる
- ⑩10984-7 反履焼
しまりなし 粘性あり
粘土ブロック
炭化物が混じる
- ⑪10982-3 竈焼
しまりあり 粘性あり
炭化物 自然粒子が混じる
黒鉛石 10cm以下を交えた土

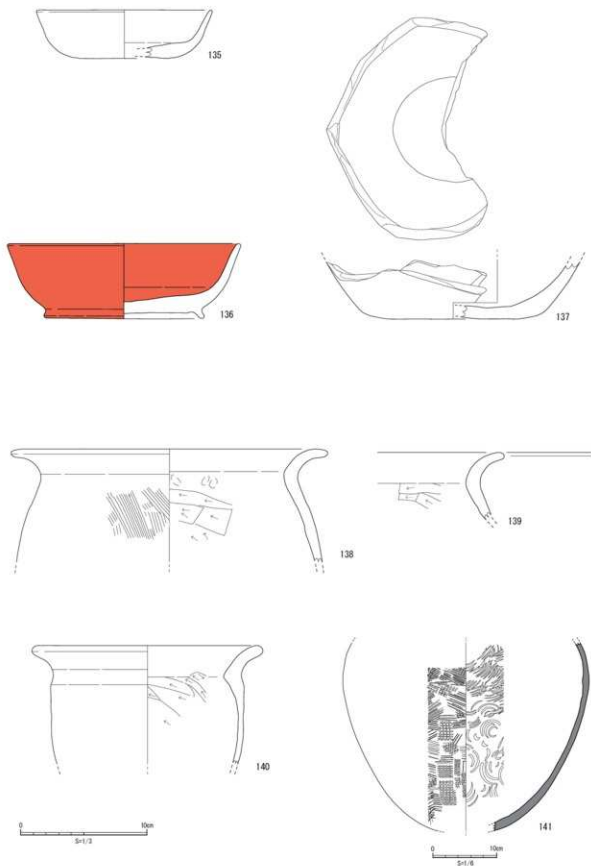
第 97 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-12竈実測図及び出土遺物実測図



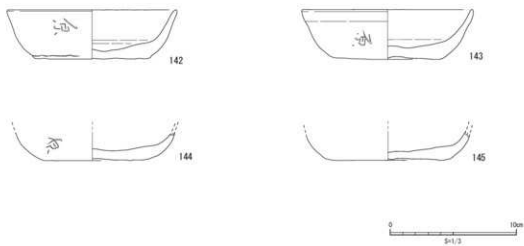
第 98 図 桑鶴遺跡群 III区
 SH-12硬化面検出・土器密集区遺物出土状況及び出土遺物実測図



第 99 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-12土器密集区出土遺物実測図 1



第 100 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-12土器密集区出土遺物実測図 2

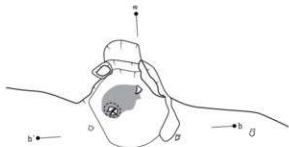


第 101 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-12出土遺物実測図

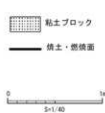
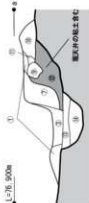
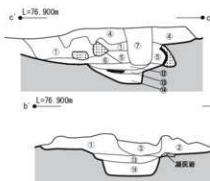
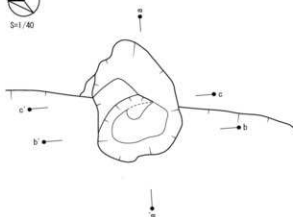


夏休み体験発掘

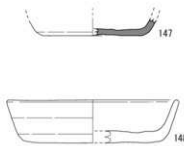
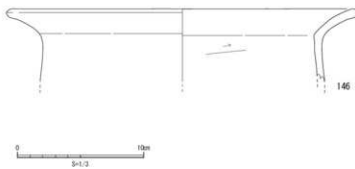
竈使用時状況



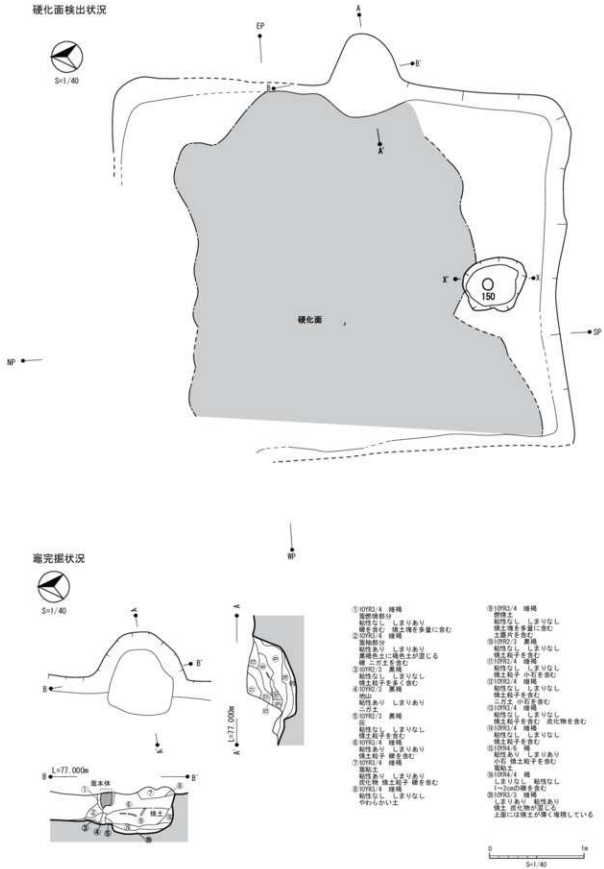
竈完備状況



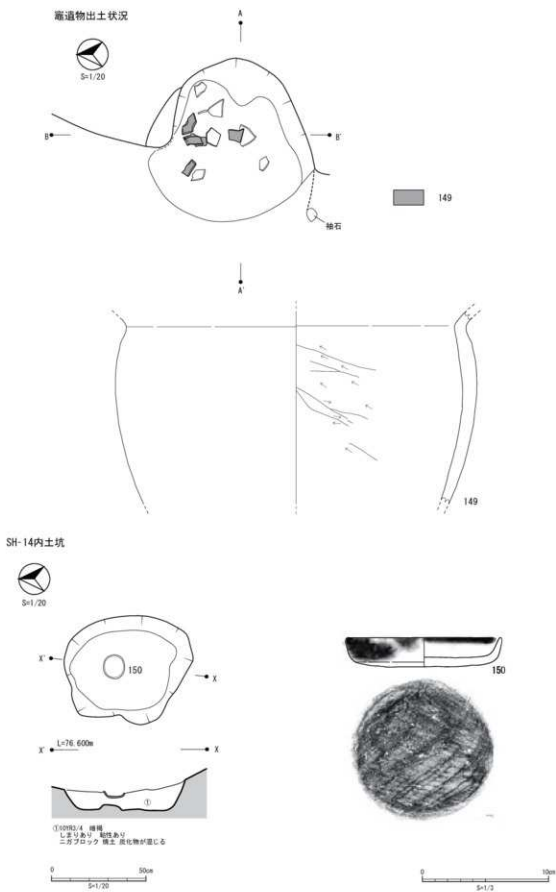
- ①10194.4 焼
しまりあり 黏性あり
約10mの線 炭化物 焼土が混じる
窯土がペース
10192.4 焼燻
- ②10192.4 焼燻
しまりあり 黏性あり
窯土のブロック 焼土
炭化物が混じる
- ③10192.3 焼燻
しまりなし 黏性あり
焼約10mの白色粘土 焼土が微量に混じる
- ④10192.3 焼燻
しまりあり 黏性あり
約10mの窯粘土 焼土 炭化物が混じる
- ⑤10194.3 に近い焼燻
しまりあり 黏性あり
炭化物 焼土が微量に混じる
- ⑥10194.3 炭燻燻
しまりあり 黏性あり
焼土 炭化物 窯土の粘土が混じる
- ⑦10192.4 焼燻
しまりあり 黏性あり
焼約10mの白色粘土 10mの線が微量に混じる
- ⑧粘土ブロック
- ⑨10194.6 焼
しまりあり 黏性あり
炭灰燻燻(1~2cm) 白色粘土(0~2cm)
- ⑩10192.3 焼燻
しまりあり 黏性あり
窯土のペースで①が混じる
- ⑪10192.6 炭燻燻
しまりあり 黏性あり
窯土のペースで①が混じる
- ⑫10194.3 に近い焼燻
しまりあり 黏性あり
焼土 窯土 1~2cmの線を含む
- ⑬10192.3 焼燻
しまりあり 黏性あり
白色粘土 約10mの線が微量に混じる
- ⑭10192.4 焼燻
しまりあり 黏性あり
白色粘土 焼土 炭化物を含む
また、一方土が混じる



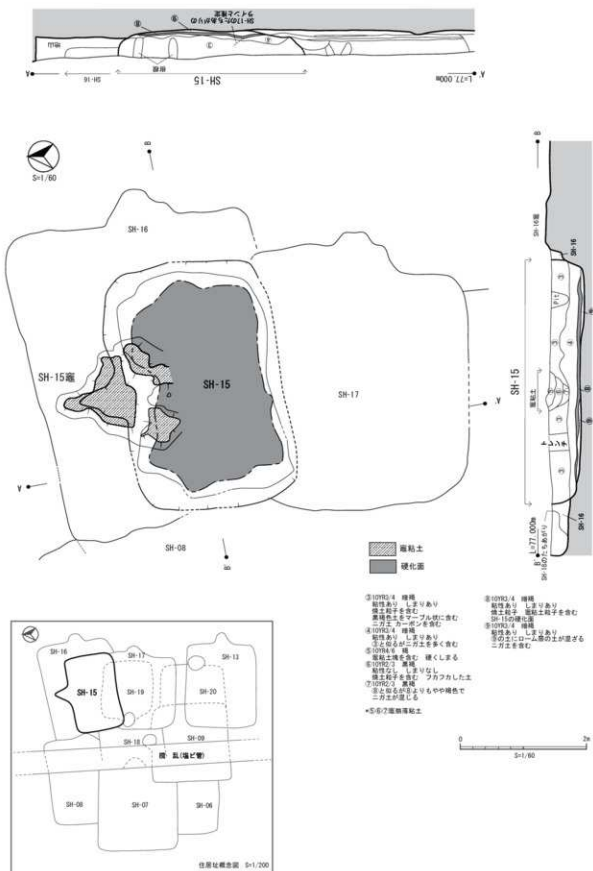
第 103 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-13竈実測図及び出土遺物実測図



第 104 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-14硬化面検出及び高脚実測図

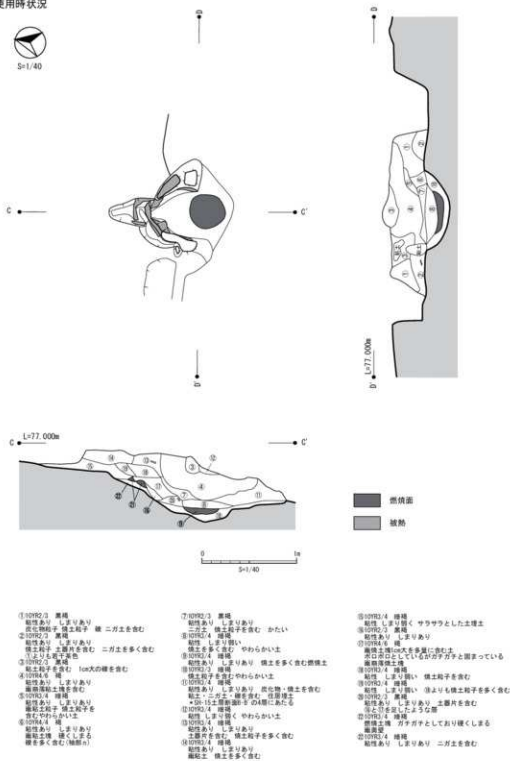


第 105 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-14竈・土坑遺物出土状況及び出土遺物実測図

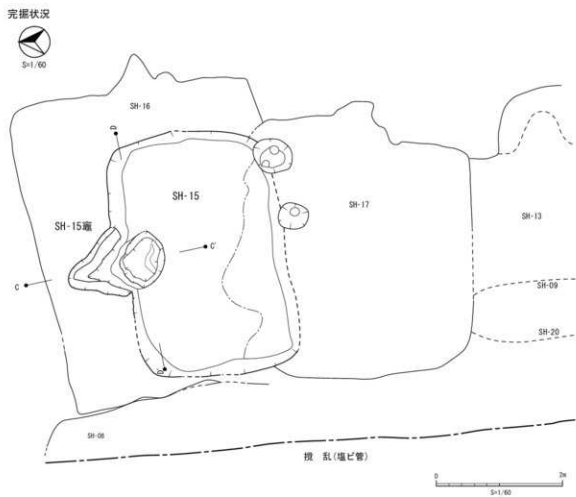


第 106 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-15実測図

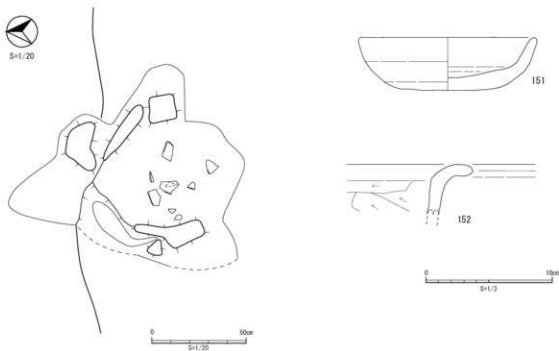
竈使用時状況



第 107 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-15竈実測図

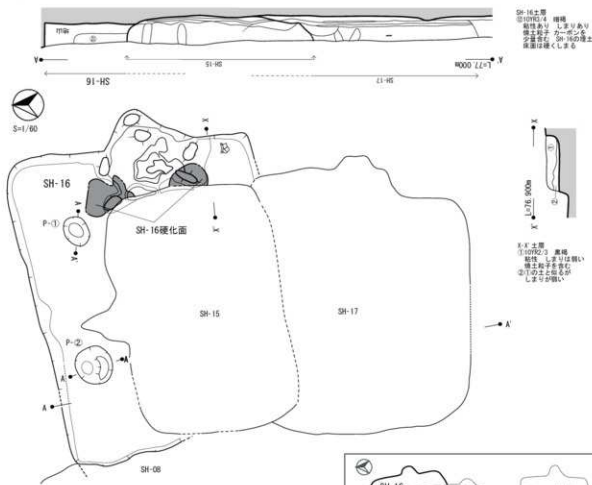


竈遺物出土状況

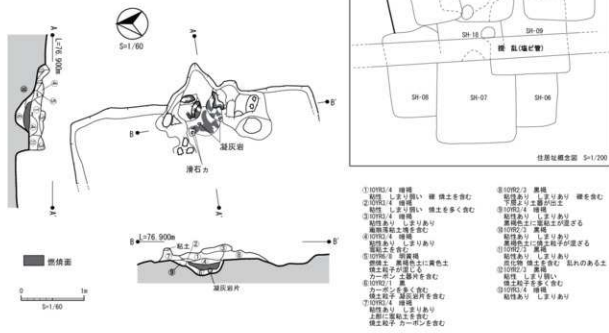


第 108 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-15完掘・竈遺物出土状況及び出土遺物実測図

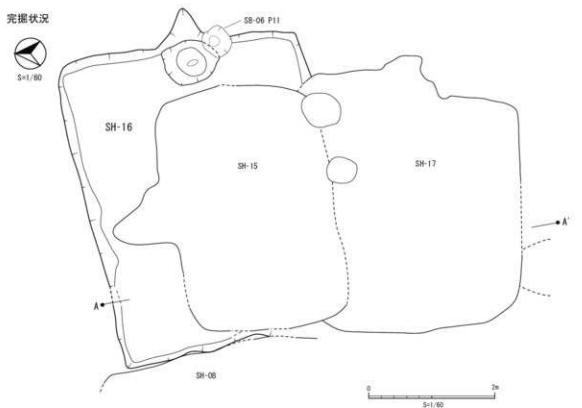
竈検出状況



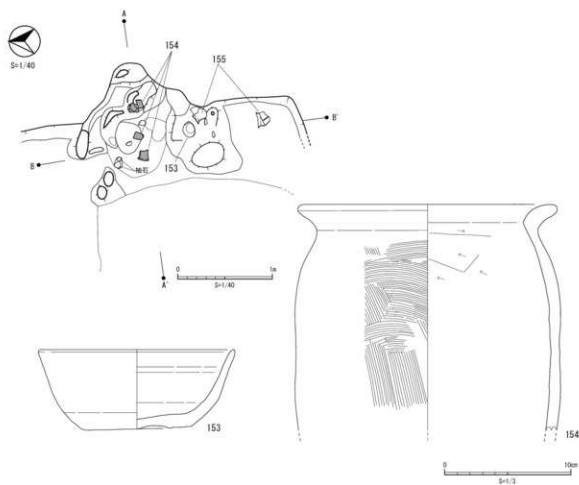
竈使用時状況



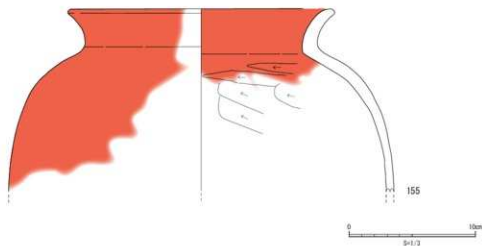
第 109 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-16竈検出・使用時状況



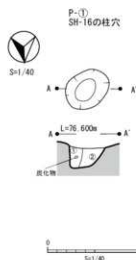
遺物出土状況



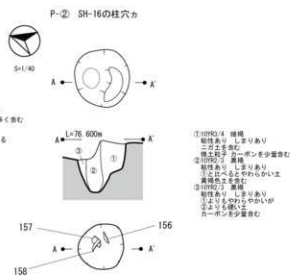
第 110 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-16完掘・竈遺物出土状況及び出土遺物実測図



P-①・②

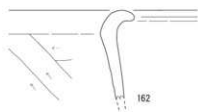
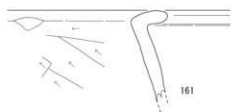
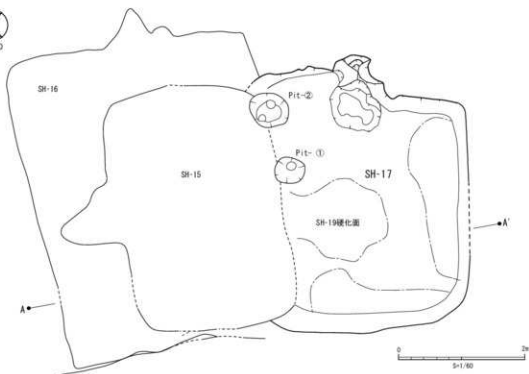


- ①10992/2 炭焼
船柱 しまりは強い
炭化物 (100%) を多く含む
ヤブツカイ土
- ②10992/3 炭焼
①よりもしまりがある
二方土を含む
炭化物を含む

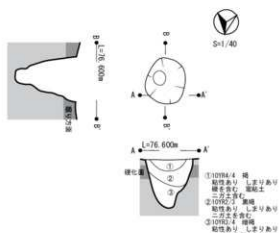


第 111 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-16 P-①・②実測図及び出土遺物実測図

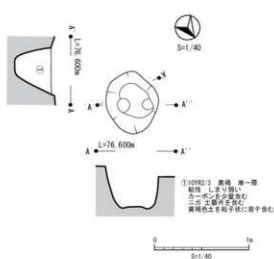
完掘状況



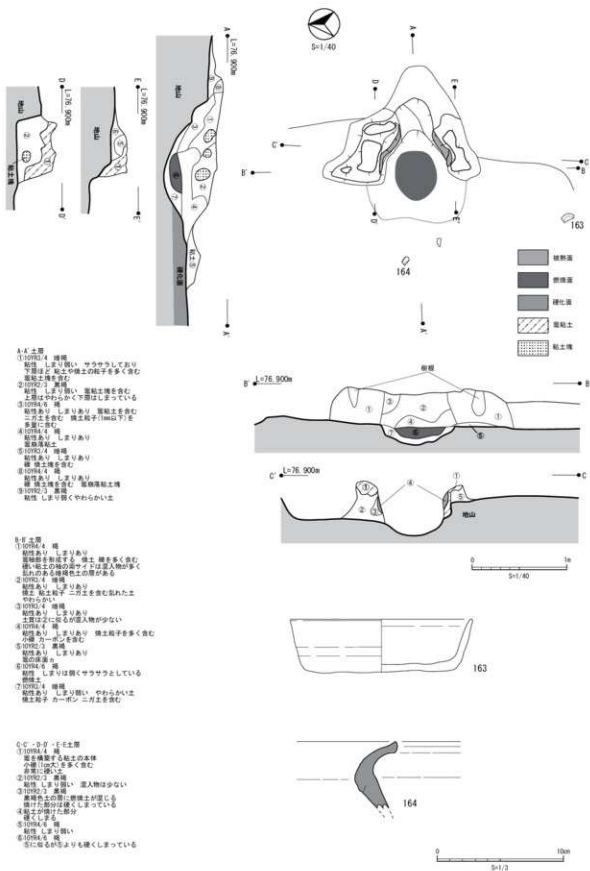
Pit-①



Pit-②

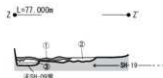
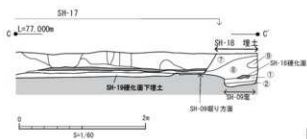
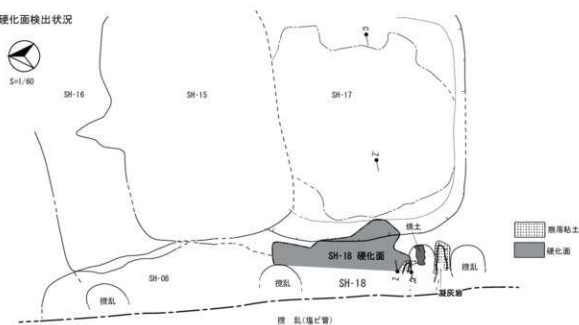


第 113 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-17完掘状況・Pit-①・②実測図及び出土遺物実測図



第 114 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-17窟実測図及び出土遺物実測図

硬化面検出状況



5-C土層

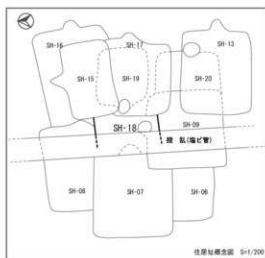
- ① 10R2/4 雑草
粘付、しまり強い
二方土を少しのみに含む
粘土粒子、自然粒子を含む
- ② 10R2/3 雑草
粘付あり、しまりあり
粘土粒子、カーボン、粘土、小礫を含む
浮入物が多く認められる
- ③ 10R2/2 雑草
粘土粒子が非常に多く粘土がある
二方土ブロック

SH-09層

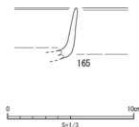
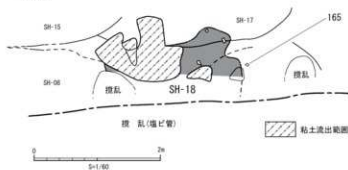
- ① 10R2/4 雑草
粘土粒子、カーボンを多く含む
小礫を含む、道なりに多い
- ② ①よりも道なりに少ない

2-C土層

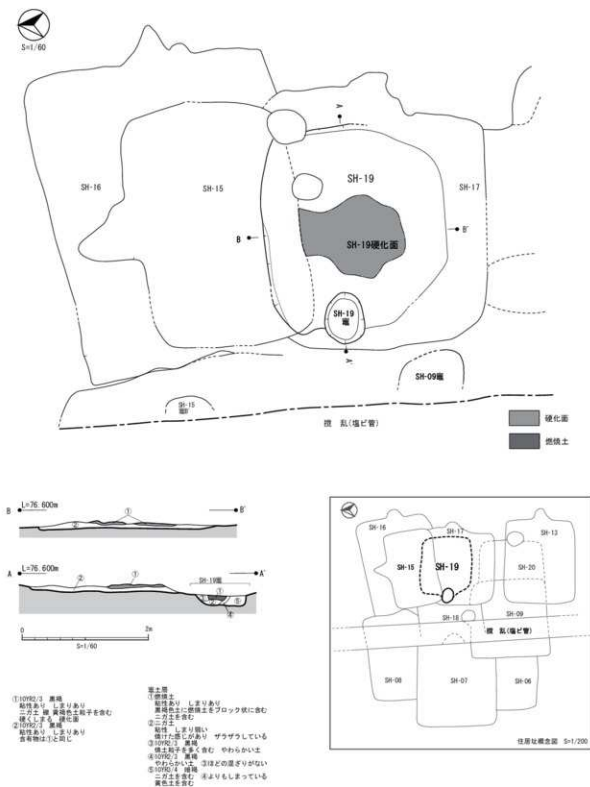
- ① 10R2/4 雑草
硬化面、粘付はないが硬くしめる
粘土、カーボン、小礫、二方土を含む
- ② 10R2/4 雑草
粘付、しまり強い
粘土、粘土、カーボン、粘土
- ③ 10R2/4 雑草
粘土、粘土、粘土、粘土
カーボンを多く含む
小礫を含む、道なりに多い
- ④ 10R2/3 雑草
粘付、しまり強い
二方土を含む



粘土流出状況

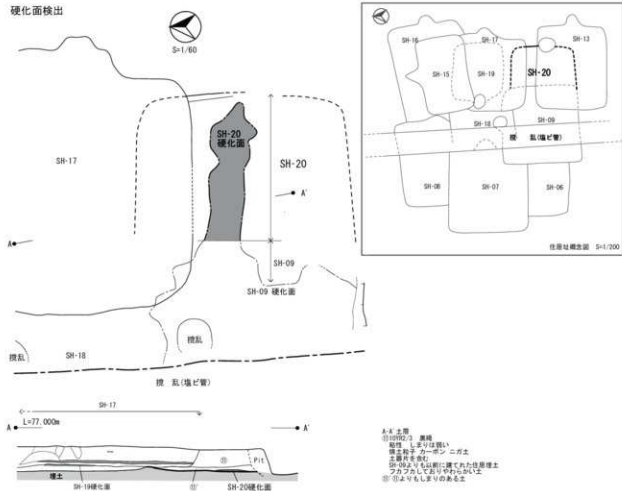


第 115 図 桑鶴遺跡跡 Ⅲ区 SH-18検出・粘土流出状況及び出土遺物実測図

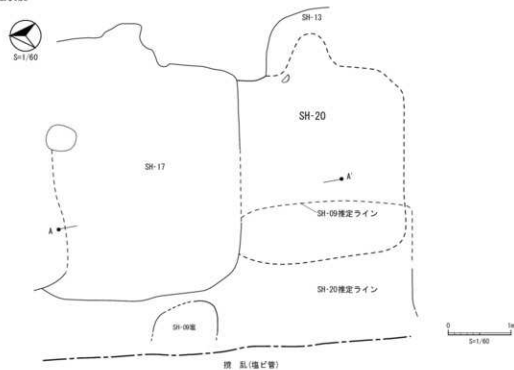


第 116 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-19完掘状況

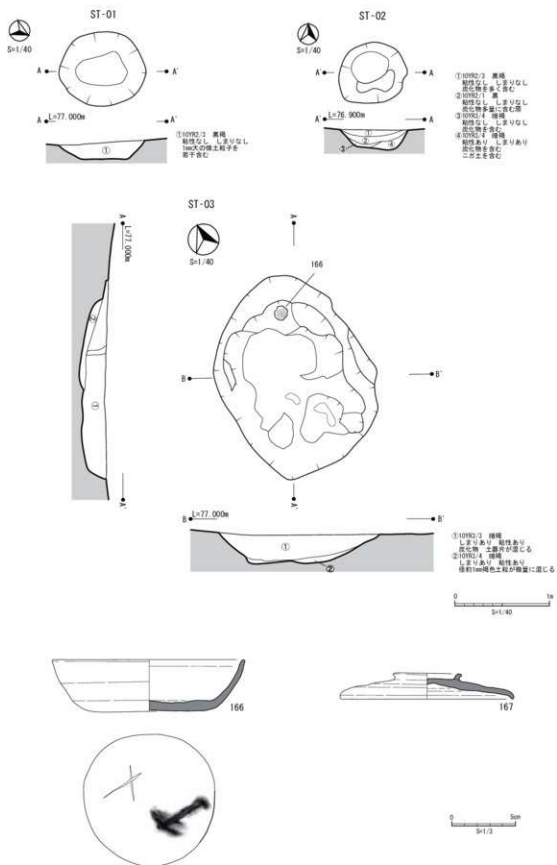
硬化面検出



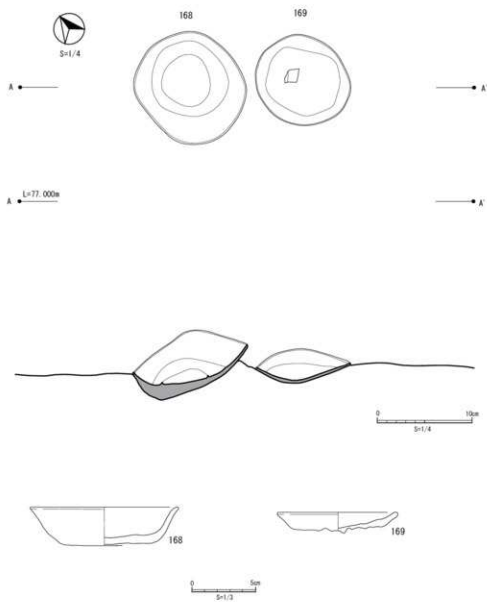
完掘状況



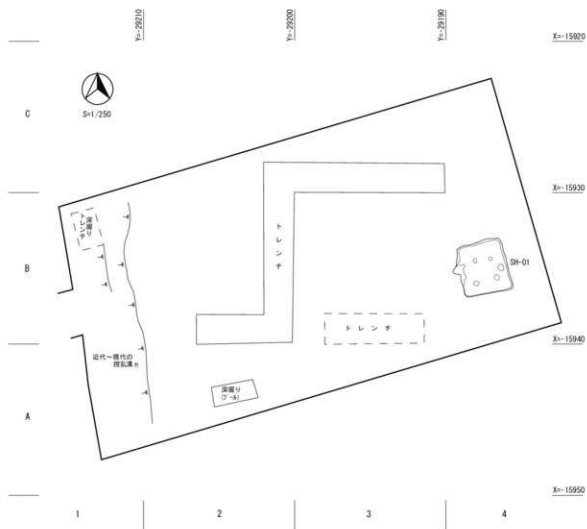
第 117 図 桑鶴遺跡群 III区 SH-20硬化面検出・完掘状況



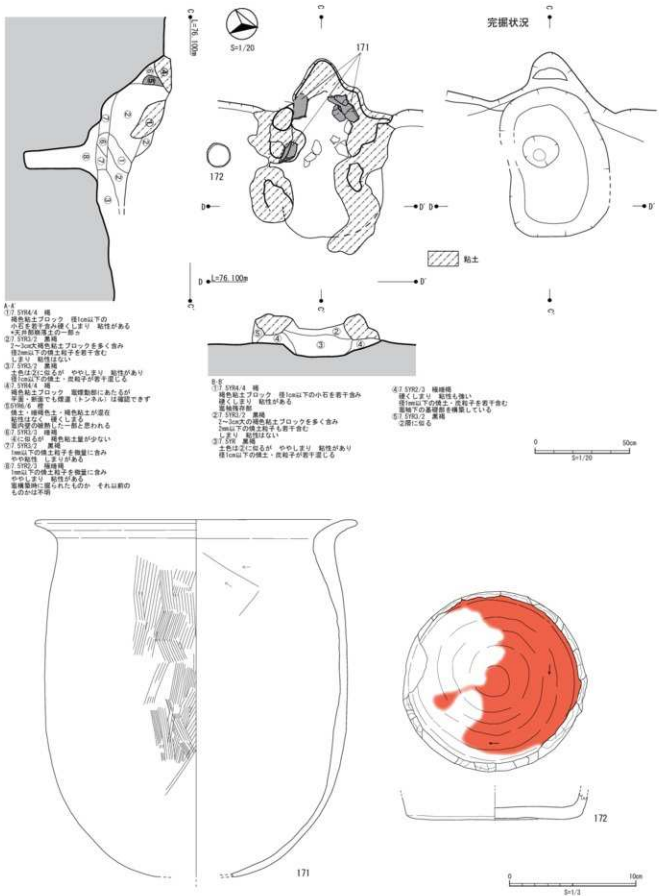
第 118 図 桑鶴遺跡群 VI区 ST-01~03実測図及び出土遺物実測図



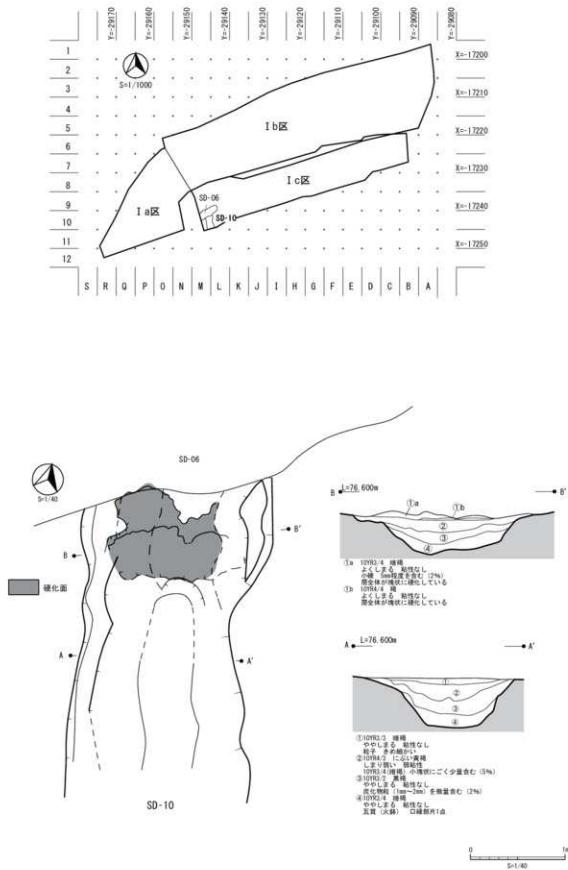
第 119 図 桑鶴遺跡群 VI区 土師器出土状況



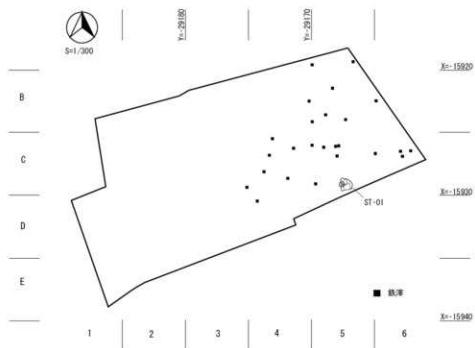
第 120 図 桑鶴遺跡群 IV区 遺構配置図



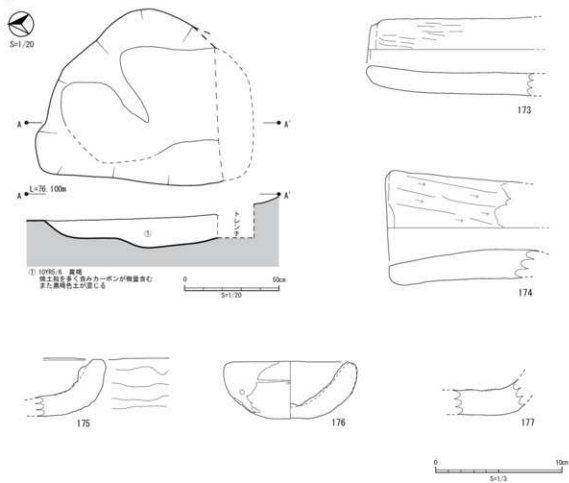
第 122 図 桑鶴遺跡群 IV区 SH-01竈実測図及び出土遺物実測図



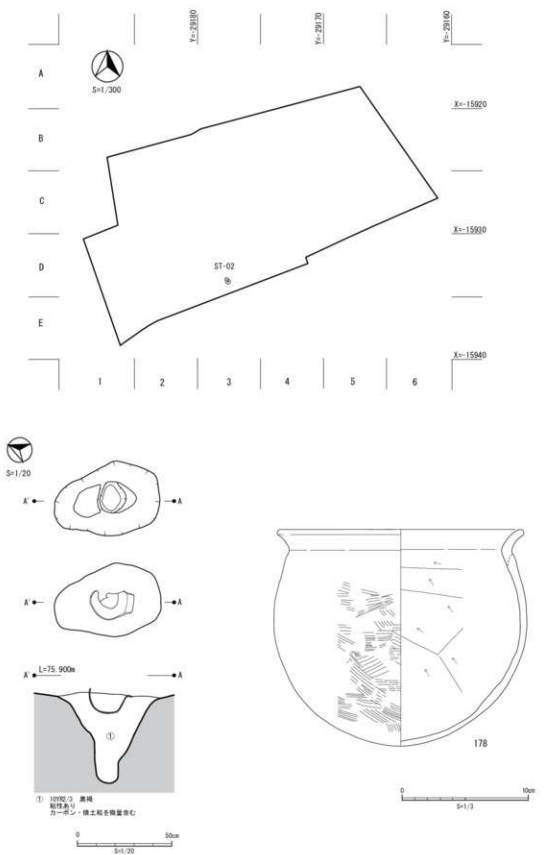
第 123 図 桑鶴遺跡群 06-I 区 遺構配置図及びSD-10実測図



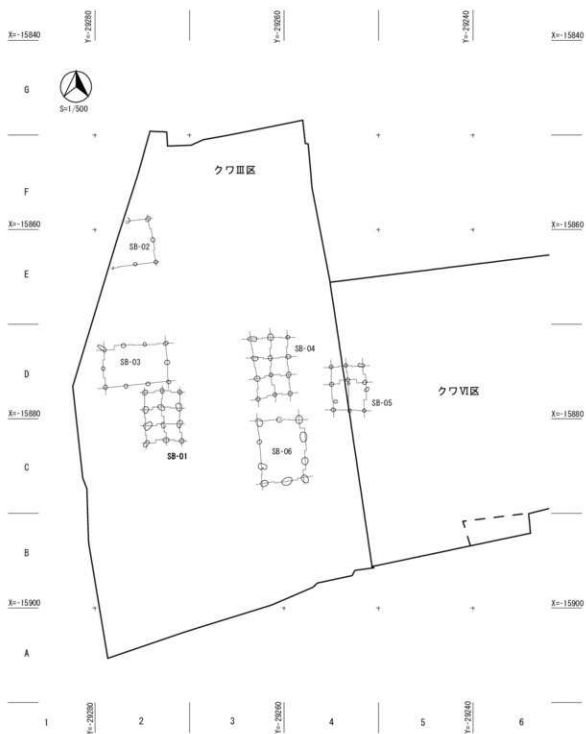
ST-01



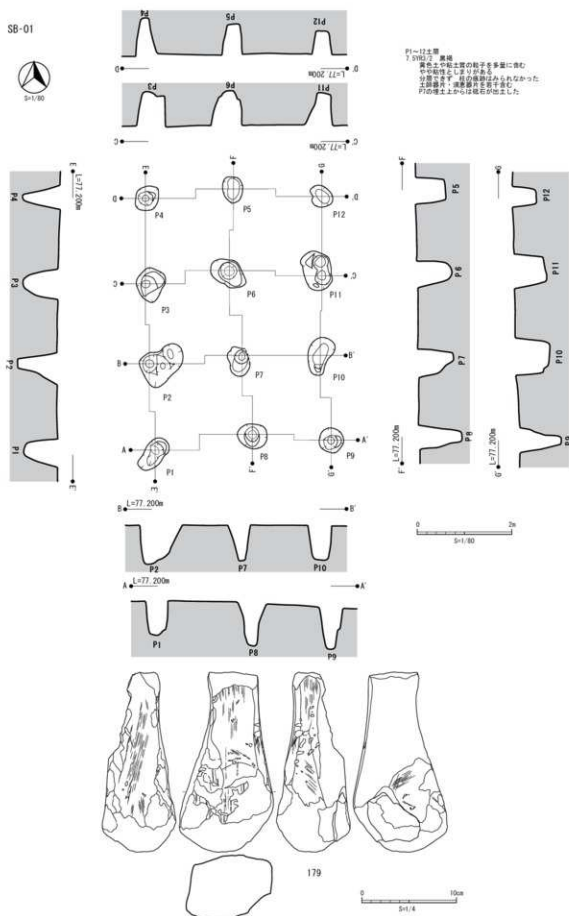
第 124 図 桑鶴遺跡群 V 区 IIIa層 遺構配置図・鉄滓出土状況・ST-01実測図及び出土遺物実測図



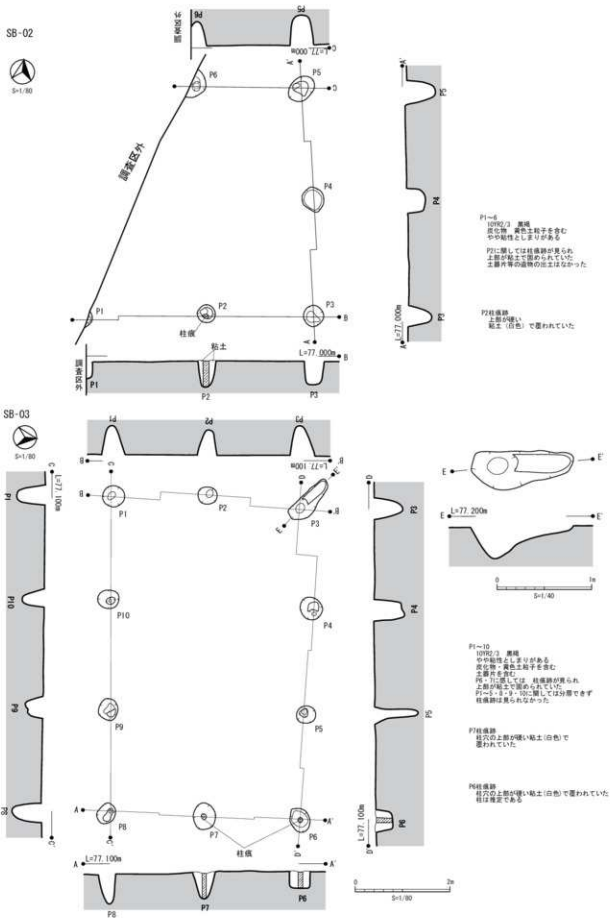
第 125 図 桑鶴遺跡群 V 区 IIIb 層 遺構配置図・ST-02 実測図及び出土遺物実測図



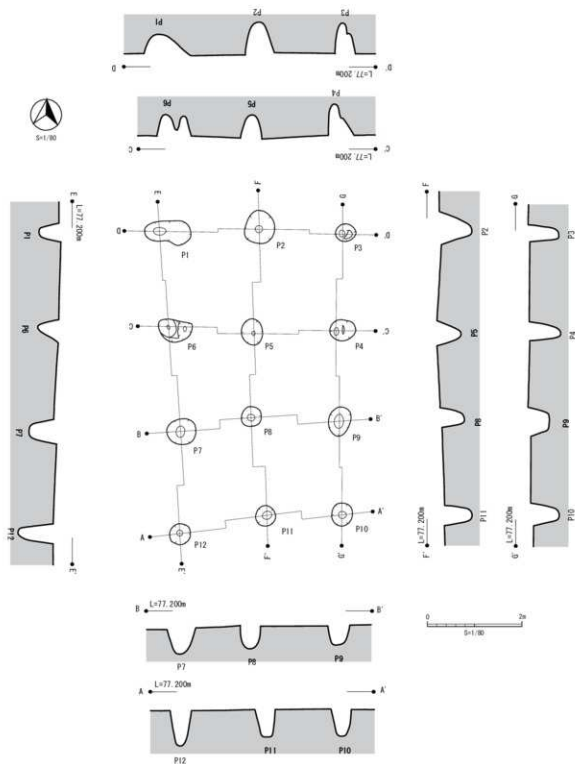
第 126 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 遺構配置図



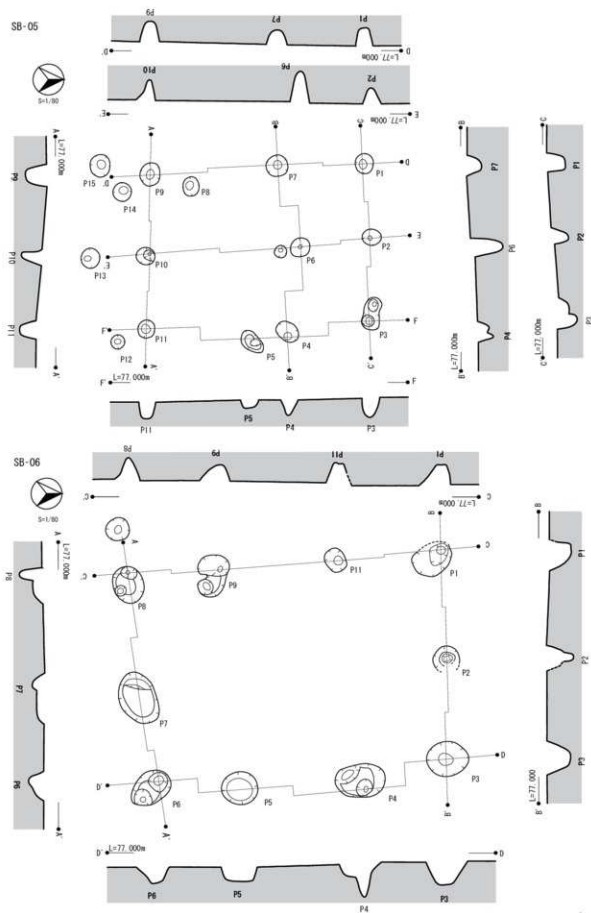
第 127 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SB-01実測図及び出土物実測図



第 128 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SB-02・03実測図

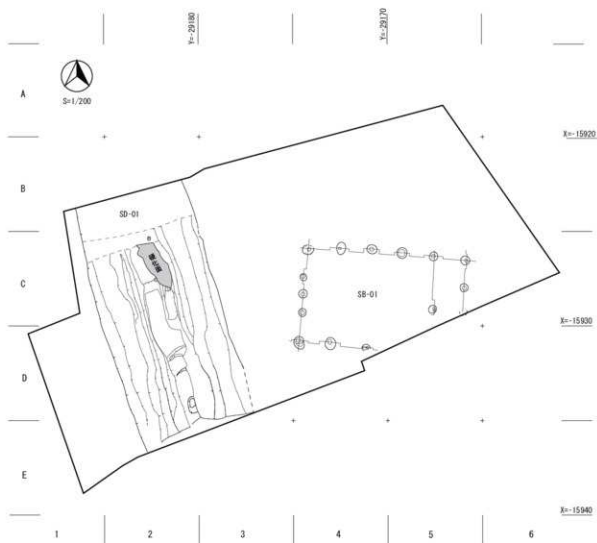


第 129 図 桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SB-04実測図

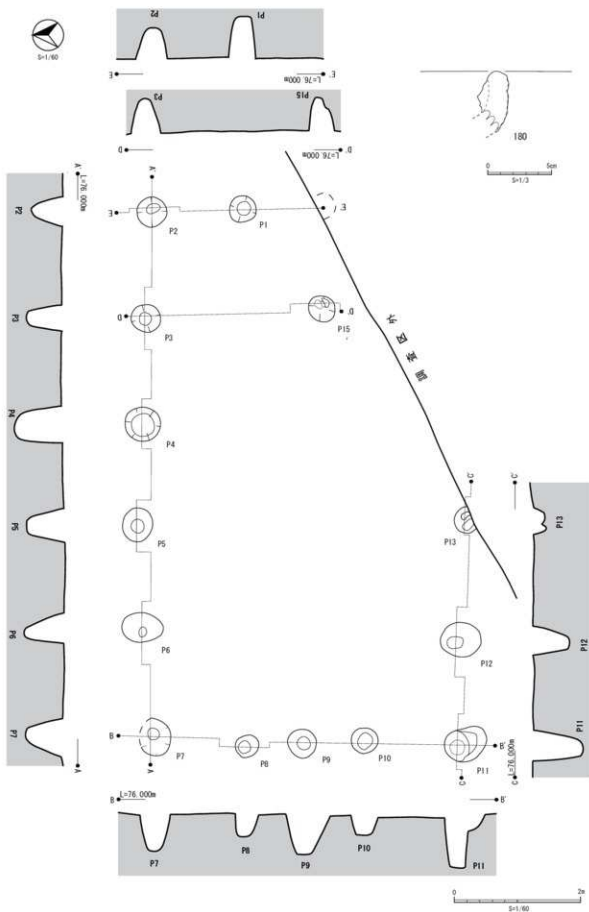


第 130 図 桑鶴遺跡群 III区 SB-05・06実測図

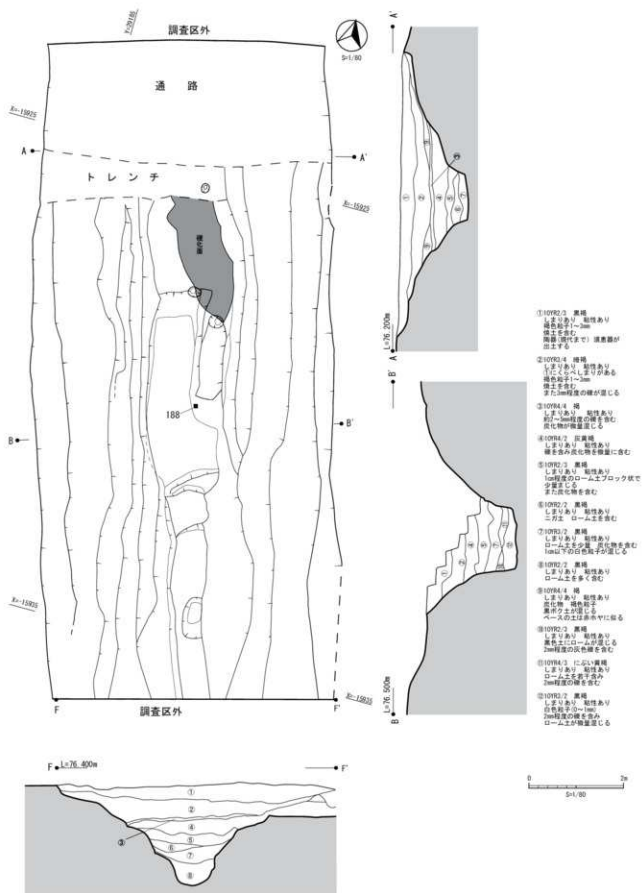
0 2m
S=1/30



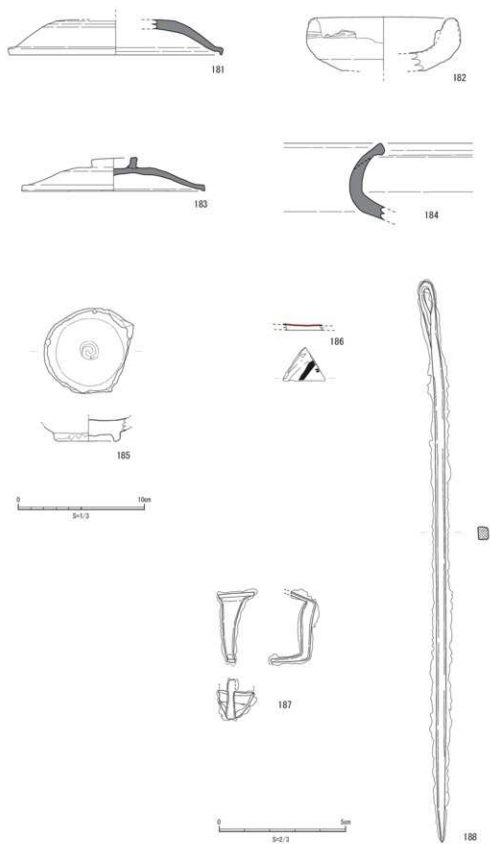
第 131 図 桑鶴遺跡群 V区 遺構配置図



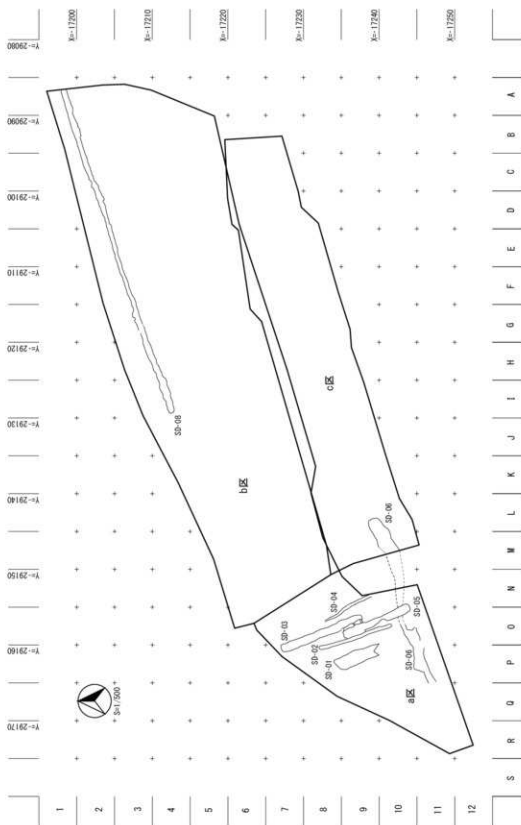
第 132 図 桑鶴遺跡群 V区 SB-01実測図及び出土遺物実測図



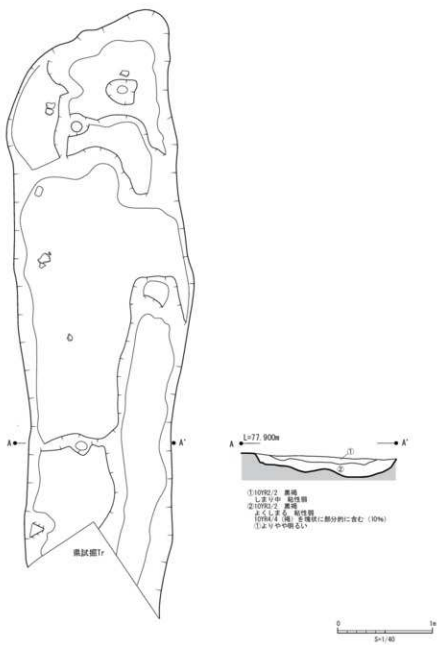
第 133 図 桑鶴遺跡群 V区 SD-01実測図



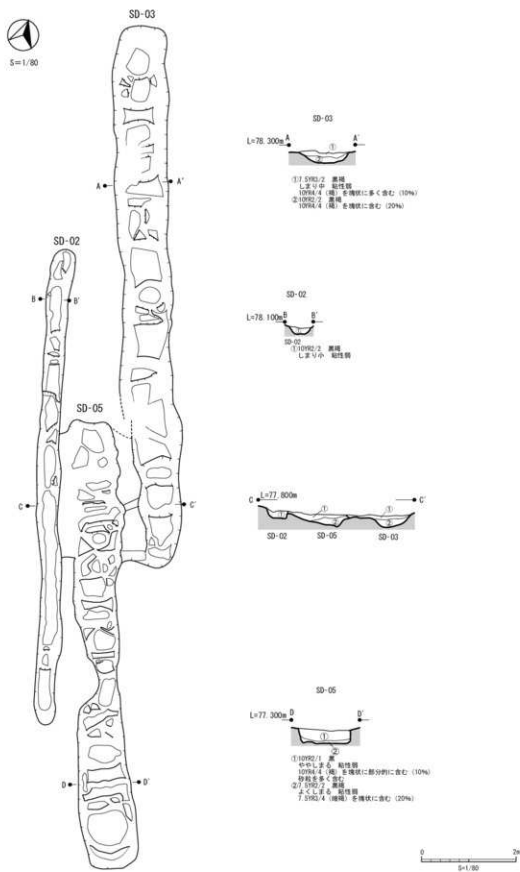
第 134 図 桑鶴遺跡群 V区 SD-01出土遺物実測図



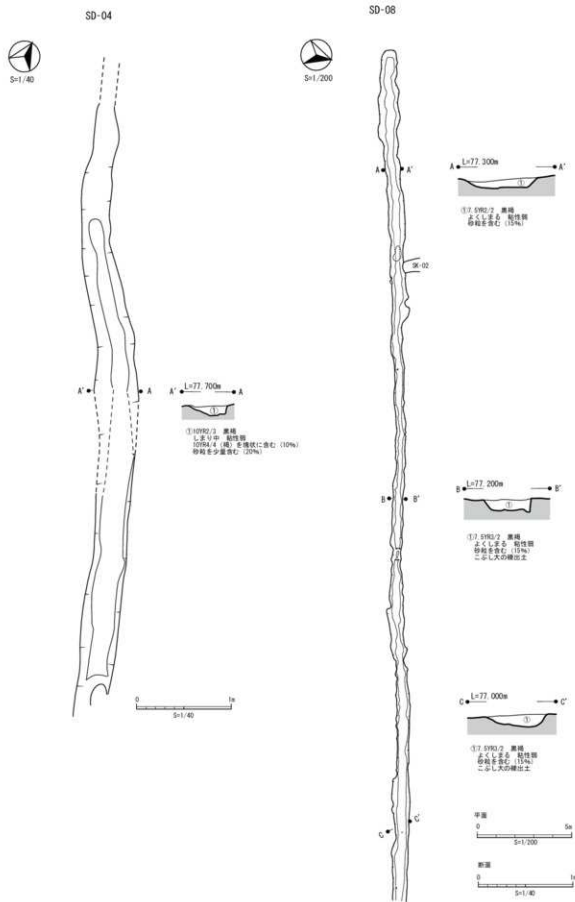
第135図 桑鶴遺跡群 06-I区 遺構配置図



第 136 図 桑鶴遺跡群 06- I 区 SD-01実測図

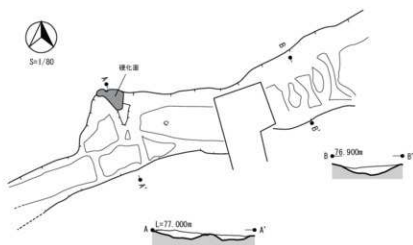


第 137 図 桑鶴遺跡群 06-I 区 SD-02・03・05実測図

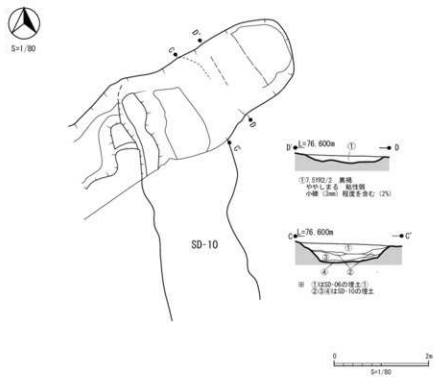


第 138 図 桑鶴遺跡群 06- I 区 SD-04・08実測図

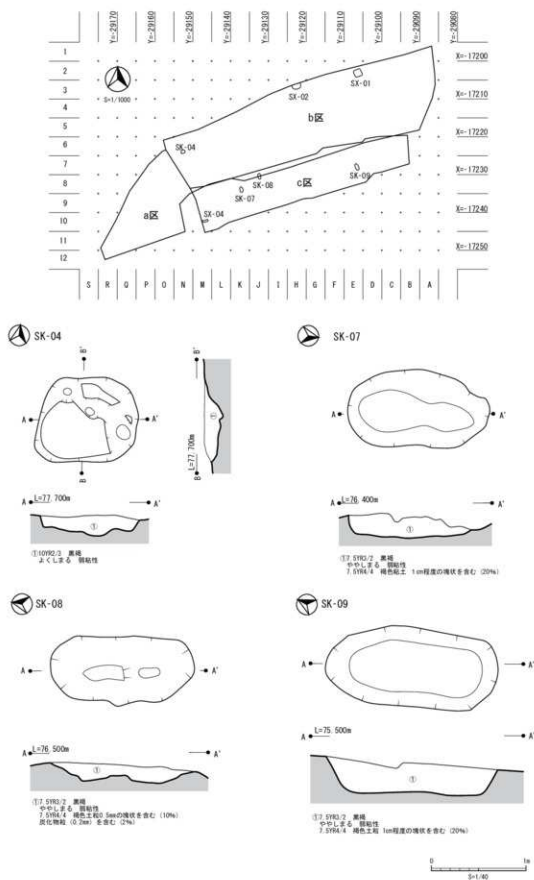
a区SD-06



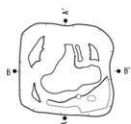
c区SD-06



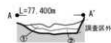
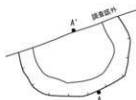
第 139 図 桑鶴遺跡群 06-I a区 SD-06実測図及び06-I c区 SD-06実測図



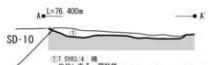
第 140 図 桑鶴遺跡群 06-I 区 遺構配置図及びSK-04・07～09実測図



- ① 50R2 2 層積
 ややしまる 弱粘性
 10R2 2 褐色土を塊状に含む (10%)
 ② 50R2 2 層積
 ややしまる 弱粘性
 ③ 50R2 1 層積
 ややしまる 弱粘性



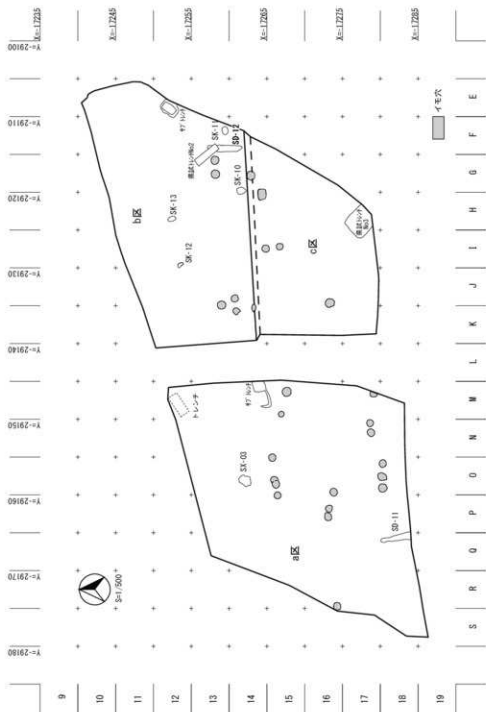
- ① 50R2 2 層積
 ややしまる 弱粘性
 10R2 4 褐色土を塊状に含む (10%)
 ② 50R2 2 層積
 ややしまる 弱粘性



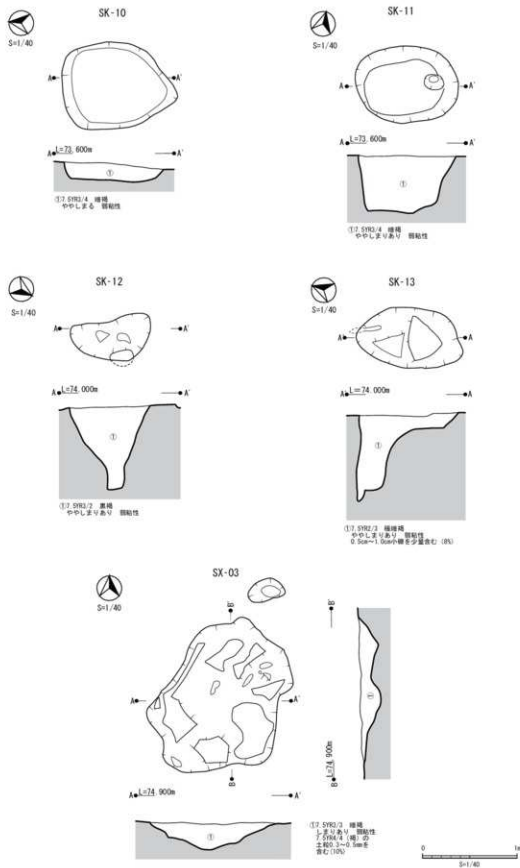
- ① 7 50R2 4 層
 ややしまる 弱粘性
 7 50R2 4 褐色土を塊状に含む (0.5mm-0.5mm) を含む (5%)
 褐色土を塊状に含む (1%)



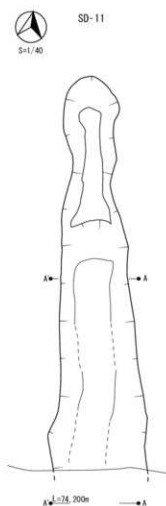
第 141 図 桑鶴遺跡群 06-I 区 SX-01・02・04実測図



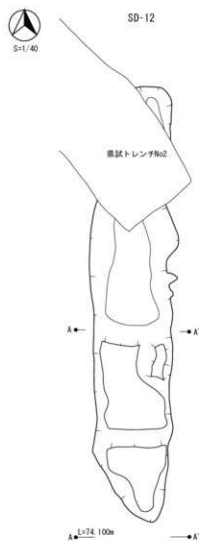
第 142 図 桑鶴遺跡群 06-II 区 遺構配置図



第 143 図 桑鶴遺跡群 06-II区 SK-10~13・SX-03実測図



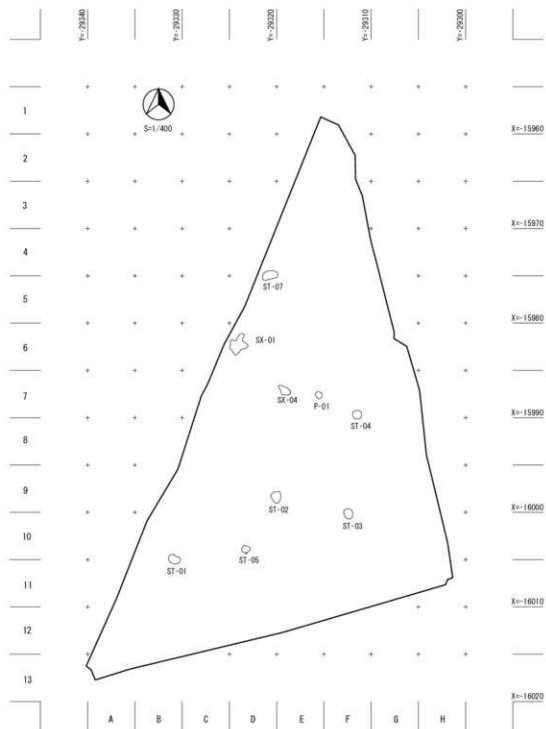
- ① 5192/2 基壇
中少しまる 弱粘性
小粒径2.0mm-2.0mmを少量含む (8%)
- ② 5192/2 基壇
中少しまる 弱粘性
7.5194/2 褐色土層 1.0cm-2.0cmの
腐植土を含む (15%)
小粒径2.0mm-5.0mmを少量含む (5%)



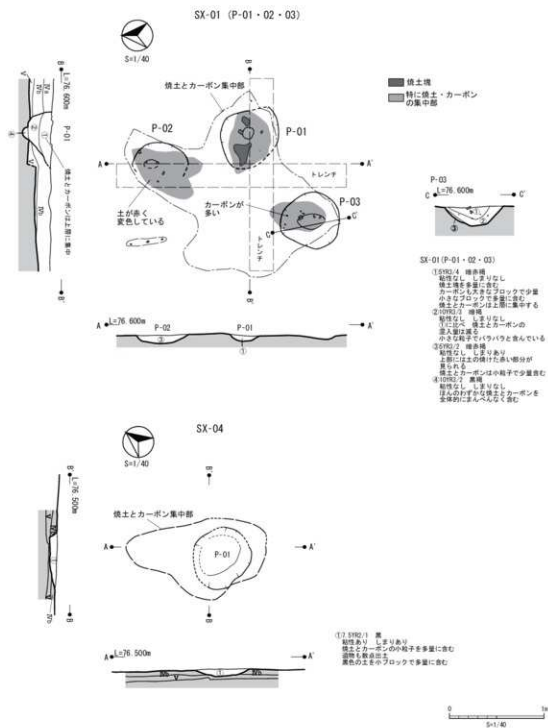
- ① 5192/2 基壇
よくしまる 弱粘性
小粒径 (1.0mm) を含む (3%)



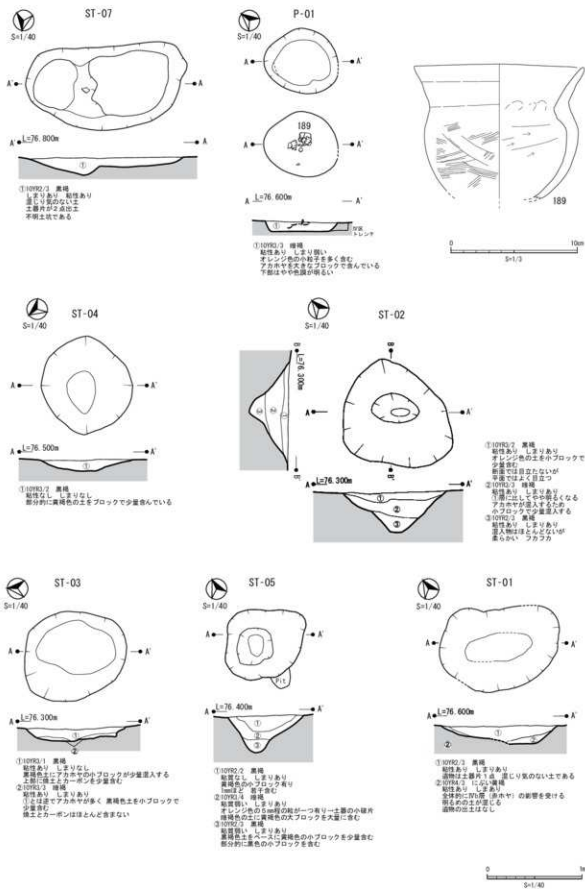
第 144 図 桑鶴遺跡群 06-II 区 SD-11・12実測図



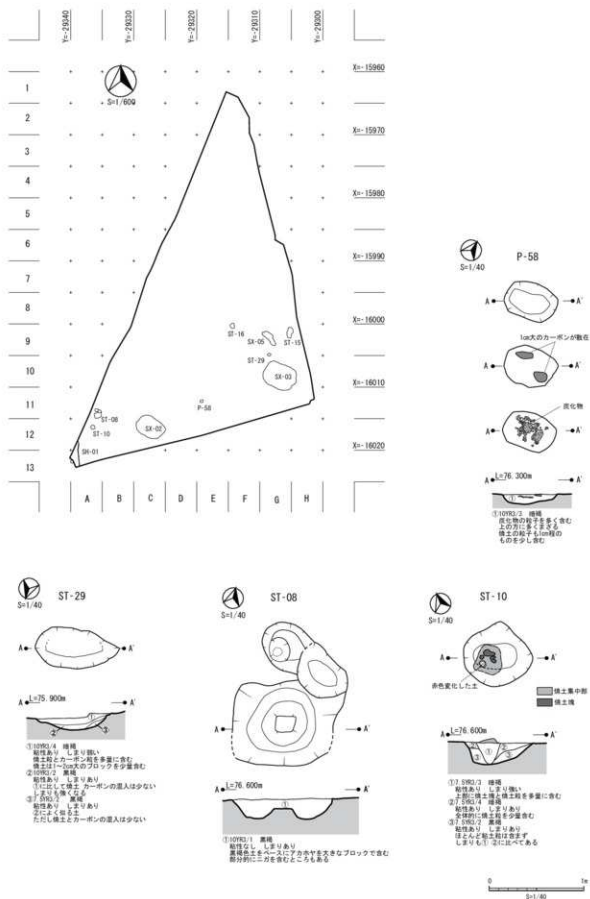
第 146 図 桑鶴遺跡群 Ⅶ区 IVa層遺構配置図



第 147 図 桑鶴遺跡群 VII区 SX-01(P-01・02・03)・SX-04実測図

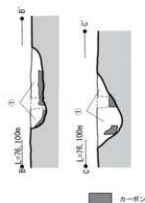
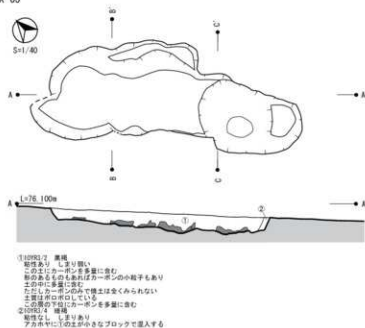


第 148 図 桑鶴遺跡群 VII区 ST-01~05・07・P-01実測図及び出土遺物実測図

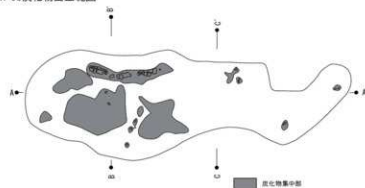


第 149 図 桑鶴遺跡群 Ⅷ区 IVb層 遺構配置及びST-08・10・29・P-58実測図

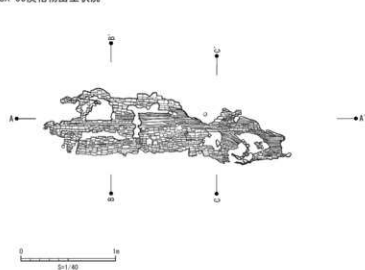
SX-05



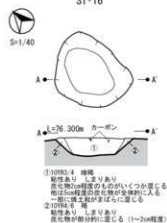
SX-05炭化物出土範囲



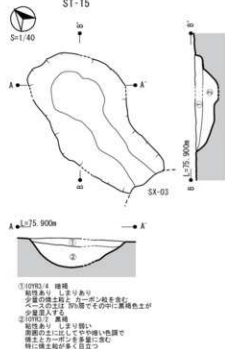
SX-05炭化物出土状況



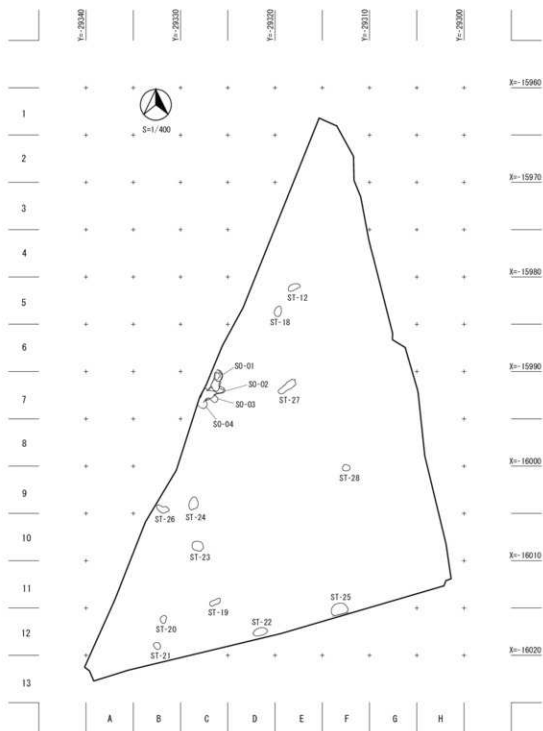
ST-16



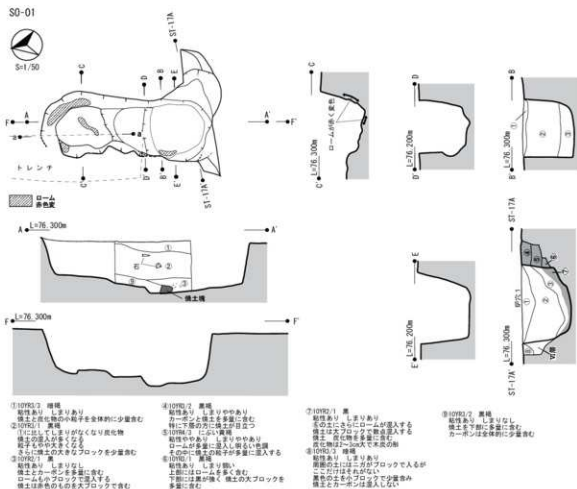
ST-15



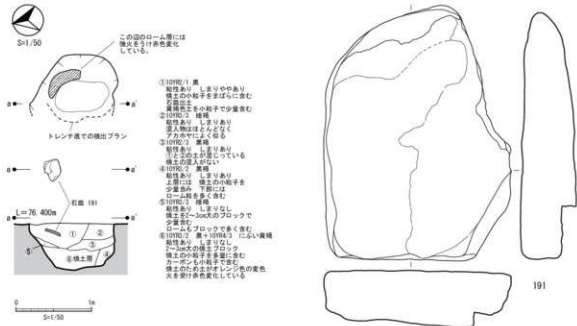
第151図 桑鶴遺跡群 Ⅷ区 SX-05・ST-15・16実測図



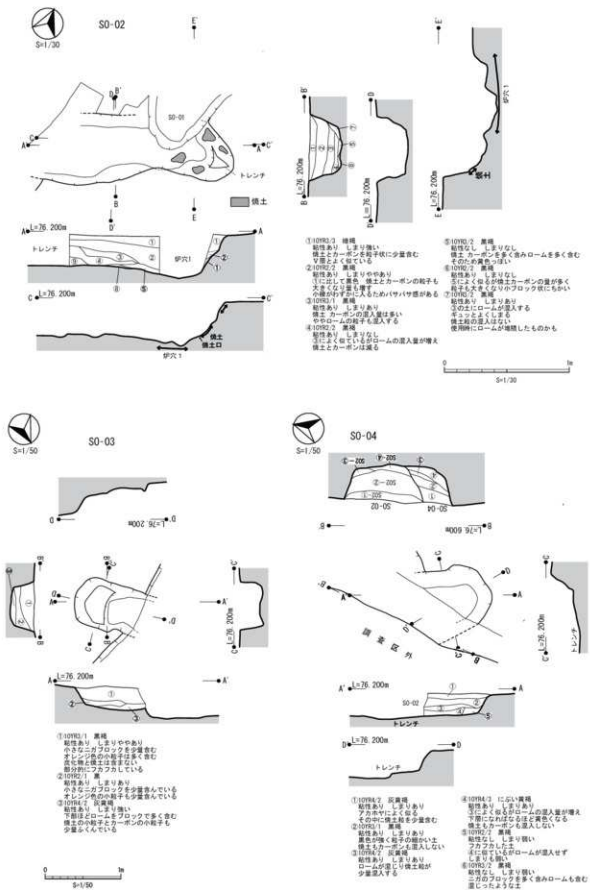
第 153 図 桑鶴遺跡群 VIII区 V層 遺構配置図



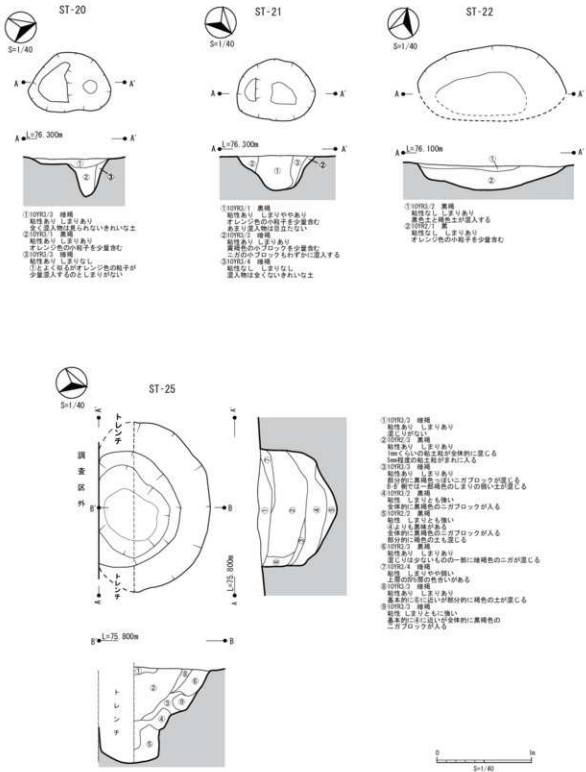
石皿出土状況



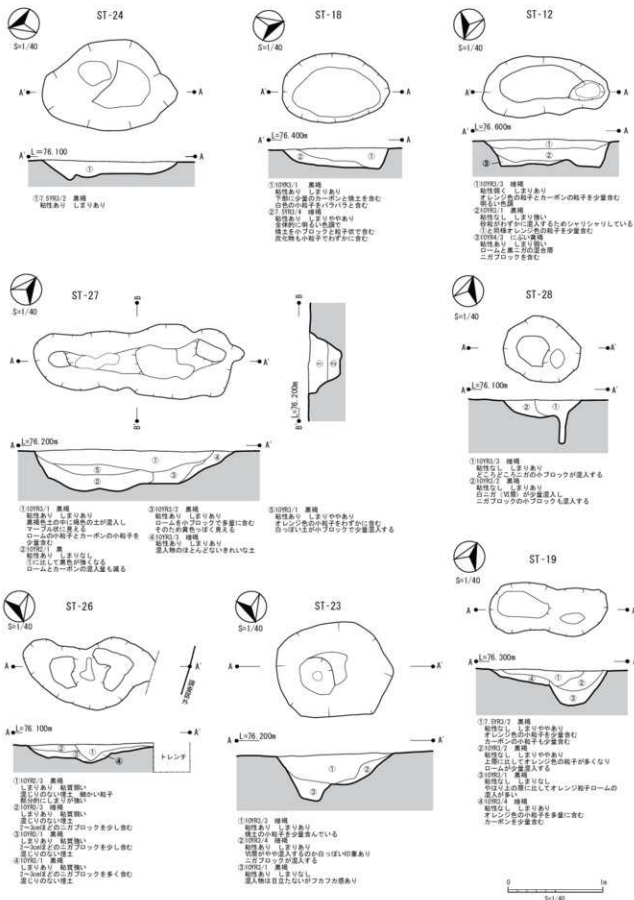
第 154 図 桑鶴遺跡群 VII区 S0-01実測図及び出土遺物実測図



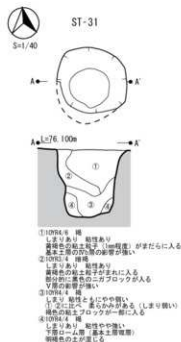
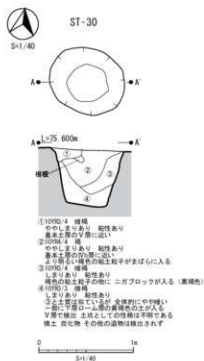
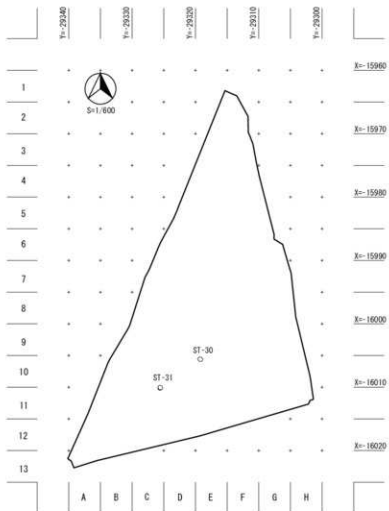
第 155 図 桑鶴遺跡群 Ⅷ区 S0-02~04実測図



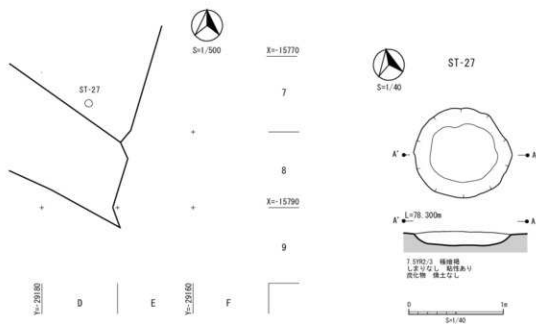
第 156 図 桑鶴遺跡群 VII区 ST-20~22・25実測図



第 157 図 桑鶴遺跡群 VIII区 ST-12・18・19・23・24・26~28実測図



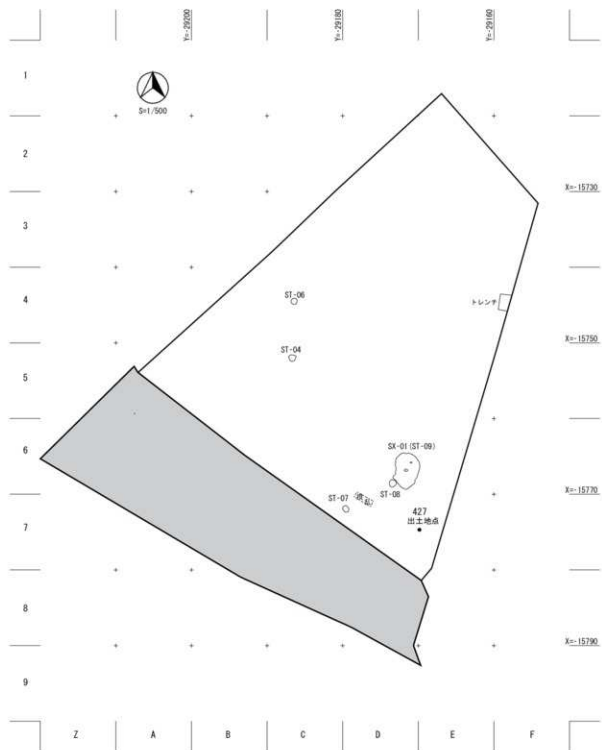
第 158 図 桑鶴遺跡群 VII区 遺構配置図及びST-30・31実測図



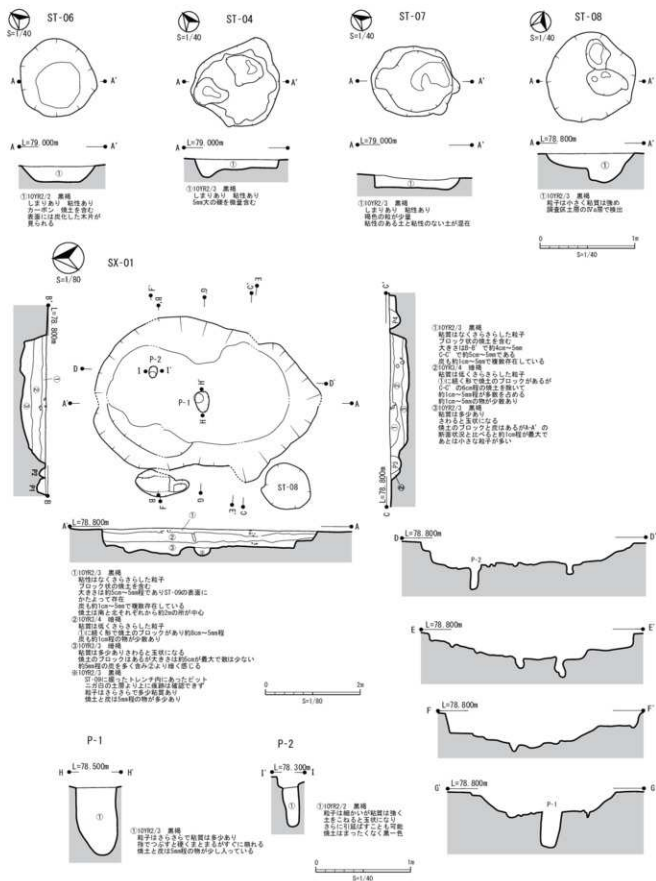
第 159 図 五丁中原遺跡 I 区 V 層 遺構配置図及び ST-27 実測図



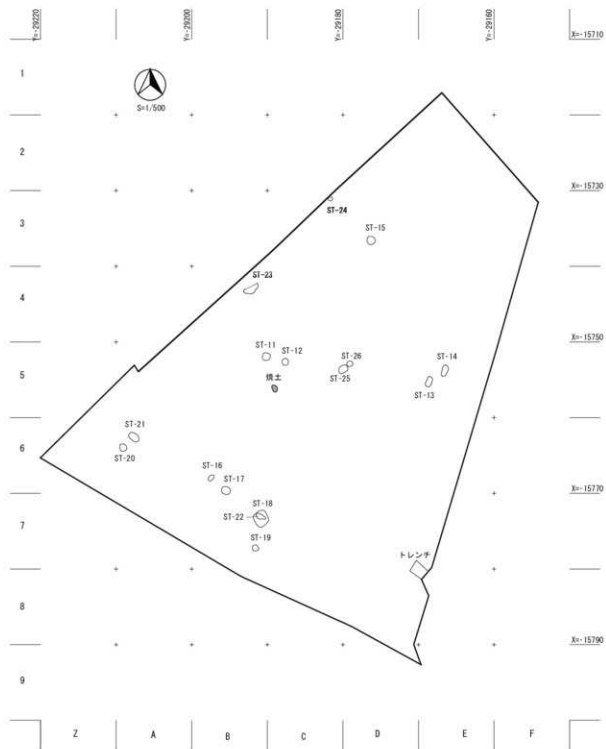
発掘調査状況（桑鶴遺跡群 II 区）



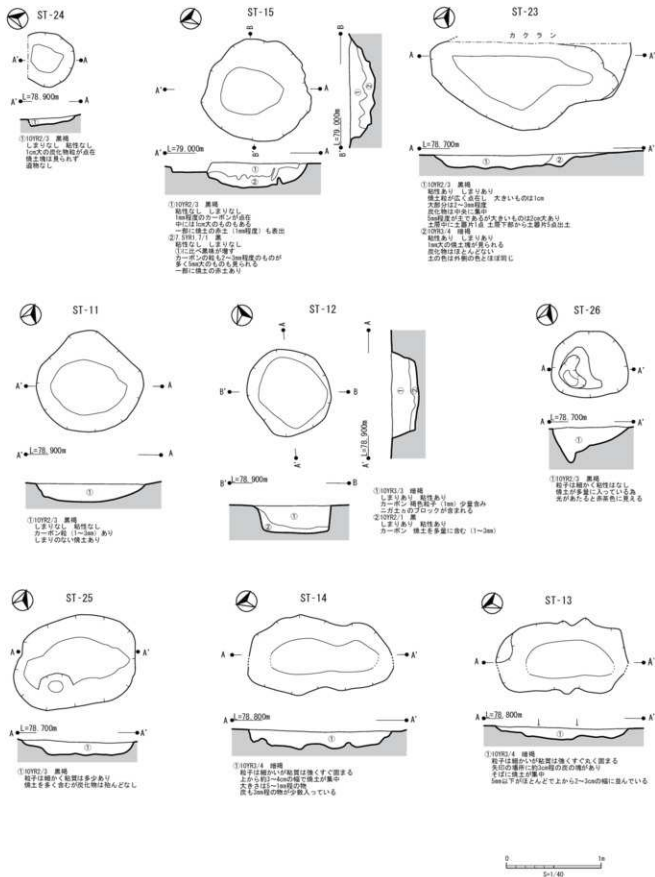
第 160 図 五丁中原遺跡 I 区 IVa層 遺構配置図及び遺物出土状況



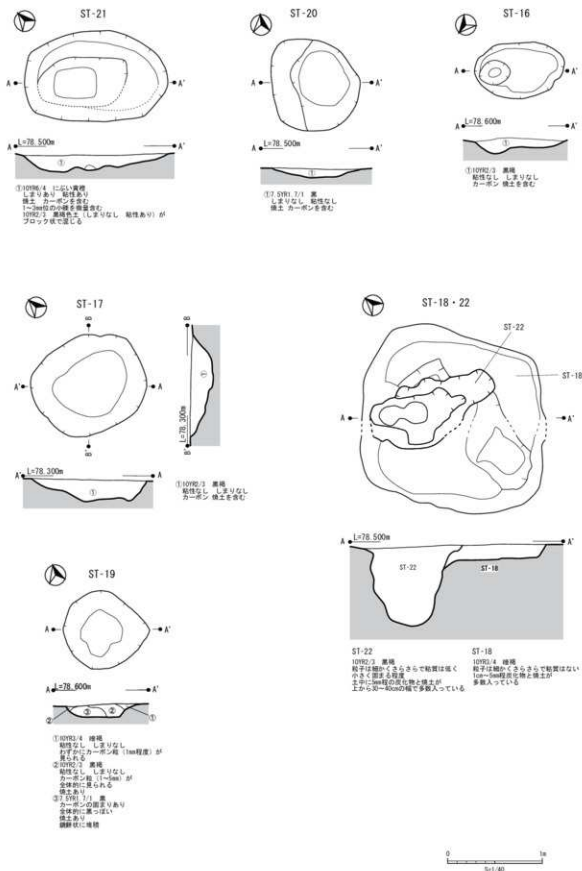
第 161 図 五丁中原遺跡 I 区 ST-04・06~08・SX-01実測図



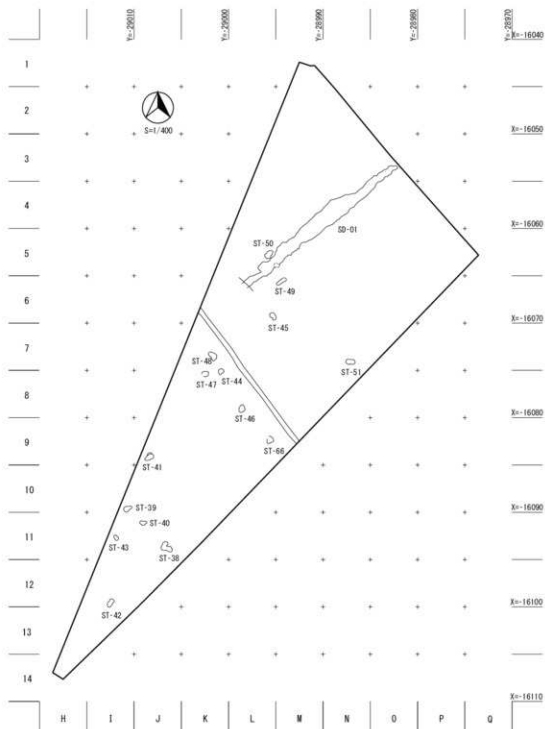
第 162 図 五丁中原遺跡 I 区 IVb層 遺構配置図



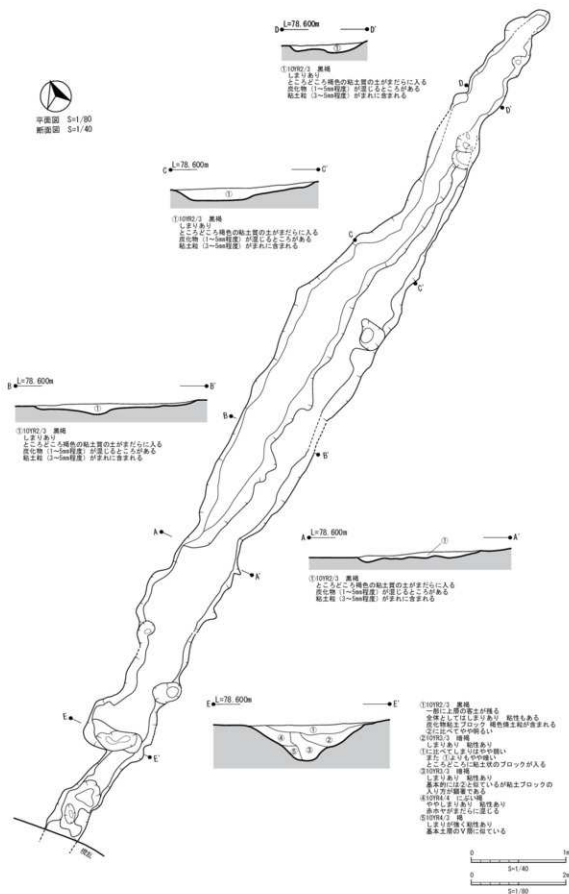
第 163 図 五丁中原遺跡 I 区 ST-11~15・23~26実測図



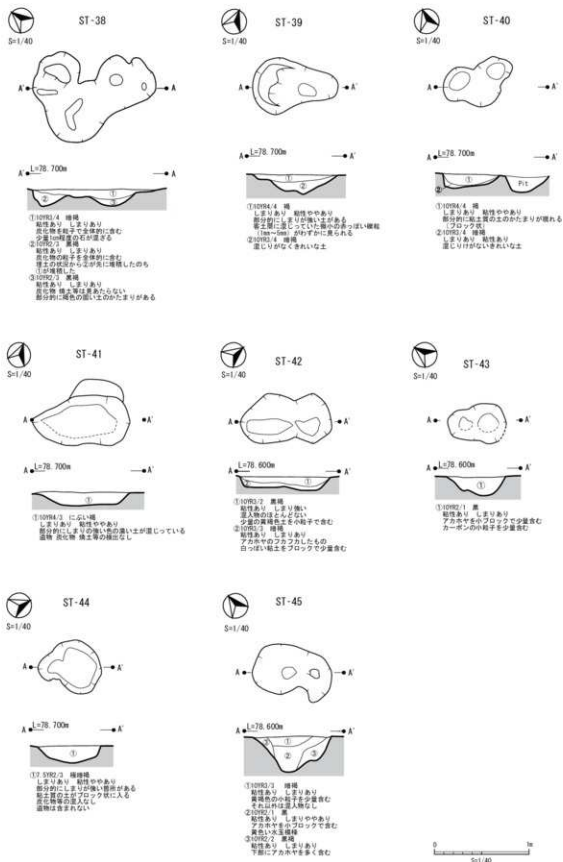
第 164 図 五丁中原遺跡 I 区 ST-16~22実測図



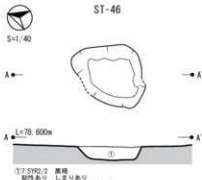
第 165 図 五丁中原遺跡 III区 遺構配置図



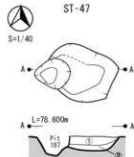
第 166 図 五丁中原遺跡 III区 SD-01実測図



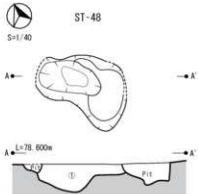
第 167 図 五丁中原遺跡 Ⅲ区 ST-38~45実測図



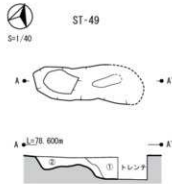
① 5192-2 高塚
粘性あり、しまりあり
赤み緑がいで土で覆しりのない土



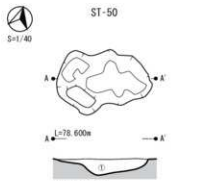
① 1092-4 高塚
粘性あり、しまりあり
赤み緑がいの土が中心にみられる
それ以外に覆しりがなく
赤みつとしまる
② 1092-2 高塚
粘性あり、しまりあり
下部にはアカホヤが多く混入する
それ以外は混入なし



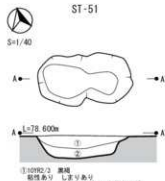
① 1092-2 高塚
粘性あり、しまりあり
高塚の土を小ブロックで少量含む
下部にはアカホヤが多く含む



① 1092-2 高塚
粘性あり、しまりあり
下部には赤みの土の小ブロックで
アカホヤを少量含む
② 1092-2 高塚
粘性あり、しまりあり
①より赤みやしまりがあふ、赤み帯るい
下部にはアカホヤを多く含む



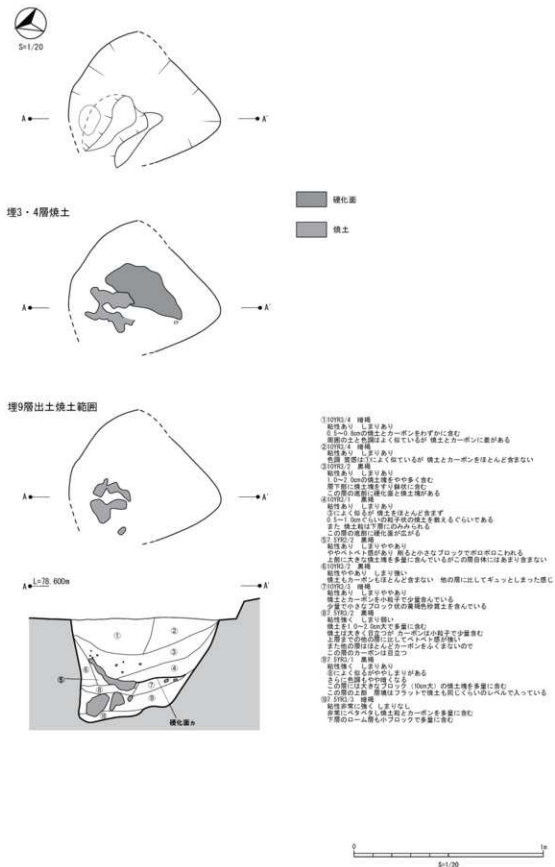
① 1092-2 高塚
しまりあり、粘性あり
上部には赤みの粘土ブロックが
まじりにある
中央部に堆積が厚く、粘土や炭化物等は
混じらない
①の下はアカホヤ層



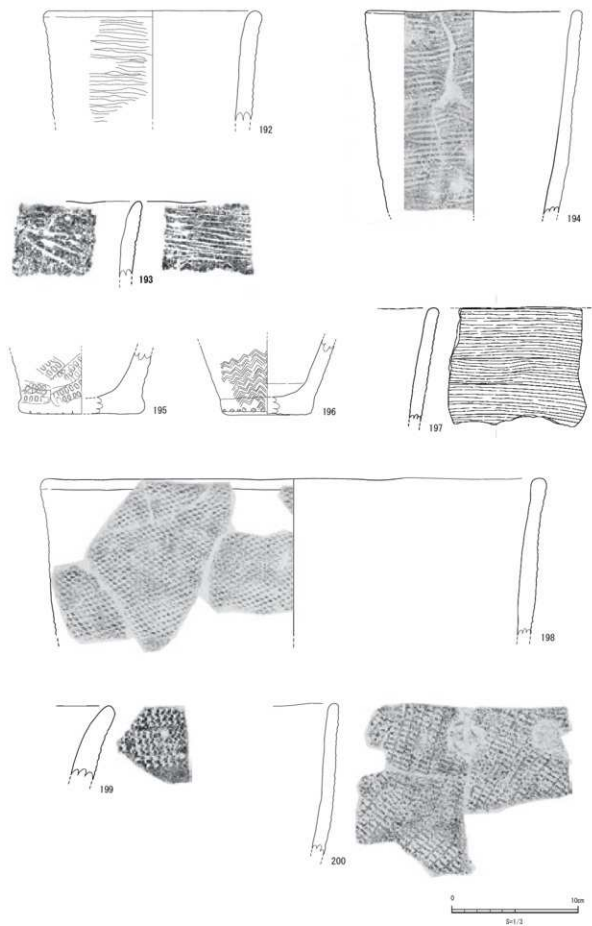
① 1092-2 高塚
粘性あり、しまりあり
粘性の強い赤みの粘土ブロック状の土が
断面別に混じりが見られない
炭化物や粘土の混雑は見られない
② 1092-4 高塚
粘性あり、しまりあり
①のような粘土質の土は見られない
また、赤みも混入
炭化物や粘土の混雑は見られない
②の下はローム層



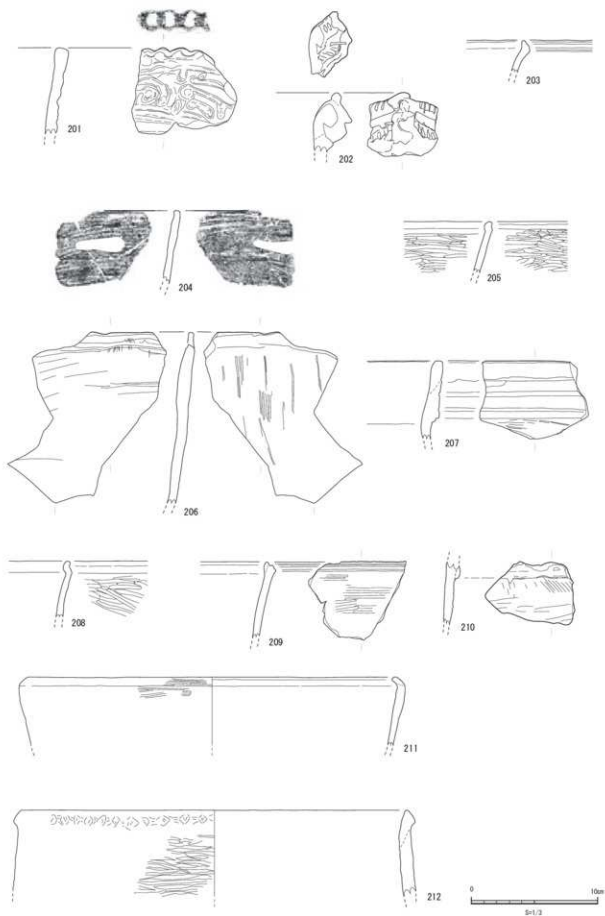
第 168 図 五丁中原遺跡 III区 ST-46~51実測図



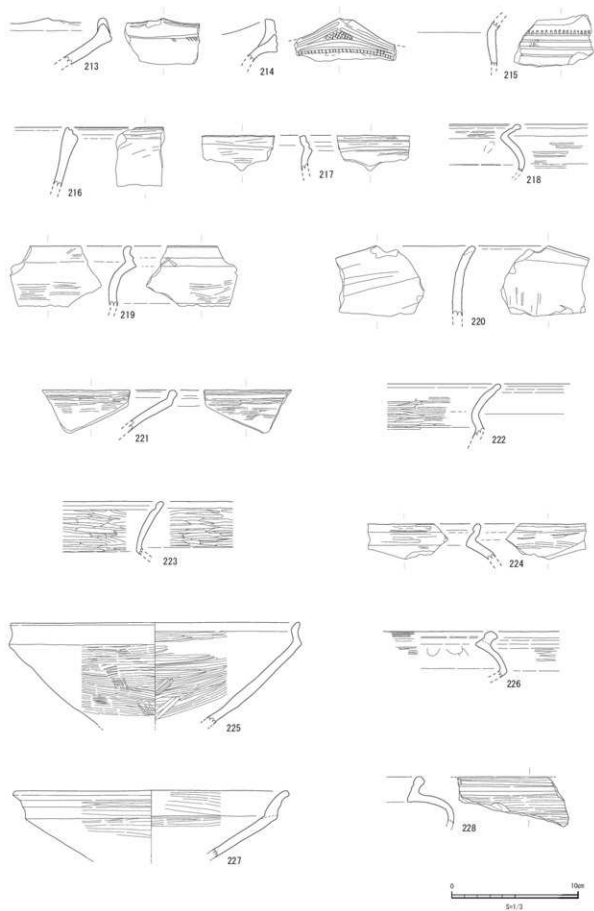
第 169 図 五丁中原遺跡 Ⅲ区 ST-66実測図



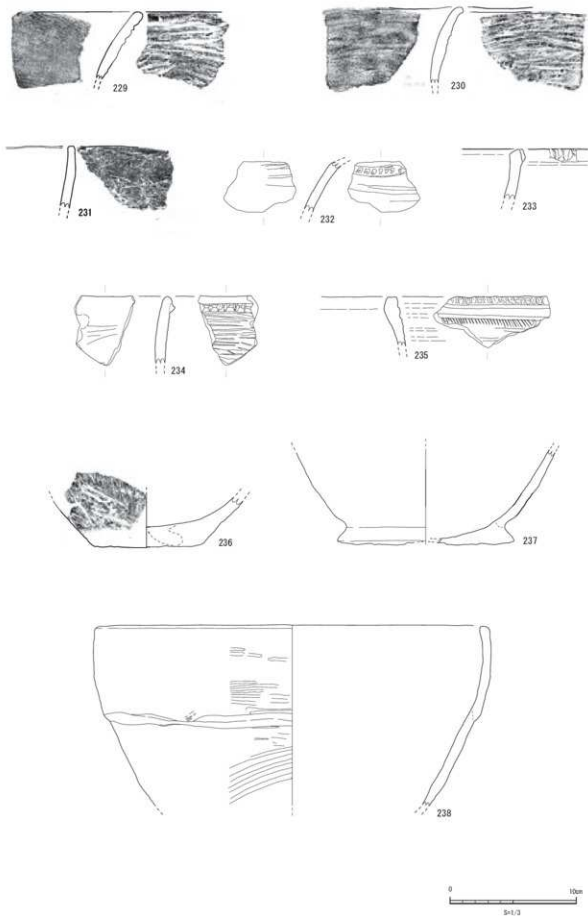
第 170 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 7



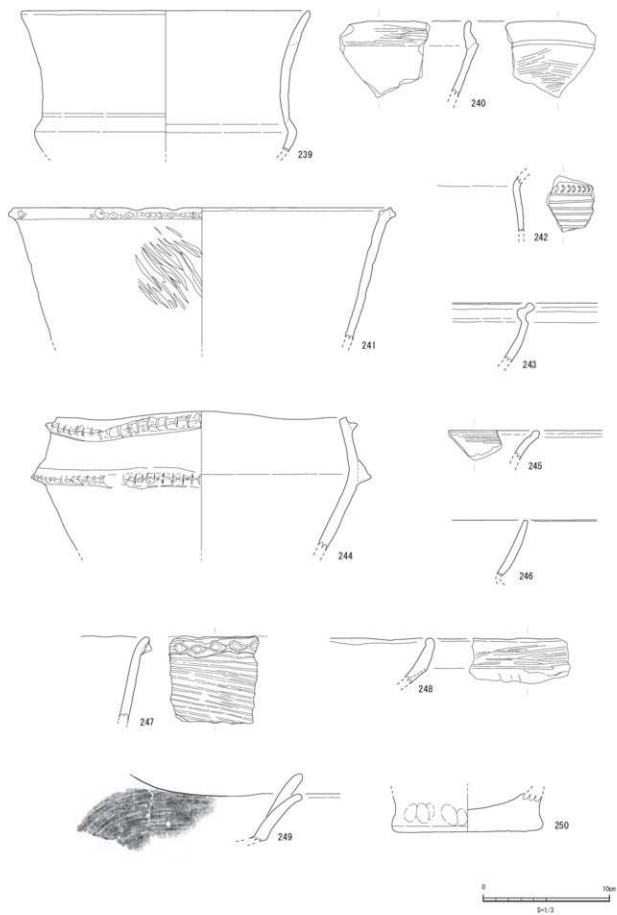
第 171 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 8



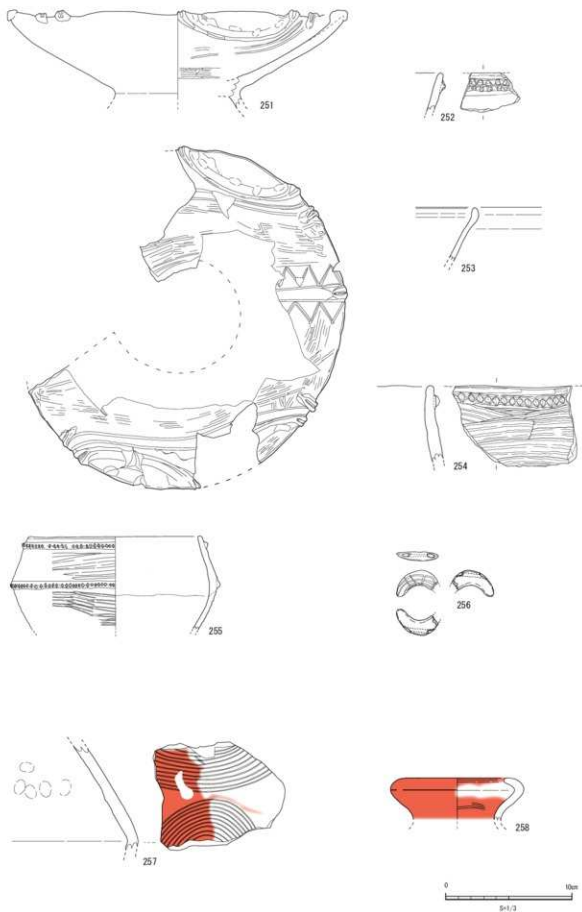
第 172 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 9



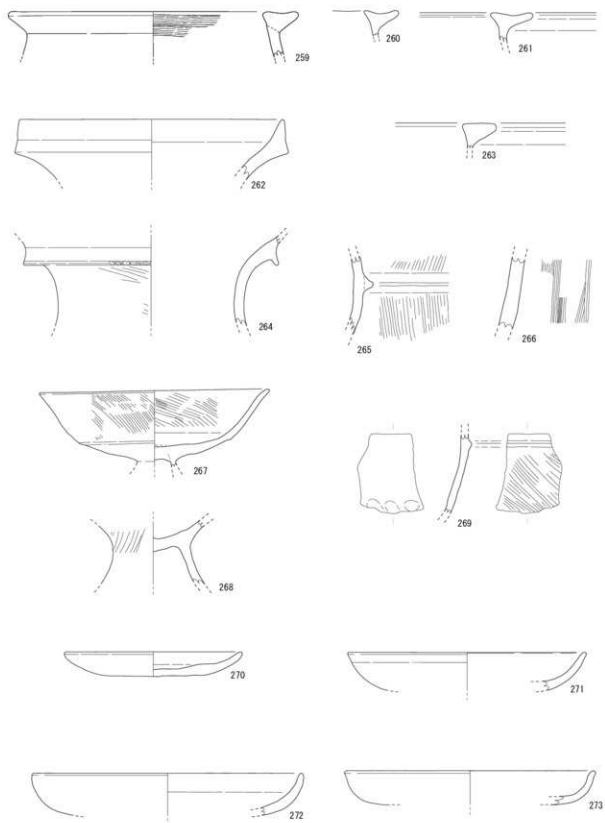
第 173 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 10



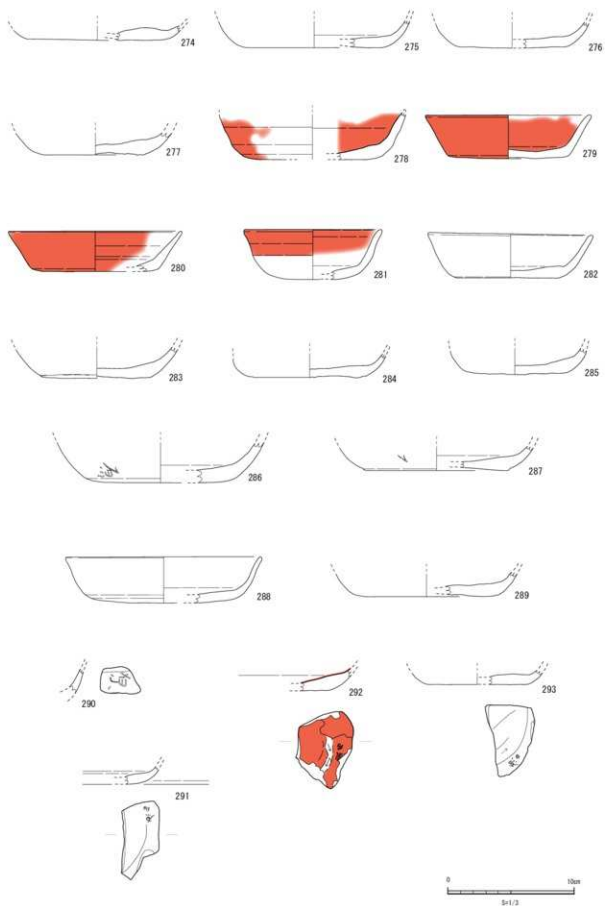
第174図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 11



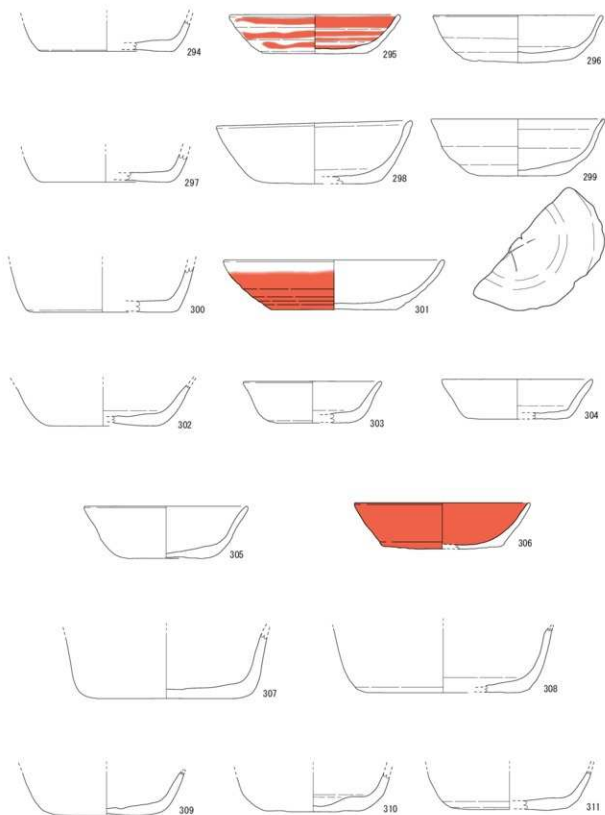
第 175 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 12



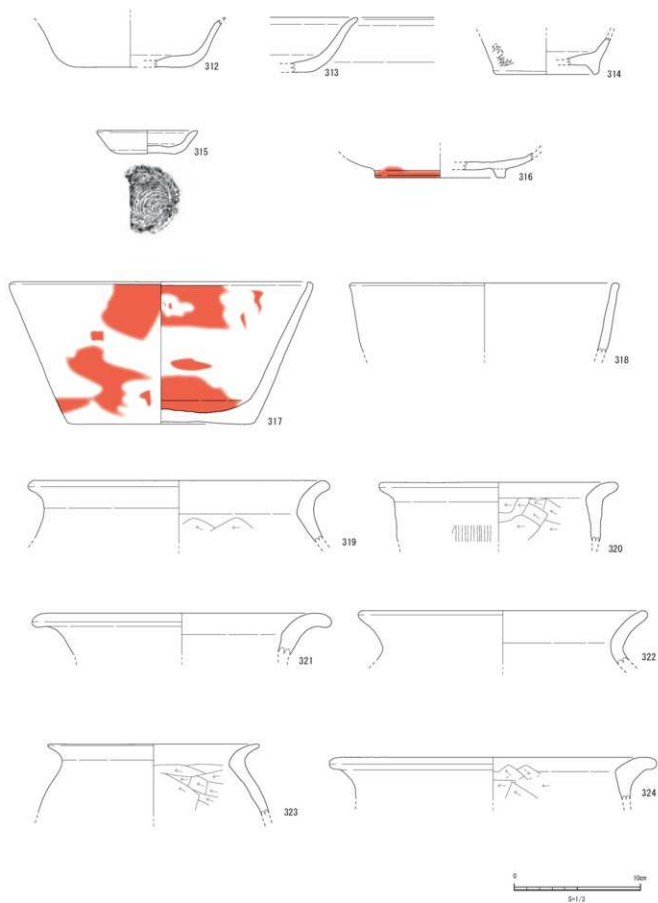
第 176 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 13



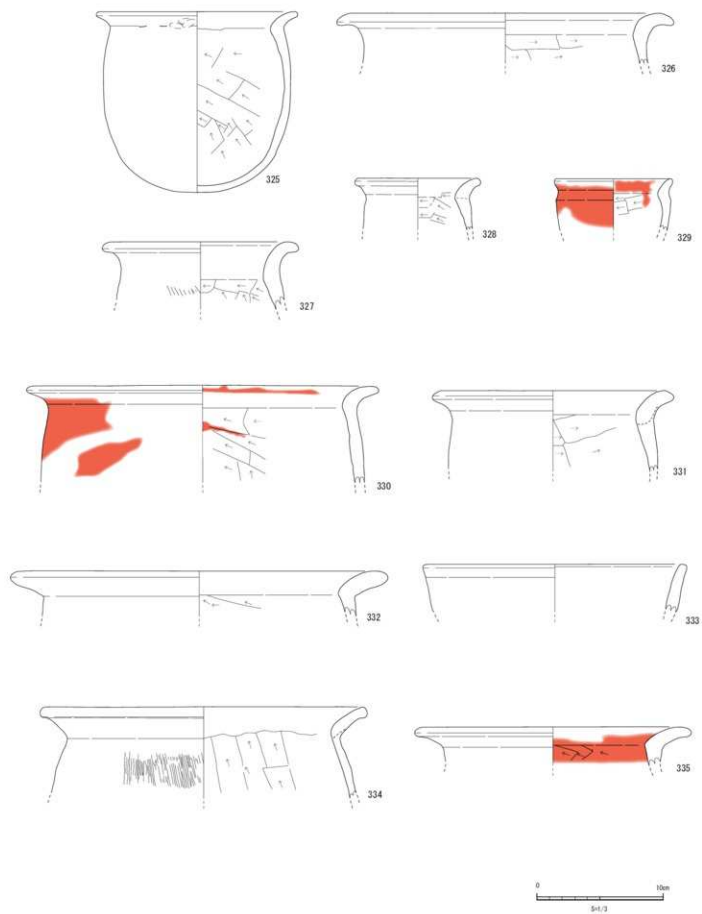
第 177 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 14



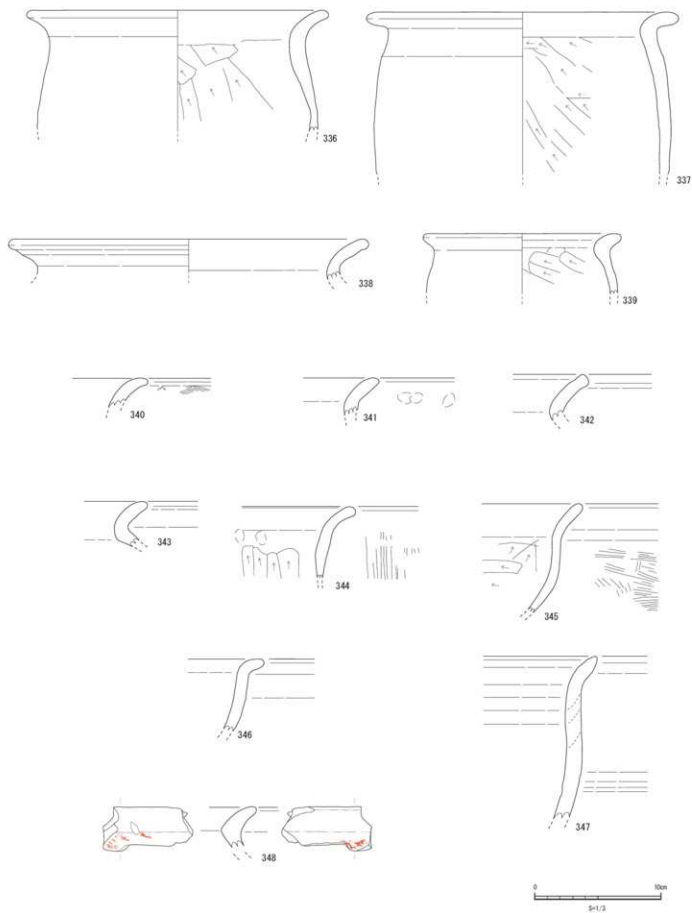
第 178 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 15



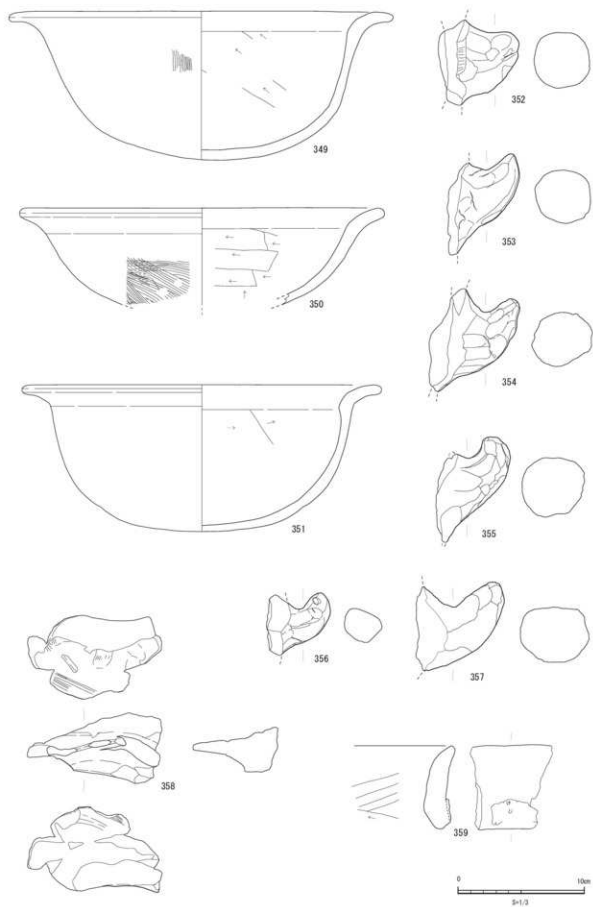
第 179 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 16



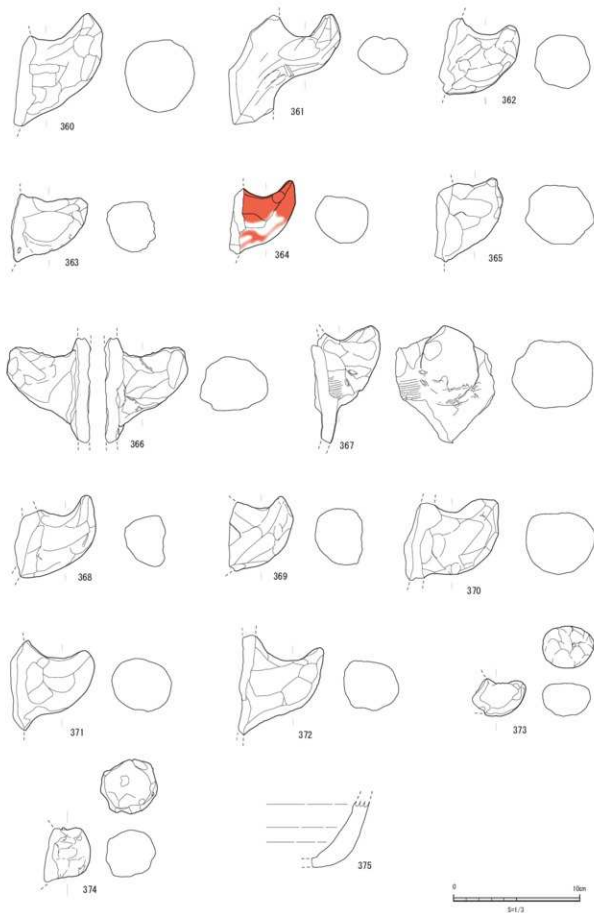
第 180 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 17



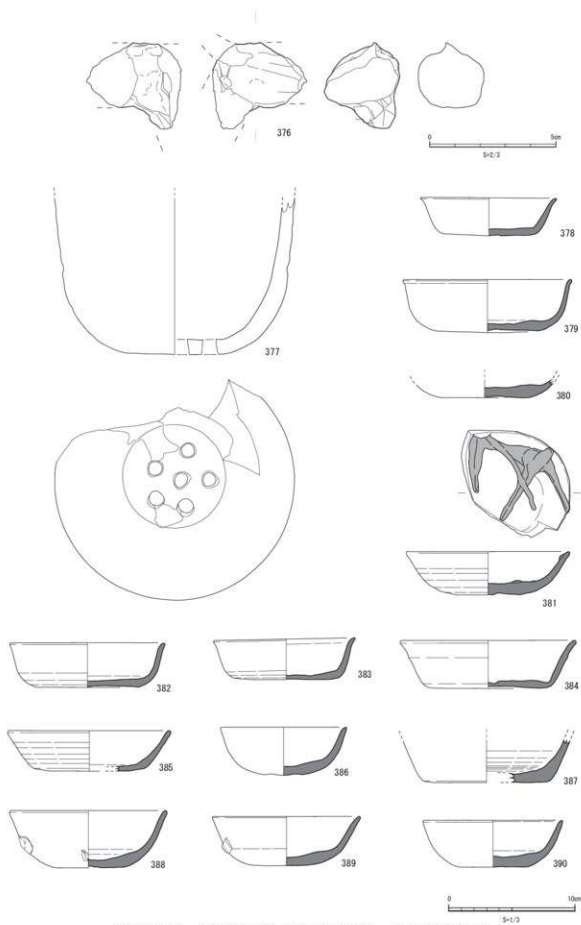
第 181 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 18



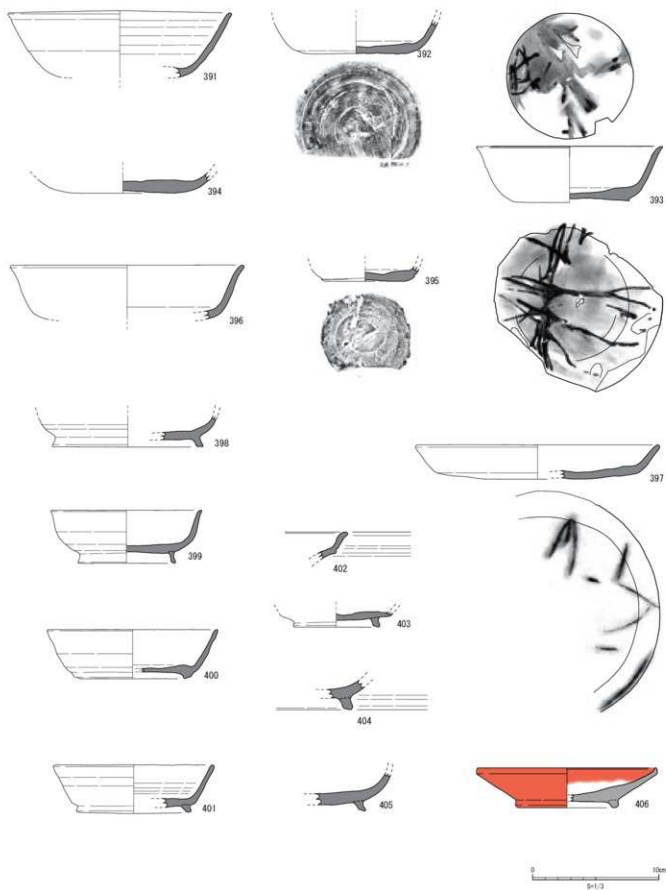
第 182 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 19



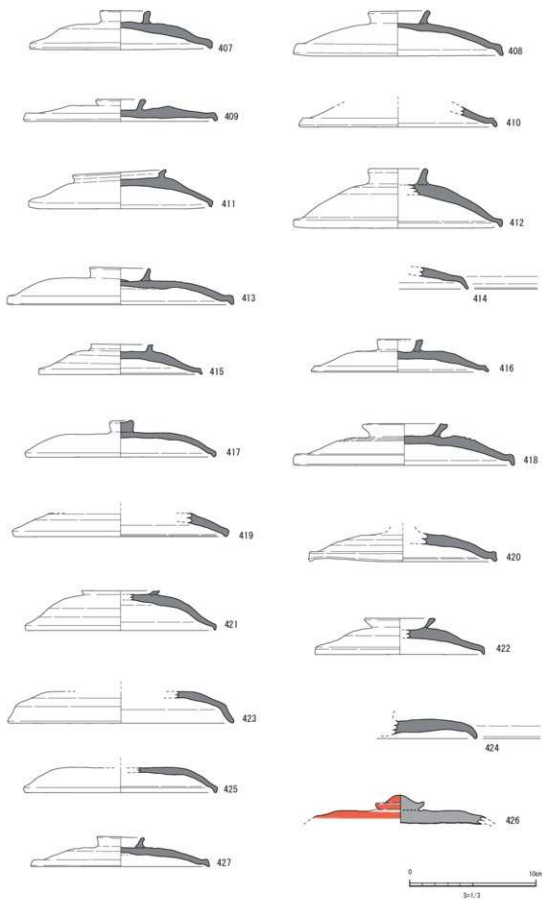
第 183 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 20



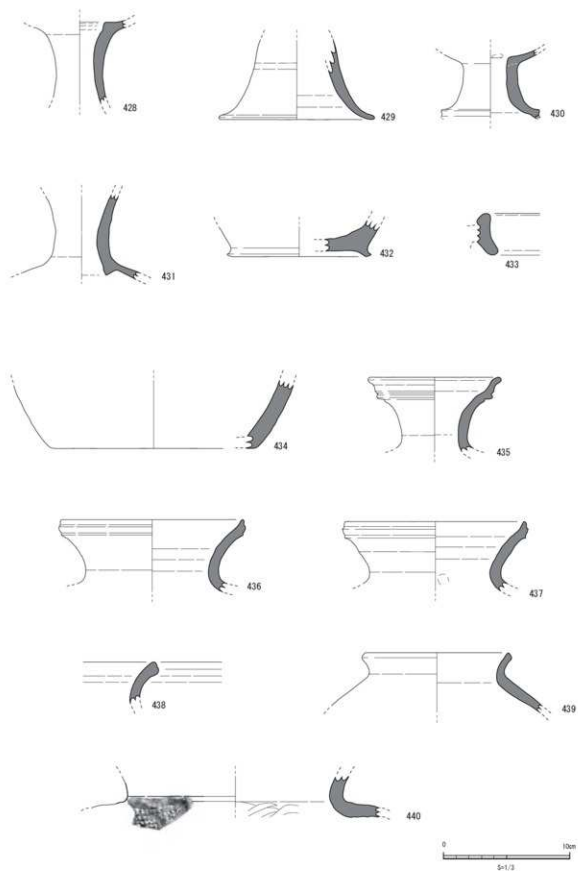
第 184 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 21



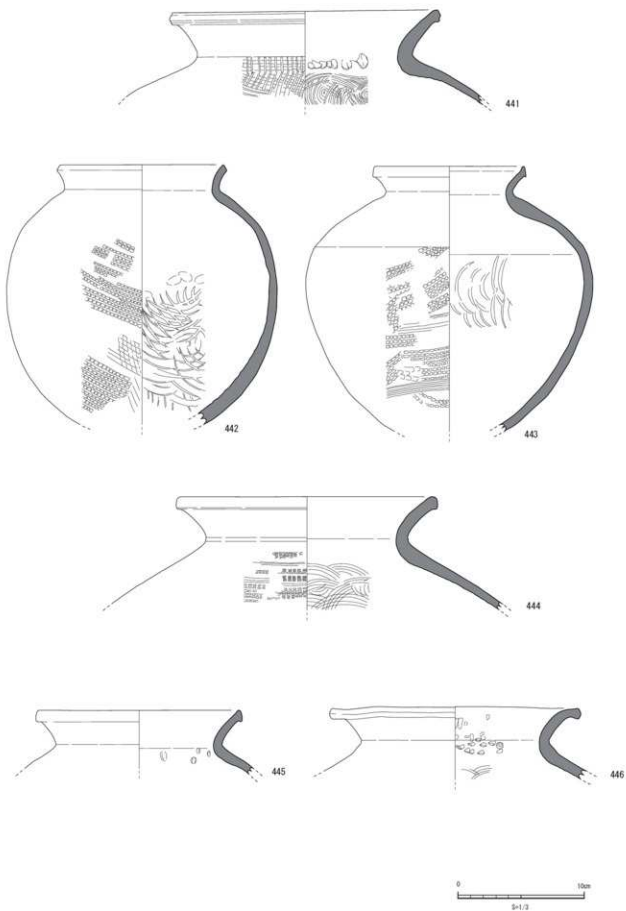
第 185 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 22



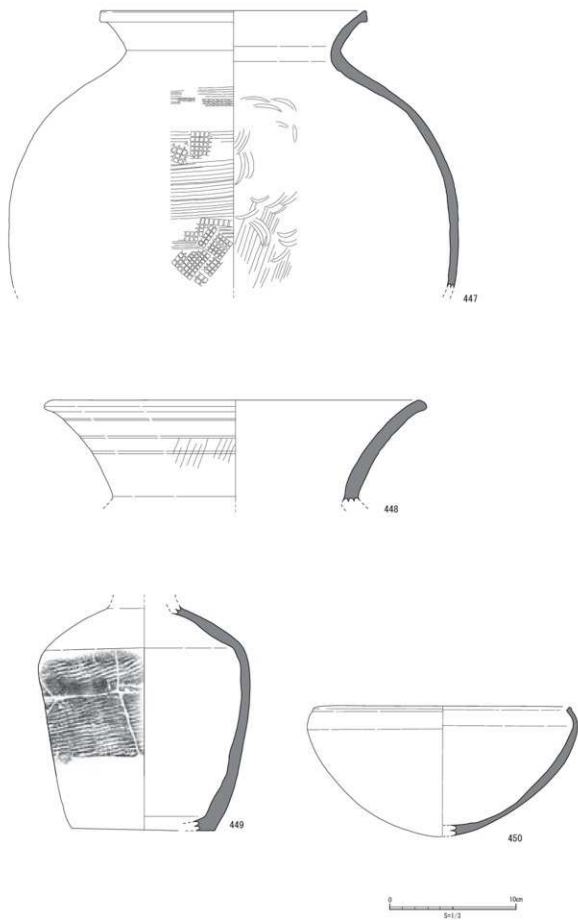
第 186 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 23



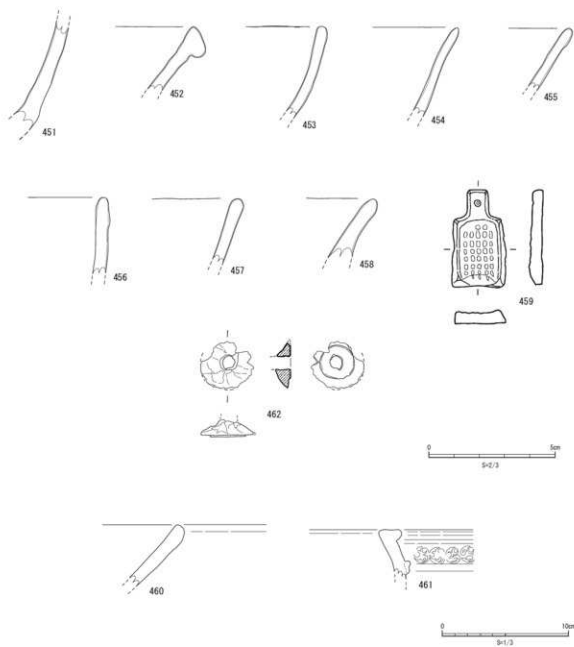
第 187 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土物実測図 24



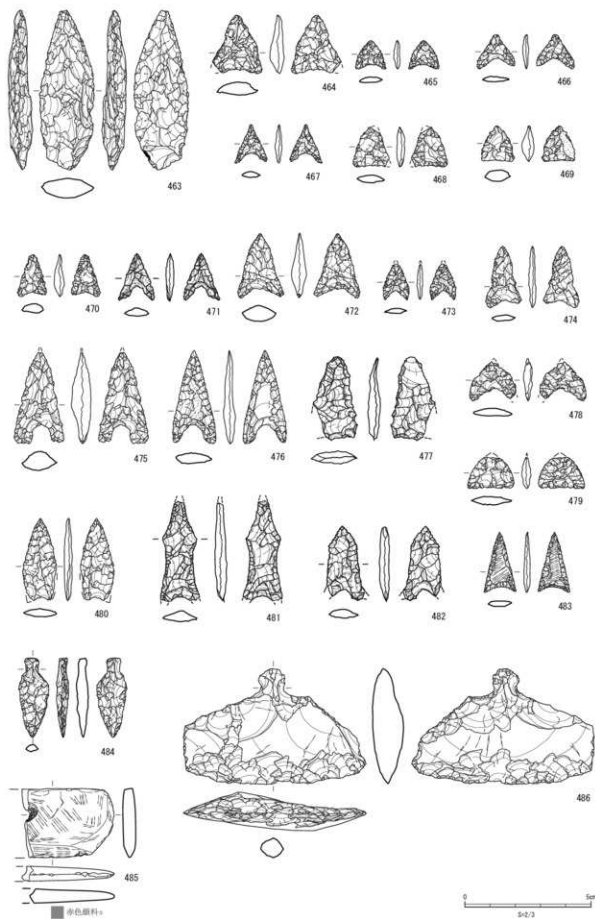
第 188 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 25



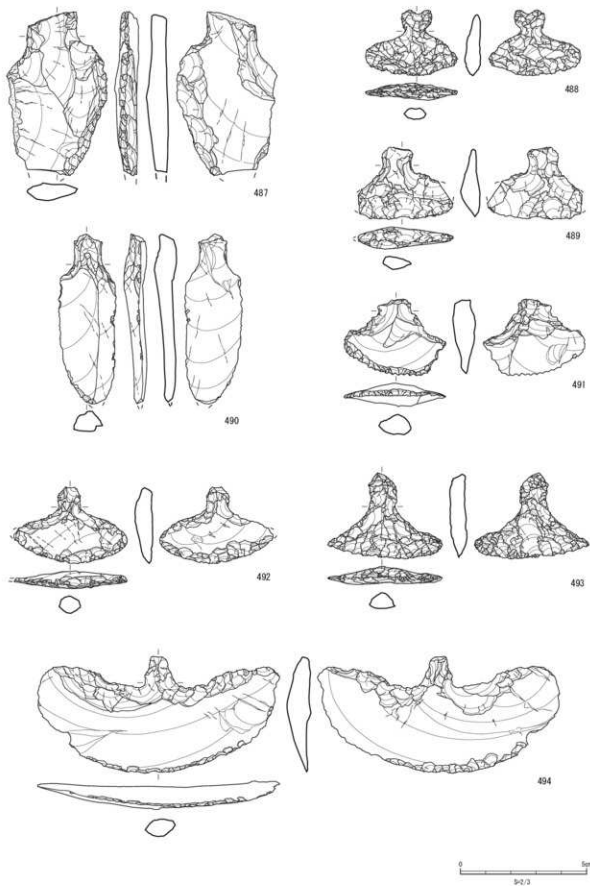
第 189 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 26



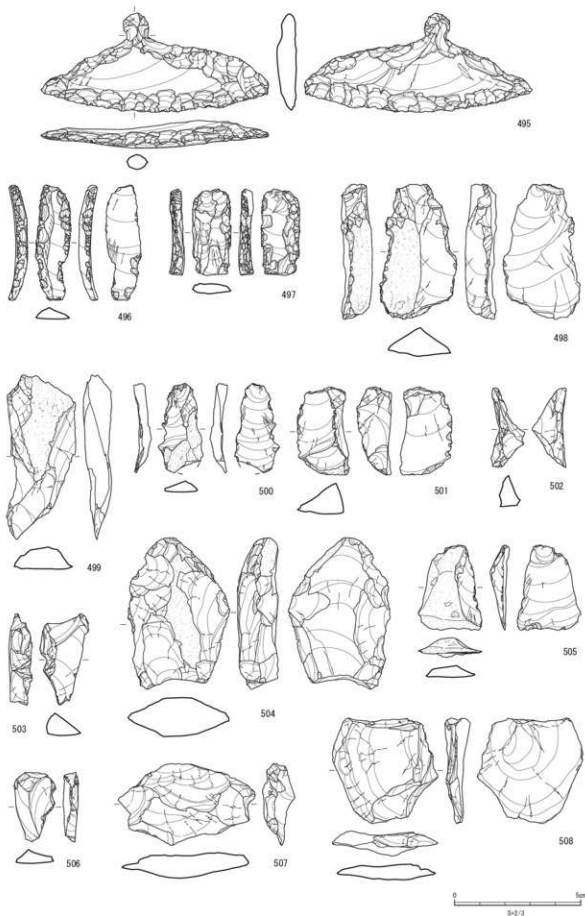
第 190 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 27



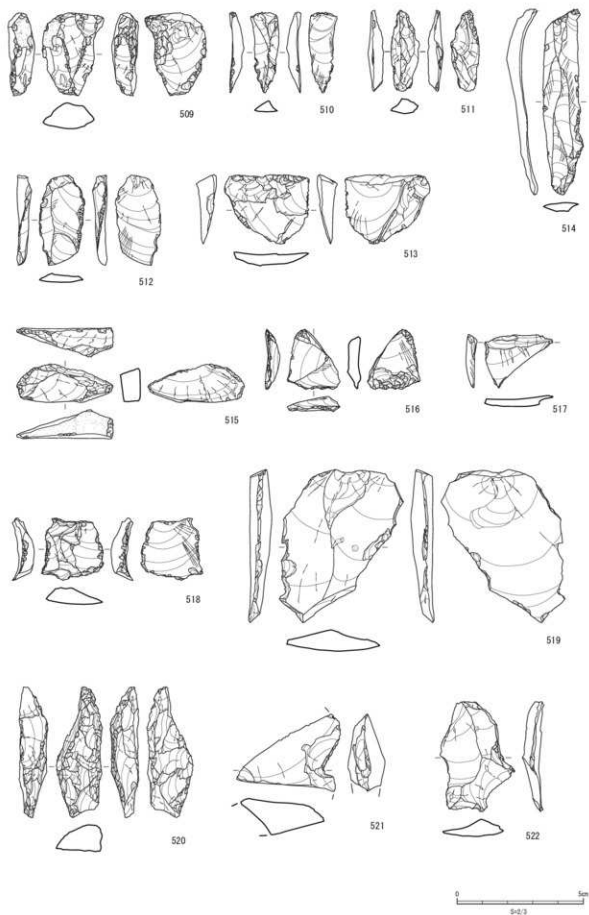
第 191 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 28



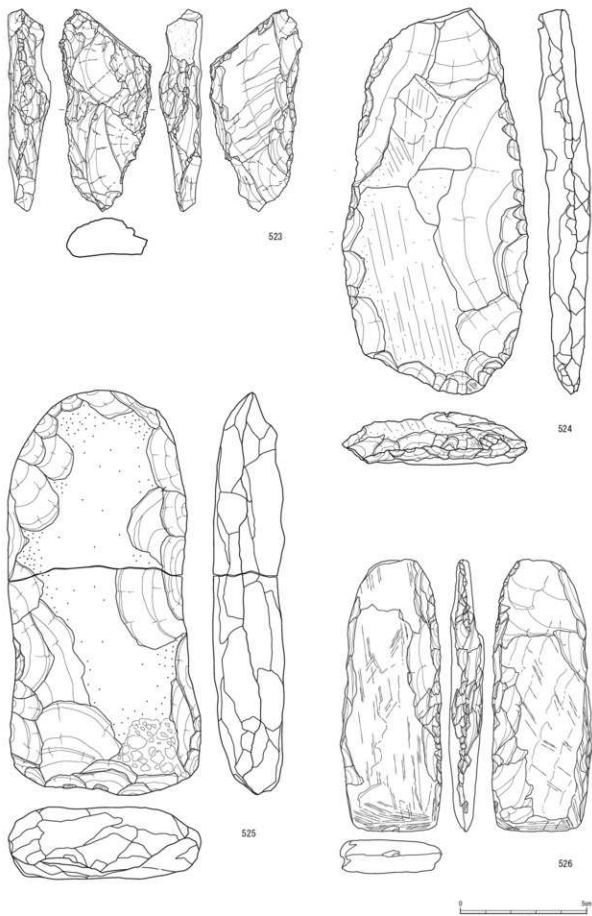
第 192 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 29



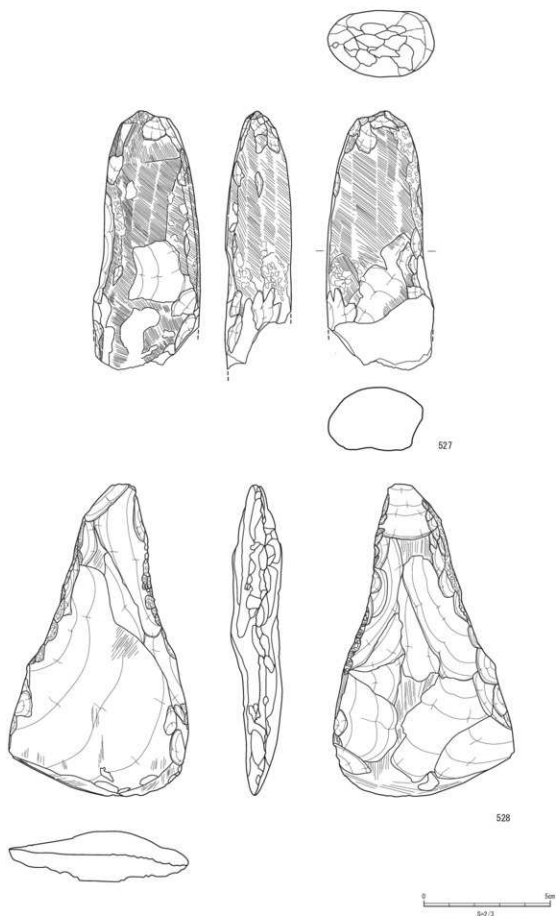
第 193 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 30



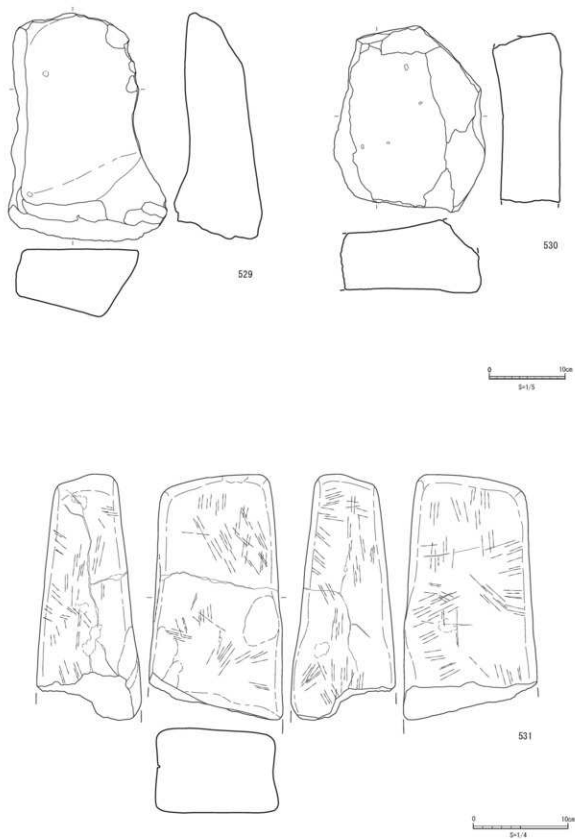
第 194 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 31



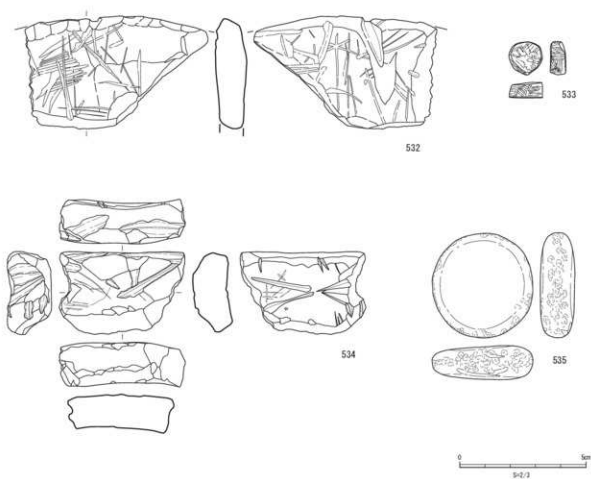
第 195 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 32



第 196 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 33



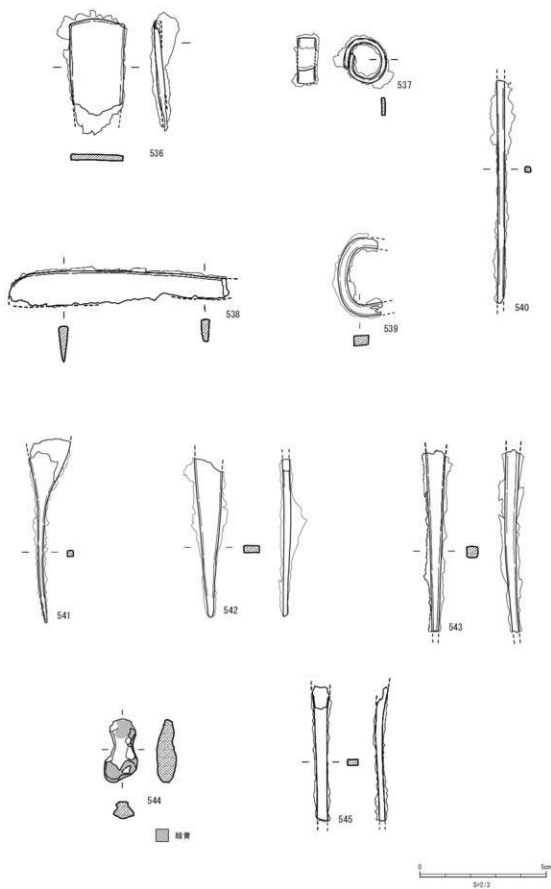
第 197 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 34



第198図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 35



遺構撮影



第 199 図 桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡 出土遺物実測図 36

第V章 自然科学分析

第1節 火葬人骨

熊本市桑鶴遺跡群出土の平安時代火葬骨

松下孝幸*・松下真実**

【キーワード】：熊本市、平安時代人骨、壺棺、火葬骨、女性

はじめに

熊本市北区貸町に所在する桑鶴遺跡群06-1b区の発掘調査が県道砂原四方寄線建設工事に伴って2006(平成18)年におこなわれ、1基の埋葬遺構(遺構番号:SI-01)から人骨が検出された。本遺跡からは本例の他に熊本市の調査で、2014年2月と6月にもそれぞれ1体ずつ人骨が出土しているが、この2体は中世以降の人骨と思われ、火葬されたものではない。

熊本県内では、古代人骨は二本木遺跡群などから出土しているが、火葬骨の例数は少なく、平安時代の火葬骨としては、大江(学苑)遺跡群(松下, 2006)と江津湖遺跡群から出土した2例が存在するにすぎない。前者は、堅穴住居(SB39)の床に倒置された状態で出土した甕から検出された火葬骨である(9世紀)。量は重量にして約790gであった。人骨は3体分が確認され、1体は性別・年齢が不明の火葬骨で、第二頸椎(軸椎)の一部も認められた。その他に男性大腿骨片と女性大腿骨片がそれぞれ1片ずつ認められたが、この大腿骨はいずれも骨になってから火を受けたものである。後者の遺跡からは火葬骨約22gが蔵骨器から検出された(平安時代)。残存量は著しく少なく、性別・年齢を明らかにすることができなかった。

本例は熊本県内での平安時代の火葬骨例としては3例目になる。今回出土した火葬骨は量も少なく、大部分が細片状を呈しており、その形質を詳細には知り得なかったが、解剖学的に精査し、人類学的な観察をおこない、性別などを推測し、被葬者の特徴のごく一部を明らかにできたので、その結果を報告しておきたい。

資料および所見

本人骨は06-1b区の埋設土坑に埋置された蓋の付いた壺(遺構番号:SI-01)から検出された。この人骨は骨壺の考古学的所見から9世紀の平安時代に属すると推測されている。残存していた人骨片は後述している所見から火葬骨である。残存骨を解剖学的に精査した結果、重複する部分が認められないので、1体分の火葬された人骨の一部と推断した。なお、本火葬骨は表1のとおり、下記の所見から、比較的年齢の若い女性骨と推測される。年齢区分を表2に示した。

表1 出土人骨一覧 (Table 1. List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	備考
06-1b区SI-01人骨	女性	成年～壮年	火葬骨、約390g

表2 年齢区分 (Table 2. Division of age)

年齢区分	年齢
未成人	乳児 1歳未満
	幼児 1歳～5歳 (第一大臼歯萌出直前まで)
	小児 6歳～15歳 (第一大臼歯萌出から第二大臼歯根完成まで)
	成年 16歳～20歳 (蝶後頭軟骨結合癒合まで)

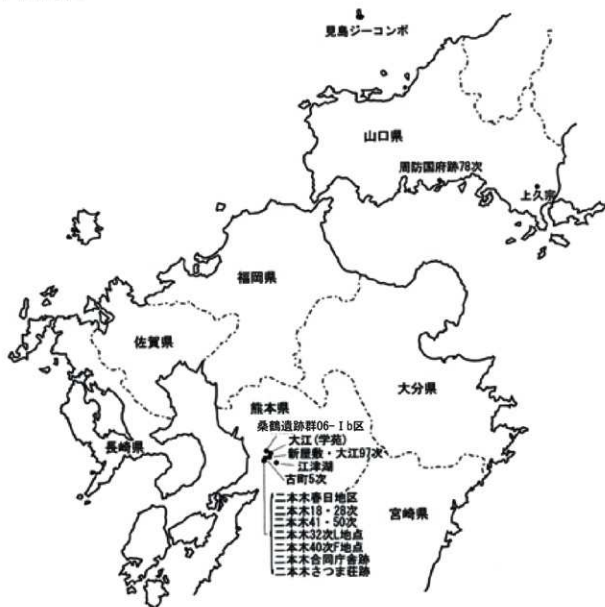


図1. 遺跡の位置 (1/25,000)

(Fig.1 Location of the area of the 06-1b at the Kuwazuru site, Kumamoto City, Kumamoto Prefecture)

要 約

熊本市北区貫町に所在する桑鶴遺跡群 06-1b 区（桑鶴）の 2006 年度におこなわれた発掘調査で、1 基の埋葬遺構（壺）から人骨が検出された。人骨は少量の火葬骨であったが、解剖学的に精査し、人類学的観察をおこない、以下の結果を得た。

1. 埋葬遺構は 1 基のみで、土坑内に埋設された蓋付きの壺（遺構番号：SI-01）の中から火葬骨が検出された。
2. この人骨は、蔵骨器の考古学的所見から、9 世紀の平安時代に属する人骨と推定されている。
3. 火葬骨はほとんどが細片で、その量は重量にして、頭蓋片約 70g、四肢骨等の骨片約 320g、合計約 390g である。
4. 本火葬骨は、成年（16～20 歳）もしくは壮年の前半（20 歳代）の比較的若い女性骨と思われる。
5. 残存していたのは、頭蓋骨片、下顎骨片、四肢骨片、椎骨片、歯根であるが、いずれも細片状態であった。ただし、左側の上腕骨体の遠位部は長さ 4.5cm にわたって原形を保っており、その径はかなり細い。
6. 壺に収納されていた火葬骨はヒトひとり分の全身骨ではなく、そのごく一部に過ぎない。壺の容積に比べてその量はあまりにも少ない。このことは、壺に収める量をこの程度にして、その他の大部分の火葬骨を別の場所に遺棄、あるいは埋納、あるいは安置した可能性を示唆している。また、骨が細片状になっているが、これは納骨の際、壺に収めるために砕かれた結果である。今後、火葬という特殊な遺体処理に伴う一連の工程（過程）を考察していく必要がある。

謝辞

〈執筆するにあたり、本研究と発表の機会を与えていただいた熊本県教育庁文化課の皆様にご感謝致します。〉

＜参考文献＞

5. 松下孝幸、1995b：山口県周東町上久宗遺跡出土の火葬骨。山口県埋蔵文化財調査報告第 174 集：25-30。
6. 松下孝幸、2005c：熊本市二本木遺跡群第 18 次調査出土の古代・近世人骨。二本木遺跡群 I - 第 18 次調査区発掘調査報告書 -：41-46。
7. 松下孝幸、2006：熊本市大江（学苑）遺跡群出土の平安時代火葬骨。大江遺跡群 II（熊本県文化財調査報告第 231 集）：80-84。
8. 松下孝幸、2007a：熊本市古町遺跡第 5 次調査区出土の平安時代人骨。熊本県埋蔵文化財調査年報第 9 号：148-152。
9. 松下孝幸、2007b：熊本市大江遺跡群第 97 次調査区出土の平安時代人骨。大江遺跡群 VI（- 第 97 次・第 106 次調査区発掘報告書 -）：114-117。
10. 松下孝幸・他、2008：熊本市二本木遺跡群第 28 次調査区出土の古代・中世以降人骨。二本木遺跡群 V（二本木遺跡群第 28 次調査区（E～I・K・L・P 地点）発掘調査報告書）[熊本駅西土地区画整理事業にともなう発掘調査報告（2）]：178-183。
11. 松下孝幸・他、2011：熊本市二本木遺跡群第 41 次調査区出土の古代人骨。二本木遺跡群 X II - 二本木遺跡群第 41 次調査区発掘調査報告書 -：127-135。
12. 松下孝幸・他、2010：熊本市二本木遺跡群第 40 次調査区 F 地点出土の古代・中世人骨。二本木遺跡群 X I（熊本駅西土地区画整理事業にともなう発掘調査報告（5））：197-201。
13. 松下孝幸・他、2012a：熊本市二本木遺跡群第 49 次調査区出土の古代・近世人骨。二本木遺跡群 19 - 二本木遺跡群第 49 次調査区発掘調査報告書 -（熊本市の文化財第 19 集）：77-84。

14. 松下孝幸・他、2012b: 熊本市二本木道跡群(さつま荘跡)出土の古代・中世人骨。二本木道跡群6(春日地区第9・10次調査)(熊本県文化財調査報告第274集): 424-435。
15. 松下孝幸、熊本市江津湖道跡群出土の平安時代火葬骨。(投稿中)
21. 松下真実・他、2012a: 熊本市二本木道跡群(市電敷地)出土の古代・中世人骨。二本木道跡群6(春日地区第9・10次調査)(熊本県文化財調査報告第274集): 411-423。
22. 松下真実・他、2012b: 熊本市二本木道跡群(市電敷地)出土の古代人骨。二本木道跡群6(春日地区第9・10次調査)(熊本県文化財調査報告第274集): 398-410。

* Takayuki MATSUSHITA, ** Masami MATSUSHITA



左侧上腕骨 (The left humerus)



四肢骨 (The limb bones)
桑鶴遺跡群 06-1b区 SI-01 (女性・年齢不明)
(The skeleton 06-1b, from the Kuwazuru sites No.2 female unknown age)

第2節 放射性炭素年代測定

(1) 五丁中原遺跡1区

熊本県教育庁文化課：五丁中原遺跡における放射性炭素年代測定

株式会社 古環境研究所

1. はじめに

放射性炭素年代測定は、光合成や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素 (^{14}C) の濃度が放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。樹木や種実などの植物遺体、骨、貝殻、土壌、土器付着炭化物などが測定対象となり、約5万年前までの年代測定が可能である。

2. 試料と方法

試料名	地点・層準等	種類	前処理・調整	測定法
No.1	F-3グリッド, IVb層	土壌	acid washes	AMS
No.2	F-3グリッド, V層上部	土壌	acid washes	AMS
No.3	F-3グリッド, V層下部	土壌	acid washes	AMS
No.4	F-3グリッド, VI層	土壌	acid washes	AMS
No.5	F-3グリッド, VII層上部	土壌	acid washes	AMS
No.6	F-3グリッド, VII層下部	土壌	acid washes	AMS

acid washes: 酸洗浄, AMS: 加速器質量分析法 (Accelerator Mass Spectrometry)

3. 測定結果

試料名	測定 N_a (Beta-)	未補正 ^{14}C 年代 (年 BP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	^{14}C 年代 (年 BP)	暦年代 (較正年代) (2 σ : 95%確率, 1 σ : 68%確率)
No.1	276682	5260 \pm 40	-20.4	5340 \pm 40	交点: Cal BC 4230 2 σ : Cal BC 4320-4290, 4270-4040 1 σ : Cal BC 4250-4160, 4130-4060
No.2	276683	6630 \pm 40	-21.1	6690 \pm 40	交点: Cal BC 5620 2 σ : Cal BC 5660-5550 1 σ : Cal BC 5640-5610, 5580-5570
No.3	276684	8660 \pm 50	-21.1	8720 \pm 50	交点: Cal BC 7730 2 σ : Cal BC 7950-7600 1 σ : Cal BC 7790-7610
No.4	276685	10700 \pm 50	-20.0	10780 \pm 50	交点: Cal BC 10870 2 σ : Cal BC 10910-10830 1 σ : Cal BC 10890-10860
No.5	276686	17070 \pm 70	-18.3	17180 \pm 70	交点: Cal BC 18360 2 σ : Cal BC 18480-18210 1 σ : Cal BC 18420-18290
No.6	276687	19570 \pm 80	-17.7	19690 \pm 80	交点: Cal BC 21660 2 σ : Cal BC 21840-21430 1 σ : Cal BC 21760-21530

BP: Before Physics (Present), Cal: Calibrated, BC: 紀元前

(1) 未補正 ^{14}C 年代

試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在 (AD1950 年) から何年前かを計算した値。 ^{14}C の半減期は 5,730 年であるが、国際的慣例により Libby の 5,568 年を用いている。

(2) $\delta^{13}\text{C}$ 測定値

試料の測定 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための炭素安定同位体比 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)。この値は標準物質 (PDB) の同位体比からの千分偏差 (‰) で表す。試料の $\delta^{13}\text{C}$ 値を -25 (‰) に標準化することで同位体分別効果を補正する。

(3) ^{14}C 年代

$\delta^{13}\text{C}$ 測定値により同位体分別効果を補正して算出した年代。暦年代校正にはこの年代値を使用する。

(4) 暦年代 (Calendar Age)

過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動および ^{14}C の半減期の違いを校正することで、より実際の年代値に近づけることができる。暦年代校正には、年代既知の樹木年輪の詳細な ^{14}C 測定値およびサンゴの U/Th (ウラン/トリウム) 年代と ^{14}C 年代の比較により作成された校正曲線 (IntCal104) を使用した。IntCal104 では BC24050 年までの換算が可能である (樹木年輪データは BC19450 年まで)。

暦年代の交点は、 ^{14}C 年代値と校正曲線との交点の暦年代値を示し、 1σ (68% 確率) と 2σ (95% 確率) は、 ^{14}C 年代値の偏差の幅を校正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点や複数の 1σ ・ 2σ 値が表記される場合もある。

4. 所見

加速器質量分析法 (AMS) による放射性炭素年代測定の結果、No.1 では 5340 ± 40 年 BP (2σ の暦年代で BC 4320 ~ 4290, 4270 ~ 4040 年)、No.2 では 6690 ± 40 年 BP (BC 5660 ~ 5550 年)、No.3 では 8720 ± 50 年 BP (BC 7950 ~ 7600 年)、No.4 では 10780 ± 50 年 BP (BC 10910 ~ 10830 年)、No.5 では 17180 ± 70 年 BP (BC 18480 ~ 18210 年)、No.6 では 19690 ± 80 年 BP (BC 21840 ~ 21430 年) の年代値が得られた。

なお、土壌試料による年代測定結果は、その土壌が生成された当時の年代を示しており、文化層としての年代観とは必ずしも一致しない場合がある。

文献

Paula J Reimer et al., (2004) IntCal104 Terrestrial radiocarbon age calibration, 26-0 ka BP. Radiocarbon 46, 1029-1058.

中村俊夫 (1999) 放射性炭素法。考古学のための年代測定学入門。古今書院, p.1-36.

(2) 桑鶴遺跡群Ⅱ区

熊本県教育庁文化課：桑鶴遺跡群における放射性炭素年代測定

株式会社 古環境研究所

1. はじめに

放射性炭素年代測定は、光合成や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素 (^{14}C) の濃度が放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。樹木や種実などの植物遺体、骨、貝殻、土壌、土器付着炭化物などが測定対象となり、約5万年前までの年代測定が可能である。

2. 試料と方法

試料名	地点・層準等	種類	前処理・調整	測定法
No.1	B-5グリッド, II層	土壌	acid washes	AMS
No.2	B-5グリッド, II'層	土壌	acid washes	AMS
No.3	B-5グリッド, III層	土壌	acid washes	AMS
No.4	B-5グリッド, IV層	土壌	acid washes	AMS
No.5	B-5グリッド, V層	土壌	acid washes	AMS
No.6	B-5グリッド, VI層	土壌	acid washes	AMS

acid washes : 酸洗浄, AMS : 加速器質量分析法 (Accelerator Mass Spectrometry)

3. 測定結果

試料名	測定 Na (Beta $^-$)	未補正 ^{14}C 年代 (年BP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	^{14}C 年代 (年BP)	暦年代 (較正年代) (2 σ : 95%確率, 1 σ : 68%確率)
No.1	276688	5860 \pm 40	-20.5	5930 \pm 40	交点: Cal BC 4800 2 σ : Cal BC 4910-4720 1 σ : Cal BC 4840-4770
No.2	276689	7840 \pm 50	-20.6	7910 \pm 50	交点: Cal BC 6750, 6720, 6700 2 σ : Cal BC 7040-6640 1 σ : Cal BC 6900-6890, 6830-6670
No.3	276690	8820 \pm 50	-20.4	8900 \pm 50	交点: Cal BC 8200, 8040, 8010 2 σ : Cal BC 8250-7930, 7890-7840 1 σ : Cal BC 8220-7960
No.4	276691	10800 \pm 50	-19.2	10900 \pm 50	交点: Cal BC 10920 2 σ : Cal BC 10960-10880 1 σ : Cal BC 10940-10900
No.5	276692	20870 \pm 130	-19.4	20960 \pm 130	(暦年代較正の範囲外)
No.6	276693	21900 \pm 130	-18.3	22010 \pm 130	(暦年代較正の範囲外)

BP: Before Physics (Present), Cal: Calibrated, BC: 紀元前

(1) 未補正 ^{14}C 年代

試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在 (AD1950 年) から何年前かを計算した値。 ^{14}C の半減期は 5,730 年であるが、国際的慣例により Libby の 5,568 年を用いている。

(2) $\delta^{13}\text{C}$ 測定値

試料の測定 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための炭素安定同位体比 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)。この値は標準物質 (PDB) の同位体比からの千分偏差 (‰) で表す。試料の $\delta^{13}\text{C}$ 値を -25 (‰) に標準化することで同位体分別効果を補正する。

(3) ^{14}C 年代

$\delta^{13}\text{C}$ 測定値により同位体分別効果を補正して算出した年代。暦年代較正にはこの年代値を使用する。

(4) 暦年代 (Calendar Age)

過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動および ^{14}C の半減期の違いを較正することで、より実際の年代値に近づけることができる。暦年代較正には、年代既知の樹木年輪の詳細な ^{14}C 測定値およびサンゴの U/Th (ウラン / トリウム) 年代と ^{14}C 年代の比較により作成された較正曲線 (IntCal104) を使用した。IntCal104 では BC24050 年までの換算が可能である (樹木年輪データは BC19450 年まで)。

暦年代の交点は、 ^{14}C 年代値と較正曲線との交点の暦年代値を示し、 1σ (68% 確率) と 2σ (95% 確率) は、 ^{14}C 年代値の偏差の幅を較正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点や複数の 1σ ・ 2σ 値が表記される場合もある。

4. 所見

加速器質量分析法 (AMS) による放射性炭素年代測定の結果、No.1 では 5930 ± 40 年 BP (2σ の暦年代で BC 4910 ~ 4720 年)、No.2 では 7910 ± 50 年 BP (BC 7040 ~ 6640 年)、No.3 では 8900 ± 50 年 BP (BC 8250 ~ 7930, 7890 ~ 7840 年)、No.4 では 10900 ± 50 年 BP (BC 10960 ~ 10880 年)、No.5 では 20960 ± 130 年 BP (暦年代較正の範囲外)、No.6 では 22010 ± 130 年 BP (暦年代較正の範囲外) の年代値が得られた。

なお、土壌試料による年代測定結果は、その土壌が生成された当時の年代を示しており、文化層としての年代観とは必ずしも一致しない場合がある。

文献

- Paula J Reimer et al., (2004) IntCal104 Terrestrial radiocarbon age calibration, 26-0 ka BP. Radiocarbon 46, 1029-1058.
 中村俊夫 (1999) 放射性炭素法。考古学のための年代測定学入門。古今書院, p.1-36.

(3) 桑鶴遺跡群Ⅷ区

熊本県教育庁文化課：桑鶴遺跡群における放射性炭素年代測定

株式会社 古環境研究所

1. はじめに

放射性炭素年代測定は、光合成や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素 (^{14}C) の濃度が放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。樹木や種実などの植物遺体、骨、貝殻、土壌、土器付着炭化物などが測定対象となり、約5万年前までの年代測定が可能である。

2. 試料と方法

試料名	地点・層準等	種類	前処理・調整	測定法
No.1	Ⅷ区, IVb層	土壌	acid washes	AMS
No.2	Ⅷ区, VI層	土壌	acid washes	AMS
No.3	Ⅷ区, VII層上部	土壌	acid washes	AMS
No.4	Ⅷ区, VII層中部	土壌	acid washes	AMS
No.5	Ⅷ区, VII層下部	土壌	acid washes	AMS
No.6	Ⅷ区, VIII層	土壌	acid washes	AMS

acid washes : 酸洗浄, AMS : 加速器質量分析法 (Accelerator Mass Spectrometry)

3. 測定結果

試料名	測定 N_a (Beta-)	未補正 ^{14}C 年代 (年 BP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	^{14}C 年代 (年 BP)	暦年代 (較正年代) (2σ : 95%確率, 1σ : 68%確率)
No.1	308325	5520 ± 30	-19.9	5600 ± 30	交点: Cal BC 4450 2σ : Cal BC 4490-4360 1σ : Cal BC 4460-4440, 4420-4370
No.2	308326	12190 ± 50	-19.7	12280 ± 50	交点: Cal BC 12180 2σ : Cal BC 12270-12080 1σ : Cal BC 12220-12110
No.3	308327	13800 ± 50	-19.1	13900 ± 50	交点: Cal BC 14990 2σ : Cal BC 15060-14930 1σ : Cal BC 15020-14960
No.4	308328	17160 ± 60	-18.2	17270 ± 60	交点: Cal BC 18470 2σ : Cal BC 18560-18390 1σ : Cal BC 18520-18420
No.5	308329	19160 ± 70	-18.2	19270 ± 70	交点: Cal BC 21240, 21200, 21040 2σ : Cal BC 21360-20680 1σ : Cal BC 21310-20980, 20840-20730
No.6	308330	18090 ± 60	-18.3	18200 ± 60	交点: Cal BC 19610 2σ : Cal BC 20040-19560 1σ : Cal BC 19720-19580

BP : Before Physics (Present), Cal : Calibrated, BC : 紀元前

(1) 未補正 ^{14}C 年代

試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在 (AD1950 年) から何年前かを計算した値。 ^{14}C の半減期は 5,730 年であるが、国際的慣例により Libby の 5,568 年を用いている。

(2) $\delta^{13}\text{C}$ 測定値

試料の測定 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための炭素安定同位体比 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)。この値は標準物質 (PDB) の同位体比からの千分偏差 (‰) で表す。試料の $\delta^{13}\text{C}$ 値を -25 (‰) に標準化することで同位体分別効果を補正する。

(3) ^{14}C 年代

$\delta^{13}\text{C}$ 測定値により同位体分別効果を補正して算出した年代。暦年代較正にはこの年代値を使用する。

(4) 暦年代 (Calendar Age)

過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動および ^{14}C の半減期の違いを較正することで、より実際の年代値に近づけることができる。暦年代較正には、年代既知の樹木年輪の詳細な ^{14}C 測定値およびサンゴの U/Th (ウラン/トリウム) 年代と ^{14}C 年代の比較により作成された較正曲線 (IntCal09) を使用した。

暦年代の交点は、 ^{14}C 年代値と較正曲線との交点の暦年代値を示し、 1σ (68% 確率) と 2σ (95% 確率) は、 ^{14}C 年代値の偏差の幅を較正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点や複数の 1σ ・ 2σ 値が表記される場合もある。

4. 所見

加速器質量分析法 (AMS) による放射性炭素年代測定の結果、No.1 では 5600 ± 30 年 BP (2σ の暦年代で BC 4490 ~ 4360 年)、No.2 では 12280 ± 50 年 BP (BC 12270 ~ 12080 年)、No.3 では 13900 ± 50 年 BP (BC 15060 ~ 14930 年)、No.4 では 17270 ± 60 年 BP (BC 18560 ~ 18390 年)、No.5 では 19270 ± 70 年 BP (BC 21360 ~ 20680 年)、No.6 では 18200 ± 60 年 BP (BC 20040 ~ 19560 年) の年代値が得られた。

なお、土壌試料による年代測定結果は、その土壌が生成された当時の年代を示しており、文化層としての年代観とは必ずしも一致しない場合がある。

文献

Paula J Reimer et al., (2009) IntCal 09 and Marine 09 Radiocarbon Age Calibration Curves, 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 51, p.1111-1150.

中村俊夫 (1999) 放射性炭素法。考古学のための年代測定学入門。古今書院, p.1-36.

第VI章 遺構・遺物データ

第4表 遺構データ表

集石データ

クワ=最終遺跡群 ゴナ=五丁中原遺跡

棟号	調査区	遺構	グリッド	法量 [※] (推定)			礎の枚数	火災率 [※]	竪込みの有無・規模	出土石器・土器	
				長軸	短軸	深さ					
33	クワ	06-1b	1号集石	I-7	1.70	1.06		55	001	なし	磨石
33	クワ	06-1c	2号集石	L-10	2.80	2.00		58	003	なし	土器・磨石
34	クワ	06-1c	3号集石	0-6	2.00	1.50		39		なし	押型文土器 凹石・台石
34	クワ	06-1c	4号集石	F-7	1.00	0.80		23		なし	
35	クワ	06-1c	5号集石	0-6	1.30	0.70		28		なし	凹石 (45)
35	クワ	06-1c	6号集石	F-6	1.90	1.10		35		なし	押型文土器 (46)
41	クワ	Ⅱ	7号集石	B-3-4				60	11	なし	
44	クワ	Ⅵ	8号集石	C-6-7	6.00			21	57	なし	
44	クワ	Ⅵ	9号集石	C-D-6				3		1.37×1.2×0.6 円形	金襴文土器
52	ゴナ	Ⅲ	10号集石	I-10-11	1.23	0.50		17	47		

SH データ

棟号	調査区	遺構	グリッド	法量 [※] (推定)			面積 ㎡(推定)	平面形状	断面形状	備考
				長軸	短軸	深さ				
59	クワ	I	SH-01	B-4-5	3.37	3.18	0.18	10.71	隅丸方形	
73	クワ	Ⅲ	SH-01	A-2	5.12	2.65~	0.69	13.56~	隅丸方形 [※]	凹状
74	クワ	Ⅲ	SH-03	B-1-2	3.50~	4.10	0.61	14.35~	長方形	凹状
75	クワ	Ⅲ	SH-04	C-1						主要遺構は調査区外
76	クワ	Ⅲ	SH-05	C-D-1-2	5.40	3.90~	0.46	21.06~	隅丸方形	
77	クワ	Ⅲ	SH-05内土坑	C-2	0.66	0.57~	0.17		楕円形	凹状
80	クワ	Ⅲ	SH-06	C-2-3	3.0~	2.50~	0.41	7.50~	長方形	凹状
81	クワ	Ⅲ	SH-07	C-2-3	4.23~	4.14	0.44	17.51~	隅丸方形	凹状
84	クワ	Ⅲ	SH-08	C-2-3	2.93~	2.66~	0.37	7.79~	長方形	凹状
86	クワ	Ⅲ	SH-09	C-2-3			0.50			凹状
88	クワ	Ⅲ	SH-10	B-C-3-4	3.68	3.63	0.45	13.35	隅丸方形	凹状
92	クワ	Ⅲ	SH-11	B-C-3-4	4.56	4.44	0.33	20.24	隅丸方形	凹状
95	クワ	Ⅲ	SH-12	B-C-4	5.91	5.20	0.42	30.73		凹状
102	クワ	Ⅲ	SH-13	B-C-3	4.04	3.50	0.35	14.14	長方形	凹状
104	クワ	Ⅲ	SH-14内土坑	C-1-2	0.64	0.57	0.11		不定	凹状 灯明皿(150)
106	クワ	Ⅲ	SH-15	C-3	3.84	(2.55)	0.48	(9.79)	隅丸方形	凹状
109	クワ	Ⅲ	SH-16	C-3	4.90	3.98	0.32	19.50	長方形	凹状
112	クワ	Ⅲ	SH-17	C-3	4.18	(3.47)	0.38	(14.50)	隅丸方形	凹状
115	クワ	Ⅲ	SH-18	C-3			0.61			凹状
116	クワ	Ⅲ	SH-19	C-3	(3.20)	(2.91)	0.12~	(9.31)		凹状

SH データ

探跡	調査区	遺構	グリッド	法量 α (推定)			変積	平面形状	断面形状	備考
				長軸	短軸	深さ	α' (推定)			
117	クワ	Ⅲ	SH-20	C-3						個別図なし
121	クワ	Ⅳ	SH-01	B-4	2.85	2.52	0.33	7.18	隅丸方形	凹状
152	クワ	Ⅴ	SH-01	A-12-13	3.80~		0.48			
152	クワ	Ⅴ	SH-01 P-01	A-13	0.48	0.48	0.60		円形	U字状
104	クワ	Ⅲ	SH-14	C-1-2	4.70~	(3.75)				

SB データ

探跡	調査区	遺構	規格 深×前	方位	検出レベル ■	グリッド	量		析	
							■ [平均値]	P=ピット番号		
127	クワ	Ⅲ	SB-01	2×3	N-86° -E	76.85	C-D-2	P4-P5-P12 1.86+1.88[1.87] P3-P6-P11 1.76+1.96[1.86] P2-P7-P10 1.94+1.66[1.8] P1-P8-P9 2.06+1[1.86]	P1-P4 1.84+1.68+1.82[1.78] P5-P8 1.74+1.80+1.66[1.73] P9-P12 1.80+1.68+1.68[1.72]	
128	クワ	Ⅲ	SB-02			76.92	E-F-2	P3-P5 2.38+2.20[2.29]	P1-P3 2.46+2.18[2.32] P5-P6 2.14	
128	クワ	Ⅲ	SB-03	2×3	E-65° -N	76.30	D-2	P1-P3 2.08+1.96[2.02] P6-P8 2.0+2.0[2.0]	P1-P10-P9-P8 2.20+2.22+2.20[2.20] P3-P6 2.18+2.08+2.26[2.17]	
129	クワ	Ⅲ	SB-04	2×3	N-87° -E	77.04	D-3-4	P1-P3 2.1+1.8[1.96] P4-P6 1.7+1.8[1.75] P7-P9 1.5+1.9[1.7] P10-P12 1.5+1.8[1.7]	P1-P6-P7-P12 2.0+2.2+2.2[2.13] P2-P5-P8-P11 2.2+1.8+2.0[2.0] P3-P4-P9-P10 2.1+1.9+2.0[2.0]	
130	クワ	Ⅲ	SB-05	2×2	N-86° -E	76.50	D-4	P1-P3 1.8+1.7[1.65] P4-P6-P7 1.9+1.7[1.8] P9-P11 1.6+1.6[1.6]	P1-P7-P9 1.8+2.7[2.25] P2-P6-P10 1.5+3.2[2.35] P3-P4-P11 1.7+3.0[2.35]	
130	クワ	Ⅲ	SB-06	2×3	N-87° -E	76.71	C-3-4	P1-P3 2.3+2.1[2.2] P6-P8 2.0+2.3[2.15]	P1-P11-P9-P8 2.2+2.5+2.0[2.23] P2-P6 1.7+2.7+1.7[2.03]	
132	クワ	V	SB-01	4×5	N-90° -E	75.80	B-C-4-5	P7-P11 1.45+0.96+0.96+1.53[1.22] P3-P15 2.77 P1-P2 1.4	P2-P7 1.7+1.69+1.60+1.70+1.70[1.67] P11-P13 1.69+2.0[1.84]	

ST データ

探跡	調査区	遺構	グリッド	法量 α (推定)			平面形状	断面形状	備考
				長軸	短軸	深さ			
68	クワ	Ⅱ	ST-01	B-3-4	1.09	0.90	0.24	円形	凹状
68	クワ	Ⅱ	ST-02	C-3-4	2.04	0.73	0.30	楕円形	凹状
70	クワ	Ⅲ	ST-01	C-2	0.83	0.81	0.18	不定形	皿状
71	クワ	Ⅲ	ST-04	D-E-3	1.21	0.75	0.38	不定形	凹状
71	クワ	Ⅲ	ST-07	E-4	0.13	0.70		楕円形	場所特定できず
124	クワ	V	ST-01	C-5	(0.96)	(0.92)	0.15	不定形	皿状
125	クワ	V	ST-02	D-3	0.55	0.36	0.47	不定形	すり鉢状
118	クワ	Ⅵ	ST-01	D-6-7	0.92	0.77	0.17	円形	皿状
118	クワ	Ⅵ	ST-02	D-5	0.72	0.72	0.20	円形	凹状
118	クワ	Ⅵ	ST-03	D-5	2.08	1.56	0.25	楕円形	皿状
148	クワ	Ⅴ	ST-01	B-10-11	1.25	0.85	0.19	楕円形	皿状
148	クワ	Ⅴ	ST-02	D-E-9	1.07	1.10	0.42	三角形	すり鉢状
148	クワ	Ⅴ	ST-03	F-9-10	1.06	0.92	0.18	円形	皿状
148	クワ	Ⅴ	ST-04	F-7	1.04	0.95	0.10	円形	皿状

ST データ

棟号	調査区	遺構	グリッド	法量 ^{a)} (推定)			平面形状	断面形状	備考
				長軸	短軸	深さ			
148	クワ	Ⅲ	ST-05	D-10	0.80	0.71	0.38	隅丸方形	すり鉢状
148	クワ	Ⅲ	ST-07	D-4-5	1.64	0.86	0.18	楕円形	皿状
149	クワ	Ⅲ	ST-08	A-11	1.87	1.06	0.25	不定形	凹状
45	クワ	Ⅲ	ST-09	E-6	0.70	0.28	0.06	不定形	皿状
149	クワ	Ⅲ	ST-10	A-12	0.73	0.55	0.27	楕円形	凹状
45	クワ	Ⅲ	ST-11	F-4	0.93	0.50	0.17	不定形	皿状
157	クワ	Ⅲ	ST-12	E-5	1.32	0.59	0.28	楕円形	凹状
151	クワ	Ⅲ	ST-15	G-H-9	1.67	0.80	0.30	不定形	凹状
151	クワ	Ⅲ	ST-16	F-8	0.83	0.74	0.19	不定形	凹状
157	クワ	Ⅲ	ST-18	D-E-5	1.13	0.75	0.22	楕円形	凹状
157	クワ	Ⅲ	ST-19	C-11	1.24	0.52	0.36	不定形	皿状・すり鉢状
156	クワ	Ⅲ	ST-20	B-12	0.87	0.60	0.40	不定形	皿状・U字状
156	クワ	Ⅲ	ST-21	B-12	0.83	0.63	0.37	円形	すり鉢状
156	クワ	Ⅲ	ST-22	D-12	(1.55)	(0.50)	0.23	楕円形	皿状
157	クワ	Ⅲ	ST-23	C-10	1.23	0.99	0.49	円形	凹状
157	クワ	Ⅲ	ST-24	C-9	1.43	0.92	0.20	不定形	不定
156	クワ	Ⅲ	ST-25	F-11・12	3.60	1.56	1.01	円形	U字状
157	クワ	Ⅲ	ST-26	B-9	(1.38)	(0.72)	0.19	不定形	皿状
157	クワ	Ⅲ	ST-27	E-7	2.23	0.77	0.43	不定形	皿状
157	クワ	Ⅲ	ST-28	F-8-9	0.82	0.69	0.46	円形	皿状・U字状
149	クワ	Ⅲ	ST-29	G-9	0.88	0.40	0.28	不定形	皿状
158	クワ	Ⅲ	ST-30	E-10	0.80	0.69	0.60	円形	U字状
158	クワ	Ⅲ	ST-31	C-11	0.75	0.64	0.72	円形	U字状
161	ゴナ	I	ST-04	C-5	0.96	0.90	0.19	不定形	凹状
161	ゴナ	I	ST-06	C-4	0.83	0.80	0.16	円形	凹状
161	ゴナ	I	ST-07	D-7	0.92	0.73	0.12	円形	凹状
161	ゴナ	I	ST-08	D-6	0.93	0.92	0.30	円形	凹状
163	ゴナ	I	ST-11	B-5	1.12	0.90	0.18	円形	皿状
163	ゴナ	I	ST-12	C-5	0.92	0.83	0.79	円形	凹状
163	ゴナ	I	ST-13	E-5	1.40	0.70	0.12	不定形	皿状
163	ゴナ	I	ST-14	E-5	1.47	0.69	0.19	楕円形	凹状
163	ゴナ	I	ST-15	D-3	1.08	1.05	0.27	円形	皿状
164	ゴナ	I	ST-16	B-6	0.94	0.58	0.16	楕円形	皿状

ST データ

棟号	調査区	遺構	グリッド	法量 ^{a)} (推定)			平面形状	断面形状	備考	
				長軸	短軸	深さ				
164	ボナ	I	ST-17	B-6	1.23	1.03	0.23	円形	皿状	
164	ボナ	I	ST-18	B-7	1.94	1.84	0.84	方形	凹状	
164	ボナ	I	ST-19	B-7	0.91	0.74	0.14	円形	凹状	
164	ボナ	I	ST-20	A-6	0.96	0.86	0.08	円形	皿状	
164	ボナ	I	ST-21	A-6	1.51	0.92	0.17	楕円形	皿状	
164	ボナ	I	ST-22	B-7	(1.36)	(0.68)	0.84	不定形	U字状	
163	ボナ	I	ST-23	B-4	(2.10)	(0.92)	0.13	不定形	皿状	
163	ボナ	I	ST-24	C-3	0.57	0.49	0.06	円形	皿状	
163	ボナ	I	ST-25	C-D-5	1.26	0.96	0.15	楕円	皿状	
163	ボナ	I	ST-26	C-D-5	0.80	0.70	0.37	円形	V字状	
159	ボナ	I	ST-27	D-7	2.06	1.88	0.28	円形	皿状	
46	ボナ	II	ST-28	K-18	0.84	0.70	0.18	円形	皿状	
46	ボナ	II	ST-29	J-19	0.98	0.65	0.12	楕円形	凹状	
46	ボナ	II	ST-30	K-18	0.80	0.70	0.16	円形	凹状	
46	ボナ	II	ST-32	I-16	0.91	0.70	0.16	円形	凹状	
46	ボナ	II	ST-33	I-15	0.89	0.80	0.09	円形	皿状	
46	ボナ	II	ST-34	G-17	(0.50)	0.34~	0.27	不明	凹状	
48	ボナ	II	ST-53	I-J-17	1.10	0.42	1.18 0.91	不定形	不定	
49	ボナ	II	ST-54	H-17	1.59	0.34	0.16	隅丸長方形	凹状	
48	ボナ	II	ST-56	K-18	1.04	0.80	0.86	楕円形	U字状	
48	ボナ	II	ST-57	J-K-19	1.20	0.80	0.18	不定形	皿状	
48	ボナ	II	ST-58	J-18-19	1.92	0.90	0.13	不定形	皿状	
49	ボナ	II	ST-59	G-H-16	1.11	0.34	0.20	不定形	皿状 ^{b)}	
49	ボナ	II	ST-60	I-18	1.14	0.40	0.22	不定形	凹状	
48	ボナ	II	ST-61	K-17	1.10	0.42	0.26	不定形	U字状	
49	ボナ	II	ST-62	G-17-18	(0.78)	(0.76)	0.32	不定形	すり鉢状 ^{b)}	
49	ボナ	II	ST-63	G-17	(1.16)	(0.57)	0.20	不明	皿状 ^{b)}	
49	ボナ	II	ST-65	I-17	1.15	0.75	0.30	不定形	不定	
167	ボナ	III	ST-38	J-11	1.30	0.48	0.17	不定形	凹状	
167	ボナ	III	ST-39	I-10	0.90	0.46	0.20	不定形	皿状	
167	ボナ	III	ST-40	J-11	0.60	0.37	0.15	不定形	凹状	
167	ボナ	III	ST-41	J-9	1.03	0.65	0.12	不定形	凹状	
167	ボナ	III	ST-42	I-12	0.95	0.48	0.14	不定形	凹状	

ST データ

棟号	調査区	遺構	グリッド	法量 [※] (推定)			平面形状	断面形状	備考	
				長軸	短軸	深さ				
167	ゴナ	Ⅲ	ST-43	I-11	0.61	0.38	0.20	不定形	凹状	
167	ゴナ	Ⅲ	ST-44	K-7-8	0.66	0.56	0.18	不定形	凹状	
167	ゴナ	Ⅲ	ST-45	L-6	0.84	0.40	0.37	不定形	すり鉢状	
168	ゴナ	Ⅲ	ST-46	L-8	0.73	0.60	0.14	不定形	凹状	
168	ゴナ	Ⅲ	ST-47	K-8	0.87	0.60	0.20	不定形	凹状	
168	ゴナ	Ⅲ	ST-48	K-7	0.93	0.72	0.28	不定形	凹状	
168	ゴナ	Ⅲ	ST-49	W-L-5-6	(0.86)	(0.34)	0.22	楕円形	凹状	
168	ゴナ	Ⅲ	ST-50	L-5	0.97	0.57	0.16	不定形	皿状	
168	ゴナ	Ⅲ	ST-51	N-7	0.97	0.50	0.23	不定形	凹状	
169	ゴナ	Ⅲ	ST-66	L-9			0.55	不定形	U字状	

SK データ

棟号	調査区	遺構	グリッド	法量 [※] (推定)			平面形状	断面形状	備考	
				長軸	短軸	深さ				
56	クワ	06-1b	SK-01	B-2	3.35	1.21	0.17	楕円	凹状	
39	クワ	06-1b	SK-02	B-3	2.67	0.71	0.40	隅丸長方形	凹状	燃焼土状
140	クワ	06-1b	SK-04	N-6	1.15	1.15	0.21	方形	凹状	
39	クワ	06-1b	SK-05	B-C-2	1.72	0.81		長方形	凹状	
56	クワ	06-1c	SK-06	W-9	0.84	0.84	0.07	不定形	皿状	
140	クワ	06-1c	SK-07	K-8	0.95	0.74	0.25	楕円形	凹状	
140	クワ	06-1c	SK-08	J-7-8	1.51	0.73	0.18	楕円形	皿状	
140	クワ	06-1c	SK-09	E-7	1.81	0.85	0.28	楕円形	凹状	
143	クワ	06-IIb	SK-10	H-6-14	1.13	0.93	0.08	不定形	凹状	
143	クワ	06-IIb	SK-11	F-13	1.07	0.80	0.30	楕円形	U字状	
143	クワ	06-IIb	SK-12	I-12	0.86	0.45	0.43	不定形	すり鉢状	
143	クワ	06-IIb	SK-13	H-12	1.13	0.65	0.45	不定形	不定	

S0 データ

棟号	調査区	遺構	グリッド	法量 [※] (推定)			平面形状	断面形状	備考	
				長軸	短軸	深さ				
154	クワ	Ⅳ	S01	C-7	2.26	0.83	0.65	不定形	凹状	
155	クワ	Ⅳ	S02	C-7	0.70～	(0.75～)	(0.42)	不定形	凹状	
155	クワ	Ⅳ	S03	C-7	0.88～	(0.64～)	(0.31)	不定形	凹状	
155	クワ	Ⅳ	S04	C-7	0.80～	(0.88)	(0.45)	不定形	凹状	

SDデータ

探跡	調査区	遺構	グリッド	法量 [※] (推定)			断面形状	備考	
				長軸	短軸	深さ			
133	クワ	V	SD-01	A-0-1~3	10.36	6.28	1.44	U字状	
166	ゴテ	Ⅲ	SD-01	L-0-3~6	11.32	1.70	0.12~0.37	溝状・すり鉢状	
136	クワ	06-I a	SD-01	P-0-9	4.50	1.80	0.20	凹状	
137	クワ	06-I a	SD-02	0-P-8~10	8.50	0.60	0.14	凹状	
137	クワ	06-I a	SD-03	0-P-7~9	11.30	1.10	0.20	溝状	
138	クワ	06-I a	SD-04	N-0-8-9	5.50	0.40	0.10	溝状	
137	クワ	06-I a	SD-05	N-0-9-10	8.80	1.00	0.27	凹状	
139	クワ	06-I a	SD-06	N-P-10-11	5.10	1.10	0.17	溝状	
139	クワ	06-I c	SD-06	L-N-9-10	8.60	1.10	1.65	溝状	別々に検出したが連続する可能性
57	クワ	06-I b	SD-07	G-N-4~7	15.60	1.70	0.5~0.62	凹状	
138	クワ	06-I b	SD-08	A-1-1~4	45.2~	0.60	0.08	溝状・凹状	
54	クワ	06-I c	SD-09	B-0-6~8	23.5~	1.10	0.25~1.05	すり鉢状・凹状	
123	クワ	06-I c	SD-10	L-N-9~11	5.50	1.30	0.28~0.52	凹状	
144	クワ	06-II a	SD-11	P-Q-18	4.10	0.75	0.20	凹状	
144	クワ	06-II b	SD-12	F-13-14	4.60	0.82	0.20	凹状	

Pitデータ

探跡	調査区	遺構	グリッド	法量 [※] (推定)			平面形状	断面形状	備考	
				長軸	短軸	深さ				
61	クワ	I	Pit1	B-5	0.91	0.63	0.54	楕円長方形	U字状	SH-01に伴う
61	クワ	I	燃焼土坑	B-5	0.67	0.62	0.42	円形	すり鉢状	
70	クワ	Ⅲ	燃焼土坑No.1		0.68	0.61	0.13	円形	溝状	
111	クワ	Ⅲ	P-①		0.49	0.38	0.22	楕円形	U字状	SH-16の柱穴
111	クワ	Ⅲ	P-②		0.62	0.58	0.55	楕円形	U字状	SH-16の柱穴 _a
145	クワ	Ⅳ	SP-01 (真鍮Pit)	A-3	0.46	0.46	0.47	円形	U字状	淡水系の貝
146	クワ	Ⅴ	P-01	E-7	0.78	0.50	0.10	円形	凹状	
149	クワ	Ⅴ	P-58	E-11	0.58	0.39	0.10	長方形	凹状	

SIデータ

探跡	調査区	遺構	グリッド	法量 [※] (推定)			平面形状	断面形状	備考	
				長軸	短軸	深さ				
55	クワ	06-I b	SI-01	H-7	0.62	0.51	0.28	円形	凹状	古代の火葬基 土師器(64-65)
55	クワ	06-I c	SI-02	D-5	0.37	0.30	0.06	円形	凹状	土師器(66)
40	クワ	06-II a	SI-03	S-17	1.13	0.86	0.25	楕円形	溝状	縄文土器(50)

土器集中区データ

探跡	調査区	通構	グリッド	法量* (推定)			平面形状	断面形状	備考
				長軸	短軸	深さ			
36	クワ	06-1a	土器集中区1	P-7	0.30	0.45			縄文晩期遺跡(47)
37	クワ	06-1c	土器集中区2	C-D-7	0.55	0.24			土器集中区 押型文土器(48)
38	クワ	06-1c	土器集中区3	C-6	0.45	0.30			押型文土器(49)

SXデータ

探跡	調査区	通構	グリッド	法量* (推定)			平面形状	断面形状	備考	
				長軸	短軸	深さ				
63	クワ	Ⅱ	SX-02	A~C-1~3	19.76	1.20		溝状	皿状	
64	クワ	Ⅱ	SX-03	A-B-4	7.70	1.42		不定形	皿状	帯状の硬化面
65	クワ	Ⅱ	SX-04	A~C-1~3	20.0	1.40	0.10			溝状の硬化面 土師器・須恵器が出土
42	クワ	Ⅱ	SX-05	A-B-1	2.50	2.50				土器散布 25×25
147	クワ	Ⅲ	SX-01	C-D-6	2.41	1.06	0.30	不定形	皿状	粘土とカーボン集中 プランは補綴できず
147	クワ	Ⅲ	SX-01 P-01	D-6	0.62	0.59	0.30	不定形	V字状	
147	クワ	Ⅲ	SX-01 P-02	D-6	0.57	0.30~	0.08	不定形	皿状	
147	クワ	Ⅲ	SX-01 P-03	D-6	0.62	0.60	0.19	円形	すり鉢状	
150	クワ	Ⅲ	SX-02	C-11~12	4.32	3.06	0.92	隅丸長方形	凹状	
150	クワ	Ⅲ	SX-02 P-01	C-12	0.60	0.45	0.44	楕円形	すり鉢状	
150	クワ	Ⅲ	SX-03	G-H-10-11	5.30	3.90	1.06	隅丸長方形	凹状	
147	クワ	Ⅲ	SX-04	E-7	1.48	0.85	0.10	不定形	皿状	
151	クワ	Ⅲ	SX-05	G-9	3.44	1.00	0.26	不定形	凹状	
141	クワ	06-1b	SX-01	E-2	1.90	1.96	0.48	方形	凹状	
141	クワ	06-1b	SX-02	H-3	2.30	1.32~	0.23	楕円形	凹状	
141	クワ	06-1c	SX-04	M-10	1.48	0.44	0.07	不定形	皿状	
143	クワ	06-IIa	SX-03	O-14	1.69	1.16	0.26	不定形	皿状	
161	ゴナ	I	SX-01	D-6	4.74	3.04	0.55	楕円形	凹状	カーボン集中
50	ゴナ	Ⅱ	SX-02	I-J-16						土器集中区
51	ゴナ	Ⅱ	SX-04	I-J-16						土器集中区

第5表 出土遺物観察表(石器) 2

標号	測定番号	調査区		出土地点		層位	取上げNo.	型名	器種	石材	寸法			備考	
		調査区	出エシムホ	グリッド	グリッド						長さ(m)	幅(m)	厚(m)		重(g)
30	30	16	ゴナ	I		7層	211	○	二次加工断片	在産地Aa	0.2	3.8	1.0	4.65	磨長断片
30	31	496	ゴナ	I		7層 アカホ(中層) (アホホ下層)		○	断片	良地A	3.7	16.4	0.5	3.53	石打器の可能性 やや白く風化 基部欠 磨長断片
30	32	495	ゴナ	I	B-5	7層 アカホ(中層) (アホホ下層)		○	角縁状石器	磨長地	4.2	1.7	1.2	7.96	やや風化 ガシリ 下縁欠損
30	33	637	ゴナ	I	C-6	7層 アカホ(中層) (アホホ下層)		○	ナイフ形石器	良地A	4.8	1.7	1.1	7.83	風化は軽化にたりやや白化 両生面研削 基部欠損欠損 基部系の磨削ナイフ
30	34	634	ゴナ	I		7層	58	○	ナイフ形石器	磨長地	1.7	1.1	0.4	0.73	二次加工ナイフ 先端部欠損
30	35	11	ゴナ	I		7層	244	○	断片	磨長地	1.3	2.1	0.5	0.83	小型の磨長断片
31	36	8	ゴナ	I		V層	87	○	細石刃	磨長地	1.0	0.5	0.1	0.05	上下部欠損
31	37	9	ゴナ	I		V層	103	○	細石刃	磨長地	1.6	0.6	0.1	0.16	磨削片痕 上下部欠損
31	38	14	ゴナ	I		V層	96	○	断片	在産地Aa	2.7	2.1	1.4	5.14	上部欠損
31	39	490	ゴナ	I		V層	90	○	細石刃	磨長地	1.5	0.4	0.2	0.12	上下部欠損
31	40	6	ゴナ	I		V層	89	○	細石刃	磨長地	1.1	0.5	0.1	0.08	上下部欠損
31	41	12	ゴナ	I		V層	76	○	断片	磨長地	2.5	2.1	0.4	1.00	下部欠損 磨削跡断片
31	42	19	ゴナ	Ⅱ	96E3	V層	76	○	二次加工断片	磨長地	2.1	2.5	1.1	4.01	磨削痕
31	43	18	ゴナ	Ⅱ	96E9 (9-10)	V層→V層		○	断片	Ass-4ab	2.3	1.4	0.5	1.41	清潔な風化石 シヤ磨削入る 上下部欠損
31	44	13	ゴナ	I		V層	122-1	○	断片	在産地Aa	3.9	2.8	1.5	9.10	阿蘇産Aa
18	取08	クワ	Ⅱ			V～V層	No.88	○	断片	磨長地 湯島段段区	3.2	2.5	1.0	7.07	多少の風化重 一部にガシリ 白く風化
18	取115	クワ	Ⅱ			V～V層	No.115	○	断片	磨長地	1.7	0.9	0.5	2.20	一部に磨削痕
18	取151	クワ	Ⅱ			V～V層	No.151	○	断片	不明地	1.1	1.4	0.4	2.16	高度石 小片で不明
18	取25	クワ	Ⅱ			V～V層	No.83	○	断片	在産地Aa	1.7	1.2	2.15	1.92	一部ガシリ 白く風化
18	取121	クワ	Ⅱ			V～V層	No.121	○	断片	Ass-4ab	0.8	1.3	0.2	1.92	磨削痕入る
18	取125	クワ	Ⅱ			V～V層	No.125	○	断片	Ass-4ab	1.6	1.2	0.4	2.24	磨削痕入る
18	取139	クワ	Ⅱ			V～V層	No.139	○	断片	不明地	1.5	1.3	0.4	2.10	風化重の可能性 色調はスリガラス状の白色風 重の面は多く一部磨削痕を挟す
18	取123	クワ	Ⅱ			V～V層	No.123	○	断片	Ass-4ab	1.1	1.4	0.2	1.97	石灰っぽい磨長地 磨削痕入る
18	取147	クワ	Ⅱ			V～V層	No.147	○	断片	在産地Aa	1.2	1.9	0.4	2.33	阿蘇産宝山層 磨削痕入る
18	取56	クワ	Ⅱ			V～V層	No.56	○	断片	在産地Aa	1.2	1.2	0.4	2.15	阿蘇産宝山層 やや白く風化しており磨削痕入る
18	取150	クワ	Ⅱ			V～V層	No.150	○	断片	在産地Aa	3.1	2.8	1.1	6.81	阿蘇産宝山層 表面に凹溝が多く所々に磨削痕入る
18	取19	クワ	Ⅱ			V～V層	No.19	○	断片	良地A	0.8	1.7	0.4	2.18	色調はやや青っぽい やや風化 阿蘇産 ^a
18	取100	クワ	Ⅱ			V～V層	No.100	○	断片	在産地Aa	4.5	1.8	0.8	7.72	阿蘇産宝山層に磨削痕入る やや白く風化 磨削痕所々に入る

第5表 出土遺物観察表(石器) 3

検出 緯度	検出 経度	調査区	出土位置		取上げNo.	包蔵層	材質	形状	石種	寸法			備考
			調査区	グリッド						長さ(m)	幅(m)	厚(m)	
18	敷104	クワ II	敷115		No.104	○	石核	Ac-4ab	2.5	1.7	1.1	6.96	一面のみ削片剥離 残りは破断
18	敷09	クワ II	敷587		No.69	○	石核	Ac-4ab	1.5	2.0	1.0	4.71	一面のみ削片剥離 残りは破断
18	敷101	クワ II	敷135		No.101	○	石核	Ac-4ab	2.0	1.8	0.9	4.51	一面のみ削片剥離 残りは破断
18	敷05	クワ II	敷196		No.05	○	石核	Ac-4ab	1.8	2.3	0.9	5.24	一面のみ削片剥離 残りは破断
18	敷08	クワ II	敷306		No.08	○	石核	Ac-4ab	1.8	1.6	0.8	3.87	上下より削片剥離 残りは破断
18	敷09	クワ II	敷101		No.09	○	削片	Ac-4ab	2.1	2.1	0.8	5.20	主要剥離面以外は破断 Ac-4abと同じ大きさの小塊の空白塊 Ac-4a時に含まれるものと思われる。主要剥離面以外は破断
18	敷100	クワ II	敷108		No.100	○	削片	Ac-4ab	1.8	1.8	1.3	9.90	主要剥離面を欠す
18	敷06	クワ II	敷196		No.06	○	削片	Ac-4ab	1.5	2.4	0.9	3.66	一部に剥離面を欠す
18	敷06	クワ II	敷111		No.06	○	削片	Ac-4ab	1.8	2.4	0.4	2.74	一部に剥離面を欠す
18	敷06	クワ II	敷213		No.06	○	削片	Ac-4ab	2.1	2.1	0.8	4.21	主要剥離面以外は破断
18	敷102	クワ I	敷097		No.102	○	削片	Ac-4ab	2.7	2.3	0.9	6.12	一部に剥離面を欠す
27	敷113	ゴキ I	敷092		No.113	○	石核	Ac-4ab	1.5	2.2	1.4	4.02	石核はいずれにせよ赤土系Ac-4ab。良質。小型の石核。
27	敷333	ゴキ I	敷209		No.333	○	剥離面	不明	2.7	2.4	0.6	3.60	一部に剥離面を欠す
27	敷06	ゴキ I	敷309		No.06	○	砕片	チャート	0.8	1.0	0.1	1.54	色調は白色
27	敷91	ゴキ I	敷505		No.91	○	砕片	燧石	1.0	1.1	0.2	1.31	
27	敷34	ゴキ I	敷274		No.34	○	砕片	燧石	1.1	2.2	0.6	2.37	
22	敷17	クワ III	敷895		No.17	○	削片	Ac-4ab	2.0	2.0	0.5	2.76	一部に剥離面を欠す
22	敷20	クワ III	敷103	敷821 F-9	No.20	○	削片	Ac-4ab	2.2	0.9	0.8	3.09	一部に剥離面を欠す
22	敷0	クワ III	敷746	敷818	No.0	○	削片	良質Ac	2.0	2.3	0.3	2.44	削片が強い石材。無剥離面。上部欠損 剥離面。赤土系チャートによる欠損。剥離面 無剥離面。赤土系チャートによる欠損
22	敷0	クワ III	敷306	敷825	No.0	○	削片	不明	2.1	1.6	0.7	2.85	剥離面。赤土系チャートによる欠損
Ph.14	4-6	瓦裏 のみ	-	-	-	○	細石刃	Ac-4ab	1.5~	0.6	0.2	0.15	剥離面。赤土系チャートによる欠損
Ph.14	5-7	瓦裏 のみ	-	-	敷3-5 0-3-5	○	細石刃	不明Ac	1.1~	0.7	0.3	0.17	石核は白色のAc。燧石川原。燧石。白色 燧石の削片。上部打痕として剥離。Ac層からの出土であるが旧石器 の削片の写真性。一部がシリヤク良質
Ph.15	5-6	瓦裏 のみ	-	-	F-7	○	削片	良質Ac	8.1	2.8	1.3	19.16	
検出 緯度	検出 経度	調査区	出土位置		取上げNo.	包蔵層	材質	形状	石種	寸法			備考
			調査区	グリッド						長さ(m)	幅(m)	厚(m)	
35	45	586	クワ 06-1c	5号集石			燧石	Ac-4ab	9.7	7.7	4.9	416.50	
77	86	624	クワ III	5H-05	1		燧石	湖沢燧	3.1	16.0	17.0	7000.00	
77	87	625	クワ III	5H-05			燧石	湖沢燧	24.4	16.2	15.3	3900.00	
127	179	616	クワ IV	環土上 (環土上)			燧石	砂岩	18.9	10.0	7.8	1456.40	
150	190	611	クワ III	5K-02	1		石核	燧石	2.6	2.1	0.4	2.90	
150	191	623	クワ III	5I-04			石核	燧石	27.0	19.2	5.9	4607.00	
191	463	454	クワ III	5H-05	1		燧石	燧石	6.3	2.2	0.9	12.23	

第5表 出土遺物観察表(石器) 4

標号	発掘 報告	調査区		出土地点		形状	材質	長さ(mm)	幅(mm)	重量(g)	備考
		調査区	遺構	グリッド	層位						
191	464	520	Ⅲ	D-3	Ⅱ層下位	石製	黒曜石	2.3	2.0	0.6	1.72
191	465	521	Ⅲ	Vt	調査区一帯	石製	黒曜石	1.1	1.2	0.3	0.25
191	466	522	Ⅲ	Vt	調査区一帯	石製	安山岩	1.4	1.5	0.2	0.27
191	467	524	Ⅲ	C-5	赤小ヤ	石製	黒曜石	1.5	1.2	0.3	0.28
191	468	526	Ⅲ	B-3	調査上位	石製	安山岩	1.6	1.4	0.3	0.64
191	469	526	Ⅲ	B-2	調査上位	石製	黒曜石	1.4	1.3	0.5	0.68
191	470	529	Ⅲ	D-5	調査一帯	石製	チャート	1.6	1.2	0.4	0.53
191	471	549	Ⅲ	B-6	調査上	石製	黒曜石	1.9	1.4	0.3	0.40
191	472	533	Ⅲ	D-7	調査一帯	石製	安山岩	2.5	1.8	0.6	1.64
191	473	534	Ⅲ	D-5	調査上	石製	黒曜石	1.4	1.0	0.2	0.25
191	474	527	Ⅲ	B-6	調査上位	石製	安山岩	2.4	1.4	0.3	0.58
191	475	530	Ⅲ	F-3	調査下位	石製	安山岩	3.6	1.9	0.8	3.34
191	476	536	Ⅲ	D-5	Ⅱ層	石製	安山岩	3.7	1.7	0.5	1.91
191	477	657	Ⅲ	B-17	V層	行脚石製	黒曜石	3.3	1.8	0.5	2.17
191	478	32	Ⅲ	B-17	V層	石製	黒曜石	1.6	1.8	0.3	0.60
191	479	33	Ⅲ	D-5	調査一帯	石製	黒曜石	1.2	1.8	0.4	0.67
191	480	530	Ⅲ	D-6	調査遺構付土	石製	安山岩	3.2	1.4	0.3	1.30
191	481	550	Ⅲ	E-4	Ⅱ層	石製	黒曜石 (褐色)	(4.0)	(1.4)	0.4	2.50
191	482	548	Ⅲ	B-19	Ⅱ層	石製	黒曜石	(2.9)	(1.5)	0.4	1.60
191	483	528	Ⅲ	B-11	Ⅱ層	石製	黒曜石	2.4	1.3	0.3	0.57
191	484	509	Ⅲ	I	Ⅱ層 調査一帯	石製	安山岩	3.1	1.2	0.5	1.44
191	485	596	Ⅲ	F-3	石台?	石台?	粉砂岩	2.7	3.7	0.6	9.01
191	486	482	Ⅲ	E-11	Ⅱ層	石製	安山岩	4.6	7.2	1.5	33.59
192	487	516	Ⅲ	C-8	調査一帯	石製	安山岩	6.5	5.0	0.9	24.68
192	488	I	Ⅲ		Ⅱ層	石製	チャート	2.6	3.6	0.6	4.06
192	489	517	Ⅲ	F14	I	石製	安山岩	2.9	3.8	0.8	6.46
192	490	514	Ⅲ	D-3	V層	石製	安山岩	6.7	2.3	0.9	9.69
192	491	512	Ⅲ	Vt	調査区一帯	石製	チャート	3.0	4.0	0.9	8.27
192	492	518	Ⅲ	06-IIa	V層	石製	安山岩	3.0	4.5	0.7	6.13
192	493	511	Ⅲ	A-2	調査上位	石製	チャート	3.4	4.5	0.8	6.03
192	494	483	Ⅲ	C-10	Ⅱ層	石製	安山岩	4.7	9.6	1.1	27.20
193	495	479	Ⅲ	IV	Ⅱ層	石製	安山岩	3.9	9.0	1.1	21.76
193	496	473	Ⅲ	アカホヤ	Ⅱ層上位	チャート/クレーパー	黒曜石	4.5	1.4	0.8	3.17
193	497	486	Ⅲ	I	調査上位	チャート/クレーパー	黒曜石	3.4	2.5	0.5	3.57
193	498	502	Ⅲ	II	V層	チャート/クレーパー	チャート	5.3	3.0	1.2	19.02

第5表 出土遺物観察表(石器) 5

標号	採掘 報告	調査区	出土地点		層位	取上げNo.	包蔵層	器種	石材	寸法			備考	
			グリッド	遺構						長さ(m)	幅(m)	厚(m)		重(g)
190	499	505	クワ	06-Ba	W-176	V層	542	砥長新片	安山岩	6.5	2.7	1.1	15.92	
190	500	491	ゴテ	I	B-4	IVa層		砥長新片	黒曜石	3.6	1.8	0.7	2.01	
190	501	540	クワ	Ⅲ		カクラン		新片	チャート	3.5	2.1	1.4	8.68	
190	502	17	ゴテ	I			54	新片		3.1	1.3	1.4	2.54	
190	503	515	ゴテ	I		IVa層								
190	504	507	クワ	06-1a				打製石片	安山岩	6.0	4.0	1.6	42.90	表層
190	505	506	クワ	06-Ba		408		エントスワレイバー	黒曜石	3.4	2.5	0.7	3.74	
190	506	540	クワ	Ⅲ	0625	11-No.38		新片	安山岩	2.8	1.7	0.6	2.45	
190	507	510	クワ	Ⅱ	B-2	遺構上位		新片	安山岩	3.2	5.4	1.3	16.38	
190	508	499	ゴテ	I	A-6	V層	57	新片	磨製長石	4.2	4.2	1.0	11.95	
194	509	483	ゴテ	I		試掘レンテ	1	サイドスワレイバー	黒曜石	3.3	2.4	1.0	7.43	
194	510	477	クワ	IV		表土ハビー一括		二次加工 砥長新片	黒曜石	3.2	1.1	0.6	1.22	
194	511	481	クワ	Ⅲ		表層面		新片	安山岩	3.2	1.1	0.6	1.71	
194	512	500	ゴテ	Ⅱ	A-17	IVa層		サイドスワレイバー	黒曜石	3.5	1.8	0.6	2.69	
194	513	512	ゴテ	I	C-4	IVa層一括		新片	チャート	2.8	3.4	0.8	5.36	
194	514	476	クワ	IV		表土 非ハヤ		砥長新片	黒曜石	7.3	1.6	1.3	5.28	
194	515	475	クワ	Ⅲ	D-3	遺構上		二次加工 砥長新片	安山岩	1.5	3.8	1.1	5.27	
194	516	484	ゴテ	I	C-4	IVa層一括		エントスワレイバー	黒曜石	2.0	2.1	0.6	1.96	
194	517	546	ゴテ	I	D-3	V層	25	新片	安山岩	2.1	2.7	0.4	1.56	
194	518	482	ゴテ	I	A-5	IVa層一括		磨製黒新片	黒曜石	2.4	2.4	0.9	3.77	
194	519	508	高橋遺跡群		F-3	一括		砥長新片	安山岩	6.0	4.9	0.9	19.52	
194	520	547	ゴテ	I	E-3	南坑A	5	二次加工のち石磨	安山岩	5.1	1.8	1.1	9.50	
194	521	504	ゴテ	Ⅲ		V層下位一括		使用感有る石磨	安山岩	3.0	4.1	1.5	11.03	
194	522	544	ゴテ	I	A-5	IVa層	53	新片	安山岩	4.3	3.0	0.8	5.63	
196	523	478	クワ	V	C-5	V層一括		サイドスワレイバー	安山岩	8.0	3.6	1.7	44.97	
196	524	627	ゴテ	I	D-6			打製石磨 (厚石安山岩)	安山岩	15.2	7.4	2.1	24.10	打製石磨は 結晶全体が新片による磨製石磨成。刃部は使用感 ある。磨製の一部は磨製による磨製成。
196	525	645	ゴテ	Ⅲ	D-4	IVa層一括	1	打製石片	安山岩	16.0	7.6	2.8	473.20	打製石片は 結晶全体が新片による磨製石磨成。刃部は使用感 ある。磨製の一部は磨製による磨製成。
196	526	5	クワ	Ⅲ	D-12			磨製長石片	緑色片岩	10.8	4.0	1.4	89.40	
196	527	628	ゴテ	Ⅲ	D-6	IVa層		砥長石 (厚石安山岩)	黒曜石	10.2	4.2	3.1	152.70	砥長石は 金剛石製のみの磨製石磨成 刃部は使用感ある。
196	528	562	クワ	Ⅱ	A-2	遺構上位		用直磨石磨	安山岩	12.3	7.1	1.9	153.60	刃部に磨製な磨石。厚石安山岩
197	529	621	ゴテ	C-4	IVa層			砥長石	安山岩	50.1	20.9	11.5	8850.00	
197	530	622	ゴテ	D-7	IVa層			石磨 火成岩	安山岩	24.0	20.0	8.5	7000.00	

第5表 出土遺物観察表(石器)6

標号	発掘 番号	調査区			遺構	出土地点			形状	石材	寸法			備考
		クワ	クワ	Ⅲ		グリッド	層位	取上げ時、 状態			長さ(m)	幅(m)	厚(m)	
197	531	614	クワ	Ⅲ		E-5			板石	9.7	5.3	4.2	322.80	
198	532	609	クワ	Ⅲ					板石	4.5	7.3	1.3	63.39	
198	532	597	クワ	06-1b			表土層一層		泥炭	1.3	1.3	0.6	1.02	
198	534	619	クワ	Ⅲ			Ⅲb層 (黒土ハネ)		板石	3.3	5.0	1.8	42.90	
198	535	601	クワ	06-IIa		0-17	V層		用途不明行器	4.2	4.0	1.4	34.63	

第6表 出土遺物観察表(土器) 2

発掘 層位 番号	発掘 層位 番号	調査区 番号	遺構 番号	出土地帯 クワッド	方位	発上(高)	種別	口径	高さ	容量 (cc)	外蓋	胴體	内蓋	色調	内面	胎土	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000

第6表 出土遺物観察表(土器) 3

発掘 層号	探検 層号	出土地域	出土地点		種別	器種	口径	直径	高さ	調整		内面	外底	色調	胎土	備考
			調査区	遺構						形状	用途					
75	80	90	7	SH-03	土師器	円	113.0	68.0	23	1078.0(原形) 1578.0(複製)	面取り	面取り	7597/10 2597/10	長石・石・赤・肉石・霞石 白色胎・褐色胎・4cm以内の 茶色胎・3cm以内の霞 胎	全体磨滅	
75	81	51	7	SH-03	土師器	圓	116.0	50	ナテ	1078.0(原形) 1078.0(複製)	ナテ	ナテ	5787/10 3012/10	肉石・霞石・肉石・白色胎 3cm以下の霞胎 3cm以下の白色胎	内面の一部(赤色)磨削残存 内面磨削・取皿	
75	82	52	7	SH-03	土師器	圓	116.0	38	ナテ	1578.0(複製) 1078.0(複製)	ナテ	ナテ	1078.0(複製) 1078.0(複製)	肉石・霞石・肉石・白色胎 3cm以下の霞胎	口縁一部・取皿	
75	80	81	7	SH-03	土師器	圓	112.0	33	楕円ナテ・取皿	1078.0(複製) 1078.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	1578.0(原形) 7596.0(複製)	長石・石・赤・肉石・霞石・肉石 山内の褐色胎・茶色胎・白色胎 山内の白色胎	磨削・工具痕 口縁一部・取皿	
75	84	88	7	SH-04	土師器	圓	114.0	25	ナテ	1578.0(複製) 1078.0(複製)	ナテ	ナテ	7597/10 7597/10	長石・石・赤・肉石・霞石・白色胎 白色胎・茶色胎・肉石・白色胎 3cm以内の肉石胎	口縁内面・取皿付 外底に赤色(磨削)	
75	85	89	7	SH-04	土師器	圓	114.0	29	楕円ナテ	1578.0(複製) 1578.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	7596.0(原形) 7596.0(複製)	長石・石・赤・肉石・霞石・白色胎 白色胎・茶色胎・肉石・白色胎 3cm以内の肉石胎	全体が磨滅 外底・取皿付	
77	88	87	7	SH-05	土師器	円	117.0	50	楕円ナテ	1078.0(原形) 1078.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	7596.0(複製) 7596.0(複製)	長石・石・赤・肉石・白色胎 茶色胎	口縁部の取皿大きい	
78	89	75	7	SH-05 10-107	土師器	円	120.0	85	楕円ナテ	1078.0(原形) 1078.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	1078.0(複製) 1078.0(複製)	長石・白色胎・褐色胎・茶色胎 3cm以下の霞胎	口縁部の取皿大きい	
78	90	76	7	SH-05 10-104- 105-106	土師器	円	103.0	70	楕円ナテ	1078.0(原形) 1078.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	1078.0(複製) 1078.0(複製)	長石・肉石・霞石・肉石以下の霞胎 肉石以下の白色胎・茶色胎 3cm以下の白色胎	半径最大4.5cm～最大3.5cm 取皿	
78	91	105	7	SH-05	土師器	円	120.0	80	楕円ナテ	1578.0(複製) 1078.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	5786.0(原形) 7596.0(複製)	肉石・肉石・3cm以下の霞胎 3cm以下の白色胎	内外面に一部赤色(磨削)残存	
78	92	108	7	SH-05	土師器	円	115.0	67	楕円ナテ	1078.0(複製) 1078.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	1078.0(複製) 1078.0(複製)	長石・石・赤・肉石・白色胎 茶色胎・茶色胎	内外面に一部赤色(磨削)残存	
78	93	77	7	SH-05	土師器	円	110.0	44	楕円ナテ	1578.0(複製) 1578.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	7596.0(原形) 7596.0(複製)	長石・肉石・霞石・肉石以下の霞胎 肉石以下の白色胎・茶色胎 3cm以下の霞胎	内外面に一部赤色(磨削)残存	
78	94	109	7	SH-05 10-104 105-106 9-4	土師器	圓	118.0	75	楕円ナテ	1078.0(複製) 1078.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	7596.0(原形) 7596.0(複製)	長石・肉石・霞石・肉石以下の霞胎 肉石以下の白色胎・茶色胎 3cm以下の霞胎	内外面に一部赤色(磨削)残存	
78	96	40	7	SH-05	土師器	円	114.0	30	ナテ	1578.0(複製)	ナテ	ナテ	7597/10	長石・白色胎・茶色胎 3cm以内の肉石胎	裏面に自然痕	
78	96	106	7	SH-05	土師器	円	114.0	43	楕円ナテ	1578.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	7597/10	長石・肉石・霞石・肉石以下の霞胎 肉石以下の白色胎・茶色胎 3cm以内の肉石胎	外底に割罫	
78	97	72	7	SH-05	土師器	高台付鉢	119.0	124	60-62 取付付高台	1578.0(複製) 1578.0(複製)	ナテ	楕円ナテ	2596.0(複製) 2596.0(複製)	石・赤・肉石・霞石・肉石以下の霞胎 肉石以下の白色胎・茶色胎 3cm以下の霞胎	取皿	
78	98	104	7	SH-05	土師器	灯罩皿	110.0	98	27	1078.0(複製) 1078.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	1078.0(複製) 1078.0(複製)	長石・石・赤・4cm以内の茶色胎 粉砂	内外面に一部赤色(磨削)残存	
78	98	78	7	SH-05 10-104 105-106	土師器	円	113.0	46	31	1078.0(複製) 1078.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	1078.0(複製) 1078.0(複製)	長石・肉石・霞石・肉石以下の霞胎 肉石以下の白色胎・茶色胎 3cm以下の霞胎	内外面に一部赤色(磨削)残存	
78	100	73	7	SH-05 10-104 105-106 9-4	土師器	圓	122.0	36	楕円ナテ	1078.0(複製) 1078.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	1078.0(複製) 1078.0(複製)	長石・石・赤・肉石・霞石・肉石以下の霞胎 肉石以下の白色胎・茶色胎 3cm以下の霞胎	全体が一部磨滅	
78	101	110	7	SH-05	土師器	圓	120.0	42	楕円ナテ	1578.0(複製)	楕円ナテ	楕円ナテ	1578.0(複製)	長石・石・赤・肉石・白色胎 褐色胎・茶色胎を含む		

第6表 出土遺物観察表(土器) 4

発掘 層位 番号	発掘 層位 番号	調査区	遺構	出土地味	土器形状	器種	口径	底径	高さ (cm)	重量	外観	調査		色調	胎土	備 考
												外側	内側			
79	102	74	クワ	Ⅲ	Sh-05 Sh-14	土師器	Φ86	83~	231~	2595.6-5.09g赤色 2598.4.69g赤色 1092.7.4に5.1g黄緑 1095.7.4.2.2g黄緑	周りに5枚片断ナナ	2598.4.69g赤色 1092.7.4に5.1g黄緑 1095.7.4.2.2g黄緑	赤石・石茶・角閃石・金剛砂 白色胎・黒色胎・茶色胎 Sh以下2層	外周全体と内面の口縁部に彩色 (赤胎)		
80	102	87	クワ	Ⅲ	Sh-06	縄文土器	Φ88	36~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	赤石・角閃石・黒曜石 Sh以下2層	内外底の一部に黒塗		
82	104	70	クワ	Ⅲ	Sh-07 Sh-07	土師器	Φ88	231~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	赤石・石茶・角閃石・黒曜石 Sh以下2層	外側にスス付着		
82	105	94	クワ	Ⅲ	Sh-07 Sh-07	土師器	Φ88	22~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
85	106	92	クワ	Ⅲ	Sh-08	土師器	Φ70	91~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
85	107	93	クワ	Ⅲ	Sh-08 Sh-08	土師器	Φ88	30~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
85	108	88	クワ	Ⅲ	Sh-09	土師器	Φ88	42~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
87	108	87	クワ	Ⅲ	Sh-09	土師器	Φ80	28~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
89	110	86	クワ	Ⅲ	Sh-10	須臾器	Φ88	22~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
89	111	100	クワ	Ⅲ	Sh-10	土師器	Φ88	28~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
89	112	99	クワ	Ⅲ	Sh-10	土師器	Φ88	27~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
89	113	101	クワ	Ⅲ	Sh-10	土師器	Φ88	24~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
89	114	103	クワ	Ⅲ	Sh-10	土師器	Φ88	21~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
89	115	102	クワ	Ⅲ	Sh-10	須臾器	Φ88	25~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
90	116	83	クワ	Ⅲ	Sh-10	土師器	Φ88	25~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
92	117	96	クワ	Ⅲ	Sh-11 Sh-11	土師器	Φ88	34	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
92	118	85	クワ	Ⅲ	Sh-11 Sh-11	土師器	Φ80	202~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		
94	119	86	クワ	Ⅲ	Sh-11 Sh-11	土師器	Φ88	48~	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	Sh以下2層	外側に黒塗		

第6表 出土遺物観察表(土器) 5

発掘 層位 番号	発掘 層位 番号	出土地域		種類	寸法(mm)		重量	調製		内面	色調	土質	備考			
		調査区	通稱		グリッド	単位		形状	高さ					口径	口縁	底径
94	130	97	クワ	Ⅲ	SH-11	Ⅲ	土師器	壺	3.6~	17.7	107.7(上)~51.4(下) 29.6(口径)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	外周基部から胴縁より工具痕 SH-11内の基部を斜め白色 着色	
96	121	122	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	坪	5.3~		107.7(上)~51.4(下) 29.6(口径)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	外周基部から胴縁より工具痕 SH-11内の基部を斜め白色 着色	
96	124	124	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	坪	12.9	18.0	107.7(上)~51.4(下) 29.6(口径)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	外周基部から胴縁より工具痕 SH-11内の基部を斜め白色 着色	
96	123	121	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	坪	5.2	7.5	4.1	107.7(上)~51.4(下) 29.6(口径)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	外周基部から胴縁より工具痕 SH-11内の基部を斜め白色 着色
97	124	119	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	土鍋	3.9~		7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	外周基部から胴縁より工具痕 SH-11内の基部を斜め白色 着色	
					SH-12											
					SH-12											
					SH-12											
97	125	71	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	壺	13.2~		2.9(底径) 10.7(口径)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	内外面の一部にスス付	
					SH-12											
					SH-12											
98	126	120	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	坪	8.0	2.3~	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	内外面の一部に彩色(赤彩)	
					SH-12											
99	127	56	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	壺	13.8~		10.7(底径) 29.6(口径)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	内外面の一部に彩色(赤彩)	
					SH-12											
99	128	43	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	坪	1.5	8.8	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	底面に彩色(赤彩) 胴縁に彩色(赤彩)	
99	129	111	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	坪	13.5	8.3	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	底面に彩色(赤彩) 胴縁に彩色(赤彩)	
99	130	80	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	壺	16.0		7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	底面に彩色(赤彩) 胴縁に彩色(赤彩)	
99	131	116	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	坪	12.0	8.4	4.3	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	底面に彩色(赤彩) 胴縁に彩色(赤彩)	
99	132	114	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	坪	13.2	8.0	3.9	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	底面に彩色(赤彩) 胴縁に彩色(赤彩)	
99	133	117	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	坪	8.8	2.5~	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	底面に彩色(赤彩) 胴縁に彩色(赤彩)	
					SH-12											
					SH-12											
99	134	82	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	壺	18.9~		10.7(底径) 29.6(口径)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	内外面の一部に彩色(赤彩)	
					SH-12											
					SH-12											
100	135	122	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	坪	13.8	7.1	10.7(底径) 29.6(口径)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	内外面の一部に彩色(赤彩)	
100	136	61	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	坪	18.3	12.4	6.0	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	内外面の一部に彩色(赤彩)	
					SH-12											
100	137	115	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	坪	10.2	4.5~	10.7(底径) 29.6(口径)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	内外面の一部に彩色(赤彩)	
100	138	59	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	壺	22.4		3.9(底径) 10.7(口径)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	内外面の一部に彩色(赤彩)	
					SH-12											
100	139	123	クワ	Ⅲ	SH-12	Ⅲ	土師器	壺	4.9~		7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	7.5(底径) 9.5(口径) 厚心5.0(底)	内外面の一部に彩色(赤彩)	

第6表 出土遺物観察表(土器) 8

発掘 層位 番号	発掘 層位 番号	調査区 番号	遺構 番号	出土地		器種	口径	底径	高さ (cm)	重量	外装	装飾	内装	色調		胎土	備考	
				クワッド	方位									内面	外面			
134	181	309	クワ	V	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				V														
				V														
				V														
134	182	411	クワ	V	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				V														
134	183	800	クワ	V	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				V														
134	184	301	クワ	V	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				V														
134	185	803	クワ	V	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				V														
134	186	300	クワ	V	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				V														
148	189	32	クワ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
170	182	446	ゴテ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
170	183	668	ゴテ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
170	194	869	クワ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
170	186	363	クワ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
170	186	556	クワ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
170	197	862	クワ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
170	198	578	クワ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
170	199	550	クワ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
170	200	387	クワ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
171	201	11	クワ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
171	202	5	クワ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
171	203	4	クワ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
171	204	64	ゴテ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
171	205	404	ゴテ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														
171	206	397	クワ	V	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				V														
171	207	36	クワ	Ⅱ	調査区	遺構	SP-01	遺構	クワッド	方位	発掘層位							
				Ⅱ														

第6表 出土遺物観察表(土器) 9

発掘 層別	発掘 層別	出土地域		種別	形状		口径	高さ	重量 (g)	調整		土質	備考
		調査区	遺構		外周	内周				色調	加工		
171	200	442	ゴナ Ⅱ	0-16	0A	底鉢	44	ミガキ	ナギミガキ	107M2,2段遺構	107M2,2段遺構	石灰・白色・白色・黄色粒	口縁部(3)色の沈線 内外面に沈線
171	200	459	ゴナ Ⅱ	1-15	0A	底鉢	59	ミガキ	ナギミガキ	107F,4に5-1の遺構	107F,4に5-1の遺構	石灰・白色・白色・黄色粒	内外面に沈線
171	210	441	ゴナ Ⅱ	0-17	0A	底鉢	43	ミガキ	ナギミガキ	107M5に5-1の遺構	2,5段2段遺構	石灰・石茶・内周に白色	外周に赤褐色
171	211	443	ゴナ Ⅱ	0-17	0A	底鉢	54	ミガキ	ナギミガキ	107M5に5-1の遺構	107M5,4に5-1の遺構	石灰・石茶・内周に白色 白色粒・赤褐色	外周に赤褐色 外周に黒いミガキ
171	212	624	ゴナ Ⅰ	0A	0A	底鉢	64	ミガキ	ナギミガキ	107M5,4に5-1の遺構	107M5,4に5-1の遺構	石灰・石茶・内周に赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色
172	213	269	ウツ Ⅱ	0-3	0A	底鉢	37	ミガキ	ナギミガキ	107M1,2段遺構	107M1,2段遺構	石灰・石茶・内周に赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色
172	214	35	ウツ Ⅱ	0-7	0A	底鉢	32	ミガキ	ナギミガキ	107M1,2段遺構	107M1,2段遺構	石灰・石茶・内周に赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色
172	215	626	ゴナ Ⅱ	0-8	0A	底鉢	22	ミガキ	ナギミガキ	107M4,7に5-1の遺構	107M4,7に5-1の遺構	石灰・石茶・内周に赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色 体部上縁の沈線 外周に黒い目 録状文 内面に赤褐色 西平式。
172	216	624	ゴナ Ⅱ	0-8	0A	底鉢	47	ミガキ	ナギミガキ	107M7,4に5-1の遺構	2,5段2段遺構	黒褐色・石灰・赤褐色・赤褐色 赤褐色・黒褐色	口縁部(3)色の沈線 内外面に沈線
172	217	455	ゴナ Ⅱ	0-17	0A	底鉢	25	ミガキ	ナギミガキ	107M7,4に5-1の に5-1の遺構	107M7,4に5-1の に5-1の遺構	石灰・黒褐色・赤褐色 赤褐色・黒褐色	内外面に赤褐色
172	218	19	ウツ Ⅱ	0-1	0A	底鉢	33	ミガキ	ナギミガキ	調整ミガキナギミガキ	2,5段1段遺構	石灰・赤褐色・黒褐色 白色粒・赤褐色	内外面に赤褐色
172	219	419	ゴナ Ⅰ	0-7	0A	底鉢	48	ミガキ	ナギミガキ	107M7,4に5-1の遺構	107M7,4に5-1の遺構	石灰・石茶・内周に赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色
172	220	444	ゴナ Ⅱ	0	0A	底鉢	55	ミガキ	ナギミガキ	107M7,4に5-1の遺構	107M7,4に5-1の遺構	石灰・石茶・内周に赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色
172	221	316	ウツ V	0-7	0A	底鉢	34	ミガキ	ナギミガキ	107M7,4に5-1の遺構	107M7,4に5-1の遺構	石灰・赤褐色・赤褐色・白色粒 赤褐色・赤褐色	内外面に赤褐色
172	222	21	ウツ Ⅱ	0-4	0A	底鉢	36	調整	調整	107M7,4に5-1の遺構	107M7,4に5-1の遺構	石灰・赤褐色・赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色
172	223	248	ウツ Ⅱ	0-2	0A	底鉢	36	調整	調整	107M7,4に5-1の遺構	107M7,4に5-1の遺構	石灰・赤褐色・赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色
172	224	623	ゴナ Ⅱ	0-17	0A	底鉢	26	ミガキ	ナギミガキ	107M1,2段遺構	107M1,2段遺構	石灰・赤褐色・赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色
172	225	375	ウツ Ⅱ	0-17	0A	底鉢	81	ミガキ	ナギミガキ	107M1,2段遺構	107M1,2段遺構	石灰・赤褐色・赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色
172	226	25	ウツ Ⅱ	0-3	0A	底鉢	26	ミガキ	ナギミガキ	107M2-2,2段遺構	107M2-2,2段遺構	石灰・石茶・内周に赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色
172	227	377	ウツ Ⅱ	0-2	0A	底鉢	22	ミガキ	ナギミガキ	107M2-2,2段遺構	107M2-2,2段遺構	石灰・石茶・内周に赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色
172	228	564	ウツ Ⅱ	0-2	0A	底鉢	30	ミガキ	ナギミガキ	107M2-2,2段遺構	107M2-2,2段遺構	石灰・石茶・内周に赤褐色 白色粒	内外面に赤褐色
172	229	379	ウツ Ⅱ	0-4	0A	底鉢	35	ミガキ	ナギミガキ	107M3に5-1の遺構	107M3に5-1の遺構	石灰・石茶・赤褐色・赤褐色 赤褐色	内外面に赤褐色
172	230	376	ウツ Ⅱ	0-4	0A	底鉢	60	ミガキ	ナギミガキ	107M3に5-1の遺構	107M3に5-1の遺構	石灰・石茶・赤褐色・赤褐色 赤褐色	内外面に赤褐色
172	231	373	ウツ Ⅱ	0-4	0A	底鉢	49	ミガキ	ナギミガキ	107M3に5-1の遺構	107M3に5-1の遺構	石灰・石茶・赤褐色・赤褐色 赤褐色	内外面に赤褐色
172	232	362	ウツ Ⅱ	0-3	0A	底鉢	40	調整	調整	107M3に5-1の遺構	107M3に5-1の遺構	石灰・石茶・赤褐色・赤褐色 赤褐色	内外面に赤褐色
172	233	266	ウツ V	0-6	0A	底鉢	40	調整	調整	107M3に5-1の遺構	107M3に5-1の遺構	石灰・石茶・赤褐色・赤褐色 赤褐色	内外面に赤褐色
172	234	315	ウツ V	0-5	0A	底鉢	52	ミガキ	ナギミガキ	107M3に5-1の遺構	107M3に5-1の遺構	石灰・赤褐色・赤褐色・白色粒 赤褐色	内外面に赤褐色
172	235	420	ゴナ Ⅰ	0-3	0A	底鉢	39	ミガキ	ナギミガキ	107M4,2段遺構	107M4,2段遺構	石灰・赤褐色・赤褐色・白色粒 赤褐色	内外面に赤褐色
172	236	263	ウツ Ⅱ	0	0A	底鉢	30	ミガキ	ナギミガキ	107M5,4に5-1の遺構	107M5,4に5-1の遺構	石灰・石茶・赤褐色・赤褐色 赤褐色	内外面に赤褐色

第6表 出土遺物観察表(土器)12

発掘 層位 番号	発掘 層位 番号	調査区	遺構	出土地帯	タリッド	方位	地上高	種別	口径	底径	高さ (cm)	重量 (g)	外底	内底	内面	色調	胎土	備考
177-206	184	クワ	Ⅲ	A-2	Ⅱ層下		016.0	37	016.0	116.0	37	1508.0	1508.0	1508.0	1508.0	1508.0	赤石・石炭・角閃石・雲母 白色粒・茶色粒・茶色粒	
177-206	203	クワ	V		Ⅱ層下	東シノギ												
177-206	42	クワ	Ⅲ	B-2	Ⅱ層上		010.0	18	010.0	178.0	18	7598.0	7598.0	7598.0	7598.0	7598.0	石炭・雲母・白色粒・茶色粒 赤色粒・黒色粒	内面茶色
177-291	39	クワ	Ⅲ		Ⅱ層上		17											
177-291	39	クワ	Ⅲ		Ⅱ層上	掘取区 一隅	11 ~12											
177-282	41	クワ	Ⅲ	D-4	Ⅱ層下		13											
177-282	44	クワ	Ⅲ	B-2	Ⅱ層下		03.0	19										
178-294	226	クワ	V		Ⅱ層下		005.1	25										
178-296	289	クワ	V		Ⅱ層上	トレンチ	03.0	31										
178-296	284	クワ	V		Ⅱ層上	トレンチ	04.4	36										
178-297	318	クワ	V		Ⅱ層上		03.3	22										
178-296	172	クワ	Ⅲ	E-3	Ⅱ層下		04.4	50										
178-296	144	クワ	Ⅲ	E-2	Ⅱ層上		03.0	73										
178-300	169	クワ	Ⅲ	D-2	Ⅱ層下		02.0	36										
178-301	407	クワ	V		Ⅱ層上		017.4	100										
178-302	193	クワ	Ⅲ	A-3	Ⅱ層下		09.0	31										
178-303	201	クワ	Ⅲ	B-11	Ⅱ層下		010.0	53										
178-304	200	クワ	Ⅲ	B-3-4	Ⅱ層下		011.9	34										
178-305	206	クワ	Ⅲ	E-4	Ⅱ層上		02.0	40										
178-306	304	クワ	V	B-5-18	Ⅱ層上		03.0	38										
178-307	283	クワ	V	C-5-3	Ⅱ層上		03.0	49										
178-308	191	クワ	Ⅲ	A-2	Ⅱ層下		011.0	51										
178-308	140	クワ	Ⅲ	A-2	Ⅱ層下		3.0	34										
178-310	192	クワ	Ⅲ	A-2	Ⅱ層下		08.0	28										
178-311	110	クワ	Ⅲ	Ⅱ層上			03.1											
178-312	204	クワ	Ⅲ	B-4	Ⅱ層下		03.0	35										
178-313	178	クワ	Ⅲ		Ⅱ層下		04.2											
178-314	172	クワ	V	B-5-18	Ⅱ層上		7.8	25										

第6表 出土遺物観察表(土器) 13

発掘 層号	探検 層号	出土地域		種別	口径	高さ	容量 (ml)	調整		色調		土質	備考
		調査区	遺構					外周	内周	外周	内周		
179-315	31	クワ	II	土師器 罎	7(8)	(44)	19	255.0(真横) 254.2(真縦) 254.2(口縁)	10%にふいかけ 10%の2区真横	10%にふいかけ 10%の2区真横	赤石・赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	内周全体に入行着 切明線	
179-316	206	クワ	VI	土師器 罎				75(86.6)横 75(86.6)縦	75(86.6)横	75(86.6)縦	赤石・赤土・黄砂石・黄砂 白粘・黒色粘・茶色粘	外周底部に紫色(赤紫)残存	
179-317	306	クワ	VI	土師器 鉢	12(5)	(140)	113			75(87.7)横 75(87.7)縦	赤石・赤土・黄砂石・黄砂 白粘・黒色粘・茶色粘	外周の一部に紫色(赤紫)	
179-318	100	クワ	III	土師器 鉢	10(9)	(209)	55			75(82.0)真横 100%の2区真横	赤石・赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘		
179-319	175	クワ	III	土師器 罎	12(10)	(184)	46			10%の口縁 10%の2区真横	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	外周が壊滅	
179-320	259	クワ	III	土師器 罎	11(8)	(121)	33			25(82.7)真横 10%の1区真横	赤石・赤土・黄砂石・黄砂 白粘・黒色粘・茶色粘		
179-321	350	クワ	III	土師器 罎	12(10)	(210)	40			10%の2区真横	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	外周部分に壊滅	
179-322	143	クワ	III	土師器 罎	16(4)	(164)	54			10%の口縁 10%の2区真横	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘		
179-323	405	クワ	V	土師器 罎	16(4)	(240)	33			3(86.4)にふいかけ 10%の2区真横	赤石・赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	口縁基部に切明線 外周に入行着	
179-324	307	クワ	V	土師器 罎	16(4)	(240)	143			10%の口縁 10%の2区真横	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘		
180-325	149	クワ	III	土師器 罎	18(7)	(247)	39			10%の口縁 10%の2区真横	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘		
180-326	254	クワ	III	土師器 罎	14(10)	(140)	46			10%の口縁 10%の2区真横	赤石・赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	外周の一部にハナ目	
180-327	256	クワ	III	土師器 罎	14(10)	(140)	40			25(86.4)にふいかけ 25(86.4)にふいかけ	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	外周基部に切明線 外周に入行着	
180-328	169	クワ	III	土師器 罎	14(10)	(140)	41			25(86.4)にふいかけ 25(86.4)にふいかけ	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	口縁部より内面に紫色(赤紫)残存	
180-329	146	クワ	III	土師器 罎	17(5)	(270)	77			25(86.4)にふいかけ 25(86.4)にふいかけ	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	外周基部に切明線 外周に入行着	
180-330	157	クワ	III	土師器 罎	17(5)	(270)	62			10%の口縁 10%の2区真横	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	外周基部に切明線 外周に入行着	
180-331	205	クワ	III	土師器 罎	17(5)	(270)	36			25(86.4)にふいかけ 25(86.4)にふいかけ	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	外周基部に切明線 外周に入行着	
180-332	158	クワ	III	土師器 罎	17(5)	(270)	38			25(86.4)にふいかけ 25(86.4)にふいかけ	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	外周基部に切明線 外周に入行着	
180-333	153	クワ	III	土師器 罎	17(5)	(270)	65			10%の口縁 10%の2区真横	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	外周基部に切明線 外周に入行着	
180-334	268	クワ	V	土師器 罎	12(5)	(254)	65			25(86.4)にふいかけ 25(86.4)にふいかけ	赤土・黄砂石・黄砂 黒色粘・白粘・茶色粘	外周基部に切明線 外周に入行着	

第6表 出土遺物観察表(土器) 14

観測 番号	観測 場所	調査区	遺構	出土地帯	層位	急上階	層位	形状	口径	底径	高さ (cm)	重量 (g)	外型	胴部	内面	外面	色調	内面	土質	備考
180	35	306	クワ V	V	C-5	II階下	II階下	土鉢器	要	(28.5)	28~	28~	楕円子	楕円子無り	楕円子に凸凹	75/97/20	75/97/20	75/97/20	灰石・石灰・白色 赤褐色・黒色土質 4m以内の層	口縁部に一部赤色(赤影)残存
181	306	305	クワ V	V	D-5	II階下	II階下	土鉢器	要	(33.1)	95~	95~	ナギ楕円子	楕円子無り	楕円子に凸凹	10/97/20	10/97/20	10/97/20	灰石・石灰・赤褐色・白色 赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	1/4以上 1/2未満の面に削り文様
181	337	335	クワ V	V	B-5-18	II階下	II階下	土鉢器	要	(22.6)	12.9~	12.9~	ナギ楕円子	楕円子無り(狭子)	楕円子に凸凹	75/98/10	75/98/10	75/98/10	石灰・内包石・黒褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	口縁の一部と胴部の一部に黒斑
181	338	364	クワ V	V	C-7	II階下	II階下	土鉢器	要	(27.9)	28~	28~	楕円子	楕円子無り	楕円子に凸凹	10/98/20	10/98/20	10/98/20	灰石・石灰・赤褐色・白色 赤褐色・黒色土質	
181	339	352	クワ V	V	B-5-18	II階下	II階下	土鉢器	要	(15.1)	4.8~	4.8~	ナギ楕円子	楕円子無り	楕円子に凸凹	10/98/20	10/98/20	10/98/20	石灰・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	
181	340	185	クワ III	III	B-2	II階上	II階上	土鉢器	要		2.6~	2.6~	楕円子	楕円子	楕円子に凸凹	10/97/40	10/97/40	10/97/40	石灰・内包石・赤褐色 5m以下の層を少量	外周口縁部削り文様
181	341	257	クワ III	III	B-2	II階上	II階上	土鉢器	要		3.0~	3.0~	ナギ楕円子	楕円子	楕円子に凸凹	75/97/20	75/97/20	75/97/20	灰石・石灰・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	外周一部に黒斑(黒影)
181	342	167	クワ III	III	D-2	II階上	II階上	土鉢器	要		3.1~	3.1~	楕円子	楕円子無り	楕円子に凸凹	10/98/40	10/98/40	10/98/40	灰石・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	口縁部は凹凹
181	343	404	クワ V	V	C-5	II階下	II階下	土鉢器	要		5.6~	5.6~	楕円子ハタケ目楕円子	楕円子高須直三楕円子	楕円子に凸凹	10/98/20	10/98/20	10/98/20	灰石・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	
181	344	321	クワ V	V	B-2	II階上	II階上	土鉢器	要		8.7~	8.7~	ナギハタケ	ナギ楕円子	ナギ楕円子	10/98/20	10/98/20	10/98/20	灰石・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	
181	346	403	クワ V	V	C-5	II階下	II階下	土鉢器	鉢		5.7~	5.7~	楕円子	ナギ楕円子	ナギ楕円子	10/97/40	10/97/40	10/97/40	石灰・赤褐色・赤褐色・黒色土質	
181	347	382	クワ V	V	B-4	II階下	II階下	土鉢器	不明		12.8	12.8	ナギハタケ	ナギ楕円子	ナギ楕円子	75/97/40	75/97/40	75/97/40	灰石・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	全体的に赤斑
181	348	406	クワ V	V	B-3	II階下	II階下	土鉢器	要		3.1~	3.1~	楕円子	楕円子無り	楕円子に凸凹	10/97/20	10/97/20	10/97/20	石灰・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	胴部と外周の胴部に赤影(赤影)
182	348	398	クワ V	V	B-5-23	II階下	II階下	土鉢器	鉢	(27.6)	11.8	11.8	ナギ楕円子ハタケ目	楕円子無り(狭子)	楕円子に凸凹	75/97/20	75/97/20	75/97/20	灰石・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	外周胴部に黒斑
182	350	179	クワ III	III	B-2	II階下	II階下	土鉢器	鉢	(28.1)	7.7~	7.7~	ナギ楕円子ハタケ目	楕円子無り	楕円子に凸凹	10/98/20	10/98/20	10/98/20	石灰・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	外周胴部に黒斑
182	351	295	クワ V	V	B-5-3	II階下	II階下	土鉢器	鉢	(26.6)	11.8~	11.8~	楕円子ナギ	楕円子ナギ	楕円子に凸凹	75/98/20	75/98/20	75/98/20	灰石・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	外周胴部に黒斑
182	352	392	クワ V	V	D-6	II階下	II階下	土鉢器	肥子		6.8~	6.8~	無り楕円子	無り	無り	75/98/10	75/98/10	75/98/10	灰石・石灰・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	一部に黒斑
182	353	385	クワ V	V	C-5-24	II階下	II階下	土鉢器	肥子		7.9~	7.9~	無り楕円子	無り楕円子	無り楕円子	10/97/40	10/97/40	10/97/40	石灰・内包石・赤褐色・白色 5m以下の層を少量	
182	354	34	クワ III	III	溝側	II階	II階	土鉢器	肥子		8.2~	8.2~	無り楕円子	無り楕円子	無り楕円子	10/97/20	10/97/20	10/97/20	石灰・内包石・赤褐色・白色 5m以下の層を少量	縁部黒斑
182	355	359	クワ V	V	C-5-4	II階下	II階下	土鉢器	肥子		8.6~	8.6~	無り楕円子	無り楕円子	無り楕円子	5/98/20	5/98/20	5/98/20	灰石・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	
182	356	366	クワ V	V	C-5-8	II階下	II階下	土鉢器	肥子		5.0~	5.0~	無り楕円子	無り楕円子	無り楕円子	10/97/20	10/97/20	10/97/20	灰石・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	
182	357	354	クワ V	V	B-5-17	II階下	II階下	土鉢器	肥子		7.1~	7.1~	無りナギ	無りナギ	無りナギ	75/97/40	75/97/40	75/97/40	灰石・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	
182	358	300	クワ V	V	B-5-15	II階下	II階下	土鉢器	杯形式底		6.7~	6.7~	ナギ楕円子	ナギ楕円子	ナギ楕円子	10/98/20	10/98/20	10/98/20	灰石・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	
182	359	183	クワ III	III	B-2	II階下	II階下	土鉢器	不明		5.6	5.6	楕円子	楕円子無り	楕円子に凸凹	10/98/40	10/98/40	10/98/40	灰石・石灰・赤褐色・赤褐色・黒色土質 5m以下の層を少量	スズ遺物

第7表 出土遺物観察表(金属製品)

検体番号	調査区	調査式	グリッド	遺構	出土層	取上げ 高さ	寸法 (cm)			種別	備 考
							長さ (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)		
134	137	566	クワ	V	3D-01	埋土層	2.8	1.4	0.5	3.9	
134	138	565	クワ	V	3D-01	埋土層	2.2	0.6	0.5	2.4	
199	536	590	ゴナ	II	IVb-V		4.5~	2.2	0.3	0.1	鉄線 刃部欠損
199	537	582	クワ	III	E-2	II層下位	1.8	0.6	0.2	3.3	鉄線
199	538	587	クワ	I	遺構時 一記/層		8.7~	1.4~	0.5	0.2	刀子
199	539	584	クワ	V			1.8	3.1	0.6	5.0	器具
199	540	591	ゴナ	C-6	IVc		8.8	0.3~	0.3~	7.0	
199	541	589	ゴナ		I~II		7.3	1.6	0.3	0.9	鉄線(下位)
199	542	581	クワ	III	II層下位		6.3~	1.1~	0.6	5.7	鉄線
199	543	588	クワ	III	埋土		7.2~	0.6~	0.5	3.6	釘
199	544	656	クワ	V	IIIa	2F	2.0	1.4	0.8	6.7	銅線
199	545	583	クワ	III	2層上		5.3~	0.6~	0.4	3.1	全体に錆害が付着

第Ⅶ章 総括

第1節 遺構

(1) 集石

本遺跡では10基の集石が出土した。いずれも密集度の高い集石ではなく散乱の様相に近い。これは集石が蒸焼きの調理法としたならばその役目を終え、石を取り除いた痕跡であろうか。本遺跡での集石には掘り込みは確認出来なかった。また平均石数40個程で、集石として小規模類に入る。

(2) 燃焼土坑 (S0)

土坑状の掘り込みの埋土・側壁に焼土が見られる。本遺跡では桑鶴遺跡群Ⅶ区において集中的に検出があった。S0-01・02などが該当し、それは長軸2.3m・短軸0.7m程の規模で、遺構の性格を窺い知るものは出土しなかったため、その性格は不明であるが側壁に燃焼面が見られることから土坑内で火を用いたことは明白である。そのプランから南九州を中心として検出される縄文期の連結土坑の類か。本県ではこの連結土坑は鶴羽田遺跡(熊本市北区)にて検出されている。

(3) 土坑 (ST・SK)

土坑は88基検出されたが、ここでは「燃焼土坑」とは区別した。何れも浅い掘り込みでそのプランは円形・楕円に大別でき、一部不定形も確認できる。しかしその性格を特定する遺物は殆ど出土せず、これまでの事例から廃棄土坑などの使用目的を特定するに至らなかった。

(4) 火葬墓 (第55図)

明確な火葬墓として出土したのは桑鶴遺跡群06-1区にて検出された蓋付甕である。器内には小片火葬骨が出土した。火葬骨についてはNPO法人人類学研究機構に鑑定を依頼し、その内容は第Ⅴ章「自然科学分析」に掲載した。蓋付甕の器型から9C頃と推測され、この時期の火葬骨は希少であるという。火葬骨を納入してあるので「火葬蔵骨器」と呼称してよいか。検出は土坑状の掘り込みに埋納されていた状況で蓋部は土圧であろうか破損しており甕には土が流れ込んでいた。

(5) 竪穴式住居 (SB)

桑鶴遺跡群Ⅲ・Ⅵ区を中心として出土した。何れも竈を持ちSH-05からは竈の袖石(No.86・87)が出土している。凝灰岩で火熱を受けたとみられ風化が激しい。

3m×3m程の規模であるがここで注目したいのは、竈位置が住居の東方向に存在していることである。このことは住居内の約束事ではなく、竈機能を考慮した空気循環等の課題を提示し、地域による気象条件に関与しているものであろう。このエリアの住居は切り合いが激しいため、規格に準じるものか特定できなかった。しかし素朴な疑問として思うのは何故、同じ場所に新たに構築するのであろうか。また破壊の要因は何であろうか。これを本遺跡において考古学の調査で理解することは困難であった。少類例であったが竈より彩色土器が出土したため、廃棄に伴う儀礼の一つか。

(6) 掘立柱建物

本遺跡から7軒検出された。3間×2間の建物が主で規模としては大型部類ではない。桑鶴遺跡群Ⅲ区SB-03(第128図)に至っては北西方向のP3のプランは不定形を呈している。位置的に隅柱であり柱の仮置きを行い、

後に調整した痕跡であろう。また桑鶴遺跡群Ⅲ区 SB-05（第130図）に至っては長軸A-B・B-Cラインを見てみると柱間隔に差異がある。短軸B-C間は土間・A-B間は住居空間と想定した。

(7) 堀（第133図）

桑鶴遺跡群Ⅴ区にて検出された。幅6m・深さ2mを測り、調査区を横断しており調査区外まで存在することは確実である。断面はU字状を呈し下層に硬化面が検出されたことから堀としての機能を消失した後は道として利用されたことが考えられる。鉄針（№188）が中層から出土しているが本遺構には関与しない後世の流れ込み遺物とした。

(8) 道（第65図）

桑鶴遺跡群Ⅱ区にて検出された。長さ20m・幅1.4mを測る。波板状の硬化面が連続的に確認される。道路状遺構であろう。この遺構から時代を特定できる遺物は出土しなかったが、遺構はN-40°-W軸である。これまでの類例から古代の遺構であろう。

(9) 不明・他（第145図）

SP-01（貝殻Pit）

桑鶴遺跡群Ⅳ区にて検出された。ビット状の掘り込みにタニシ類の川貝が中層から下層にかけて埋設されていた。その個数は2,257個で貝の断面観察では透明部が認められること、掘り込みが掘立柱建物のビットに類似していることから古い様相を呈しないようである。しかし単体での出土であり食用後の廃棄の痕跡でもないようであるためその性格は不明とした。

第2節 遺物

(1) 旧石器時代

① 遺跡の立地環境と石器石材利用（第200・201図、第9表参照）

本遺跡は金峰山の外輪山から延びる台地上に位置し、金峰山から噴出した溶岩の上に約9万年前の阿蘇火砕流堆積物が堆積して基盤層となっている。周辺遺跡もほとんどが洪積世に形成された台地上等に立地し、当時の地質的環境を物語っている。

本遺跡の数メートル下には阿蘇4火砕流堆積物が見られその中に親指大の黒曜石が多く含まれている（Ph.1参照）。旧石器研究者の中ではこれらの黒曜石を「阿蘇4系黒曜石（Aso-4系ob）」と呼称する者が多い。当時でも周辺の台地の浸食部や河川でこの黒曜石の採集が可能であったと推定される。この石材を使用した石器として、数は少ないが細石刃があげられる。しかし、桑鶴遺跡群Ⅱ区のⅤ～Ⅶ層（白ニガ層～ローム層）において、石核、剥片、砕片が多く出土しており、剥片剥離が行われたことは確実である。その様な意味では、この遺跡は、阿蘇4系黒曜石の原産地遺跡と言えるかもしれないが、遺跡全体、かつ各層に亘る普遍的な石材利用状況ではない。時間の制約上、十分な接合作業ができなかった。また、出土した石核や剥片には多くの原産面が残っており、どの様な石器を目的とした剥片剥離を行ったのが不明である。また、阿蘇4火砕流堆積物中には親指大の安山岩も含まれており、その使用も見られた。

遠隔地石材が多かった使用石材は、腰岳産黒曜石であった。本遺跡から直線距離で約80km離れている。良質な黒曜石であるため、約3万年前の周辺遺跡でも使用されている石材である。製品あるいは剥片での持ち込み

が想定される。また、良質な安山岩は西北九州産石材の可能性も考えられるが、最終的な石材の産地同定は蛍光X線分析にゆだねなければならぬと考える。

その他の石器使用石材として、緑川流域で産出する輝緑凝灰岩、阿蘇周辺で採集可能な在産安山岩が多用されており、少量ながら阿蘇市周辺で産出する珪ヶ鼻産ガラス質溶結凝灰岩、構造線沿いに産出するチャート、祖母・傾山系で産出する流紋岩などの石材がみられた。

② 石器群の様相とまとめ

本遺跡出土の旧石器の明確な出土層位を把握することは、やや困難で不安な面が残るが、実際に多くの石器が旧石器出土該当層から出土していることは事実である。動植物の影響や凍上現象などに代表される自然現象による石器の浮き沈みや後世の擾乱等で出土した石器以外は、基本的に当時の地積層から出土していると考えられる。

本遺跡から出土した定形的な旧石器を第8表に照らし合わせてみると、AT降灰以降の石器群が主体である。阿蘇周辺の小畑編年を例にとると、切出形ナイフ形石器 (No.16: 埋谷型ナイフ形石器) に代表される石器群、角錐状石器 (No.3・17・32) に代表される石器群、小型のナイフ形石器 (No.1・9・15・29・34) に代表される石器群、細石核は出土していないが細石刃 (No.5~8・18・36・37・39・40) に代表される石器群の時期が該当する。特にV期~VII期の石器群が主体と言えるだろう。

また、桑鶴遺跡群VIII区の出土石器 (第25図: No.19・20・22 第26図: No.23・24・26・27) の中には明らかにATより下層であるVIII層、V層からの出土石器も見られる。但し定形的な石器はNo.22の台形様石器のみである。

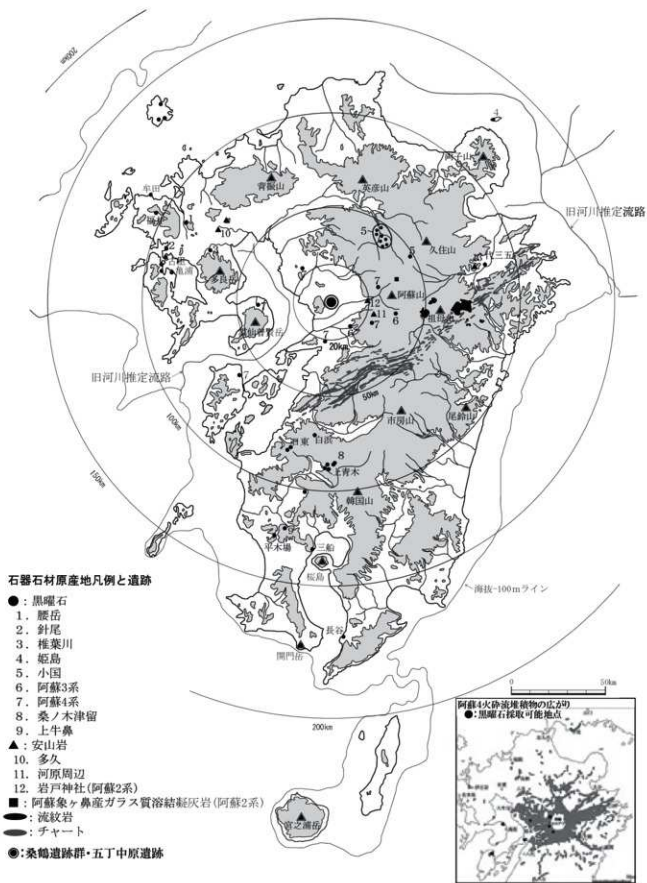
時代	九州西北部 (飯塚)		九州南西部 (宮田)		阿蘇周辺 (小畑)		クワⅢ区 ゴナ1~ Ⅱ区	クワⅡ Ⅰ区	クワⅠ Ⅰ区	
	時期区分と特徴		時期区分と特徴		時期区分と特徴					
縄文時代	早期 土器の出現とほぼ同時に高麗法による磨石核が出現し、第九州での地域固有の磨石核が認められる。九州には新石器文化の萌芽も認められる。明確な種別を示している。	X期	埋谷型磨石核が特徴的に認められる時期。片刃文土器、無文土器、石鏃、尖頭鏃などが出現する。				V層下部 ~IV層 上部	IV層下部 ~V層 上部		
後期 旧石器 時代	5期	ナイフ形石器群の最終期と主要出現期の細石刃形石器、ナイフ形石器は、定形的な小型の、切出形に統一し、短く直線の両端という基本構造が認められる。細石刃形石器の出現と深く関わっている。	IX期	第九州地域に形制型が出現し、第九州全体に拡散する時期。	VI期	10,000~12,000BP	細石刃形石器群			
	4期	小さな地域単位で独自の石器製作システムが発達。角錐状石器、埋谷型石器、切出形ナイフ形石器、角錐状ナイフ形石器、柱状末台型石器、百舌台型石器などが存在する。	VI期	角錐2~3mm程度の小型ナイフ形石器が主体であり、素材は短尾末台型にほぼ等しいものも認められる。	VI期	10,000~15,000BP	百舌台型台形石器に代表される石器群			
			V期	長さ4~6mmサイズのナイフ形石器や尖頭鏃が主体となる。基本的に三稜尖頭鏃が主体とする。	VI期	10,000~18,000BP	小型の短尾ナイフ形石器に代表される石器群			
			Vc期	三稜尖頭鏃が主体となり直行する時期。両面型ナイフ形石器も入る。	V期	20,000~26,000BP	角錐状ナイフ形石器や三稜尖頭鏃が主体とする石器群	VI層	V層	
	3期	第3期を特徴づけた石片・ナイフ形石器群・色柄細線型ナイフシステムが解体し、形式の多様化に対応する多機能のプラットフォームが出現。形質多様、角錐状石器、埋谷型ナイフ形石器、源の切出形ナイフ形石器、源型ナイフ形石器などが存在する。	Vb期	両面型尖頭鏃が主体となる時期。	IV期	20,000~23,000BP	両面型尖頭鏃や埋谷型ナイフ形石器に代表される石器群			
			Va期	短尾型ナイフ形石器が主体となる時期。埋谷型ナイフ形石器が主体となる時期。埋谷型ナイフ形石器が主体となる時期。埋谷型ナイフ形石器が主体となる時期。	IV期	20,000~23,000BP	両面型尖頭鏃や埋谷型ナイフ形石器に代表される石器群			
			給寅Tn火山灰 (AT) 25,000BP							
	2期	絶頂期を以て最終期に出現する。良好な層位の抽出は難しく、埋谷編年は測定で、定型的な方法によらずるべきでない。比較的大的な二面型ナイフ形石器、埋谷型ナイフ形石器、切出形ナイフ形石器、埋谷型ナイフ形石器、埋谷型ナイフ形石器などが存在する。	III期	短尾型ナイフ形石器が主体とし、打磨を最終するようになり二面型加工をしたものや一側加工のいわゆる埋谷型ナイフ形石器が主体であり、ほかには埋谷、角錐、短尾型が残り、多くの遺跡で確認される。	III期	27,000~35,000BP	短尾型二面型加工のナイフ形石器に代表される石器群	VI層	VI層	
			II期	小型の両面型ナイフ形石器が多いが、第九州全域ではこの時期の出現は少ない。角錐状石器、埋谷型ナイフ形石器、角錐状ナイフ形石器、角錐状ナイフ形石器などが存在する。	II期	30,000~27,000BP	フランクタイプや加工の発達した台形石器と角錐状石器に代表される石器群			
			I期	石片 (埋谷型) 類ナイフ形石器の存在は確かながら、石片の存在は域々である。両面型加工型、埋谷型ナイフ形石器、切出形ナイフ形石器など多様な台形石器群が存在する。	I期	大型の両面型素材とした短尾埋谷型や角錐状の石器が共通していており、角錐・短尾埋谷の種別が埋谷型に比べて多いことが特徴である。	I期	30,000~33,000BP	部分加工の台形埋谷型と短尾加工のフランクタイプに代表される石器群	VI層
前・中期 旧石器 時代	埋谷型では、前・中期旧石器時代石器群の内容を明確にすることは出来ない。	0期	石核認定が困難なものが多いが、大型ナイフ形石器と小型ナイフ形石器の両方が存在する。							

Δ1: VI層: 10780±50年
Δ2: VII層上: 17180±70年
Δ3: VII層下: 19690±80年

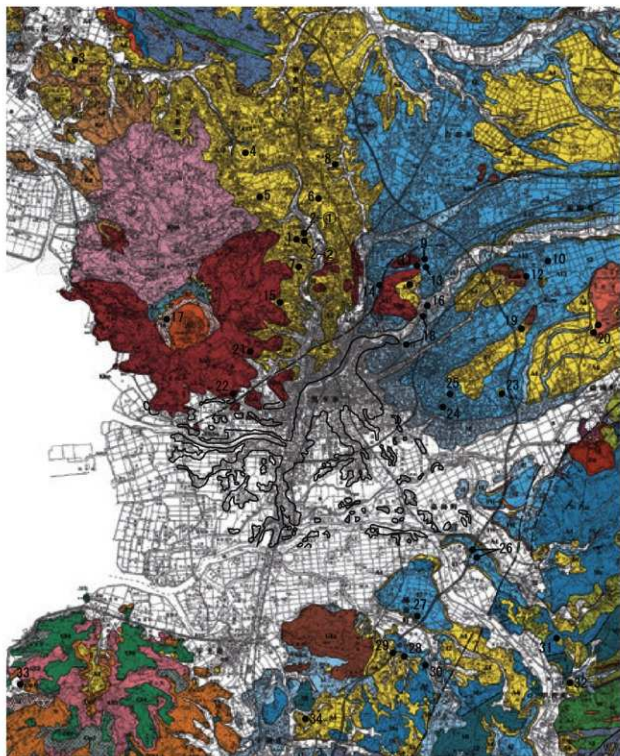
●1: VI層上: 20960±130年
●2: VI層下: 22010±130年

クワ=桑鶴遺跡群 ゴナ=五丁中遺跡群

第8表 旧石器時代の地域的編年と本遺跡との比較表



第 200 図 遺跡を取り巻く石材環境 (S=1/1,000,000)



第 201 図 熊本市周辺の地質図と旧石器時代の遺跡位置図 熊本県地質図 (5=1/100,000) 説明書 (2008) より加筆引用

凡例

A4: 阿蘇-4 火砕流堆積物 Kbo: 金峰火山古期噴出物 A13: 阿蘇-1~3 火砕流堆積物 t1: 低位段丘堆積物 t2: 中位段丘堆積物
 K1: 金峰火山新期堆積物 Ys: 芳野層 ta: 崖堆積物 Kbm: 金峰火山中期噴出物 Kum: 熊本層群 A1: 赤井火山 (砥川溶岩)
 Mu: 御船層群上部層 PH: 布田層・花房層 MI: 御船層群下部層 vg: 苦鉄質火山岩類 cc: 結晶質チャート um: 超苦鉄質岩類
 Gks: 雁回山層 011: 大岳古期礫石安山岩溶岩 013: 大岳新期角閃石安山岩溶岩 014: 大岳新期礫石安山岩溶岩
 0p1: 大岳新期角閃石安山岩火砕岩 0p2: 大岳新期礫石安山岩火砕岩

●は遺跡の位置、○の範囲は自然堤防の範囲を示す。

番号	遺跡名	所在地	遺物・遺構	出土層・単位等	調査状況	文献
1	奥通遺跡群	熊本市北之原町西馬場三ツ塚	ナイフ、台形石、三稜尖頭器、射片等	自己方層、ローム層、アカハヤ層、善工等	本報告	
2-①	五丁中環遺跡	熊本市北之原町西馬場三ツ塚	ナイフ、三稜尖頭器、細石片、射片	自己方層、アカハヤ層、黒二方層	本報告	
2-②	五丁中環遺跡(赤土層部)	熊本市北之原町西馬場三ツ塚	別荘の台倉裏、縄文時代の基石		本報告	
3	百太郎遺跡	玉名市寺田字百太郎	3稜尖頭器	中野の空室	玉名市教育委員会 2007a、百太郎遺跡、玉名市文化財調査報告第15巻	
4	アス平遺跡	熊本市北之原町水原アス平	ナイフ	単の遺物に埋入	熊本県教育委員会 2003 アス平遺跡、熊本県文化財調査報告第74巻	
5	山道遺跡	熊本市北之原町長寿町甲斐塚	100~120 射片尖頭器	工事中の埋入	熊本県教育委員会 1994 熊本県遺跡地図	
6	塚田遺跡	熊本市北之原町萩原町40号地	90 射片	地蔵山山頂区谷倉倉庫中	熊本県教育委員会 1999a 熊本県縄文文化財調査報告第11号 平成14年度～平成15年度	
7	新田遺跡	熊本市北之原町新田	60 射片尖頭器、ナイフ、三稜尖頭器	縄文時代宅の空倉庫	熊本県教育委員会 2001b、熊本県縄文文化財調査報告第14号 平成16年度～平成17年度	
8	小川山遺跡群	熊本市北之原町徳寺赤原段	77~78 射片尖頭器、三稜尖頭器	地蔵山山頂区谷倉倉庫中	熊本県教育委員会 1999a、熊本県縄文文化財調査報告第9号 平成14年度～平成15年度	
9	渡ノ原遺跡	熊本市北之原町水原木ノ原	90 台形石、ナイフ、射片	単の遺物に埋入	熊本県教育委員会 1997a、渡ノ原遺跡群、熊本県文化財調査報告第100巻	
10	下石ノ辺遺跡	熊本県新田町新立川	90 灰化物集中	単の遺物に埋入	なし	
11	天目山遺跡	熊本市北之原町水原木	97 塊状形尖頭器	天目山山頂	熊本県教育委員会 1985 熊本県旧石器文化	
12	平山石ノ本遺跡	熊本市東区平山原石ノ本	75~104 ナイフ、射片、扇形製石片等、燧石ブランク、灰化物集中	ローム階層上、溝溝中	熊本県教育委員会 1999b、平山山遺跡群、熊本県文化財調査報告第171巻	
13	若山遺跡	熊本市北之原町新立川	90 台形石、射片、細石片	単の遺物に埋入	熊本県教育委員会 1985 熊本県旧石器文化	
14	若山遺跡	熊本市北之原町水原石打目	25 ナイフ	単の遺物に埋入	熊本県教育委員会 1985 熊本県旧石器文化	
15	精華山山頂遺跡	熊本市西区精華山頂	50 ナイフ、細石片	不明	熊本県教育委員会 1994a、石の本遺跡群、熊本県文化財調査報告第178巻	
16	竜田内遺跡	熊本市北之原町竜田内	34 三稜尖頭器、射片	弥生時代の遺物を含む	熊本県教育委員会 1988 竜田内遺跡群、熊本県文化財調査報告第69巻	
17	坂本遺跡	熊本市西区坂本町坂本	230 射片尖頭器など	ミカン層内	熊本市 1986 新熊本市史、史跡編 第1巻 巻末付録	
18	新熊遺跡群	熊本市東区新熊町1、上高瀬町	30 ナイフ、細石片	熊本大学新熊の塚、弥生時代の台倉庫	熊本考古学舎 1985 熊本考古学 第6号 特集、熊本の旧石器文化	
19	東山遺跡群	熊本市東区上長富山	60 細石片	弥生時代の要所跡	熊本考古学舎 1985 熊本考古学 第6号 特集、熊本の旧石器文化	
20	高瀬内未詳	上高瀬町高瀬町(西原町製紙所内)	140~150 射片	旧石器出土該地層	なし	
21	谷原遺跡	熊本市西区谷原町谷原	50 細石片	不明	熊本考古学舎 1985 熊本考古学 第5号 特集、熊本の旧石器文化	
22	熊山遺跡群(上高瀬遺跡)	熊本市西区高瀬町上高瀬	50 ナイフ、台形	ミカン層内	熊本考古学舎 1985 熊本考古学 第6号 特集、熊本の旧石器文化	
23	熊山遺跡群	熊本市西区高瀬町上高瀬	35 ナイフ	縄文時代の遺物を含む	熊本県教育委員会 1999a、高瀬上・坂本遺跡群、熊本県文化財調査報告第173巻	
24	熊山遺跡群	熊本市東区熊山	25 細石片	縄文時代の遺物を含む	熊本市 1996 新熊本市史、史料編 第1巻 巻末付録	
25	熊山遺跡群	熊本市東区東原(自衛隊敷地内)	30 射片	ローム層	熊本県教育委員会 2005 熊山遺跡群、熊本県文化財調査報告第222巻	
26	久原(赤打)遺跡	上高瀬町高瀬町(赤打)	46 細石片、細石片、台形石、石核、射片	石ノ本層	熊本考古学舎 1985 熊本考古学 第5号 特集、熊本の旧石器文化	
27	上ノ原遺跡	熊本市南区高瀬町赤目	30 台形、扇形など	龍宮層	熊本考古学舎 2002 次方遺跡群、熊本県文化財調査報告第112巻	
28	上ノ原遺跡	熊本市南区高瀬町赤目ノ原	40 ナイフ、台形、角状石	龍宮層の遺土・堆土	熊本県教育委員会 1983a、上の環状跡、熊本県文化財調査報告第69巻	
29	尾道遺跡(環状石遺跡)	熊本市南区尾道町尾道	30 台形、扇形、削器など	中世前期の環状石土層の埋入	熊本考古学舎 1985 熊本考古学 第5号 特集、熊本の旧石器文化	
30	道場木原(後田)	熊本市南区道場木原山平塚	30 細石片	旧熊山小学校敷地の南側地下付設	熊本考古学舎 1985 熊本考古学 第5号 特集、熊本の旧石器文化	
31	上高瀬遺跡	上高瀬町高瀬町上高瀬	70 扇形、削器など	区内	熊本考古学舎 1985 熊本考古学 第5号 特集、熊本の旧石器文化	
32	上高瀬遺跡(旧下層田)	上高瀬町高瀬町上高瀬	65 扇形、削器など	埋込み	熊本考古学舎 1985 熊本考古学 第5号 特集、熊本の旧石器文化	
33	田中遺跡	宇土市御前町御前	5 ナイフ		宇土市教育委員会 1983b、御前遺跡、熊本県文化財調査報告第169巻	
34	熊神遺跡	宇城市松野町熊神字長川	22 台形、ナイフ、扇形製石片など	二ガシロ、ローム層	熊本県教育委員会 1984 熊神遺跡群、熊本県文化財調査報告第169巻	

◆この欄にも遺跡群の中に「旧石器時代」の遺跡として掲載されているものが、岩倉遺跡群、百太郎遺跡群、百太郎遺跡として存在するが、ここでは調査型あるいは採集型のある採集型を挙げておく。

第9表 周辺の旧石器遺跡データベース一覧表

(2) 旧石器以降

① ヘラ描き土器・墨書土器

「原」の文字がヘラ描きで確認できる。「原」はその語源を「原」と「泉」に分けることができる（大漢和辞典）。

「原」は平原の意で、小字は和泉町で発音は「イズミ」となる。また「原田」（№291～293）も出土した。墨書土器は須恵器の蓋に書かれ「□殿」と読める。ヘラ描き土器は製作時に陶工が傍らに積み上げ、最上部に出荷先をヘラ描きすると云われている。

② 金属器

鐵・刀子・楔などが確認されるが用途不明の遺物も多く、ここではその内容を提示する。№188は大型の針状で、推定の素材として先端は鋭利でその反対端部は輪を形成してある。全体に撚りを掛け強度を増しているようである。輪は何等かを通す穴と考えると紐状のものを使用した金具か。現代でいう量針に近いものか。

本遺跡では製鉄を行った可能性を示唆する遺物として、輪の羽口・鉄滓の出土により可能性は高い。また埴場（№175・176他）には銅片が付着している。出土遺物に銅滓（№545）があることから製銅を行っていたことが考えられる。やや厚手で浅い小型の碗状である。併せて多くの鉄滓が本遺跡より出土した。

また№381は須恵器に溶接していた窯のガラス滓で窯の高温により溶解したケイ素類が付着したものである。これらが大量に付着すると器としての機能を失うので廃棄されたものである。

③ 土馬（№124・376）

桑鶴遺跡群Ⅲ区・Ⅵ区より出土。拓器状態であり、かなり高温で焼成されている。№124は頭部位の可能性があり全体は破壊されている。祭祀に関与する遺物であろうがその性格を明確にできる関連の遺構・遺物は検出・出土しなかった。近接する調査区 桑鶴遺跡群Ⅱ区から古代の道の道が検出されているので交通に関与したものの、土馬として提示した。

④ 土製品（№256）

桑鶴遺跡群06-II a区より出土。1点だけの出土であった。全体に沈線を巡らし装飾であろう。孔が穿っており糸など通す目的であろう。装飾品として考えたいが、これも1点の出土のためその性格は不明である。

五丁中原遺跡Ⅲ区 SD-01 の2層より泥面子が出土しているが破片で実測に耐えられないが、この近年、注目されている「泥面子」については「肥後郷土玩具想随」（梅原與惣次 1936）記載の文章に

「面子と呼ぶ諸種の泥面が存在していた。清正公・為朝を初め武將の顔を象ったもの、福神を象ったもの、或いは鬼面を現したものだあって、長さ一寸内外の土面に彩色した甘い感じのするものである。普通、『人形』又は『投げ人形』と呼んでいた。之を地上或る距離のところを円を描いて投げ込み、遊び相手がこれを打ち合う、相手の人形をうまく円外に打ち出せば勝ちで自分の所有となる。（略）」

とある。昭和11年の書物であるため古形を色濃く残した遺物である。

⑤ 輸入磁器

数的には多くない。また何れも破片である。龍泉窯の青磁蓮弁文碗が出土している。蓮弁の文様から13Cの産物であろう。外器に雷文を施した青磁もみられるが何れも同時期であろう。他に宗時代の天目碗も出土しているが輸入磁器は伝製品の性格を持つため製作品年代と所有年代には差異は生じるだろう。しかし所有するには当時の特権階級であるためこの地域の様相を窺い知る材料となる。

また近世陶磁器として本報告書には記載しなかったが近世中期の筒型湯呑碗・油徳利の小片が本遺跡上層で出土している。何れも生活器で農耕に関与した生活地が存在したのであろう。輸入磁器ではないが№459は磁器製で観察からは卸し金のようなものであるため近現代遊具の中の一つであるか。

⑥ 彩色土器

本遺跡より赤色を施した土器が出土した。遺構に伴う主な土器は№91・97で何れも住居からの出土であり、それは打ち欠きの感を受けることから住居廃棄儀礼に伴うものか。また肉眼観察ではベンガラ（酸化第二鉄）と赤土（Al・Siを主にFe）に大別できそうである。

本遺跡では弥生中期の袋状口縁部片（№258）・後期の免田式土器（№257）があり、以後は古代の土師器にそれを見て取れる。前述したように住居廃棄に伴う彩色土器など、今後、民俗事例との関係も参考として本遺跡での類例を提示した。

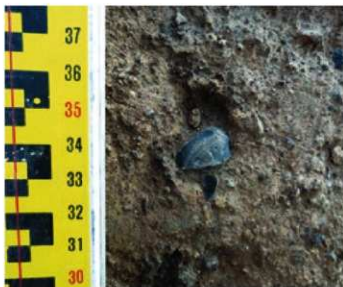
第3節 結言

古代については、この地域における調査事例に乏しくその様相について不明部分が多かったが、9世紀の住居地の検出により、この地域の一つの情報提示を行うことが出来そうである。竈付住居で生活地域を提示した。住居集中区が本遺跡に存在するが、この理由については明確にできなかった。しかしこの住居地集中区からヘラ描き土器には「原」の文字が刻まれていた。ヘラ描き土器の出土は、本遺跡ではその数11点であるが、前述したように「原」は「厂」と泉の意があり「厂」は平原、泉は現在の地名の和泉に通じるのであろう。この台地は火山灰土壌であるが湧水に恵まれていることが知られ、また現在では平坦な畑地であるが、本調査に関連した確認調査では谷部も存在し生活の水源地としては恵まれていたであろう。

道路状遺構も古代と推定され住居地群と同時期ならば、この台地にて集落を形成し集落の生活・交通に大きく関与したことになるムラの様相を想定することができる。また住居内で出土した土馬も交通の信仰関係と深く関係しているのであろうか。

また前節で述べたようにここに住居が集中している根拠が存在するのであるが、調査・整理ではその理由を明確にできなかった。一度、掘り込んだ箇所を再利用するのは容易なことであろうが、それを結論とすると短絡的すぎる。また第1節で述べたように、住居の廃棄に関しては本遺跡の考古学手法では明確な回答を得ることは困難であったが、この竈とは火に関係する所であり食に暖に照明にと、生活の根拠を成すものである。ここには人々の想い・願いが凝縮される。住居地から出土した灯明皿のほんのりした灯りは日々の安堵感を与えたに違いない。

また時期は不明であったが桑嶋遺跡群V区にて検出の堀（SD-01）とその西側には掘立柱建物が出検されたことは関連が想定され、それは中世の居館の存在を窺わせる。これを補足するに少数であるが輸入磁器の出土がある。従って本遺跡は旧石器と古代をピークに持ち、縄文・弥生・中世がこの台地に点在することが、調査結果になる。しかし、この台地は全面調査でなく部分的な調査であるため、点と点を結ぶ作業に近い。本遺跡に限らずほとんどの行政調査がそうであろう。その状況の中で遺跡の成果は、今後の調査への一助として提示するに留めるしかないのかもしれない。



阿蘇 4 火砕流堆積物中の
黒曜石 確認状況



五丁中原遺跡 II 区 西側
工事現場 土層断面状況



桑鶴遺跡群 VII 区 SH-01 使用時完掘状況
(N→)

Ph. 1



桑鹤遗址群 VII区 土层断面图 A-A' (S→)



桑鹤遗址群 VII区 南西壁 土层断面



五丁中原遗址 I区 南壁 土层断面 B (S→N)



五丁中原遗址 I区 VI层 石器出土状况 (28)

Ph. 2



五丁中原遺跡 Ⅰ区 東壁 土層断面 1 (W→E)



五丁中原遺跡 Ⅰ区 東壁 土層断面 2 (W→E)



五丁中原遺跡 Ⅰ区 東壁 土層断面 3 (W→E)



桑鶴遺跡群 06-1区1号集石 検出状況 (W一)



桑鶴遺跡群 06-1区3号集石 検出状況 (W一)

Ph. 4



桑鶴遺跡群 06-I区 S1-01 検出状況 (S→) (64・65)



桑鶴遺跡群 06-II区 S1-03 土坑 検出状況 (E→) (50)



桑鶴遺跡群 II区 SX-04 検出状況 1 (N→S)



桑鶴遺跡群 II区 SX-02 (右) SX-04 (左) 検出状況 2 (N→S)

Ph. 6



桑鶴遺跡群 I 区 石器 出土状況 (3)



桑鶴遺跡群 II 区 石器 出土状況 (9) (E→)



桑鶴遺跡群 II 区 SX-05 土器 出土状況 (E→)



桑鶴遺跡群 III区 SH-17 竈 検出状況 (W →)



桑鶴遺跡群 III区
SH-12 土馬 出土状況 (124) (S →)



桑鶴遺跡群 III区 住居密集地 検出状況 (SE →)



桑鶴遺跡群 III区 SB-05 完掘状況 (E →)



桑鶴遺跡群 IV区 SH-01 竈 使用時状況 (E →)



桑鶴遺跡群 V区 SD-01 完掘状況 (N→)



桑鶴遺跡群 IV区 貝殻 出土状況 (S→)

Ph. 10



桑鶴遺跡群 VI区 土師器 出土状況 (168・169) (WS→)



五丁中原遺跡 I区 石器 出土状況 (490) (E→)



桑鶴遺跡群 VII区 SX-05 炭化物 出土状況 (N→)



五丁中原遺跡 I区 SX-01 完掘状況 (W→)



出土石器 1 (表)



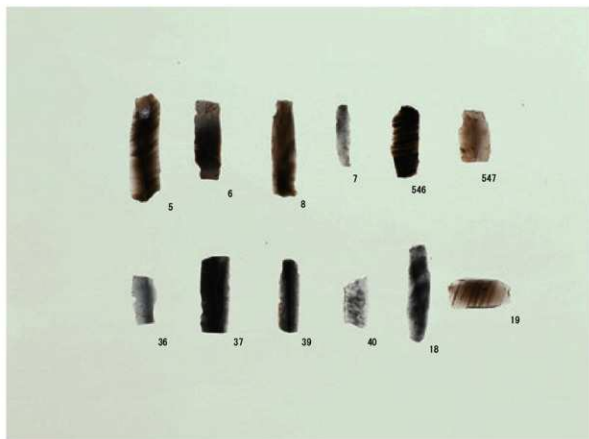
出土石器 1 (裏)



出土石器 2 (表)



出土石器 2 (裏)



出土石器 3 (表)



出土石器 3 (裏)



出土石器 4 (表)



出土石器 4 (裏)

Ph. 15



出土石器 5 (表)



出土石器 5 (裏)



出土石器 6 (表)



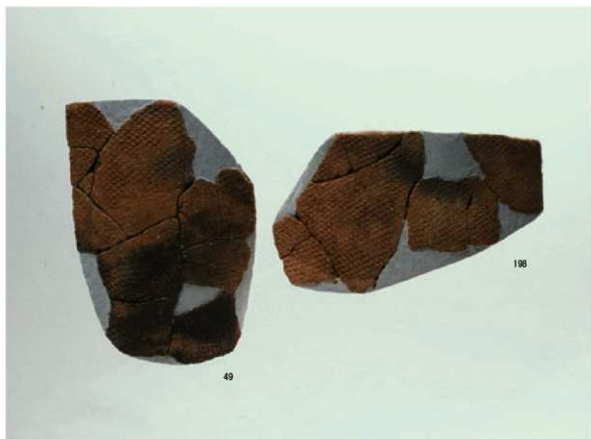
出土石器 6 (裏)



出土石器 7 (表)



出土石器 7 (裏)



縄文早期土器 1 積円文



縄文早期土器 2 条痕文・格子目文・塞ノ神式

Ph. 19



桑鶴遺跡群 06-I 区 S1-01 出土土器



桑鶴遺跡群 06-I 区 S1-01 底部様相



桑鶴遺跡群 V 区 出土埴塼と甕の羽口



桑鶴遺跡群 06-II 区 出土 土製勾玉



桑鶴遺跡群 VI 区 ガラス滓 (左)
桑鶴遺跡群 VI 区 鉄滓 (右)



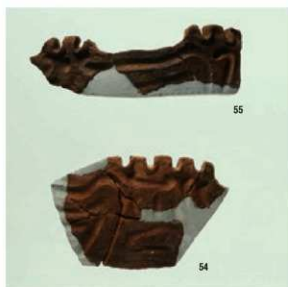
五丁中原遺跡 I 区 出土 免田式土器片



桑鶴遺跡群 I区 SH-01 出土土器



桑鶴遺跡群 III区 SH-03 出土 墨書土器



桑鶴遺跡群 II区 SX-05 阿高式土器



桑鶴遺跡群 III区 SH-12 出土土馬



桑鶴遺跡群 II区 SX-05 阿高式土器



桑鶴遺跡群 VI区 ST-03 出土土器



桑鶴遺跡群 III区 SH-05 出土土器



桑鶴遺跡群 III区 SH-12 出土土器



桑鹤遗址群 Ⅲ区 SH-12 出土土器



桑鹤遗址群 Ⅲ区 SH-10 出土土器



桑鹤遗址群 Ⅲ区 SH-12 出土土器



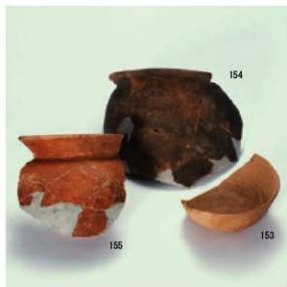
桑鹤遗址群 Ⅲ区 SH-11 出土土器



桑鹤遗址群 Ⅲ区 SH-07 出土土器



桑鹤遗址群 Ⅲ区 SH-14 出土土器



桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-16 出土土器



桑鶴遺跡群 Ⅵ区 SH-01 P-1 出土土器



桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-17 出土土器



桑鶴遺跡群 Ⅳ区 SH-01 出土土器



桑鶴遺跡群 Ⅲ区 出土 把手部位



把手貼り合わせ状態



桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-05 出土 ヘラ描き「原」



桑鶴遺跡群 Ⅲ区 SH-12 出土 ヘラ描き「原」「O」



桑鶴遺跡群「原」墨書ヘラ記号



輸入磁器類



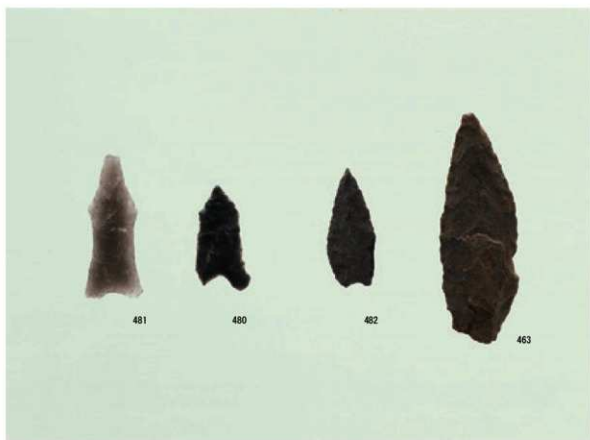
桑鶴遺跡群 V区 IIIb層 出土土器



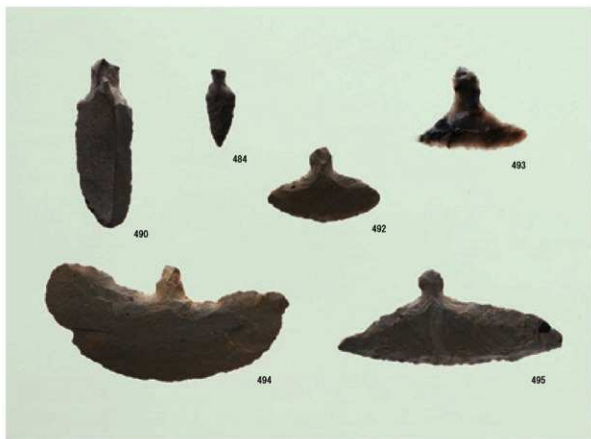
桑鶴遺跡群 III区 SH-05 出土土器



石器 1 (石鏃)



石器 2 (石鏃・尖頭器)



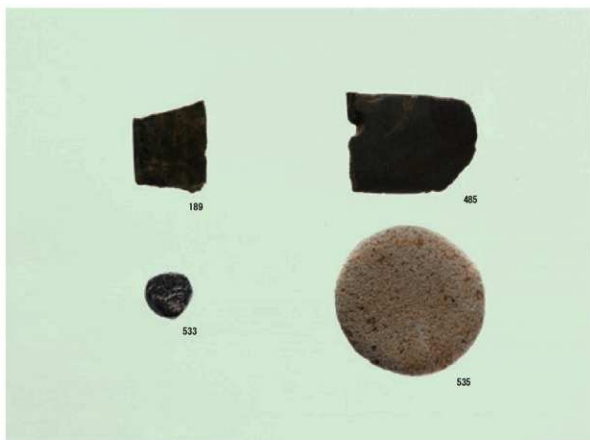
石器 3 (石匙)



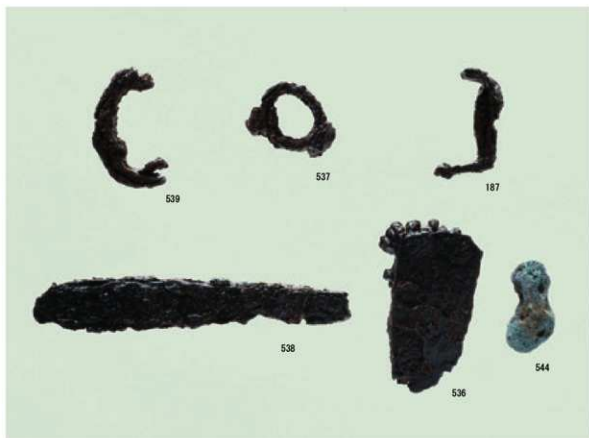
石器 4 (打製石斧・磨製石斧・凹石)



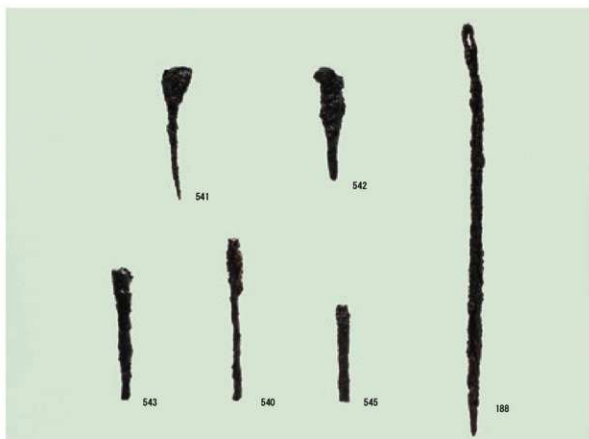
石器 5 (砥石)



石器 6 (石剣・石包丁・用途不明石器)



金属製品 1



金属製品 2

編集後記

近年、報告書に携わる度に思うのだが、報告書とは遺跡が消滅したことを表す「死亡診断書」のようなものである。だからこその内容には正確さと緻密さが求められる。本「診断書」はその点において今後の参考程度であろう。これも編集者の力不足による。

調査においては用地買収と並行して行われたため、調査の工程通りにはならない場面が幾つもあった。しかし用地買収の担当者は何度も地権と交渉を重ねられ、調査地を「確保」して下さったことは、この場を借りて感謝申し上げたい。温暖化の影響であろうか近年、春と秋を感じる機会が少なくなった。寒風酷暑、現場は作業員さんと汗を流し、防寒着で小雪を凌いだ。この中で歴史学を専攻したある非常勤職員が居た。少し述べたい。

考古学は概論で学んだというが、当初は仕事の内容を理解できない事も多く、かなり戸惑いが見られた。2年目の調査時に複雑な切り合いの厩付住居を任せた。手も服も汗と土にまみれ、粘り強く調査を敢行し、見事に掘り抜いた。自琢である。それを機にその非常勤職員は積極的な生き方を選んだ。また、逆に遺跡を放棄し自滅していった調査員も少なくはない。整理作業員さんについては、言葉に表せないほど感謝申し上げますが、ここで言葉に表しました。この充実した時間は、私にとり深い想いに昇華しました。

遺跡から学ぶことは無限である。モノと人の架け橋の特質を持つからであろう。昔人の「調査は人なり」との言葉を最近、よく思い出す。

(山下 記)

現場作業員

荒木康利 境 優太 稲村 明 石川貴保 本田美和 狩野祐晴 酒井昌枝 牛島しおり 青木立子 山野美智子 三島多恵子 上内重徳 星野信弘 白石美智子 森本清子 野尻近夫 松永一代 桃井哲夫 緒方洋子 西村信二 林田恵子 西山雅廣 守井昭雄 山本正則 中村良一 関部ロサヘレナ 岩下郁子 桑鶴 護 森本紀代子 合志具英 木村武徳 徳岡 頼 荒木照之 副島頼知 森本勝行 杉本久義 森 明彦 下田高男 廣瀬正義 辰島正徳 森本一人 麻生 昇 稲本俊一 岩下 孝 坂田洋一 松本 崇 高木洋美 野口まさ代 藤井勇二 平田理恵 境 百合子 坂本紀代子 田中鳴美 宮本國昭 牧野律子 関 律子 稲村光則 松本和徳 田尻信行 緒方正明 中井良一 柴田道子 桑鶴律子 井上咲雄 牛島一征 野田 昇 中島 守 広瀬敏二 西村和幸 豊岡キヨミ 川上紀男 甲斐福義 熊谷邦彦 稲本佳子 平松英光 江藤駿助 麻生昭子 石川幹郎 後藤章一 豊田誠之 吉岡龍子 畑中儀介 大塚 昇 野中朗治 大久保哲哉 平野直孝 木村利男 中石徳和 宮下忠行 岩下悦子 岩下哲夫 東とし子 広瀬多津子 伊形久佐子 井上順子 早田 均 早田律子 本田敏廣 西嶋直美 竹熊清隆 吉岡睦生 井上利子 中野洋子 森 節子 河端 斎 吉川ゆかり 境 優太 稲本敏行

整理作業員

境美恵子 濱崎清子 園田智子 青木美代子 青木玲子 風々野ふみ 藤田繁子 一野幸枝 清田幸恵 柴垣博子 村田昭恵 立岩恵美子



整理スタッフ（撮影 2015. 01. 19）

報告書抄録

ふりがな	くわづるいせきぐん・ごちょうなかばるいせき							
書名	桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡							
副書名	砂原四方寄線地域連携推進改築事業に伴う埋蔵文化財調査							
巻次								
シリーズ名	熊本県文化財調査報告							
シリーズ番号	第308集							
編著者名	山下義満							
編集機関	熊本県教育委員会							
所在地	〒862-8609 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号							
発行年月日	2015年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
桑鶴遺跡群 五丁中原遺跡	熊本県熊本市北区 貴町・和泉町	43201	418 420	32°46'	130°38'	2006年 5月18日 ～ 2007年 3月29日 2009年 6月1日～ 2011年 11月11日	約17,000㎡	砂原四方寄線地域連携推進改築事業に伴う埋蔵文化財調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
桑鶴遺跡群 五丁中原遺跡	集落	旧石器 縄文 古代 中世	住居 道路 掘立柱建物	旧石器 縄文土器 土師器 金属器				
要約	<p>桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡は熊本市西部の舌状台地に位置し、両遺跡は同一の性格を持つものである。</p> <p>旧石器は、始良 Tn 火山灰 (AT) 降灰以降の角錐状石器に代表される石器群・小型のナイフ型に代表される石器群・細石刃に代表される石器群が主体的であった。古代は9世紀の古代の集落跡であり、竈付住居を検出し、この遺構から「原」・「原田」のヘラ描き土器によりこの一帯の当時の地名、及び環境を想定する材料になった。中世は掘立柱建物から生活の痕跡が窺え、少数ではあるが輸入磁器を所有する館の存在も想定され、今後、周囲の調査が望まれる。</p>							

熊本県文化財調査報告書 第308集

桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡

—砂原四方寄線地域連携推進改築事業に伴う埋蔵文化財調査報告—

平成27年3月31日

編集 熊本県教育委員会
発行

〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

印刷 株式会社 大和印刷所

〒861-8031 熊本市東区戸島町920-11

発行者：熊本県教育委員会
所 属：教育総務局文化課
発行年度：平成 26 年度

各文化財調査報告の電子書籍の末尾に挿入する奥付

この電子書籍は、熊本県文化財調査報告第308集を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：桑鶴遺跡群・五丁中原遺跡

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

電話：096-383-1111

URL：<https://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：2016年9月21日

第2刷制作日：2024年6月21日

なお、熊本県文化財保護協会が底本を頒布している場合があります。詳しくは熊本県文化財保護協会にお問い合わせください。

熊本県文化財保護協会

URL：<http://www.kumamoto-bunho.jp/>